



Education Cloud



salesforce.org

Salesforce.org およびそのロゴは Salesforce.com, inc. の登録商標です。ここに記載されたその他の名称は、Salesforce.com またはそれぞれの所有者の商標です。

目次

Education Cloud	1
Education Cloud について.....	1
Education Cloud の使用開始.....	2
Education Cloud の内容の理解.....	3
募集および入学者選考.....	4
学生サクセス.....	7
Alumni Relations.....	9
メンタリング.....	10
Education Cloud 用開発者リソース.....	12
一般的な機能を使用した Education Cloud の拡張.....	12
Education Cloud と翻訳.....	22
Education Cloud の設定.....	25
Education Cloud の有効化.....	26
個人取引先の有効化.....	26
学生サクセスアプリケーションの設定.....	27
Alumni Relations の設定.....	29
Academic Operations アプリケーションの設定.....	31
メンタリングの設定.....	33
Education Analytics アプリケーションの設定.....	38
連動機能の設定.....	40
省略可能な機能の設定.....	42
標準プロファイルの作成と設定.....	46
Education Cloud トライアル組織の作成.....	47
Education Cloud ユーザーの管理.....	48
Education Cloud のコンソールの設定.....	54
Education Cloud のレコードページの設定.....	69
教育ポータルの設定.....	119
アクション可能セグメンテーションを設定.....	126
Education Cloud での OmniStudio の使用.....	127
Education Cloud の項目の選択リスト値の確認.....	132
アカデミックプロセスの自動化.....	134
Education Cloud リリースの最新情報の確認.....	148
Education Cloud での機関の設定.....	149
キャンパスのモデル化.....	149
教職員、スタッフ、学生、卒業生のモデル化.....	151

世帯のモデル化.....	153
アカデミックカレンダーのモデル化.....	155
科目とカリキュラムのモデル化.....	157
開講学習プログラムのモデル化.....	159
潜在的な学生およびプロスペクト学生のモデル化.....	162
入学申込のモデル化.....	163
プログラム管理を使用した学習者のサポート.....	165
機関への学生の募集と入学.....	173
募集 & 入学者選考アプリケーション.....	173
情報の要求コンポーネント.....	174
スコアリングフレームワークを使用したプロスペクト学習者の変換の予測.....	176
申込の開始.....	177
申込者ポータル作成と設定.....	186
申込者ポータルユーザーの管理.....	193
申込の作成.....	199
申込の管理.....	207
Academic Operations の管理.....	223
Academic Operations アプリケーション.....	223
学習者の学習プログラムプラン概要.....	229
機関での学生の成功のサポート.....	231
学習者ポータル用の学生サクセスコンポーネント.....	231
学生サクセスアプリケーション.....	244
ケアプランを使用した学習者のサポート.....	246
アラートを使用した学習者のパフォーマンスの監視.....	250
学習者のためのサクセスチーム.....	252
学習者のアクションプラン.....	252
機関での卒業生とアドバンスメントのサポート.....	256
卒業生ユーザーの管理.....	256
卒業生コミュニティの設定.....	260
卒業生およびアドバンスメントのための資金調達の使用.....	266
メンタリングプログラムの作成.....	268
メンタリングプログラム.....	268
メンタリングプログラムの給付.....	269
メンタリング関係者.....	273
メンタリングポータル.....	284
メンティーとメンターをつなげる.....	300
予定の管理.....	303
Salesforce Scheduler for Education Cloud の設定.....	303
予定データの設定.....	307
Education Cloud での予定環境の管理.....	320

AWS Chime を使用した仮想予定の設定.....	331
Education Analytics の理解.....	341
入学者選考のインサイト.....	341
募集のインサイト.....	343
[Admissions and Recruitment Insights (入学および募集のインサイト)] ダッ シュボード.....	344
学生サクセスの責任者のインサイト.....	345
学生サクセスのアドバイザーのインサイト.....	346
Learning Programs and Course Insights (学習プログラムと科目のインサイ ト).....	347
卒業生のインサイト.....	350

Education Cloud

Education Cloud では、募集、入学者選考、さらに学生の成功に関するインサイトを接続し、すべての学習者のジャーニーの統一された見解を把握できます。一元化された情報源から完全な学生プロフィールが作成されるため、プロスペクト学生にも熱心な卒業生にもパーソナライズされた環境を提供して、成功する生涯学習者へと導くことができます。

Education Cloud について

Education Cloud を使用して学習者と機関の成功を促進します。

教育向けの次世代 CRM がここにあります。Education Cloud は、明日の機関を今日強化するデジタル基盤です。Education Cloud の設定可能かつ安全なプラットフォームを使用することで、機関は急速に変化するデジタル環境において将来に備えられるようになります。

Education Cloud では、Salesforce の機能を活用して、募集、入学者選考、さらに学生の成功に関するインサイトを接続し、すべての学習者のジャーニーの統一された見解を把握できます。一元化された情報源から完全な学生プロフィールが作成されるため、プロスペクト学生にも熱心な卒業生にもパーソナライズされた環境を提供して、成功する生涯学習者へと導くことができます。

機関の情報テクノロジーソリューションの中心に Salesforce を配置することで、部門間のコラボレーションにおいて重要な大規模のタスクを短時間で完了できます。Education Cloud では、次を含む強力なテクノロジーが機関に提供されます。

- Experience Cloud により提供されるオンライン学習者ポータル
- 募集 & 入学者選考コンソールを使用した重要な部門活動の単一のホームページビュー
- OmniStudio を使用した強力なワークフロー自動化およびカスタマイズされたユーザーインターフェース
- CRM Analytics を使用したアクション可能なインサイトを提供するカスタマイズ可能なレポートおよびダッシュボード

Education Cloud を探索する場合、Trailblazer Community の素晴らしいユーザーグループとつながることで、ベストプラクティスに関するヘルプを取得し、アイデアを共有することができます。Salesforce ログイン情報を使用してログインし、[Education Hub](#) グループと [Education Release Readiness](#) グループの両方に参加してください。

Education Cloud の使用開始

Education Cloud は、学習者ファーストの理念に基づいて組織全体の関係者が関与し、コラボレーションを行うための教育向けプラットフォームを提供するものであり、生涯学習者の学習実績を最大限に高め、これ以上ない体験を実現します。Education Cloud で提供される機能を探検し、トライアル組織でハンズオントレーニングを受け、推奨の設定や実装への準備方法を確認してください。



 操作方法 Education Cloud とは? 学習トライアル組織を利用した Education Cloud の探索	 開始する: 推奨のコア機能を確認 募集および入学者選考 Academic Operations アプリケーション 学生サクセスアプリケーション Alumni Relations アプリケーション	 深く知る: 特定のビジネスニーズ向けの機能を確認 申込の開始 ケアプランを使用した学習者のサポート 卒業生コミュニティの設定 Education Cloud での予定環境の管理 卒業生およびアドバンスメントのための資金調達の使用
 さらに拡張する: 追加機能やアドオンを確認 Education Analytics の理解 Trailhead: Accounting Subledger for Education Quick Look (教育機関向けの会計補助台帳の概要) 教育機関向け Marketing Cloud Engagement	 実装の準備を整える Education Cloud のガイド付き設定の使用 Education Cloud での OmniStudio の使用 機関の Education Cloud の設定 データ保護とプライバシー	 リソースを知りサポートを受ける Trailhead: Education Cloud Basics (Education Cloud の基本) Education Cloud 開発者ガイド Education Cloud - Trailblazer Community

**注意**

設定の準備ができたなら、ガイダンスセンターに移動して、アプリケーション内でパーソナライズされたヘルプを参照します。次に、EducationCloud を探します。

Education Cloud の内容の理解

Education Cloud では、教育に焦点を当てたデータモデルを Salesforce プラットフォーム内に提供し、学習体験全体をサポートしてユーザーのニーズを満たすアプリケーションを構築します。

表 1: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

教育機関は多くの多様な関係者のジャーニーを促進します。また、募集や申込のためのプロセスの作成と管理、学習の科目やプログラムの編成し、施設の管理など、多くの業務をこなさなければなりません。Education Cloud では、学習体験全体のサポートに役立つアプリケーションを作成するために、特化したデータモデルを Salesforce プラットフォームに組み合わせます。

関連情報:

- [一般的な機能を使用した Education Cloud の拡張](#)

Salesforce プラットフォーム

Education Cloud は、Salesforce プラットフォーム上に構築されています。この組み合わせにより、Experience Cloud には、プロスペクト学生や学生の 360 度のビューを実現する機能が組み込まれており、学生に最高のサービスを提供することができます。

Education Cloud は安全で柔軟な上、カスタマイズ可能であるため、機関で実装してからニーズに合わせて調整できます。

Education Cloud のデータモデル

Education Cloud のデータモデルは、申込、スケジュール、科目、施設、卒業生リレーションの管理など、教育機関が学習者の体験全体をサポートするのを支援します。

このデータモデルは、入学管理担当者、入学審査担当責任者、学習者、募集担当者、Salesforce システム管理者など、機関のすべての人員の作業をサポートします。

データモデルについての詳細は、「[Education Cloud 用開発者リソース](#)」を参照してください。

Education Cloud のライセンス

Education Cloud には、Education Cloud の完全なアクセス権、Education Cloud レビュー担当者、Education Cloud Experience Cloud ユーザーの 3 つの異なるライセンスがあります。各ライセンスには、ユーザーのニーズに合わせて、異なる権限が含まれています。



注意

組織のライセンスを見るには、[設定] の [クイック検索] ボックスで [会社情報] を検索して選択します。[ユーザーライセンス] 関連リストと [権限セットライセンス] 関連リストを確認します。ライセンスを追加するには、Salesforce アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。

Education Cloud の完全なアクセス権

Education Cloud の完全なアクセス権は、最も包括的なライセンスであり、すべてのオブジェクトやコンポーネントへのユーザーアクセス権を許可します。

Education Cloud の完全なアクセス権は、募集、入学管理、学生支援、卒業生管理の責任を持つ機関の職員向けに設計されています。

Education Cloud の制限付きアクセス権

Education Cloud 制限付きアクセス権により、学生の指導や申込レビューの使用事例に必要な Education Cloud オブジェクトおよびコンポーネントへのアクセス権がユーザーに付与されます。

このライセンスは、機関への申込の確認や学生へのアドバイスなどの作業を完了するために特定のオブジェクトとレコードにのみアクセスする必要があるユーザー向けに設計されています。

Education Cloud for Experience Cloud ユーザー

Education Cloud for Experience Cloud ユーザーは、Experience Cloud ユーザーが機関とやりとりするのに必要な Education Cloud 要素へのユーザーアクセス権を許可します。

このライセンスは、Experience Cloud サイトを介して機関とやりとりするユーザー向けに設計されています。たとえば、機関への申込者、プロスペクト学生の代理申込者、面接をスケジュールする登録学生。

募集および入学者選考

Education Cloud がオンラインポータルと強力なコラボレーションツールによって募集と入学者選考に関する活動をどのようにサポートしているかを確認します。

表 2: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

プロスペクト学生と学習者は、高等教育ジャーニーで、接続されたオンライン環境を利用できることを期待しています。重要な申込情報の収集に電話や郵便を使用することは受け入れられなくなりました。教職員とスタッフは連携する学生の全体像を把握する必要があります。部門間でデータを孤立させないようにしましょう。Education Cloud を使用すれば、機関は 21 世紀においてシームレスに機能させることができます。

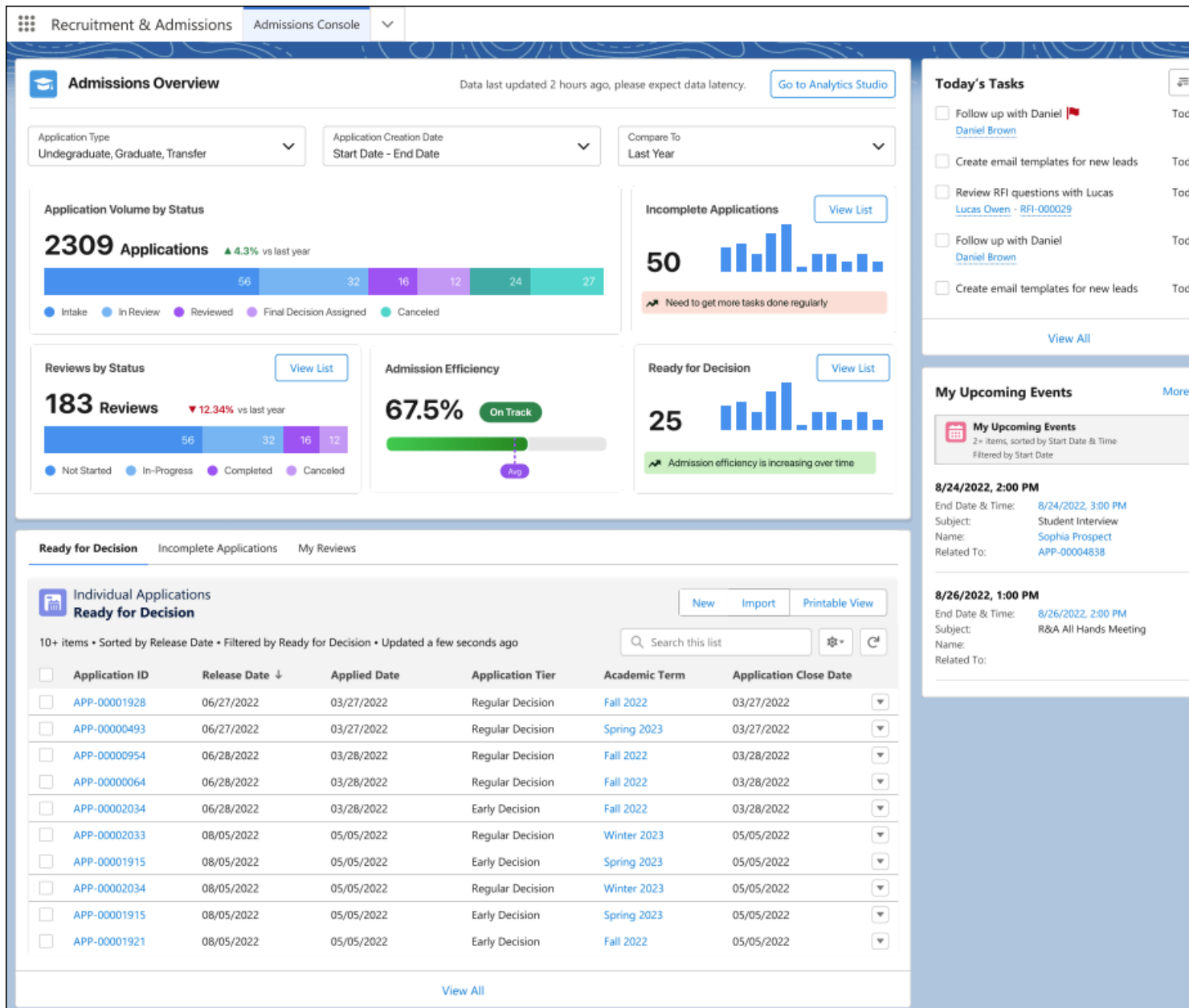
Education Cloud の募集および入学者選考環境の中心にはオンラインポータルがあり、学習者はオンラインポータルで次のことを行えます。

- 情報の要求
- 入学の申請
- 入学ドキュメントのアップロード
- サポートスタッフとの予定のスケジュール

学習者ポータルでプロスペクト学生から情報を収集して Salesforce に記録します。ただし、学生募集担当者や入学審査担当者であれば誰でも知っているように、管理する必要がある多くのインタラクションやドキュメントがあります。募集 & 入学者選考コンソールが役立ちます。これらのコンソールを使用すると、作業の管理と進行状況の追跡を一元的に行うことができます。

募集 & 入学者選考コンソールが教職員とスタッフにどのように役立つかを次に示します。

- 入学審査担当者は、自分に割り当てられた申込の単一のホームページビューを参照できます。
- 学生募集担当者は学生との予定を作成および管理できます。
- 入学審査担当責任者はプロスペクト学生のリストを作成し、プロスペクト学生を学生募集担当者に割り当てることができます。
- 学生募集担当者は、プロスペクト学生の情報の要求に応答し、その要求を管理できます。
- 責任者は、さまざまな KPI レポートを使用して目標への進行状況を追跡できます。
- スタッフは、簡単で直観的なインターフェースを使用して、タスクの完了を確認し、作業を計画できます。



関連情報:

- 機関への学生の募集と入学
- 申込の管理
- 予定の管理

学生サクセス

Education Cloud で提供される強力なツールを使用して学習者の成功をどのようにサポートできるかについて説明します。

表 3: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

有意義な学習体験を提供するには、教育機関は学習者の要件を明確に理解してサポートする必要があります。個人のキャリアカウンセリングから、大量の新入生向けのオリエンテーションまで、さまざまな要件があります。機関は大規模なサービスとイニシアチブの提供を監視し、アドバイザーの割り当てを監督し、学習者の進行状況を追跡する必要があります。Education Cloud では、これらの要件を効果的に満たし、学生の成功を促進するための適切なツールが機関に提供されます。

Education Cloud を使用して学習者のジャーニーをサポートするために使用できるいくつかの方法を次に示します。

- 学業以外の給付を含むプログラムをモデル化し、給付支払をスケジュールおよび追跡します。
- アラートを作成して、学習者のパフォーマンスに関する通知を受け取ります。
- ケースに基づくアドバイスを提供し、サクセスチームを割り当てて管理し、パーソナライズしたケアプランを作成します。
- 責任者とアドバイザー用のカスタムレコードページとコンソールを作成します。
- 分析を使用してインサイトを取得し、学生の成功に関する機関の重要業績評価指標 (KPI) を監視します。
- 学生サクセスコンポーネントを使用して学習者のセルフサービスポータルを強化します。
- アドバイザーと学習者が簡単に予定をスケジュールし、コラボレーションできるようにします。

例

Valley 学区の高校カウンセラーの Devi Gill の仕事はかつてないほど困難なものでした。1 年間のリモート学習により、Devi は、祖母と暮らす Elijah のような学生への書籍、タブレットデバイス、Wi-Fi ホットスポットの配布を調整したり、3 年生の大学申込を離れた場所から支援したりする必要がありました。

Callaras 大学では、アカデミックアドバイザーの Adrian Morges も多忙を極めています。今朝メールをチェックして、1 人の学生が学位計画について話す予定を再スケジュールしていることを確認しました。また、その日の後半に 2 人の学生と会うことになっています。

- 午前 10 時: 2 年生の Stephanie は次のセメスターのクラスを登録していません。Stephanie は気が進まず、専攻の選択に疑問を持っています。
- 午後 2 時: 転校生の Stuart は、健康の問題と経済的な問題で 1 年間学業成績が悪化したため、成績を回復するための計画を必要としています。

Devi と Adrian にとって幸運だったことは、機関が Education Cloud の学生サクセスアプリケーションを使用していることです。これにより、公平で統一されたコラボレーション型のサポートを学生に提供するための堅牢なツールセットが提供されます。

学生サクセスアプリケーションを K-12 学校で使用すると、教師、カウンセラー、Devi などのサポートスタッフは次のようなことができます。

- 評価、メモ、保留中の ToDo、期限など、学生をサポートするために必要なデータをすべて 1 ケ所で利用できます。
- 学生とのコラボレーションを容易に行って、サポートを特定し、パーソナライズしたケアプランを使用して学生にサポートを提供できます。
- ABC (Attendance (出席)、Behavior (行動)、Course (科目)) に基づいて、サポートを必要とする学生への警告を受け取ります。
- 学生に対する ToDo、学生とのインタラクション、学生に提供されたサービスを安全に追跡し、介入やプログラムの影響を測定することができます。

高等教育で学生サクセスアプリケーションを使用すると、サポートスタッフはこのすべての機能を活用できるほか、追加のツールを使用して、教育の成功について学生との焦点を絞った会話を促進することができます。カウンセラー、コーチ、アドバイザー、Adrian などのその他の高等教育サポートスタッフは次のようなことができます。

- 学生との対面の予定、電話の予定、仮定の予定を数クリックでスケジュールおよび管理します。
- 学業、キャリア、学資援助、住宅など、特に大学生向けのアラートを作成および管理することができます。
- 目標やマイルストーンの達成に役立つ ToDo を学生に直接割り当てます。
- 専用ポータルを使用して学生とやりとりします。学生はこのポータルでサクセスチームのメンバーを確認したり、サポートサービスの予定をスケジュールしたり、割り当てられた ToDo を把握したりできます。

Education Cloud を使用すると、教育者は、サポートしている Elijah、Stephanie、Stuart にそれぞれ積極的なパーソナライズされたサポートを提供できます。

関連情報:

- 機関での学生の成功のサポート

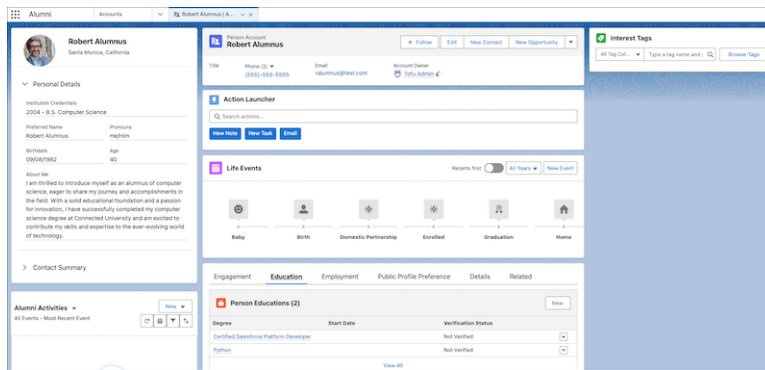
Alumni Relations

Education Cloud によって提供される、機関の卒業生とエンゲージするための強力なツールについて説明します。

表 4: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

機関が成長して繁栄するためには、卒業生との生産的なエンゲージメントが不可欠です。機関や卒業生にとって価値があり有意義なエンゲージメントを行うため、スタッフは最新の簡単にアクセスできるデータを必要とします。Education Cloud では、プロスペクト学生から誇り高く熱心な卒業生に至るまで、教育課程全体にわたる学習者の 360 度のビューが提供されます。



Education Cloud を使用して卒業生とエンゲージする方法を次に示します。

- 資金調達を有効にして、アドバン스メントをサポートし、あらゆる種類の支援コミットメントを管理します。
- 卒業生向けに設計されたコンポーネントを Experience Cloud サイトに追加することで、卒業生がプロフィールを作成し、ディレクトリを検索して機関の他の卒業生とつながることができます。
- テンプレートからプロセスとフローを作成し、卒業生ディレクトリ情報を管理します。
- 卒業生リレーションコーディネーターと卒業生リレーションマネージャーが卒業生の活動を単一のホームページで確認できるようにします。
- 1 人の卒業生ユーザーに関する情報を表示および更新して、その卒業生が機関にどのように関わっているかを理解します。

- 特定の卒業生ユーザーに関連するアクションベースのアラートと活動を作成します。
- さまざまな KPI レポートを使用して、卒業生リレーションの目標に向けた進行状況を追跡します。

メンタリング

メンタリングプログラムを作成および管理し、メンターとメンティー間の関係を強化し、給付を割り当て、調査を管理します。

表 5: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

メンタリングプログラムは、機関のメンバーの全体的な経験と個人的な成長を向上させる上で極めて重要な役割を果たします。メンタリングは、人々の学業上、職業上、個人的な成功を支援しながら、協力的でインクルーシブなコミュニティを作ります。メンターシップの経験は、関係者に深く永続的な影響を与え、関係者が自信を持って社会に貢献できる豊かな人間になるために役立ちます。

メンタリングプログラムは、関係者にさまざまなメリットをもたらします。

学習指導

メンタリングプログラムでは、学習指導を提供できる経験豊富なメンターを学生に紹介します。メンターは、メンティーが適切な科目を選択し、複雑な学術的要件に対処し、最良の学習方法についてのインサイトを提供できるよう支援します。この指導は、大学のシステムに慣れていない 1 年生にとって有益です。

キャリア開発

メンターは、メンティーが自分のキャリア目標を特定し、それらの目標を達成するためのロードマップを作成することを支援します。メンターは、さまざまなキャリアパスについてのインサイト、およびインターンシップや就職活動に関するアドバイスを提供し、メンティーを貴重な専門家ネットワークにつなげることができます。

個人の成長とサポート

大学生活は困難な場合があり、学生はストレス、不安、時間管理の問題などの個人的な問題に直面することがよくあります。学業やキャリアの目標を超えて、メンターは精神的な支えとなり、メンティーが懸念事項について話し合い、学業と並行して私生活を管理するためのアドバイスを求めるための安全な場所を提供します。

ネットワーキングの機会

メンタリングプログラムは多くの場合、メンティーをさまざまな分野や背景の多様なメンターのグループとつなげます。このようなつながりは、メンティーの専門家ネット

ワークを拡大するために非常に貴重であり、インターンシップ、求人、コラボレーションにつながる可能性があります。

維持とエンゲージメント

適切に構造化されたメンタリングプログラムは、維持率の向上をもたらします。学生が大学コミュニティに支えられ、つながっていると感じる場合、勉学に励み、学位プログラムを修了する可能性が高くなります。

スキル開発

メンターは、メンティーが学業スキルとライフスキル両方の重要なスキルを開発できるよう支援します。メンターは批判的思考、問題解決、時間管理、コミュニケーション、リーダーシップに関するガイダンスを提供できます。これらは大学在学中だけでなく将来のキャリアにおいても価値があります。

ダイバーシティとインクルージョン

メンタリングプログラムは、学内でのダイバーシティとインクルージョンを促進できます。学生を多様な背景を持つメンターと組み合わせて、よりインクルーシブで快適な大学環境を構築できます。

長期的な成功

メンタリングプログラムを通じて提供されるガイダンスと支援は、学生の生活に持続的な影響を与える可能性があります。多くの学生は卒業後もメンターとの関係を維持し続け、キャリアを進める上で継続的なメンターシップの恩恵を受けます。

Education Cloud を使用してメンタリングプログラムを管理する方法は次に示します。

- メンタリングプログラムを作成し、給付支払を追跡する。
- メンタリング用に設計されたコンポーネントを Experience Cloud サイトに追加して、メンターとメンティーがメンタリングプログラムに登録できるようにする。
- フローを使用してメンタリングロールとプログラム登録を管理する。
- メンタリング給付割り当てと給付プロバイダーを表示する 1 つのホームページをメンタリングファシリテーターに提供する。

関連情報:

- [メンタリングの設定](#)
- [メンタリングプログラムの設定](#)
- [メンティーとメンターをつなげる](#)

Education Cloud 開発者リソース

エンティティリレーションダイアグラム (ERD)、オブジェクトリファレンス、Apex 参照を含む開発者リソースを確認できる場所について説明します。

表 6: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud オブジェクト、データモデル、Apex メソッド、その他の製品コンポーネントについては、次のリソースを参照してください。

- [Education Cloud 開発者ガイド](#)
- [Education Cloud オブジェクトリファレンス](#)
- [Education Cloud エンティティリレーションダイアグラム \(ERD\)](#)

一般的な機能を使用した Education Cloud の拡張

Education Cloud で使用可能な機能を使用して、一般的な教育タスクを実行します。

対象者のリストの選定

Salesforce オブジェクトを使用してリストを作成し、関心事を特定することで、スタッフはより適切に支援し、対象者とつながることができるようになります。

表 7: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

アクション可能なリストのエンゲージメント、アクション可能セグメンテーション、およびアクション可能リストメンバー

複数のオブジェクトからリストを作成し、他のスタッフと協力して、リスト内でアクションを実行します。

次のような使用事例があります。

- 申込者に優先順位を付ける。
- 特定の条件に基づいて学生のリストを作成する。
- リレーション担当者用のプロスペクト学生のポートフォリオを作成する。
- 親と学生のリストを作成する。

- 一連の条件に基づいて電話をかける VIP の親のリストを用意する。

関心タグ

主な関心事、好み、ニーズを特定します。共通の言語を話すことで、学生募集担当者やアドバイザーとの関係を深め、つながりを築きます。

次のような使用事例があります。

- プロスペクトの関心事を特定する (何のスポーツをしているかなど)。
- 登録プロセス中に、特定の教育または課外活動への関心を追跡する。

関連情報:

- [アクション可能リストエンゲージメント](#)
- [アクション可能リストメンバー](#)
- [アクション可能セグメンテーション](#)
- [関心タグ](#)

対象者のジャーニーをたどる

タイムラインとライフイベントを使用して、機関の対象者の全体像を把握します。

表 8: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

タイムライン

複数のオブジェクトを 1 つのリストにまとめて、スタッフが申込者や学生の取り組みを時系列で参照して進捗状況を評価し、アクションを実行できるようにします。

タイムラインでは、次の操作を実行できます。

- タイムラインビューから直接レコードを作成する。
- 表示する最も関連性の高いエンゲージメントを選択する。
- 1 つのページに複数のタイムラインを追加する。

タイムラインには次のような使用事例があります。

- ケース、サービス予定、レコードアラート、またはケアプランを参照する学生活動タイムライン。
- 学期登録、学習者プログラム、または開講科目関係者を参照する登録履歴タイムライン。

ライフイベント

学習者のジャーニーでの重要なライフイベントを捉えて視覚化します。チームは、詳細を使用して商談を特定し、パーソナライズされたオファーやエンゲージメントを考案することで、学習者との関係を深めることができます。

ライフイベントでは、次の操作を実行できます。

- パーソナライズされたイベントを追加してエンゲージメントを強化する。
- 機関固有のイベント種別をサポートする。
- コンテキストアクションを作成して設定する。

次のような人生のマイルストーンを追跡できます。

- 卒業
- 新しい仕事
- 結婚
- ビジネス上の評価
- 受賞

インタラクション概要

スマート検索と検索条件を使用して、構造化された検索可能なメモを取得します。議論されているトピックのタグを追加して、適切なアクション項目をすべて 1 か所で作成します。

インタラクション概要では、次の操作を実行できます。

- メモを簡単に共有する。
- 内部と外部の両方で複数の出席者をサポートする。
- ノートに関するレポートを作成する。

インタラクション概要には次のような使用事例があります。

- ミーティングメモ
- アドバイスメモ
- プロスペクト管理用の取引先責任者レポート
- 学習者とビジネスアカウントに関連付けられたメモ

レコードアラート

アクションが必要なレコードの変更についてアドバイザーやスタッフに警告し、スタッフが事前に対策を講じて学習者のケアプランを活用できるようにします。

レコードアラートでは、次の操作を実行できます。

- フローを使用してアラートを自動化し、一括適用する。

- OmniStudio を使用してレコードアラートカードをカスタマイズする。
- スケジュールをカスタマイズする。
- 外部システムとのインテグレーションを使用して、アラートがトリガーされたときにアラートの発生源を追跡する。

関連情報:

- [タイムライン](#)
- [イベントとマイルストーンの操作](#)
- [インタラクション概要](#)
- [レコードアラート](#)
- [アラートを使用した学習者のパフォーマンスの監視](#)

教育プログラムの影響の追跡

結果管理を使用して、機関の結果戦略の影響を定義、測定、評価します。望ましい成果を達成するために、教育機関はさまざまなプログラム（アドバイス、メンタリング、その他の非学業プログラムなど）を作成します。

表 9: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

関連情報:

- [結果管理](#)

対象者とスタッフの ToDo の整理

アクションプランとアクションランチャーを使用して、機関の対象者に迅速かつ焦点を絞ったサポートを提供します。

表 10: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

アクションプラン

学生またはスタッフが完了する ToDo 管理チェックリストを作成します。

アクションプランには次のような使用事例があります。

- 申込プロセスの学習者の ToDo リスト。
- 学生のケアプラン。
- 申込、入学許可、および登録プロセス。

アクションランチャー

ビジネスプロセスに基づいてレコードページからアクションを起動します。アクションランチャーには、フロー、OmniScript、クイックアクションを含めることができます。

アクションランチャーには次のような使用事例があります。

- 学生や他のスタッフメンバーとのミーティングのメモを開く。
- 指導学生にメールを送信する。
- メンティーへの通話を記録する。

関連情報:

- [アクションプランテンプレートを使用したケアプランの ToDo の作成](#)
- [アクションランチャー](#)

Education Cloud でのプロセスの自動化

Salesforce ツールを使用して、アカデミックプロセスを自動化し、ID を検証し、評価を作成し、対象者にサービスを提供します。

表 11: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

ビジネスルールエンジン (BRE)、決定表、および Decision Explainer

コードを使用せずにビジネスロジックを大規模に実行します。

次のような利点と機能があります。

- カスタムルールセットを作成して、任意の場所で呼び出す。
- ビジュアルデザイナーを使用して、ルールを作成する。
- ビジネスユーザーのスプレッドシートを置き換える。
- OmniScript と Flow Builder を使用して、任意の業種のプロセスとワークフローに組み込む。
- 自動化で BRE がコールされるため、ビジネスロジックが変更された場合でも自動化を変更する必要はない。

- BRE で決定が行われた理由を Decision Explorer で説明する。

次のような使用事例があります。

- 関心事に関するフォームからの属性に基づいて、適切なカウンセラーをプロスペクトに紹介する。
- 申込のフォローアップを行う適切なスタッフメンバーを学習者に紹介する。
- 適切なアドバイザー、ケアプラン、またはアクションプランを学習者に紹介する。
- 学生に既定の奨学金をいつ提供するかを決定する。
- ビジネスユーザーはルールを変更できる（対象資格を得るための GPA 要件を 3.2 から 3.5 に調整するなど）。
- コンピューターサイエンスに関心のある個人をメンターとマッチングする。
- 緊急の資金援助が必要な個人の対象資格を確認する。

ID 検証

ID 検証プロセスを標準化することで、機密情報を保護し、FERPA、GLBA、HIPAA、PCI などの規制に準拠します。これらのプロセスは柔軟であり、監査履歴が提供され、なりすまし詐欺を防ぎます。

次のような利点と機能があります。

- 外部データベース検索
- 複数オブジェクトの検索
- 検証履歴監査
- カスタム管理設定

次のような使用事例があります。

- 学生が機関に電話したときに、スタッフメンバーが学生の ID をすぐに確認できる。

ディスカバリーフレームワーク

質問と調査のフォームを作成して、プログラム登録の詳細を収集します。

次のような使用事例があります。

- 調査を使用してメンターとメンティーをマッチングする。
- アドバイスプログラム登録の調査に対する回答を確認し、プログラムがニーズを満たしているかどうか、およびどのような支援が最適かを判断する。

Service Process Studio

シームレスなカスタマーサービスプロセスを迅速かつ効率的に設計します。スタッフはこれらのサービスプロセスを開始し、学生向けのカスタマーサービス業務を開始できます。

次のような使用事例があります。

- 登録スタッフの業務で、科目の代替、科目の免除、学期休学、トランスクリプト、または学位および卒業証明書の要求を処理する。
- 学生の業務で、取引先責任者情報の変更、学習プログラムの変更、専攻と副専攻の新規および変更された宣言の要求を処理する。
- 要件と入学について、単位の移行と単位の異議申し立ての要求を処理する。

関連情報:

- [ビジネスルールエンジン](#)
- [Decision Explorer](#)
- [決定表](#)
- [ID 検証](#)
- [ディスカバリーフレームワークおよび調査](#)
- [Service Process Studio](#)

Education Cloud でのリレーションの管理と視覚化

Actionable Relationship Center (ARC) を使用して、人々や家族などの設定するオブジェクト間のリレーションを視覚化します。

表 12 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次のような使用事例があります。

- 親子のリレーション
- 兄弟姉妹のリレーション
- メンタリングリレーション
- アドバイスリレーション

関連情報:

- [世帯のモデル化](#)
- [Actionable Relationship Center](#)

Education Cloud でのドキュメントの管理

チェックリスト、リアルタイムのドキュメントアップロード、および自動化されたドキュメント管理プロセスの作成を使用して、学生とスタッフ間の摩擦を軽減し、更新を合理化します。

表 13 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次のコンポーネントを使用してドキュメントを管理します。

- ドキュメントチェックリスト
- ドキュメント生成
- インテリジェントドキュメントリーダー

関連情報:

- [ドキュメント管理の実装に関する考慮事項](#)
- [ドキュメントの追跡と承認](#)
- [インテリジェントドキュメントリーダー](#)
- [インテリジェントなドキュメントの自動化](#)

会計補助台帳を使用した教育機関財務データの準備

会計補助台帳 (ASL) を使用して、さまざまな部門が取得した財務データを会計部門用に処理および準備しながら、資金割り当てと外部会計システムとのインテグレーションを提供します。

表 14 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次のような使用事例があります。

- 助成金
- 奨学金
- 支援
- 授業料
- 図書館利用料

- フードプログラム
- 出願料

関連情報:

- [会計補助台帳](#)

OmniStudio を使用した対象者用のパーソナライズされたガイド付きエクスペリエンスの設計

OmniStudio を使用して、シームレスなデジタルエクスペリエンスを作成します。

表 15 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次のような利点と機能があります。

- 対象者のインターフェースとインタラクションを作成する。
- パーソナライズされ、完全にブランド設定されたガイド付き消費者フォームを簡単な設定で設計する。
- 複数のソースからの要約されたコンテキスト情報とアクションを一目で確認できる、リッチで動的なユーザーインターフェースを作成する。
- 複数のデバイスとチャネルにわたるインタラクションとエクスペリエンスを迅速にリリースして更新する。
- Salesforce または外部システムからの情報をガイド付きインターフェースに取り込む。
- Education Cloud で提供されるコンポーネントを変更する。

次のような使用事例があります。

- 学生プロフィールカードに FlexCard を使用する。
- FlexCard にビジュアルを追加する。
- ビジネスユーザーの使用法に合わせて FlexCard を設計する。
- FlexCard でのプロスペクト学生の郵便番号に基づいて天気を表示する。
- 学習管理システムのログイン履歴全体を FlexCard でリアルタイムに表示する。
- OmniScript を使用してプロセス全体を構築する。

関連情報:

- [Education Cloud での OmniStudio の使用](#)
- [OmniStudio](#)

データ処理エンジンを使用した Education Cloud データの変換

データ処理エンジン (DPE) を使用して、Salesforce 組織で使用可能なデータを変換し、変換結果を新規または更新されたレコードとして書き戻します。たとえば、DPE とフローを使用して、卒業生コミュニティの個人公開プロフィールレコードを設定および管理できます。必須。

表 16 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

関連情報:

- [データ処理エンジン](#)

教育機関向け Marketing Cloud Engagement を使用したメールキャンペーンの管理

Marketing Cloud Engagement for Industries を使用して、Education Cloud CRM データを Marketing Cloud と同期し、メールキャンペーンを作成します。

表 17 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次のような使用事例があります。

- 申込期限のリマインダー
- 募集予定の詳細
- 卒業年度および資金調達キャンペーン
- 卒業生へのアウトリーチ

関連情報:

- [教育機関向け Marketing Cloud Engagement](#)

開示とコンプライアンスのハブを使用した義務付けられたレポートの作成と管理

質問と回答を整理し、義務付けられたレポート要件に合わせて簡単にアクセスして追跡できるレポートを生成します。

表 18 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次のようなレポートの使用事例があります。

- Integrated Postsecondary Education Data System (IPEDS)
- Federal Student Aid (FSA)
- National Student Loan Data System (NSLDS)
- Council for Advancement and Support of Education (CASE)

関連情報:

- [開示とコンプライアンスのハブ](#)

Education Cloud と翻訳

Salesforce では、複数の言語での Education Cloud の翻訳を提供しています。

表 19 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

よくある質問 (FAQ)

頻度、言語、ドキュメントなど、ローカリゼーションに関する質問への回答を取得します。

Salesforce.org 製品はどれぐらいの頻度でローカライズされますか？

製品の表示ラベルとテキストは、季節ごとのメジャーリリースの一環として毎回ローカライズされます。

どの言語にローカライズされますか？

Salesforce.org のローカライズは製品単位ではなく、パッケージ単位で行われるため、ローカライズ言語は異なります。「[使用可能な言語](#)」を参照してください。Salesforce は、完全サポート言語、エンドユーザー言語、およびプラットフォーム専用言語の 3 つのレベルの言語サポートを提供します。詳細は、「[サポート言語](#)」を参照してください。

製品ドキュメントはローカライズされますか？

現在、Accounting Subledger、Accounting Subledger Legacy、Case Management、Education Cloud、Education Data Architecture (EDA)、Grants Management、Insights Platform Data Integrity、Marketing Cloud Engagement for Industries、Nonprofit Cloud、Nonprofit Success Pack (NPSP)、Outbound Funds Module、Program Management Module (PMM)、Student Success Hub (SSH) の各製品のドキュメントがローカライズされています。詳細は、「[使用可能な言語](#)」を参照してください。ドキュメントへのリンクについては、「[ローカライズされたドキュメント](#)」を参照してください。

誤訳または訳抜けを見つけました。どこに報告すればよいですか？

翻訳の更新が行われるのはメジャーリリースのみのため、マイナーリリース後には適用されていない場合があります。誤訳を報告するには、トピックを「設定とセキュリティ」、カテゴリを「グローバル化およびローカライゼーション」に設定して[ケースを作成](#)してください。

翻訳を上書きすることはできますか？

もちろんです。トランスレーションワークベンチを使用して翻訳を上書きできます。詳細は、「[トランスレーションワークベンチ](#)」を参照してください。

言語と地域の違いは何ですか？

Salesforce には、言語と地域の両方の設定があります。地域によって、日時、住所、電話番号、数値のカンマとピリオドの表示形式が決まります。言語によって、オブジェクト、項目、設定、ユーザーインターフェースのテキストが表示される言語が決まります。

コミュニティからの翻訳を受け入れていますか？

Salesforce 製品の多くはオープンソースですが、現在、ローカライゼーションに貢献する GitHub プルリクエストは受け入れていません。ローカライゼーションプロセスには、コミュニティ貢献者にとって現実的でも持続可能でもないレベルのメンテナンスが要求されるため、Salesforce 独自のローカライゼーションプログラムを使用して適時、質の高い翻訳を提供しています。

使用可能な言語

Nonprofit Cloud Education Cloud で使用可能な言語のリストを参照してください。

Salesforce.org は、次の言語への翻訳を提供しています。ユーザー（または組織全体）の設定中にいずれかの使用言語を選択すると、Nonprofit Cloud Education Cloud のオブジェクト、項目、設定、ユーザーインターフェースのテキストがその言語で表示されます。

Education Cloud

「[Salesforce でサポートされる言語](#)」を参照してください。

Nonprofit Cloud

「[Salesforce でサポートされる言語](#)」を参照してください。

ローカライズされたドキュメント

他の言語のドキュメントへのリンクを取得します。

次のリンクから、使用可能な各言語のローカライズされたドキュメントにアクセスできます。

Education Cloud

- [中国語（簡体字）](#)
- [中国語（繁体字）](#)
- [デンマーク語](#)
- [オランダ語](#)
- [フィンランド語](#)
- [フランス語](#)
- [ドイツ語](#)
- [イタリア語](#)
- [日本語](#)
- [韓国語](#)
- [ノルウェー語](#)
- [ポルトガル語（ブラジル）](#)
- [ロシア語](#)
- [スペイン語（スペイン）](#)
- [スペイン語（メキシコ）](#)
- [スウェーデン語](#)

Nonprofit Cloud

- [中国語（簡体字）](#)
- [中国語（繁体字）](#)
- [デンマーク語](#)
- [オランダ語](#)
- [フィンランド語](#)
- [フランス語](#)

- [ドイツ語](#)
- [イタリア語](#)
- [日本語](#)
- [韓国語](#)
- [ノルウェー語](#)
- [ポルトガル語 \(ブラジル\)](#)
- [ロシア語](#)
- [スペイン語 \(スペイン\)](#)
- [スペイン語 \(メキシコ\)](#)
- [スウェーデン語](#)

言語の有効化

Nonprofit Cloud Education Cloud 製品の Salesforce でのローカリゼーションを有効にします。

次の手順を実行し、Nonprofit Cloud Education Cloud で使用する言語を有効化することをお勧めします。

1. 翻訳言語を使用する前に、[設定] でトランスレーションワークベンチを有効化してください。詳細は、「[トランスレーションワークベンチの有効化または無効化](#)」を参照してください。
2. プラットフォーム専用言語 (Catalan など) を有効にする場合、次の手順を実行します。
 - a. [設定] で [プラットフォーム専用言語を有効化] を検索して選択します。
 - b. 目的の言語を [表示言語] リストに移動します。
 - c. 変更内容を保存します。

Education Cloud の設定

ガイド付き設定を使用して、組織の Education Cloud を有効化し、アプリケーションと機能を設定します。システム管理者は自分に Education Cloud の完全なアクセス権権限セットを必ず割り当ててください。

表 20 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
ガイド付き設定を使用する	Education Cloud の完全なアクセス権

[Education Cloud を設定] ページのガイド付き設定にアクセスします。

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで「Education Cloud」と入力します。
2. [機能設定] で、[Education Cloud の設定] を選択します。

Education Cloud の有効化

申込、スケジュール、科目、施設の管理など、学習者の体験全体をサポートする Education Cloud を有効化して使用します。

表 21 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
Education Cloud を有効化する	Education Cloud の完全なアクセス権



重要

Education Cloud を有効にすると、無効にできなくなります。

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで「Education Cloud」と入力します。
2. [機能設定] で、[Education Cloud の設定] を選択します。
3. Education Cloud を有効にします。

Education Cloud を有効化したら、組織のアプリケーションと機能の設定に進みます。

個人取引先の有効化

Education Cloud でユーザーを管理する個人取引先を設定します。

表 22 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

個人取引先を有効化する

Education Cloud の完全なアクセス権

Education Cloud では、学生、教職員、卒業生、外部取引先責任者などの個人のデータは個人取引先として取引先オブジェクトに保存されます。個人取引先では、取引先と取引先責任者の情報が 1 つのレコードに結合されます。「[個人取引先の有効化](#)」を参照してください。



重要

個人取引先を有効にするときに、次の取引先オブジェクトのレコードタイプを作成します: 法人取引先、中学高等学校、単科大学。「[レコードタイプの作成](#)」を参照してください。

学生サクセスアプリケーションの設定

学生サクセスを設定して、教育、資金援助、キャリアなどについて学習者にプロアクティブでパーソナライズされたサポートを提供します。

表 23 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

学生サクセスを有効化して設定する

Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud を設定」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
2. [学生サクセスアプリケーションを設定] で [学生サクセス] を有効にします。確認を促されたら、[有効化] をクリックします。



注意

有効化すると、次のようになります。

- 学生サクセスアプリケーションをアプリケーションランチャーで使用できます。
- タイムラインコンポーネントの設定を使用できます。タイムラインを使用するには、タイムラインを有効にします。

- オブジェクトケースおよびプログラム管理オブジェクトの項目では、Education Cloud の選択リスト値を使用できます。

3. サポートプロセスを作成します。
 - a. [設定] で、[クイック検索] ボックスに「サポートプロセス」と入力し、[サポートプロセス] を選択します。
 - b. [新規] をクリックします。
 - c. 既存のサポートプロセスで、[マスター] を選択します。
 - d. サポートプロセス名を入力します。たとえば、「Student Advising」(学生アドバイス) と入力します。
 - e. 必要に応じて、サポートプロセスの説明を入力します。
 - f. 作業内容を保存します。
 - g. [ケース状況] はそのままにして、[保存] をクリックします。
4. 学習者アドバイスのケースレコードタイプを作成します。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud を設定」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
 - b. [アドバイスケースレコードタイプを作成] で [ケースレコードタイプを作成] をクリックします。
 - c. オブジェクトマネージャーのケースの [レコードタイプ] ページで [新規] をクリックします。
 - d. 既存のレコードタイプでは、[マスター] を選択します。
 - e. レコードタイプの表示ラベルを入力します。次に、Tab キーを押すと、レコードタイプ名が自動的に入力されます。たとえば、「Health」(健康) と入力します。
 - f. サポートプロセスでは、[Student Advising (学生アドバイス)] を選択します。
 - g. 必要に応じて、レコードタイプの説明を入力します。
 - h. [有効] をオンにします。
 - i. プロファイル権限を選択し、[次へ] をクリックします。
 - j. 作業内容を保存します。

5. 学習者のためのサクセスチームを作成します。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud を設定」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
 - b. [サクセスチームを設定] で [サクセスチームを設定] をクリックします。
 - c. [サクセスチーム] ページで、[新規] をクリックします。
 - d. サクセスチームの名前を入力します。
 - e. ケースレコードタイプを選択します。
 - f. デフォルトの未割り当てケースチームを選択します。
 - g. その他の詳細を入力して、変更内容を保存します。
6. 学習者のケアプランを有効化します。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud を設定」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
 - b. [Set Up Care Plans (ケアプランを設定)] で [ケアプランを有効化] をクリックします。
 - c. [ケアプラン設定] ページでケアプランを有効にします。
7. Salesforce Scheduler を有効化します。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud を設定」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
 - b. [Salesforce Scheduler を設定] で [Salesforce Scheduler を設定] をクリックします。 [「Salesforce Scheduler for Education Cloud の有効化」](#) を参照してください。

Alumni Relations の設定

Alumni Relations を使用して、教育機関の卒業生を 1 か所で管理し、エンゲージします。

表 24: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
Alumni Relations を設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および アプリケーションのカスタマイズ

Alumni Relations の有効化

Alumni Relations を使用して、教育機関の卒業生を 1 か所で管理し、エンゲージします。



重要

Alumni Relations を有効にする前に、Education Cloud を有効にする必要があります。Alumni Relations を有効にすると、無効にできなくなります。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
2. Alumni Relations を有効にします。

Alumni Relations アプリケーション

Alumni Relations アプリケーションを使用すると、卒業生チームメンバーが卒業生情報を管理し、卒業生による母校へのエンゲージメントと投資の継続を支援できます。

Alumni Relations アプリケーションは、Lightning アプリケーションビルダーを使用してさまざまなロールに固有のレイアウトや機能を作成するなど、機関の要件に合わせてカスタマイズできます。

アプリケーションのカスタマイズ

1. アプリケーションランチャーから、[卒業生] を見つけて選択します。
2. [設定] の [クイック検索] ボックスで、[Lightning アプリケーションビルダー] を見つけて選択します。
3. リストからページを選択して編集するか、[新規] をクリックしてページを作成します。
4. 要件に合わせてアプリケーションをカスタマイズします。必要に応じて、コンポーネントを追加したり、コンポーネントを変更してカスタム機能を作成したりします。

関連トピック

- [Lightning アプリケーションビルダー](#)

Academic Operations アプリケーションの設定

Academic Operations を設定して、学習科目およびプログラムの作成、学習結果の定義、学習スケジュールの管理、ルールの設定などを行います。

表 25 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Academic Operations を有効化して設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud を設定」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
2. [Academic Operations アプリケーションを設定] で [Academic Operations] を有効にします。確認を促されたら、[有効化] をクリックします。
3. 学習オブジェクトを設定するには、ドロップダウンメニューを展開します。
 - a. [学習実績レコードタイプを作成] で [レコードタイプを作成] をクリックし、3 個以上のレコードタイプを作成します。
 - i. オブジェクトマネージャーの学習実績の [レコードタイプ] ページで [新規] をクリックします。
 - ii. [新規レコードタイプ] ページで、既存のレコードタイプを [マスター] として選択します。
 - iii. レコードタイプの表示ラベルを「学習科目」として入力します。
 - iv. レコードタイプ名を「Learning_Course」として入力します。
 - v. 必要に応じて、レコードタイプの説明を入力します。
 - vi. [有効] をオンにします。
 - vii. プロファイル権限を選択し、[次へ] をクリックします。
 - viii. 作業内容を保存します。
 - ix. この手順を繰り返して、[学習プログラム] レコードタイプと [実績グループ] レコードタイプを作成します。
 - x. 必要に応じて、他のレコードタイプを作成します。

レコードタイプの表示ラベル	レコードタイプ名
学習科目	Learning_Course

レコードタイプの表示ラベル	レコードタイプ名
学習プログラム	Learning_Program
実績グループ	Achievement_Group
学位	学位
卒業証書	卒業証書

- b. 学習実績種別をレコードタイプに対応付けるには、[学習実績設定を定義] で [学習実績種別を設定] をクリックします。
- [新規学習実績設定] をクリックします。
 - 設定の名前を入力します。次に、Tab キーを押すと、API 参照名が自動的に入力されます。たとえば、「学習科目」と入力します。
 - [学習実績種別] では [学習科目] を選択します。
 - [学習実績レコードタイプ] では [Learning_Course] を選択します。
 - その他の詳細を入力して、変更内容を保存します。
 - これを繰り返して、[学習プログラム] および [実績グループ] という名前の学習実績設定を作成します。
 - 必要に応じて、カスタム学習実績設定を作成します。

名前	API 参照名	学習実績種別	学習実績レコードタイプ
学習科目	LearningCourse	学習科目	Learning_Course
学習プログラム	LearningProgram	学習プログラム	Learning_Program
実績グループ	AchievementGroup	実績グループ	Achievement_Group
学位	学位	カスタム	学位
卒業証書	卒業証書	カスタム	卒業証書



注意

各学習実績種別に少なくとも 1 つの学習実績設定レコードが必要です。[学習科目]、[学習プログラム]、および [実績グループ] 学習実績設定レコードは削除できません。

4. プログラムプランビルダーで必要とされるオブジェクトの共有設定を更新します。
 1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
 2. [デフォルトの共有設定] で、[編集] をクリックします。
 3. 次のオブジェクトに対するデフォルトの内部アクセス権を変更します。

オブジェクト	デフォルトの内部アクセス権
学習	公開/参照・更新可能
学習実績	公開/参照のみ

このアクセス権を共有ルールで制御することもできます。プログラムプランを作成するすべてのユーザーに、関連する学習オブジェクトへの共有アクセス権と編集アクセス権が必要です。

デフォルトの共有設定についての詳細は、「[組織の共有設定](#)」を参照してください。

メンタリングの設定

メンタリング給付とプログラムを提供および管理するように機関を設定します。

表 26 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
メンタリングを有効化して設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および アプリケーションのカスタマイズ

メンタリングの有効化

メンタリングを使用して、メンタリングプログラムを作成および管理し、メンターとメンティーの関係を強化し、給付を割り当てます。



重要

メンタリングを有効にする前に、Education Cloud を有効にする必要があります。メンタリングを有効にすると、無効にできなくなります。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
2. メンタリングを有効にします。

メンタリングの連動機能

機能を有効にして、メンタリングアプリケーションのすべての機能を取得します。

連動機能	この機能がどのように役立つか
ディスカバリーフレームワーク	調査を作成および管理します。
インタラクション概要	メンターとメンティー間のミーティングやセッションを追跡します。
プログラムおよび給付管理	メンタリングプログラムを作成し、ユーザーに給付を割り当てます。
レコードアラート	近々注意が必要なメンタリングのニーズを示します。
タイムライン	メンタリング活動の履歴を表示します。

関連情報:

- [連動機能の設定](#)
- [省略可能な機能の設定](#)

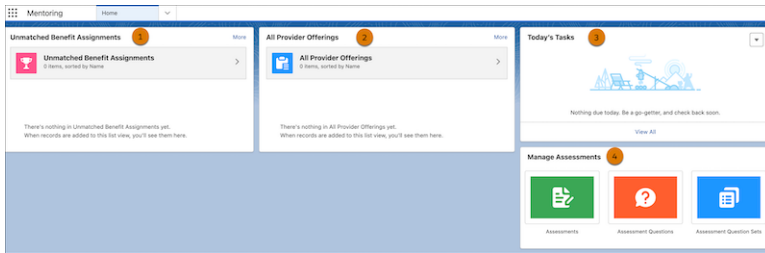
メンタリングアプリケーションホームページの設定

メンタリングアプリケーションホームページを使用して、メンタリング情報を確認し、メンターとメンティーの関係を管理します。

表 27: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
メンタリングアプリケーションホームページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

メンタリングホームページで、ファシリテーターは給付割り当て、給付プロバイダー、毎日の ToDo と今後の ToDo を確認できます。また、メンタリングプログラムに使用される調査を管理することもできます。



- 登録者にメンターが割り当てられていない給付割り当てレコードが表示されます (1)。
- メンターとしてのユーザーのレコードと、メンターに提供する給付の種別が表示されます (2)。
- 今日が期日の ToDo が表示されます。[すべて表示] をクリックするとすべての ToDo が表示されます (3)。
- メンティーとメンターをつなげるために使用される調査を管理します (4)。

Lightning アプリケーションビルダーを使用してメンタリングホームページを設定します。

1. アプリケーションランチャーから、[メンタリング] を見つけて選択します。
2. [設定] で [Lightning アプリケーションビルダー] を見つけて選択します。
3. [新規] をクリックします。
4. [ホームページ] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. [表示ラベル] に「Mentoring」（メンタリング）と入力し、[次へ] をクリックします。
6. [Salesforce のデフォルトページをコピー] をクリックします。
7. [メンタリングアプリケーションホームページ] をクリックし、[次へ] をクリックします。
8. その他の設定を行い、変更内容を保存します。

給付割り当てリストビューに関する考慮事項

メンタリングを有効にすると、給付割り当てオブジェクトで [一致しない給付割り当て] リストビューが作成されます。このリストビューには、プロバイダー給付が指定されていないすべての給付割り当てが表示されます。[一致しない給付割り当て] リストビューを削除し、別のリストビューに置き換えると、メンタリングアプリケーションホームページに給付割り当てのリストビューが表示されなくなります。

このリストビューが削除された場合は、リストビューを作成し、次のパラメーターを設定していることを確認してください。

1. API 参照名を `UnmatchedBenefitAssignments` に設定します。
2. すべてのユーザーが新しいリストビューを表示できることを確認します。
3. [所有者別に絞り込み] で、[すべての給付割り当て] を選択します。

4. 検索条件を追加します。
 - a. [項目] で、[提供者] を選択します。
 - b. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. 値は未指定のままにします。

関連情報:

- [Lightning Experience のレビューの作成またはコピー](#)

メンタリングのページレイアウトの更新

メンタリングで使用する給付割り当ておよび取引先レコードページを設定します。

メンティーの給付ページレイアウトを作成する

メンティー Experience Cloud サイトポータルで使用する給付オブジェクトのページレイアウトを作成します。

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [給付] をクリックします。
2. [ページレイアウト] をクリックし、[新規] をクリックします。
3. [既存のページレイアウト] で、[給付レイアウト] を選択します。
4. 名前 (「Mentee Benefit Layout」(メンティー給付レイアウト) など) を入力します。
5. 変更内容を保存します。
6. [ボタン] をクリックします。
7. ページレイアウトからすべてのボタンを削除し、変更内容を保存します。
8. [新規ページレイアウトの割り当て] をクリックし、[編集] をクリックします。
9. メンティープロフィールを選択します。
10. [使用するページレイアウト] から、メンティー給付ページレイアウトを選択し、変更内容を保存します。

給付割り当てページレイアウトに [提供者] 項目を追加する

メンタリングファシリテーターは、給付割り当てレコードページの [提供者] 項目に取引先責任者の値を指定することで、メンターとメンティーをマッチングできます。

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [給付割り当て] をクリックします。
2. [ページレイアウト] をクリックし、[給付割り当てレイアウト] をクリックします。
3. [項目] をクリックし、[提供者] を [給付および登録の詳細] セクションにドラッグします。
4. 変更内容を保存します。

個人取引先レコードページを更新する

メンタリングをサポートする関連リストを取引先レコードページに追加します。

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [個人取引先] をクリックします。
2. [ページレイアウト] をクリックし、[個人取引先レイアウト] をクリックします。
3. [関連リスト] をクリックし、ページレイアウトに次の関連リストを追加します。
 - 個人取引先責任者
 - プロバイダー給付
 - 個人取引先責任者プログラム登録
 - プログラム登録
4. 変更内容を保存します。

メンタリングの外部共有設定

組織全体のデフォルトで指定された外部共有設定は Customer Community Plus ライセンスを持つユーザーに適用されます。「外部組織の共有設定の設定」を参照してください。

メンタリングアプリケーションで使用されるオブジェクトの外部共有設定を更新します。

オブジェクト	アクセス種別
アクションプラン	非公開
調査	非公開
調査の質問	公開/参照のみ
調査の質問セット	公開/参照のみ
給付種別	公開/参照のみ
給付割り当て	非公開
個人公開プロフィール設定セット	非公開
プログラム	公開/参照のみ
プロバイダー給付	非公開
サービスリソース	公開/参照のみ
測定単位	公開/参照のみ

関連情報:

- [外部組織の共有設定の設定](#)

Education Analytics アプリケーションの設定

Education Analytics を設定して、機関の健全性を監視したり、ダッシュボードや重要業績評価指標からインサイトを取得したりします。

表 28 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Analytics を有効化して設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および CRM Analytics for Education Cloud 管理者

前提条件

- すべての Education Cloud 連動機能を有効化します。「[連動機能の設定](#)」を参照してください。
- 情報の要求 (RFI) をレコードタイプとしてケースオブジェクトに割り当てます。
「[#unique_69/unique_69_Connect_42_section-3203](#)」を参照してください。

Education Analytics の設定

- [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Education Cloud を設定」と入力し、[Education Cloud を設定] を選択します。
- [Education Analytics アプリケーションを設定] で [Education Analytics を設定] をクリックします。
- 管理者権限を割り当てるには、[権限を設定] で [権限セットの割り当て] をクリックします。
 - 権限のリストで、[CRM Analytics for Education 管理者] をクリックします。
 - [割り当ての管理] をクリックし、[割り当てを追加] をクリックします。
 - ユーザーを選択し、[割り当て] をクリックして、[完了] をクリックします。

4. [CRM Analytics を設定] で [設定] をクリックして、[CRM Analytics を有効化] をクリックします。
 - a. [CRM Analytics を設定] で [権限セットの割り当て] をクリックします。
 - b. 権限のリストで、[Education Cloud オブジェクトおよびコンポーネント] をクリックします。
 - c. [割り当ての管理] をクリックし、[割り当てを追加] をクリックします。
 - d. ユーザーのリストで、Analytics Cloud インテグレーションユーザープロフィールを持つユーザーをクリックします。
 - e. [割り当て] をクリックして、[完了] をクリックします。
5. [Education Analytics を設定] で [有効化] をクリックします。アプリケーションのインストールには時間がかかる場合があります。要求の状況を表示する方法についての詳細は、「[自動インストール要求](#)」を参照してください。
6. [Analytics へのアクセス権を設定] で、分析を参照または管理するための権限セットを他のユーザーに割り当てます。

Analytics データの更新

アプリケーションで確実に最新データが使用されるように Education Analytics アプリケーションの更新をスケジュールします。「[CRM Analytics テンプレートのデータ更新のスケジュール](#)」を参照してください。

即時データ更新を手動でトリガーする手順は、次のとおりです。

1. アプリケーションランチャーから、[Analytics Studio] を見つけて選択します。
2. [コレクション] で、[データマネージャー] をクリックします。
3. [接続] をクリックし、SFDC_LOCAL のドロップダウンをクリックして、[今すぐ実行] を選択します。
4. [レシピ] をクリックし、次のレシピを見つけて実行します。
 - Education App Education Analytics (教育アプリケーション Education Analytics)
 - Education App Education Analytics User (教育アプリケーション Education Analytics ユーザー)
 - Education_Analytics Education Analytics SS
 - Education_Analytics Education - Alumni Engagement (Education_Analytics 教育 - 卒業生エンゲージメント)
5. ジョブの状況を参照するには、[ジョブ監視] をクリックして、[更新] をクリックします。

関連情報:

- [Education Analytics の理解](#)

連動機能の設定

これらの必須機能を有効にして、Education Cloud を使用します。

表 29 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
連動機能を設定する	Education Cloud の完全なアクセス権
機能	手順
ケアプラン	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「プログラムおよびケース管理」と入力し、[ケアプラン設定] を選択します。 2. [ケアプランを作成して管理します] を有効にします。
ケース手続き	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「プログラムおよびケース管理」と入力し、[ケース手続き設定] を選択します。 2. [ケース手続きを作成して管理します] を有効にします。 3. 選択リスト値を告発関係者オブジェクトの [状況] 項目に追加します。「ケースおよび告発関係者の設定」を参照してください。 プログラム管理機能と学生サクセス機能でのみ必須です。
ケース紹介	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「プログラムおよびケース管理」と入力し、[ケース紹介設定] を選択します。 2. [紹介を作成および管理します] を有効にします。
取引先責任者-to-複数取引先	「 取引先責任者-to-複数取引先の設定 」を参照してください。

機能	手順
ディスカバリーフレームワーク	1. [設定] で、[クイック検索] ボックスに「ディスカバリーフレームワーク」と入力し、[一般設定] を選択します。 2. [ディスカバリーフレームワーク] を有効にします。
ドキュメントチェックリスト	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ドキュメントチェックリスト」と入力し、[ドキュメントチェックリスト設定] を選択します。 2. [添付ファイルを含むチェックリスト項目] を有効にします。
グループメンバーシップ	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「プログラムおよびケース管理」と入力し、[グループメンバー設定] を選択します。 2. [世帯とグループを作成および管理します] を有効にします。
OmniStudio Designer	1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「OmniStudio」と入力し、[OmniStudio 設定] を選択します。 2. [OmniStudio Metadata (OmniStudio メタデータ)] および [Managed Package Runtime (管理パッケージランタイム)] を有効にします。
プログラムおよび給付管理	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「給付管理」と入力し、[プログラムおよび給付管理設定] を選択します。 2. [プログラム、給付、目標を作成して管理します] を有効にします。 3. [給付割り当ておよび目標割り当ての親レコードへのアクセス権を持つユーザーがすべての給付割り当ておよび目標割り当てレコードにアクセスできるようにします] を有効にします。 プログラム管理機能、メンタリング機能、および学生サクセス機能でのみ必須です。
レコードアラート	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「レコードアラート設定」と入力し、[レコードアラートアクセス] を選択します。 2. [レコードアラートアクセスを有効化] を有効にします。

省略可能な機能の設定

これらの省略可能な機能を有効にして、Education Cloud を最大限活用します。

表 30 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
機能を有効化する	Education Cloud の完全なアクセス権
機能	手順
会計補助台帳	1. 会計補助台帳ユーザーを追加します。 2. 会計補助台帳のデータパイプラインを設定します。 3. 会計補助台帳の権限セットを割り当てます。 「会計補助台帳の設定」を参照してください。
開示とコンプライアンスのハブ	「 開示とコンプライアンスのハブ 」を参照してください。
決定表	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ビジネスルールエンジン」と入力し、[ビジネスルールエンジン設定] を選択します。 2. [Industries Cloud 共通決定表アクセス権] を有効にします。
ディスカバリーフレームワーク	1. [設定] で、[クイック検索] ボックスに「ディスカバリーフレームワーク」と入力し、[一般設定] を選択します。 2. [ディスカバリーフレームワーク] を有効にします。

機能	手順
インテリジェントドキュメントリーダー	「インテリジェントドキュメントリーダー」を参照してください。  重要 Government Cloud 組織と Government Cloud Plus 組織でインテリジェントドキュメントリーダーを有効にすると、認証境界外にデータが送信される可能性があります。詳細は、Salesforce アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。
インタラクション概要	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「インタラクション概要」と入力し、[インタラクション概要設定] を選択します。 2. [インタラクション概要] を有効にします。 3. [インタラクション概要のロール階層ベースの共有] を有効にします。 4. [インタラクションのロール階層ベースの共有] を有効にします。
Marketing Cloud for Education	「 Marketing Cloud for Education 」を参照してください。

機能	手順
結果管理	結果管理を有効にするには、「結果管理設定」を参照してください。 結果管理を有効にしたら、権限セットを作成してユーザーに割り当てます。 1. [Education Cloud フルアクセス] 権限セットをコピーします。 2. 新しい権限セットのシステム権限を更新します。 a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。 b. 新しい[結果管理] 権限セットをクリックします。 c. [システム権限] をクリックし、[編集] をクリックします。 d. 権限を追加します。 • CRM ユーザーの場合、[結果を管理] と [フローを実行] を選択します。 • Experience Cloud ユーザーの場合、[結果を管理] を選択します。 e. 変更内容を保存します。 3. 結果管理が必要なユーザーに権限セットを割り当てます。「ユーザーへの権限セットの割り当て」を参照してください。
Salesforce Scheduler for Education Cloud	「 Salesforce Scheduler for Education Cloud の有効化 」を参照してください。
タイムライン	「 Salesforce でのタイムラインの設定 」を参照してください。
ビデオ通話	1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ビデオ通話」と入力し、[ビデオ通話設定] を選択します。 2. [ビデオ通話] を有効にします。

共通コンポーネントの設定

共通の Industries 機能を設定して組織を最大限活用します。

表 31 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
共通コンポーネントを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. タイムラインを設定します。
 - a. [タイムライン] で [タイムラインを設定] をクリックします。
 - b. [タイムライン] を有効にします。
2. インタラクション概要を設定します。
 - a. [インタラクション概要] で [インタラクション概要を設定] をクリックします。
 - b. [インタラクション概要] を有効にします。
3. アクション可能セグメンテーションを設定します。
 - a. [アクション可能セグメンテーション] で [アクション可能セグメンテーションを設定] をクリックします。
 - b. [アクション可能セグメンテーション] を有効にします。
4. アクションランチャーを設定します。
 - a. [アクションランチャー] で [アクションランチャーを設定] をクリックします。
 - b. [アクションランチャー] を有効にします。
5. 関心タグを設定します。
 - a. [関心タグ] で [関心タグを設定] をクリックします。
 - b. [関心タグ] を有効にします。
6. Actionable Relationship Center を設定します。
 - a. [Actionable Relationship Center] で [Actionable Relationship Center を設定] をクリックします。
 - b. [Actionable Relationship Center] を有効にします。

関連情報:

- [機関での学生の成功のサポート](#)
- [Salesforce でタイムラインを使用して行動を表示](#)
- [インタラクション概要](#)
- [アクション可能セグメンテーション](#)
- [アクションランチャー](#)
- [関心タグ](#)
- [Actionable Relationship Center \(ARC\)](#)

標準プロファイルの作成と設定

Education Cloud ユーザーの役割に基づいて標準プロファイルを作成します。

表 32 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud エクスペリエンスサイトにユーザーを追加する	Education Cloud の完全なアクセス権

標準ユーザープロファイルの設定

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで「プロファイル」と入力して [プロファイル] を選択します。
2. [標準ユーザー] をクリックします。
3. [割り当てられたアプリケーション] をクリックします。
4. [編集] をクリックして、[募集 & 入学者選考] が表示されるようにします。必要に応じて、[募集 & 入学者選考] をデフォルトのアプリケーションに設定できます。
5. 変更内容を保存します。
6. [プロファイルの概要] をクリックします。
7. [オブジェクト設定] をクリックして、[取引先] をクリックします。
8. [編集] をクリックします。
9. [取引先: レコードタイプとページレイアウトの割り当て] で、[個人取引先]、[中学高等学校]、および [単科大学] を選択します。
10. 変更内容を保存します。

入学担当者標準ユーザープロファイルの作成

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで「プロファイル」と入力して [プロファイル] を選択します。
2. [標準ユーザー] の横にある [コピー] をクリックします。
3. プロファイル名を入力して、変更内容を保存します。
4. [オブジェクト設定] をクリックし、新しいプロファイルに目的のオブジェクトへのアクセス権があることを確認します。
5. 変更内容を保存します。

レビュー担当者標準ユーザープロファイルの作成

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで「プロファイル」と入力して [プロファイル] を選択します。
2. [標準ユーザー] の横にある [コピー] をクリックします。
3. プロファイル名を入力して、変更内容を保存します。
4. [オブジェクト設定] をクリックし、新しいプロファイルに目的のオブジェクトへのアクセス権があることを確認します。
5. 変更内容を保存します。

Education Cloud トライアル組織の作成

すべての機能を備えたトライアル環境で Education Cloud の実践的な環境を利用できます。

表 33 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition



重要

Education Cloud 事前作成済みアプリケーションは、Salesforce とのメインサービス契約 (旧称マスターサブスクリプション契約) で規定されている SFDC 以外のアプリケーションであり、これにはこのメインサービス契約の規約が適用されます。

<https://www.salesforce.com/company/legal/agreements.jsp>



注意

トライアル組織の目的は概念実証とガイド付きの自己探索です。トライアル組織の有効期限は 30 日間です。

トライアル組織にサインアップする手順は、次のとおりです。

1. [Developer Free Trials \(開発者無料トライアル\)](#) のサインアップページにアクセスして、[Industry-Based Trials (業種ベースのトライアル)] タブで [Education Cloud Free Trials (Education Cloud 無料トライアル)] を探します。

次のいずれかのトライアル組織のサインアップページに直接アクセスすることもできます。

[Learning Org \(学習組織\)](#)

このすべて設定済みの組織には豊富なサンプルデータが含まれており、すべての Education Cloud 機能の動作を確認できます。これらの組織を使用して、有効化した場合の全体的な動作を確認します。

[Pre-Release Org \(プレリリース組織\)](#)

この組織では、今後リリースされる機能をいち早く紹介します。これらの組織は Sandbox プレビュー期間中のみ作成できます。ページにサインアップフォームが含まれていない場合、プレビュー期間は終了しています。

[Base Org \(ベース組織\)](#)

この未設定の組織は必要なライセンスと権限のみの白紙状態です。これらの組織は、簡単な概念実証プロジェクトや一般的なテストに使用します。

2. 必要な情報を入力して、[次へ] をクリックします。
3. メインサービス契約を読んで同意します。
4. [送信] をクリックします。

組織が作成されたら、ログインの詳細が記載されたメールが届きます。トライアル組織には有効化する前の Education Cloud 機能と Salesforce Scheduler など、これらの機能に必要なすべての製品が含まれます。

Education Cloud ユーザーの管理

Education Cloud にユーザーを追加し、必要なアクセス権を付与します。

表 34 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

教育機関にはさまざまな種類のユーザーがいて、さまざまな種類の役割があります。教職員、スタッフ、学習者、学生募集担当者、入学担当者などです。Salesforce システム管理者としての役割は、各ユーザーが役割に必要な機能を使用できるようにすることです。

ユーザーが Education Cloud を使いこなせるようにしましょう! 「[1 人のユーザーの追加](#)」を参照してください。

ユーザーの役割と権限

権限を割り当てる前に、ユーザーの役割を検討します。

表 35 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud の権限セットにより、業務を遂行するのに必要な要素へのアクセス権がユーザーに付与されます。Education Cloud を使用する準備が整ったら、機関内での役割と必要なアクセス権を検討します。さまざまな役割と、それぞれの役割に合ったライセンスを確認していきましょう。

入学審査担当責任者

Dimitri Trapalis は Astro University の入学審査担当責任者です。募集と入学者選考に関する戦略、予算、ビジョンを策定し、実装するのが Dimitri の職務です。役割上、Education Cloud の広範なデータにアクセスする必要があるため、Dimitri に適した権限セットライセンスは「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」または「Education Cloud の制限付きアクセス権」です。

アカデミックアドバイザー

Yui Sato は Cloudy College のアカデミックアドバイザーです。Yui の職務は、登録と機関の収益に関する目標に合った学習者のクラス作りのサポートを行うことです。Yui は科目やプログラム登録、スケジュール、入学データなどに関する情報にアクセスする必要があります。Yui は Education Cloud の大半にアクセスする必要があるため、Yui に適した権限セットライセンスは「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」です。

申込レビュー担当者

Regina Altman は Astro University の入学申込をレビューします。彼女は申込の受入とレビューを担当しており、申込に関連していない内容にアクセスする必要はありません。Regina に適した権限セットライセンスは「Education Cloud の制限付きアクセス権」です。

プロスペクト学生

Stephanie Rhimes は Cloudy College の学生になることを希望しています。申込の送信、情報の要求、または入学面接のスケジュールを行うために、Stephanie には「Education Cloud for Experience Cloud ユーザー」権限セットライセンスが必要です。

学生募集担当者

Marquis Bryant は Cloudy College の学生募集担当者です。彼は大学フェア、キャンパス内でのイベント、カンファレンス、募集イベントで Cloudy の代表を務めます。申込要件や期限を伝えることで、入学プロセスの最初から最後までプロスペクト学生をサポートします。Marquis には「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットライセンスが必要です。

システム管理者

Nina Brown は Cloudy College の Salesforce システム管理者です。彼女は Cloudy の Salesforce リリースの継続的な開発や設定を主導し、キャンパス全体でシームレスに動作するように保っています。Nina は同単科大学にとってきわめて重要な CRM プロセスに関する内容領域専門家という立場にあります。Nina には「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットライセンスが必要です。

ユーザーへの Education Cloud の権限セットライセンスの割り当て
ユーザーには、割り当てられたライセンスに基づいて Education Cloud への異なるアクセス権が付与されます。

表 36 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
ユーザーに Education Cloud の権限セットライセンスを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および 権限セットの割り当て

Education Cloud の権限セットライセンス

Education Cloud の権限セットライセンスの違い、およびそれらでユーザーがサポートされる方法について説明します。

権限セットライセンス	説明	必要とするユーザー
Education Cloud の完全なアクセス権	ユーザーに、すべての Education Cloud オブジェクトおよびコンポーネントへのアクセス権を付与します。	募集、入学者選考、学生の成功に関する業務を担当する機関内のスタッフメンバー。
Education Cloud for Experience Cloud ユーザー	機関とやりとりを行うために必要な Education Cloud 要素へのアクセス権が Experience Cloud ユーザーに付与されます。	Experience Cloud サイトを通じて機関とのやりとりを行うユーザー。たとえば、機関への申込者、プロスペクト学生の代理申込者、面接をスケジュールする登録学生。
Education Cloud の制限付きアクセス権	学生の指導や申込レビューの使用事例に必要な Education Cloud オブジェクトおよびコンポーネントへのアクセス権がユーザーに付与されます。詳細は、Salesforce アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。	機関への申込のレビューや学生へのアドバイスなどの作業を完了するために特定のオブジェクトおよびレコードにアクセスする必要があるユーザー。

Education Cloud は複数の製品の機能を提供しており、一部のコンポーネントには追加ライセンスが必要です。次の表では、機関内の基本的な役割に推奨の権限セットを示しています。

役割	推奨の権限セット
管理ユーザー	- 会計補助台帳 Growth へのアクセス - CRM Analytics for Education 管理者 - CRM Analytics for Education ユーザー - データパイプラインベースユーザー  重要 「データパイプラインベースユーザー」権限は 3 人のユーザーのみに割り当てることができます。そのため、この権限を特定の管理者ユーザーに割り当てます。 - DocGen デザイナー - DocGen ユーザー - Education Cloud の完全なアクセス権 - 会計補助台帳の管理 - OmniStudio 管理者 - OmniStudio ユーザー - Datapipelines ユーザーのクエリ - 会計補助台帳ジョブの実行

役割	推奨の権限セット
申込レビュー担当者	- Education Cloud の制限付きアクセス権 - OmniStudio 管理者 - OmniStudio ユーザー
Experience Cloud ユーザー	- Education Cloud for Experience Cloud のアクセス権 - DocGen ランタイムコミュニティユーザー  注意 「Education Cloud for Experience Cloud のアクセス権」には、必須の OmniStudio 権限がすべて含まれます。

権限セットライセンスの割り当て

アプリケーションを設定する前に、「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットライセンスが 1 人以上のユーザーに割り当てられていることを確認してください。



注意

Education Cloud 権限セットをコピーするために、Salesforce システム管理者には「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットライセンスも必要です。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ユーザー」と入力し、[ユーザー] を選択します。
2. ユーザーの名前をクリックします。
3. [権限セットライセンスの割り当て] 関連リストで、[割り当ての編集] をクリックします。
4. [Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)] 権限セットライセンスを選択します。
5. 変更内容を保存します。

Education Cloud の権限セット

プロファイルに基づいてユーザーに権限セットを割り当てます。

表 37: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

Education Cloud 権限セットを使用する

Education Cloud の完全なアクセス権

および

設定・定義を参照する

および

権限セットの割り当て

Education Cloud の権限セットにより、機関内での役割に基づいて必要なツールや機能へのアクセス権がユーザーに付与されます。

権限セットの詳細

ユーザーに権限セットを割り当てる前に、Education Cloud の権限セットの違いを理解してください。

権限セット	説明
Education Cloud の完全なアクセス権	すべての Education Cloud オブジェクトおよびコンポーネントを作成、参照、編集するアクセス権がユーザーに付与されます。
Education Cloud for Experience Cloud ユーザー	Experience Cloud ユーザーが Education Cloud にアクセスできるようにします。
Education Cloud の制限付きアクセス権	学生の指導や申込レビューの使用事例に必要な Education Cloud オブジェクトおよびコンポーネントへのアクセス権がユーザーに付与されます。詳細は、Salesforce アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。
Education Cloud レビュー担当者	Education Cloud の申込レビュー機能へのアクセス権がユーザーに付与されます。

ユーザーへの権限セットの割り当て

権限セットを割り当てる前に、「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットが 1 人以上のユーザーに割り当てられていることを確認してください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)] 権限セットを選択します。
3. [割り当ての管理] をクリックし、[割り当てを追加] をクリックします。

4. 権限セットを割り当てるには、ユーザーを選択し、[割り当て] をクリックします。



注意

Salesforce システム管理者が自分自身に「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットを割り当てておくことをお勧めします。

5. 変更内容を保存します。

Education Cloud のコンソールの設定

機関内のさまざまな役割のホームページを作成します。

表 38 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

これらの推奨されるレイアウトに従って、ユーザーによる機関内のデータの扱いに基づいて、生産性を極限まで高めるホームページを作成します。

入学者選考コンソールの設定

入学データ、レビュー、ToDo が表示される募集 & 入学者選考アプリケーションのホームページを作成します。

表 39 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
入学者選考コンソールを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

入学者選考コンソールでは、機関への申込の状況に関連した概要データのインサイトを確認できます。日常の ToDo や行動と今後の ToDo や行動に加えて、自分に割り当てられたレビューを確認することもできます。

ホームページの作成

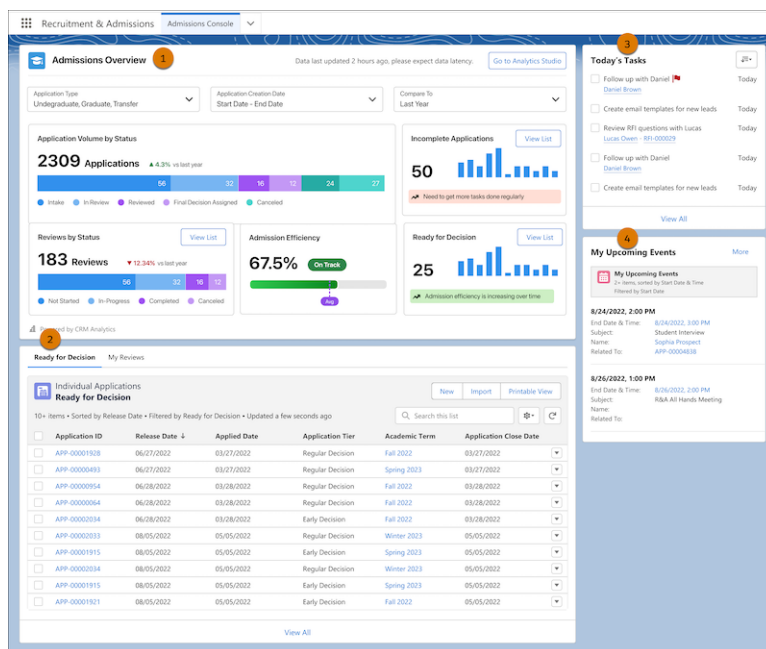
Lightning アプリケーションビルダーを使用して、募集 & 入学者選考アプリケーションの入学者選考コンソールホームページを作成します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションビルダー」と入力し、[Lightning アプリケーションビルダー] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [ホームページ] をクリックし、[次へ] をクリックします。
4. [表示ラベル] 項目に「Admissions Console」(入学者選考コンソール) と入力し、[次へ] をクリックします。
5. [標準ホームページ] をクリックし、[完了] をクリックします。

これでホームページが作成されたため、コンソールにコンポーネントを追加します。

ホームページへのコンポーネントの追加

入学者選考コンソールホームページの Lightning Web コンポーネントを設定します。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [Education Analytics ダッシュボード] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
 - 右側のコンポーネントプロパティで、[ダッシュボード] として [Recruitment and Admissions Insights (募集および入学者選考のインサイト)] を選択します。ダッシュ

ボードを選択できない場合、Education Analytics が設定されていることを確認してください。「[Education Analytics アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

- [タブ] コンポーネントを [Education Analytics ダッシュボード] のすぐ下のセクションにドラッグします。タブ名を「意思決定準備完了」および「私のレビュー」に変更します (2)。
- [意思決定準備完了] をクリックして、[リストビュー] コンポーネントを追加して次の項目を設定します (3)。
 - [オブジェクト] 項目で、[個人申込] を選択します。
 - [検索条件] 項目で、[意思決定準備完了] を選択します。
- [私のレビュー] をクリックして、[リストビュー] コンポーネントを追加して次の項目を設定します (4)。
 - [オブジェクト] 項目で、[申込レビュー] を選択します。
 - [検索条件] 項目で、[私のレビュー] を選択します。



ヒント

ホームページをウィンドウ内に保ち、スクロールしないようにするために、[意思決定準備完了] リストビューコンポーネントと [私のレビュー] リストビューコンポーネントに表示するレコードの数を 10 ~ 15 件に設定することをお勧めします。

- [今日の ToDo] コンポーネントを右列にドラッグします (5)。
- [リストビュー] コンポーネントを右列の [今日の ToDo] のすぐ下にドラッグし、次の項目を設定します (6)。
 - [オブジェクト] 項目で、[行動] を選択します。
 - [検索条件] 項目で、[My Upcoming Events (私の今後の行動)] を選択します。
 - [表示するレコード数] 項目に「2」と入力します。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

ホームページの有効化

ホームページを有効化して、アクセス権を付与するプロファイルに割り当てます。

1. [有効化] をクリックします。
2. [アプリケーションおよびプロファイル] を選択します。
3. [アプリケーションとプロファイルに割り当て] をクリックします。
4. [Lightning アプリケーション] で [募集 & 入学者選考] を選択して、[次へ] をクリックします。

5. [プロフィール] でホームページへのアクセス権を付与するプロフィールを選択し、[次へ] をクリックします。

Alumni Relations コンソールの設定

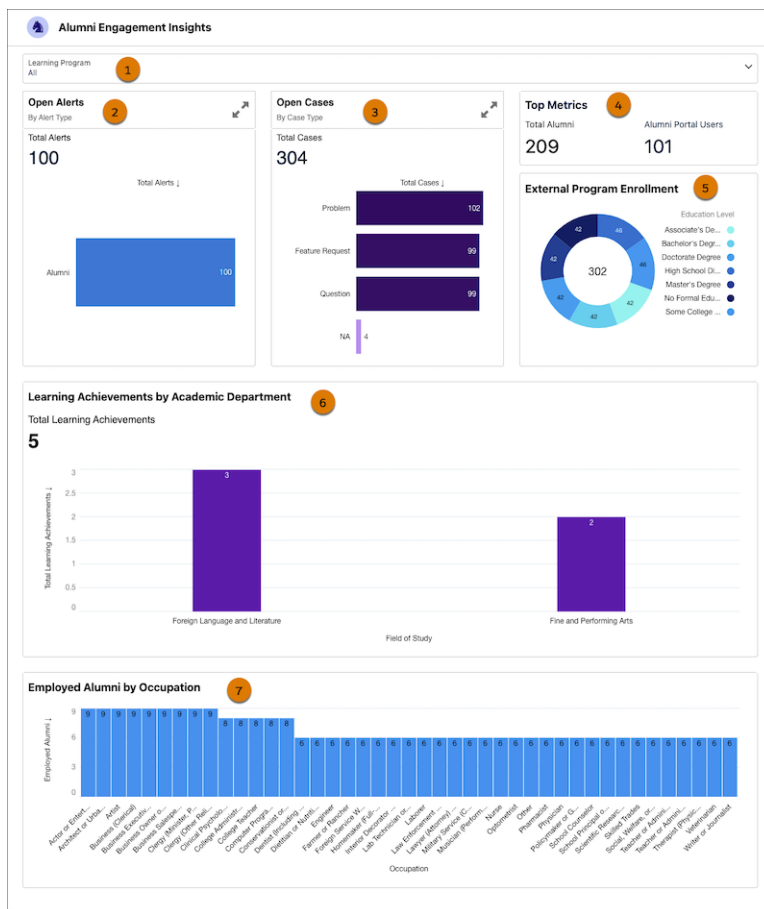
コーディネーターやマネージャーが卒業生情報を確認し、エンゲージメントの機会を識別できる Alumni Relations アプリケーションホームページを作成します。

表 40 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Alumni Relations コンソールを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および CRM Analytics for Education Cloud 管理者

Alumni Relations コンソールの探索

Alumni Relations コンソールは、卒業生エンゲージメントに集中できる中心的な場所を卒業生コーディネーターに提供します。



ダッシュボードには、重要業績評価指標 (KPI) に基づいて卒業生エンゲージメントを視覚化する複数のグラフがあります。

- 大学または部門で情報を絞り込みます (1)。
- 進行中のアラートを使用して卒業生の数を確認します (2)。
- オープンケースを使用して卒業生の数を確認します (3)。
- 組織の卒業生の数とポータルでアカウントを作成した人数を確認します (4)。
- 卒業生が他の機関で獲得した学習実績の数を確認します (5)。
- 卒業生があなたの機関で獲得した学習実績の数を確認します (6)。
- 卒業生の職業を確認します (7)。

ホームページの作成

Lightning アプリケーションビルダーを使用して、Alumni Relations アプリケーションのホームページを作成します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションビルダー」と入力し、[Lightning アプリケーションビルダー] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [ホームページ] をクリックし、[次へ] をクリックします。
4. [表示ラベル] に「Alumni Console」（卒業生コンソール）と入力し、[次へ] をクリックします。
5. [標準ホームページ] を選択し、[完了] をクリックします。

ホームページが作成されたので、ホームページにコンポーネントを追加します。

ホームページへのコンポーネントの追加

[CRM Analytics ダッシュボード] コンポーネントをホームページに追加します。

1. [CRM Analytics ダッシュボード] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします。
2. コンポーネントプロパティで、[ダッシュボード] として [Alumni Engagement Insights (卒業生エンゲージメントインサイト)] を選択します。ダッシュボードを選択できない場合、Education Analytics が設定されていることを確認してください。[「Education Analytics アプリケーションの設定」](#)を参照してください。

ホームページの保存と有効化

ホームページを有効化して、アクセス権を付与するプロファイルに割り当てます。

1. 変更内容を保存したら、[有効化] をクリックします。
2. [アプリケーションおよびプロファイル] を選択します。
3. [アプリケーションとプロファイルに割り当て] をクリックします。
4. [Lightning アプリケーション] で [卒業生] を選択して、[次へ] をクリックします。
5. [プロファイル] でホームページへのアクセス権を付与するプロファイルを選択し、[次へ] をクリックします。
6. 変更内容を保存します。

募集と入学者選考の責任者コンソールの設定

募集 & 入学者選考アプリケーションのホームページを作成します。ホームページでは、責任者が入学と募集に関する分析を確認し、アクション可能リストを作成してスタッフに割り当てることができます。

表 41: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

募集と入学者選考の責任者コンソールを設定する

Education Cloud の完全なアクセス権

ホームページの作成

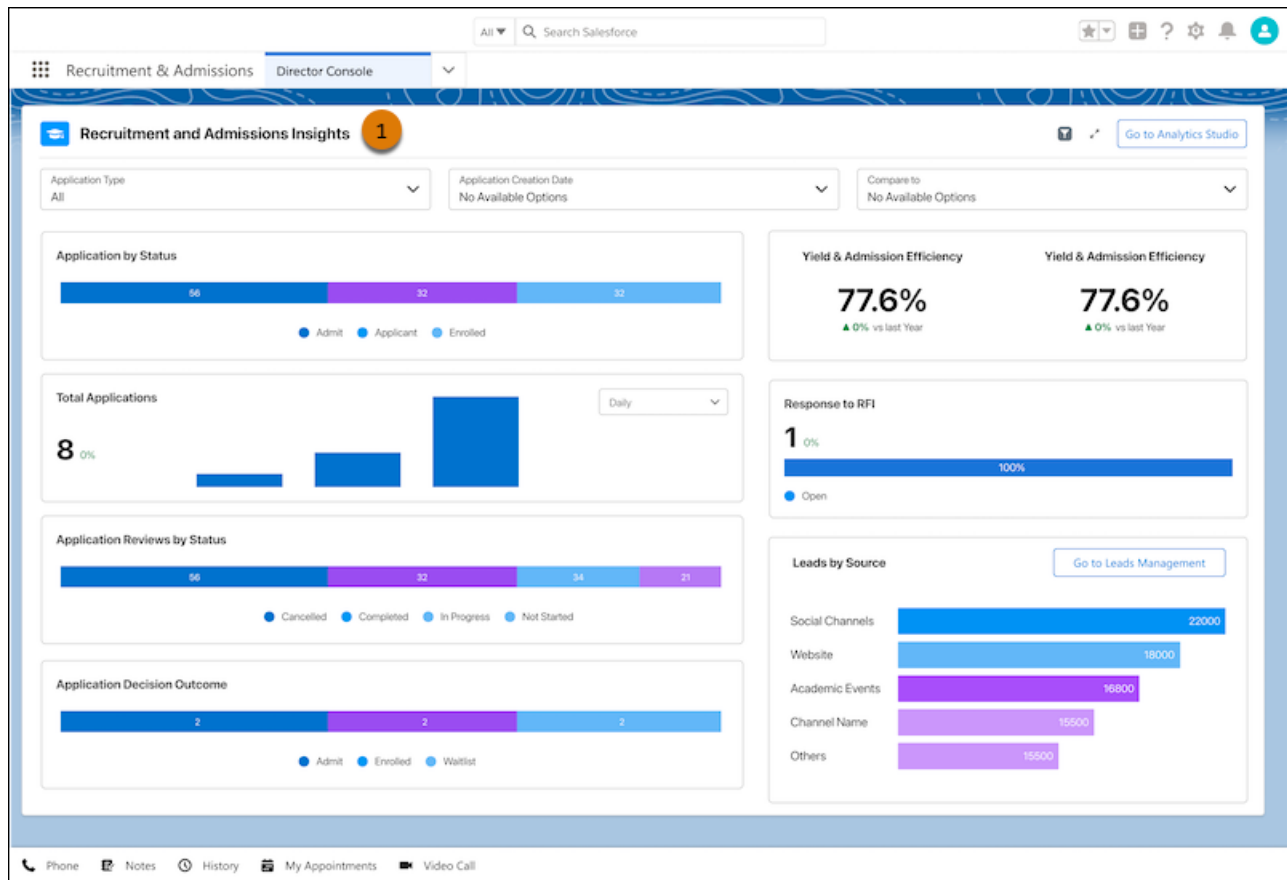
Lightning アプリケーションビルダーを使用して、募集 & 入学者選考アプリケーションの責任者コンソールホームページを作成します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションビルダー」と入力し、[Lightning アプリケーションビルダー] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [ホームページ] をクリックし、[次へ] をクリックします。
4. [表示ラベル] 項目に「Director Console」（責任者コンソール）と入力し、[次へ] をクリックします。
5. [標準ホームページ] をクリックし、[完了] をクリックします。

これでホームページが作成されたため、コンソールにコンポーネントを追加します。

ホームページへのコンポーネントの追加

募集 & 入学者選考の責任者コンソールホームページの Lightning Web コンポーネントを設定します。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [Education Analytics ダッシュボード] コンポーネント (1) を一番上のセクションにドラッグします。
 - 右側のコンポーネントプロパティで、[ダッシュボード] として [Recruitment and Admissions Insights (募集および入学者選考のインサイト)] を選択します。ダッシュボードを選択できない場合、Education Analytics が設定されていることを確認してください。「[Education Analytics アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

必要に応じて、[今日の ToDo] コンポーネントと [リストビュー] コンポーネントを追加できます。

- [今日の ToDo] コンポーネントを右列にドラッグします。
- [リストビュー] コンポーネントを右列の [今日の ToDo] の下にドラッグし、次の項目を設定します。
 - オブジェクト: [行動] を選択します。
 - 検索条件: [My Upcoming Events (私の今後の行動)] を選択します。
 - 表示するレコード数: 「2」と入力します。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

ホームページの有効化

ホームページを有効化して、アクセス権を付与するプロファイルに割り当てます。

1. [有効化] をクリックします。
2. [アプリケーションおよびプロファイル] を選択します。
3. [アプリケーションとプロファイルに割り当て] をクリックします。
4. [Lightning アプリケーション] で [募集 & 入学者選考] を選択して、[次へ] をクリックします。
5. [プロファイル] でホームページへのアクセス権を付与するプロファイルを選択し、[次へ] をクリックします。

学生サクセスの責任者コンソールの設定

学生サクセスアプリケーションのホームページを作成します。ホームページでは、責任者はプログラムと給付の作成、アドバイザーの割り当て、学生の成功に関する Analytics ダッシュボードの表示、機関の重要業績指標 (KPI) の表示などを行うことができます。

表 42: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学生サクセスの責任者コンソールを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

ホームページの作成

Lightning アプリケーションビルダーを使用して、学生サクセスアプリケーションの責任者コンソールホームページを作成します。

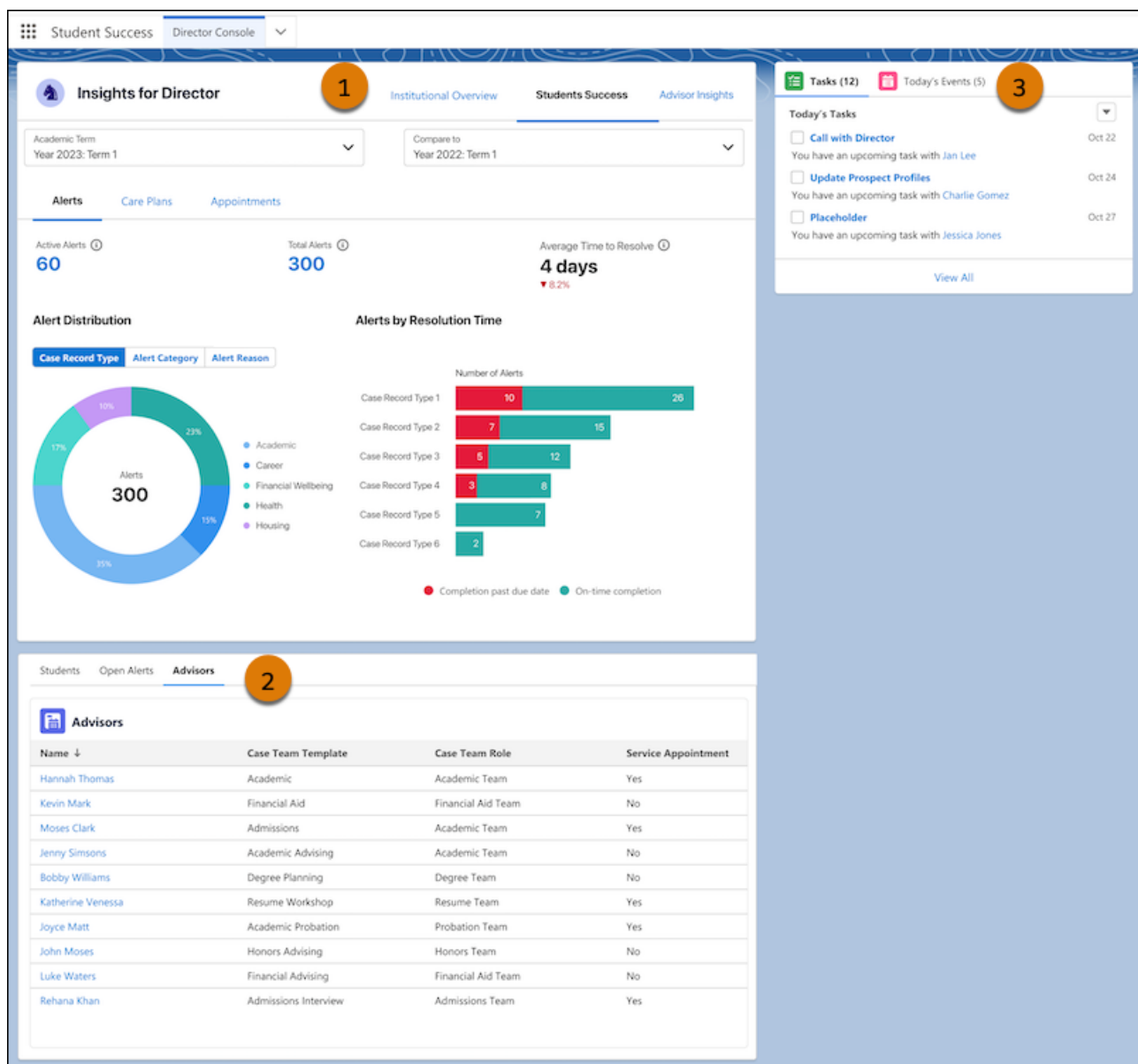
1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションビルダー」と入力し、[Lightning アプリケーションビルダー] を選択します。

2. [新規] をクリックします。
3. [ホームページ] をクリックし、[次へ] をクリックします。
4. [表示ラベル] 項目に「Director Console」（責任者コンソール）と入力し、[次へ] をクリックします。
5. [標準ホームページ] をクリックし、[完了] をクリックします。

これでホームページが作成されたため、コンソールにコンポーネントを追加します。

ホームページへのコンポーネントの追加

学生サクセスの責任者コンソールホームページの Lightning Web コンポーネントを設定します。



**注意**

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [CRM Analytics ダッシュボード] コンポーネント (1) を一番上のセクションにドラッグします。
 - 右側のコンポーネントプロパティで、[ダッシュボード] として [学生サクセス] を選択します。ダッシュボードを選択できない場合、Education Analytics が設定されていることを確認してください。「[Education Analytics アプリケーションの設定](#)」を参照してください。
- [タブ] コンポーネント (2) をダッシュボードコンポーネントの下にドラッグします。
 - カスタムタブ「学生」、「進行中のアラート」、および「アドバイザー」を追加します。
 - [CRM Analytics ダッシュボード] コンポーネントを [学生] タブにドラッグし、ダッシュボードを [Education Students Without Success Team (Education 学生サクセスチームなし)] として選択します。
 - [CRM Analytics ダッシュボード] コンポーネントを [進行中のアラート] タブにドラッグし、ダッシュボードを [Education Directors Open Alerts (Education 責任者 進行中のアラート)] として選択します。
 - [CRM Analytics ダッシュボード] コンポーネントを [アドバイザー] タブにドラッグし、ダッシュボードを [Education Advisors List (Education アドバイザーリスト)] として選択します。
- [タブ] コンポーネント (3) をページの右側にあるサイドバーにドラッグします。
 - カスタムタブ「今日の行動」と「今日の ToDo」を追加します。
 - [今日の行動] コンポーネントを [今日の行動] タブに追加します。
 - [今日の ToDo] コンポーネントを [今日の ToDo] タブに追加します。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

ホームページの有効化

ホームページを有効化して、アクセス権を付与するプロファイルに割り当てます。

1. [有効化] をクリックします。
2. [アプリケーションおよびプロファイル] を選択します。
3. [アプリケーションとプロファイルに割り当て] をクリックします。

4. [Lightning アプリケーション] で [学生サクセス] を選択して、[次へ] をクリックします。
5. [プロフィール] でホームページへのアクセス権を付与するプロフィールを選択し、[次へ] をクリックします。

学生募集担当者コンソールの設定

学生募集担当者向けの募集 & 入学者選考アプリケーションのホームページを作成します。

表 43 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学生募集担当者コンソールを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

学生募集担当者コンソールでは、日常の ToDo や行動と今後の ToDo や行動に加えて、募集に関する分析を確認できます。

ホームページの作成

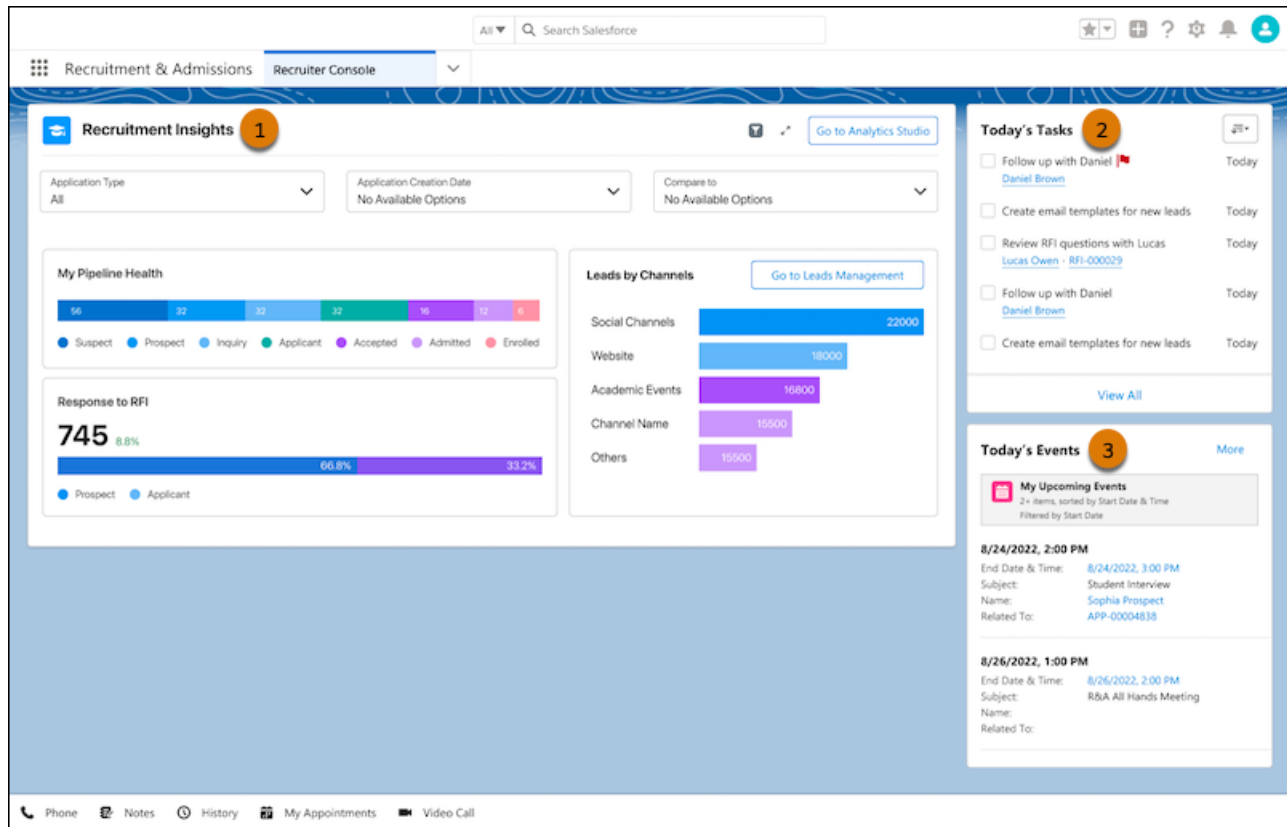
Lightning アプリケーションビルダーを使用して、募集 & 入学者選考アプリケーションの学生募集担当者コンソールホームページを作成します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションビルダー」と入力し、[Lightning アプリケーションビルダー] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [ホームページ] をクリックし、[次へ] をクリックします。
4. [表示ラベル] 項目に「Recruiter Console」（学生募集担当者コンソール）と入力し、[次へ] をクリックします。
5. [標準ホームページ] をクリックし、[完了] をクリックします。

これでホームページが作成されたため、コンソールにコンポーネントを追加します。

ホームページへのコンポーネントの追加

学生募集担当者コンソールホームページの Lightning Web コンポーネントを設定します。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [Education Analytics ダッシュボード] コンポーネント (1) を一番上のセクションにドラッグします。
 - 右側のコンポーネントプロパティで、[ダッシュボード] として [Recruitment Insights (募集のインサイト)] を選択します。ダッシュボードを選択できない場合、Education Analytics が設定されていることを確認してください。「[Education Analytics アプリケーションの設定](#)」を参照してください。
- [今日の ToDo] コンポーネント (2) を右列にドラッグします。

- [リストビュー] コンポーネント (3) を右列の [今日の ToDo] の下にドラッグし、次の項目を設定します。
 - オブジェクト: [行動] を選択します。
 - 検索条件: [My Upcoming Events (私の今後の行動)] を選択します。
 - 表示するレコード数: 「2」と入力します。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

ホームページの有効化

ホームページを有効化して、アクセス権を付与するプロファイルに割り当てます。

1. [有効化] をクリックします。
2. [アプリケーションおよびプロファイル] を選択します。
3. [アプリケーションとプロファイルに割り当て] をクリックします。
4. [Lightning アプリケーション] で [募集 & 入学者選考] を選択して、[次へ] をクリックします。
5. [プロファイル] でホームページへのアクセス権を付与するプロファイルを選択し、[次へ] をクリックします。

レビュー担当者コンソールの設定

申込レビュー担当者向けの募集 & 入学者選考アプリケーションのホームページを作成します。

表 44: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
レビュー担当者コンソールを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レビュー担当者コンソールでは、日常の ToDo や行動と今後の ToDo や行動に加えて、自分に割り当てられたレビューを確認できます。

ホームページの作成

Lightning アプリケーションビルダーを使用して、募集 & 入学者選考アプリケーションのレビュー担当者コンソールホームページを作成します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションビルダー」と入力し、[Lightning アプリケーションビルダー] を選択します。

2. [新規] をクリックします。
3. [ホームページ] をクリックし、[次へ] をクリックします。
4. [表示ラベル] 項目に「Reviewer Console」(レビュー担当者コンソール) と入力し、[次へ] をクリックします。
5. [標準ホームページ] をクリックし、[完了] をクリックします。

これでホームページが作成されたため、コンソールにコンポーネントを追加します。

ホームページへのコンポーネントの追加

レビュー担当者コンソールホームページの Lightning Web コンポーネントを設定します。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [リストビュー] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグし、次の項目を設定します (1)。
 - [オブジェクト] 項目で、[申込レビュー] を選択します。
 - [検索条件] 項目で、[私のレビュー] を選択します。



ヒント

ホームページをウィンドウ内に保ち、スクロールしないようにするために、[意思決定準備完了] リストビューコンポーネントと [私のレビュー] リス

トビューコンポーネントに表示するレコードの数を 25 件に設定することをお勧めします。

- [今日の ToDo] コンポーネントを右列にドラッグします (2)。
- [リストビュー] コンポーネントを右列の [今日の ToDo] のすぐ下にドラッグし、次の項目を設定します (3)。
 - オブジェクト: [行動] を選択します。
 - 検索条件: [My Upcoming Events (私の今後の行動)] を選択します。
 - 表示するレコード数: 「2」と入力します。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

ホームページの有効化

ホームページを有効化して、アクセス権を付与するプロファイルに割り当てます。

1. [有効化] をクリックします。
2. [アプリケーションおよびプロファイル] を選択します。
3. [アプリケーションとプロファイルに割り当て] をクリックします。
4. [Lightning アプリケーション] で [募集 & 入学者選考] を選択して、[次へ] をクリックします。
5. [プロファイル] でホームページへのアクセス権を付与するプロファイルを選択し、[次へ] をクリックします。

Education Cloud のレコードページの設定

推奨されているレイアウトに従って、次の Education Cloud オブジェクトのレコードページを作成します。

表 45 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

アカデミックセッションレコードページの設定

Education Cloud でアカデミックセッションオブジェクトのレコードページを設定します。

表 46 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

アカデミックセッションレコードページを設定する

Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーでアカデミックセッションオブジェクトのレコードページを作成します。

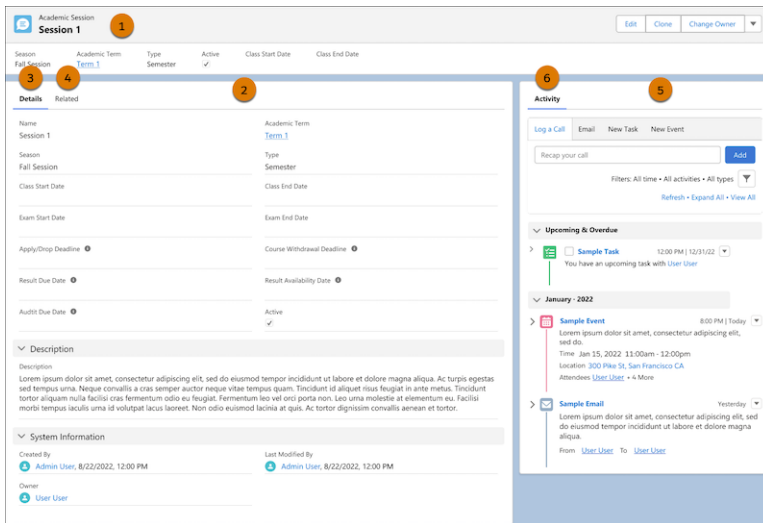
Lightning アプリケーションビルダーでアカデミックセッションオブジェクトのレコードページを作成します。「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、ページにコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントをアカデミックセッションレコードページに追加して詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。

- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [アカデミックセッション] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[アカデミックセッションレイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学期レコードページの設定

Education Cloud で学期オブジェクトのレコードページを設定します。

表 47: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学期レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学期オブジェクトのレコードページを作成します。

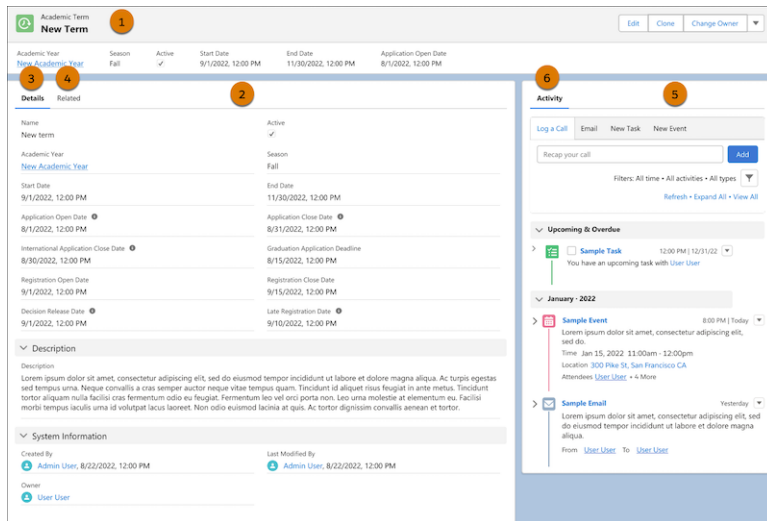
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、ページにコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学期レコードページに追加して詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内

容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学期] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学期レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学期登録レコードページの設定

Education Cloud で学期登録オブジェクトのレコードページを設定します。

表 48 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学期登録レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学期登録オブジェクトのレコードページを作成します。

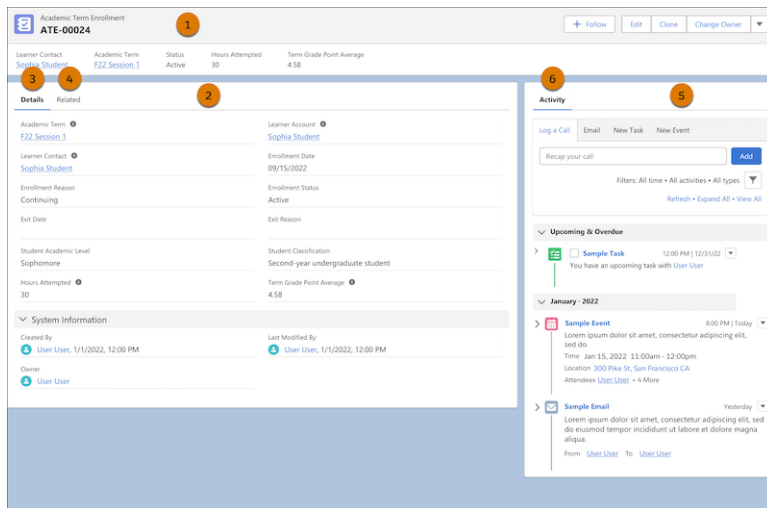
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、ページにコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学期登録レコードページに追加して詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学期登録] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学期登録レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学年度レコードページの設定

Education Cloud で学年度オブジェクトのレコードページを設定します。

表 49 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学年度レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

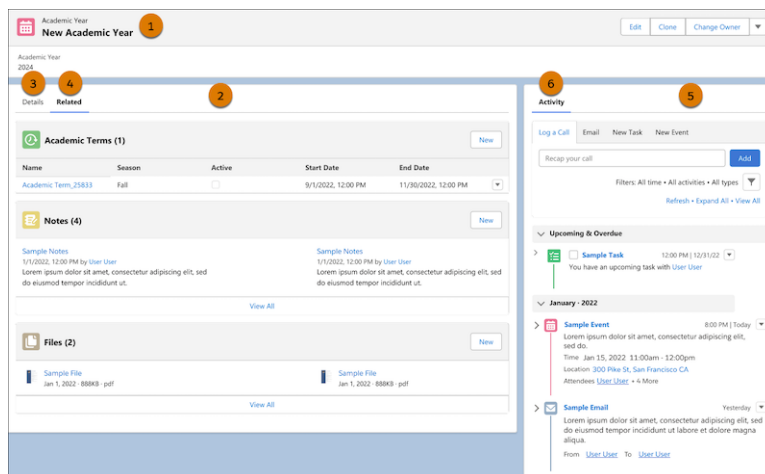
Lightning アプリケーションビルダーで学年度オブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学年度レコードページに追加して詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内

容を保存して次のセクションに進みます。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。

- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学年度] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学年度レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

取引先レコードページの設定

Education Cloud で取引先オブジェクトのレコードページを設定します。

表 50 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
取引先レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および アプリケーションのカスタマイズ および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

取引先レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで取引先オブジェクトの学生と卒業生用のレコードページを作成します。

学生レコードページの作成

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションマネージャー」と入力し、[アプリケーションマネージャー] を選択します。
2. [学生サクセス] の横にある  をクリックして、[編集] を選択します。
3. [ページ] をクリックして、[新規ページ] を選択します。
4. [レコードページ] をクリックして、[次へ] をクリックします。
5. レコードページの表示ラベルを入力します。たとえば、「Student Record Page」(学生レコードページ) と入力します。
6. [オブジェクト] 項目で、[取引先] を検索して選択します。
7. [ページテンプレートを選択] で、[3 つの範囲] を選択し、[完了] をクリックします。

卒業生レコードページの作成

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションマネージャー」と入力し、[アプリケーションマネージャー] を選択します。
2. [卒業生] の横にある  をクリックして、[編集] を選択します。
3. [ページ] をクリックして、[新規ページ] を選択します。
4. [レコードページ] をクリックして、[次へ] をクリックします。
5. レコードページの表示ラベルを入力します。たとえば、「Alumni Record Page」(卒業生レコードページ) と入力します。
6. [オブジェクト] 項目で、[取引先] を検索して選択します。
7. [ページテンプレートを選択] で、[3 つの範囲] を選択し、[完了] をクリックします。

個人取引先のリレーショングラフの設定

取引先レコードページで利用できる Actionable Relationship Center でリレーショングラフを設定します。

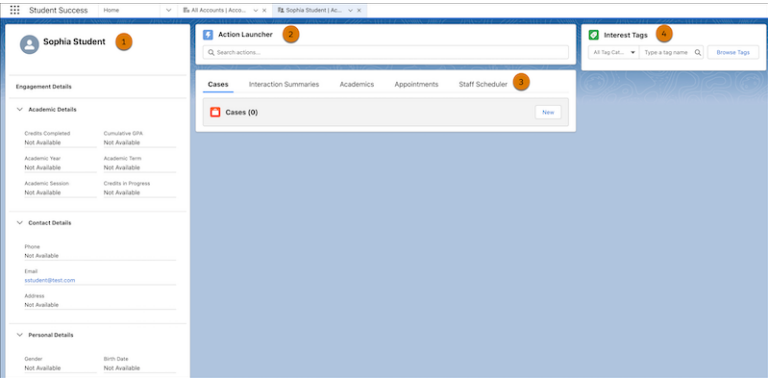
1. [設定] で、[クイック検索] ボックスに「取引先設定」と入力し、[取引先設定] を選択します。
2. [編集] をクリックします。
3. [取引先責任者を複数の取引先に関連付けることをユーザーに許可] をオンにして、変更内容を保存します。

- 4. [クイック検索] ボックスに「グループメンバー設定」と入力し、[グループメンバー設定] を選択します。
- 5. グループメンバーシップを有効化します。
- 6. [クイック検索] ボックスに「Actionable Relationship Center」と入力し、[Actionable Relationship Center] を選択します。
- 7. [新規リレーショングラフ] をクリックします。
- 8. [Education Cloud 個人取引先リレーション] を選択して、[グラフを作成] をクリックします。
- 9. 表示ラベルと API 参照名を入力して、変更内容を保存します。

取引先レコードページへのコンポーネントの追加

Lightning Web コンポーネントを学生取引先レコードページと卒業生取引先レコードページに追加して設定します。

学生レコードページ



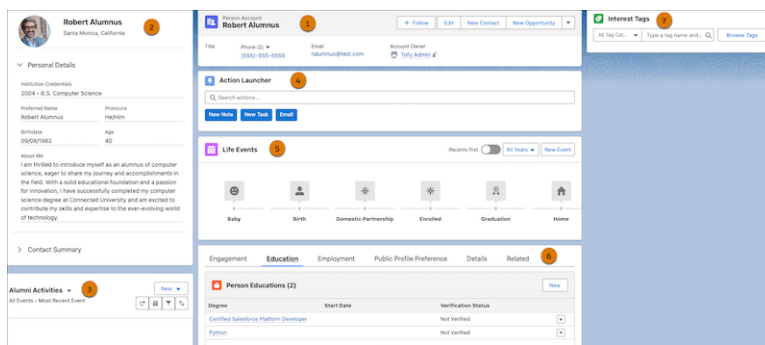
Lightning アプリケーションビルダー

で学生取引先レコードページを開いて、次のコンポーネントをページに追加します。

コンポーネント	設定手順
学生プロフィール Flexcard (1)	1. [Flexcard] コンポーネントを左列にドラッグします。 2. [Flexcard 名] メニューで [EDUStudentProfileCard] を選択します。
アドバイスセンター Flexcard (1)	1. [Flexcard] コンポーネントを学生プロフィール Flexcard の下または目的の場所にドラッグします。 2. [Flexcard 名] メニューで [EDUStuSuccessAdvisingCenter] を選択します。
タイムライン (1)	[タイムライン] コンポーネントを学生プロフィール Flexcard コンポーネントまたはアドバイスセンター Flexcard コンポーネントの下に左列にドラッグします。

コンポーネント	設定手順
アクションランチャー (2)	1. [アクションランチャー] コンポーネントを中央列にドラッグします。 2. アクションをレコードページに関連付けるには、アクションランチャーリリースを作成します。
タブ (3)	1. [タブ] コンポーネントを中央列にドラッグします。 2. 次のタブを設定します。 a. ケース b. インタラクション概要 c. 教育 d. 予定 e. Staff Scheduler (スタッフスケジューラー)
ケース (3)	1. [ケース] タブを選択します。 2. ケース用の [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加して設定します。
インタラクション概要 (3)	1. [インタラクション概要] タブを選択します。 2. [インタラクション概要] コンポーネントを追加します。
教育 (3)	1. [教育] タブを選択します。 2. 学期登録用の [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加して設定します。
予定 (3)	1. [予定] タブを選択します。 2. 予定用の [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加して設定します。
Staff Scheduler (スタッフスケジューラー) (3)	1. [Staff Scheduler (スタッフスケジューラー)] タブを選択します。 2. [スタッフの予定のスケジュール] コンポーネントを追加します。
関心タグ (4)	[関心タグ] コンポーネントを右列にドラッグします。

卒業生レコードページ



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

コンポーネント	設定手順
強調表示パネル (1)	[強調表示パネル] コンポーネントを中央列にドラッグします。
卒業生プロフィールカード (2)	[Flexcard] コンポーネントを左列にドラッグします。 [Flexcard 名] メニューで [EDUAlumniProfile] を選択します。
タイムライン (3)	[タイムライン] コンポーネントを [卒業生プロフィール] カードの下に左列にドラッグします。 [タイムライン設定] では、[卒業生活動] を選択します。 [OK] をクリックします。
アクションランチャー (4)	[アクションランチャー] コンポーネントを [強調表示パネル] の下の中央列にドラッグします。 - アクションをレコードページに関連付けるには、アクションランチャーリリースを作成します。
ライフイベント (5)	[イベントとマイルストーン] コンポーネントを [アクションランチャー] の下の中央列にドラッグします。
タブ (6)	[タブ] コンポーネントを [ライフイベント] コンポーネントの下に中央列にドラッグします。 - 次のタブを設定します。 - エンゲージメント - リレーション - 教育 - 雇用 - 詳細 - Portal Profile Preference (ポータルプロフィール設定) - 関連
エンゲージメント (6)	[エンゲージメント] タブを選択します。 [Flexcard] コンポーネントを追加し、名前には [ServiceExcellenceGenericAlertCard] を選択します。 [Maximum Number of Alerts (1-20) (アラートの最大数 (1-20))] には「3」と入力します。 [Flexcard] コンポーネントの下に [動的関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加します。 [関連リスト] では [ケース] を選択します。 [関連リスト種別] では [リスト] を選択します。 [表示するレコード数] には「3」と入力します。

コンポーネント	設定手順
リレーション (6)	1. [リレーション] タブを選択します。 2. [ARC リレーショングラフ] コンポーネントを追加します。
教育 (6)	1. [教育] タブを選択します。 2. [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加します。 3. [関連リスト] では [学歴] を選択します。 4. [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加します。 5. [関連リスト] では [個人学業資格] を選択します。
雇用 (6)	1. [雇用] タブを選択します。 2. [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加します。 3. [関連リスト] では [個人の雇用] を選択します。
詳細 (6)	1. [詳細] タブをクリックします。 2. [レコードの詳細] コンポーネントを追加します。
Portal Profile Preference (ポータルプロフィール設定) (6)	1. [Portal Profile Preference (ポータルプロフィール設定)] タブを選択します。 2. [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加します。 3. [関連リスト] では [個人公開プロフィール設定セット] を選択します。 4. [関連リスト種別] では [拡張リスト] を選択します。
関連 (6)	1. [関連] タブを選択します。 2. [関連リスト] コンポーネントを追加します。
関心タグ (7)	[関心タグ] コンポーネントを右列にドラッグします。

レコードページの有効化

ページを設定したら、そのページを学生サクセスアプリケーションと Alumni Relations アプリケーションのデフォルトのレコードページにします。

関連情報:

- [Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページでのタブの追加とカスタマイズ](#)
- [教職員、スタッフ、学生、卒業生のモデル化](#)
- [Salesforce でタイムラインを使用して行動を表示](#)
- [アクションランチャーのリリースの作成](#)
- [関連リスト - 1 つ](#)
- [Lightning Experience のレコードページの有効化](#)

申込決定レコードページの設定

Education Cloud で申込決定オブジェクトのレコードページを設定します。

表 51 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込決定レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

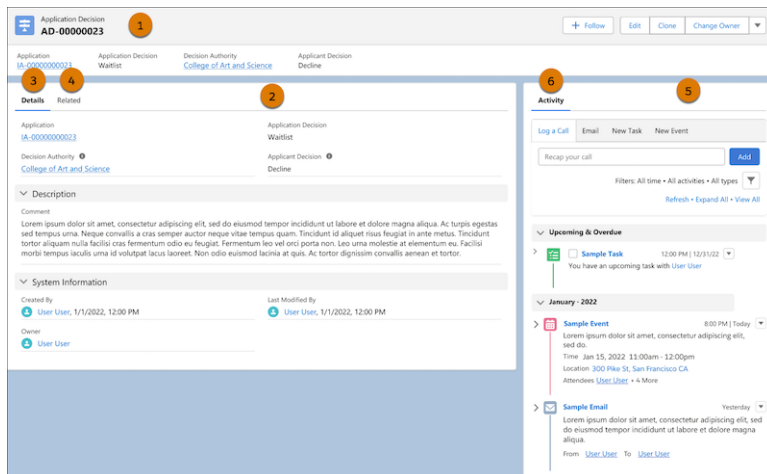
Lightning アプリケーションビルダーで申込決定オブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを申込決定レコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。

- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。[「Lightning Experience のレコードページの有効化」](#)を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [申込決定] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[申込決定レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

申込レビューレコードページの設定

Education Cloud で申込レビューオブジェクトのレコードページを設定します。

表 52 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込レビューレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

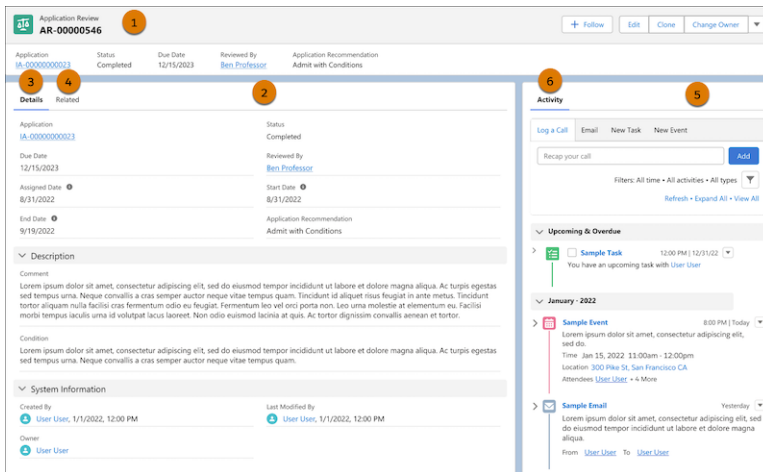
Lightning アプリケーションビルダーで申込レビューオブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを申込レビューレコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内

容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [申込レビュー] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[申込レビューレイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

申込タイムラインレコードページの設定

Education Cloud で申込タイムラインオブジェクトのレコードページを設定します。

表 53 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込タイムラインレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

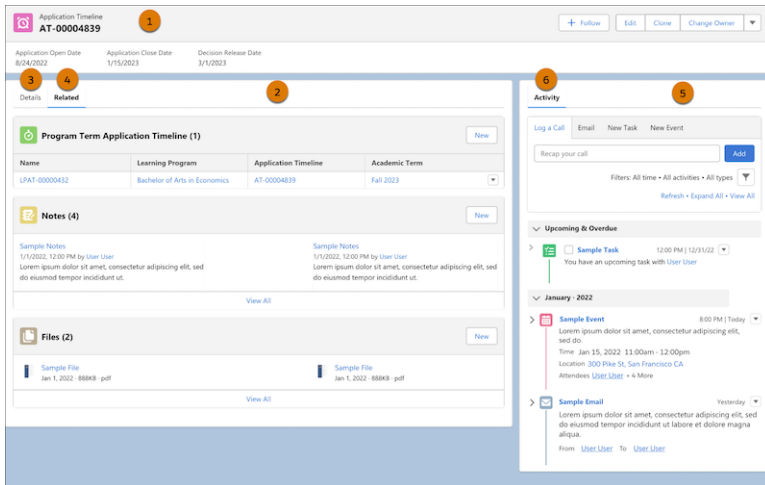
Lightning アプリケーションビルダーで申込タイムラインオブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを申込タイムラインレコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。[「Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ」](#)を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、活動コンポーネント (6) を追加します。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。[「Lightning Experience のレコードページの有効化」](#)を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [申込タイムライン] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[申込タイムライン] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

アドバイス用のケースレコードページの設定

アドバイス用の学生サクセスのケースレコードページを設定します。

表 54 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
ケースレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および アプリケーションのカスタマイズ

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] を見つけて選択します。
2. ドロップダウンナビゲーションメニューで [ケース] を選択します。
3. リストから、レコードページを表示するケースをクリックします。
4. [設定] をクリックして、[ページを編集] をクリックします。
5. Lightning アプリケーションビルダーで、予定、ToDo、およびレコードアラート用のタブを追加します。
 - a. プロパティを表示するタブコンポーネントをクリックします。
 - b. 右側のタブプロパティで [タブを追加] をクリックします。
 - c. 新しいタブをクリックして、タブの表示ラベルを [予定] として選択します。ドロップダウンで特定の表示ラベルを使用できない場合は、[カスタム] を選択して表示ラベルを入力します。
 - d. [レコードアラート] と [ToDo] でステップ A ~ C を繰り返します。

6. 今後の予定、進行中の予定、および完了した予定用の動的関連リストを [予定] タブの下に追加します。
 - a. 左側の [コンポーネント] で [タブ] を見つけて [予定] タブの下にドラッグします。
 - b. タブプロパティで [今後]、[進行中]、および [完了] の各タブを追加します。
 - c. [コンポーネント] で [動的関連リスト - 1 つ] を見つけて [今後] タブの下にドラッグします。
 - d. 右側のリストプロパティの [関連リスト] で [サービス予定] を見つけて選択します。
 - e. [関連リストの検索条件] で [検索条件を追加] をクリックして、今後の予定を表示するために必要な検索条件を追加して設定します。
 - f. [アクション] で [新規] を削除します。
 - g. [進行中] タブと [完了] タブでステップ C ~ F を繰り返します。
7. ステップ 6 を繰り返して、今後のレコードアラート、進行中のレコードアラート、および完了したレコードアラート用の動的関連リストを [レコードアラート] タブの下に追加します。
8. 活動予定用の関連リストを [ToDo] タブに追加します。
 - a. [コンポーネント] で [関連リスト - 1 つ] を見つけて、[ToDo] タブの下にドラッグします。
 - b. 右側のリストプロパティの [関連リスト] で [活動予定] を見つけて選択します。「[デフォルトの活動ビューの設定](#)」を参照してください。
9. [コンポーネント] で [アクションランチャー] を見つけて、目的の場所にドラッグします。設定手順についての詳細は、「[アクションランチャー](#)」を参照してください。
10. [保存] をクリックします。

開講科目関係者レコードページの設定

Education Cloud で開講科目関係者オブジェクトのレコードページを設定します。

表 55 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
開講科目関係者レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

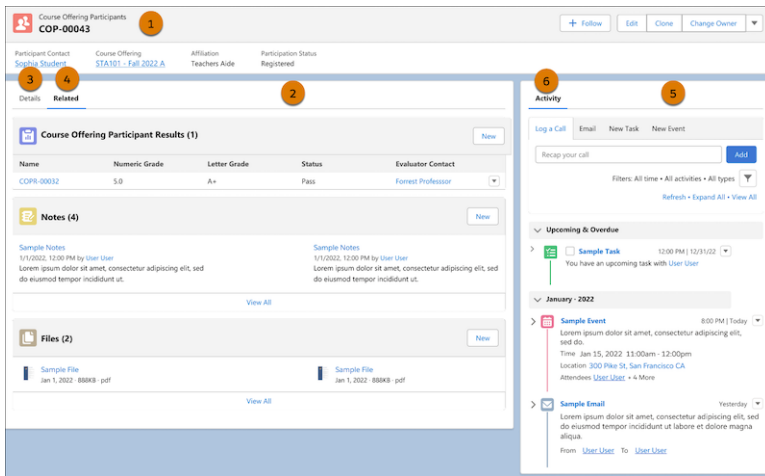
Lightning アプリケーションビルダーで開講科目関係者オブジェクトのレコードページを作成します。

「[Create and Configure Lightning Experience Record Pages \(Lightning Experience レコードページの作成と設定\)](#)」を参照してください。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを開講科目関係者レコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。登録者数と待機リスト数は、[関係者の状況]項目と[待機リスト]項目のカスタム選択リスト値を認識しません。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
 - [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
 - [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
 - [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [開講科目関係者] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[開講科目関係者レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

開講科目関係者の結果レコードページの設定

Education Cloud で開講科目関係者の結果オブジェクトのレコードページを設定します。

表 56 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
開講科目関係者の結果レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

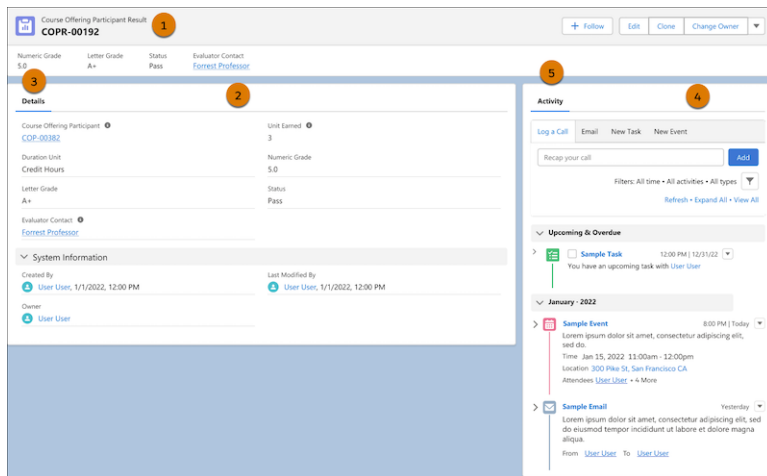
Lightning アプリケーションビルダーで開講科目関係者の結果オブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを開講科目関係者の結果レコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、レコード詳細コンポーネントを追加します。[関連] タブ (3) を忘れずに削除してください。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (4)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (5)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。

2. **【開講科目関係者の結果】**を選択します。
3. **【ページレイアウト】**をクリックし、**【開講科目関係者の結果レイアウト】**をクリックします。
4. **【関連リスト】**をクリックし、**【メモ & 添付ファイル】**を削除します。
5. 変更内容を保存します。

開講科目スケジュールレコードページの設定

Education Cloud で開講科目スケジュールオブジェクトのレコードページを設定します。

表 57 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
開講科目スケジュールレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで開講科目スケジュールオブジェクトのレコードページを作成します。

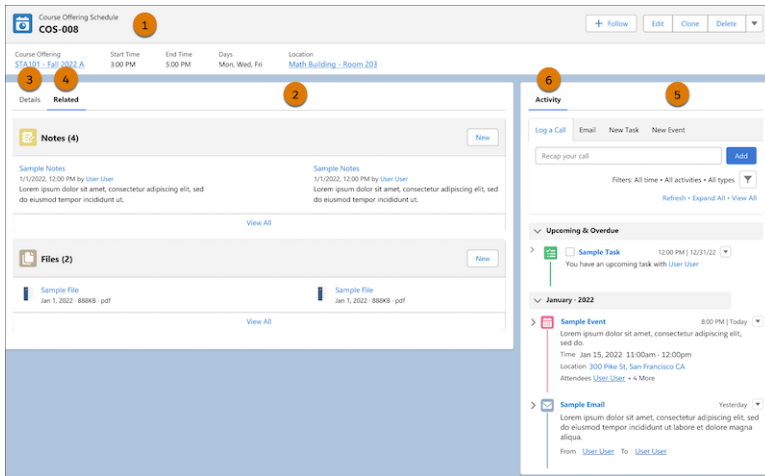
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、ページにコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを開講科目スケジュールレコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。[「Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ」](#)を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。[「Lightning Experience のレコードページの有効化」](#)を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。

2. **【開講科目スケジュール】**を選択します。
3. **【ページレイアウト】**をクリックし、**【開講科目スケジュールレイアウト】**をクリックします。
4. **【関連リスト】**をクリックし、**【メモ & 添付ファイル】**を削除します。
5. 変更内容を保存します。

開講科目スケジュールテンプレートレコードページの設定

Education Cloud で開講科目スケジュールテンプレートオブジェクトのレコードページを設定します。

表 58 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
開講科目スケジュールテンプレートレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで開講科目スケジュールテンプレートオブジェクトのレコードページを作成します。

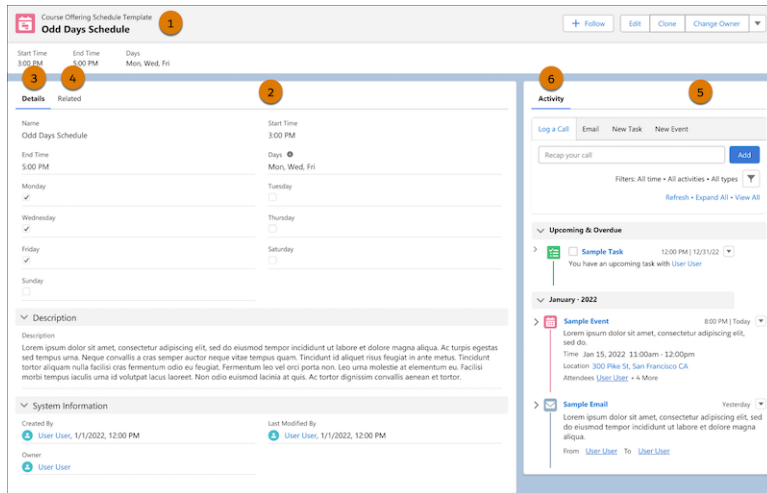
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに進んでコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを開講科目スケジュールテンプレートレコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内

容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [開講科目スケジュールテンプレート] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[開講科目スケジュールテンプレートレイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学習者プログラムレコードページの設定

Education Cloud で学習者プログラムオブジェクトのレコードページを設定します。

表 59 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習者プログラムレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

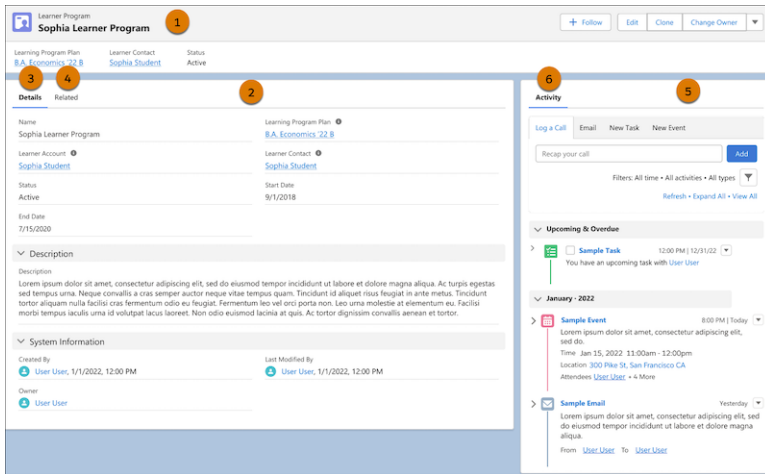
Lightning アプリケーションビルダーで学習者プログラムオブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習者プログラムレコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。

2. [学習者プログラム] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習プログラムレイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学習者プログラム要件レコードページの設定

Education Cloud で学習者プログラム要件オブジェクトのレコードページを設定します。

表 60 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習者プログラム要件レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

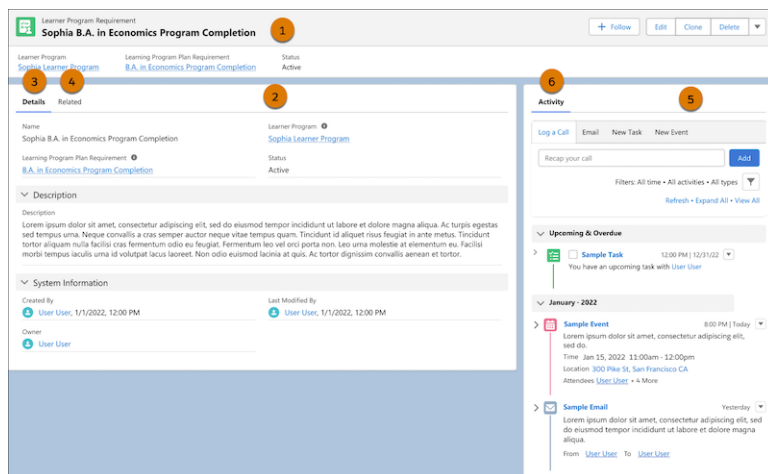
Lightning アプリケーションビルダーで学習者プログラム要件オブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習者プログラム要件レコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内

容を保存して次のセクションに進みます。

**注意**

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。[「Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ」](#)を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。[「Lightning Experience のレコードページの有効化」](#)を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学習者プログラム要件] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習者プログラム要件レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学習レコードページの設定

Education Cloud で学習オブジェクトのレコードページを設定します。

表 61 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

学習レコードページを設定する

Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学習オブジェクトのレコードページを作成します。

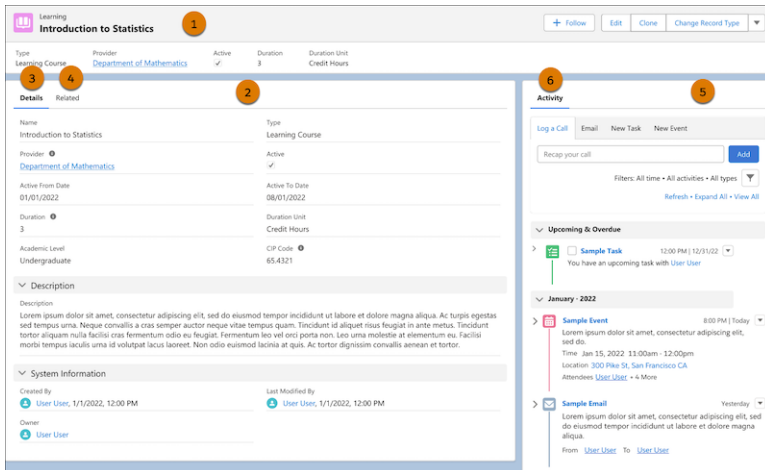
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに進んでコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習レコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内

容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、関連リストコンポーネント (4) を追加します、

- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学習] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学習実績レコードページの設定

Education Cloud で学習実績オブジェクトのレコードページを設定します。

表 62 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習実績レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学習実績オブジェクトのレコードページを作成します。

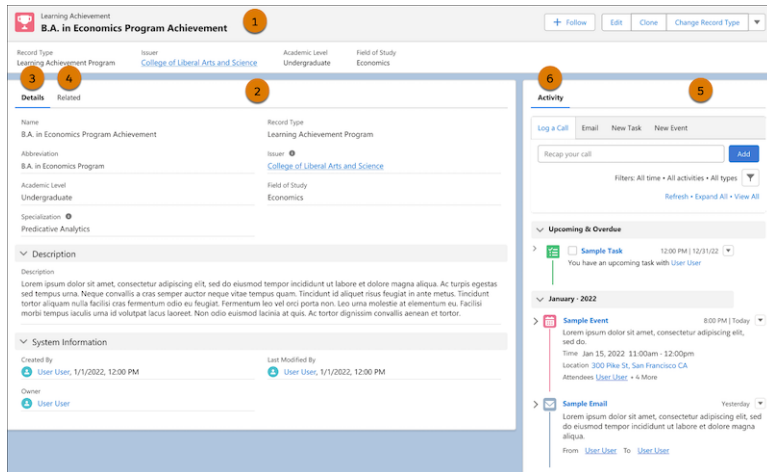
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに直接移動します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習実績レコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。[「Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ」](#)を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、関連リストコンポーネント (4) を追加します
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。[「Lightning Experience のレコードページの有効化」](#)を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学習実績] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習実績レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学習科目レコードページの設定

Education Cloud で学習科目オブジェクトのレコードページを設定します。

表 63 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習科目レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および アプリケーションのカスタマイズ

レコードページの作成

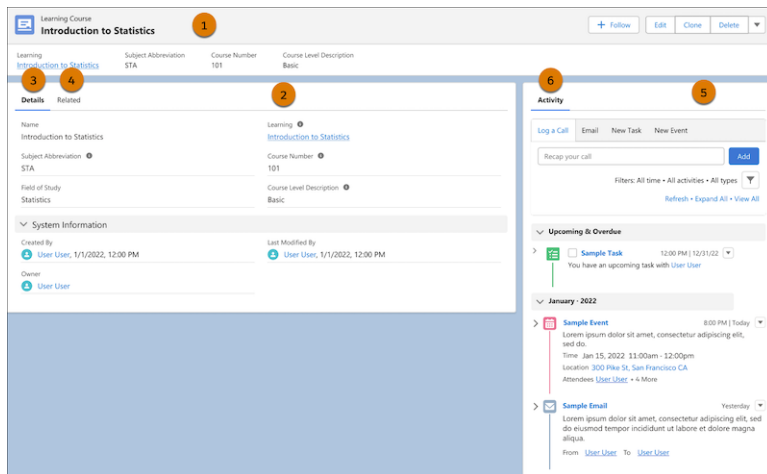
Lightning アプリケーションビルダーで学習科目オブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

学習科目レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習科目レコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動、メモ、ファイルを表示します。

このスクリーンショットで示しているように、コンポーネントを追加します。



注意

コンポーネントをレコードページに追加する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

1. [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
2. [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
3. [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
4. [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
5. [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。タブ名を「活動」および「メモ & ファイル」に変更します (5)。
6. [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。
7. [メモ & ファイル] をクリックして、[関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加します (7)。[関連リスト] では [メモ] を選択します。
8. [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを [メモ] の下に追加します (7)。[関連リスト] では [ファイル] を選択します。
9. 作業内容を保存します。

学習科目ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

メモの有効化

レコードページに [メモ] 関連リストを表示するには、メモを有効にします。

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「メモ」と入力し、[メモの設定] を選択します。

2. [メモを有効化] を選択します。
3. 変更内容を保存します。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学習科目] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習科目レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

学習の基礎項目レコードページの設定

Education Cloud で学習の基礎項目オブジェクトのレコードページを設定します。

表 64: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習の基礎項目レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学習の基礎項目オブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、ページにコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習の基礎レコードページに追加して、特長と詳細を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Add and Customize Tabs on Lightning Pages Using the Lightning App Builder \(Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページへのタブの追加とカスタマイズ\)](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします。[関連] タブ (2) を忘れずに削除してください。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。

「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

学習結果項目レコードページの設定

Education Cloud で学習結果オブジェクトのレコードページを設定します。

表 65 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習結果項目レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学習結果項目オブジェクトのレコードページを作成します。

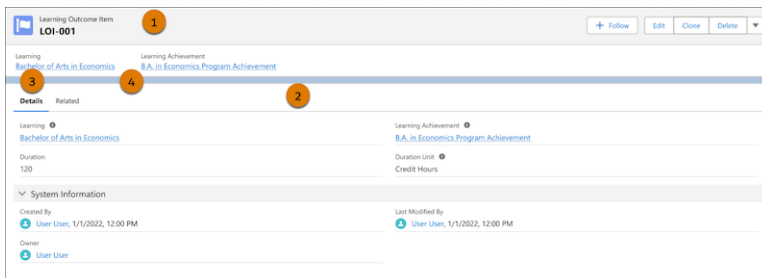
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに進んでコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習結果項目レコードページに追加して、詳細と関連リストを表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内

容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。

ページ設定の仕上げ

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学習結果項目] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習結果項目レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学習プログラムレコードページの設定

Education Cloud で学習プログラムオブジェクトのレコードページを設定します。

表 66 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習プログラムレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および アプリケーションのカスタマイズ

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学習プログラムプラン要件オブジェクトのレコードページを作成します。

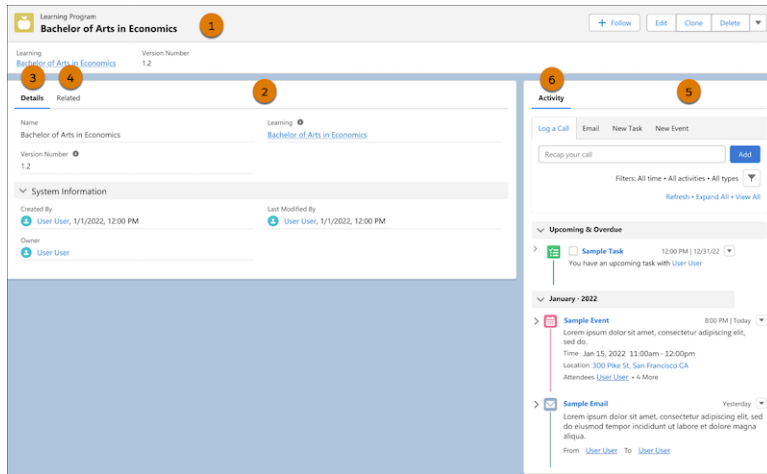
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに進んでコンポーネントを追加します。

学習プログラムレコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習プログラムレコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動、メモ、ファイルを表示します。

このスクリーンショットで示しているように、コンポーネントを追加します。



注意

コンポーネントをレコードページに追加する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

1. [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
2. [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
3. [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
4. [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
5. [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。タブ名を「活動」および「メモ & ファイル」に変更します (5)。
6. [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。
7. [メモ & ファイル] をクリックして、[関連リスト - 1 つ] コンポーネントを追加します (7)。[関連リスト] では [メモ] を選択します。
8. 別の [関連リスト - 1 つ] コンポーネントを [メモ] の下に追加します (7)。[関連リスト] では [ファイル] を選択します。
9. 作業内容を保存します。

学習プログラムページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

メモの有効化

レコードページに [メモ] 関連リストを表示するには、メモを有効にします。

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「メモ」と入力し、[メモの設定] を選択します。
2. [メモを有効化] を選択します。
3. 変更内容を保存します。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学習プログラム] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習プログラムレイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。[「Lightning Experience のレコードページの有効化」](#)を参照してください。

学習プログラムプランレコードページの設定

Education Cloud で学習プログラムプランオブジェクトのレコードページを設定します。

表 67: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習プログラムプランレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学習プログラムプランオブジェクトのレコードページを作成します。

[「Lightning Experience レコードページの作成および設定」](#)を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに進んでコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習プログラムプランレコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。

コンポーネントを追加したら、変更内

容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [学習プログラムプラン] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習プログラムプランレイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

学習プログラムプラン要件レコードページの設定

Education Cloud で学習プログラムプラン要件オブジェクトのレコードページを設定します。

表 68 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習プログラムプラン要件レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで学習プログラムプラン要件オブジェクトのレコードページを作成します。

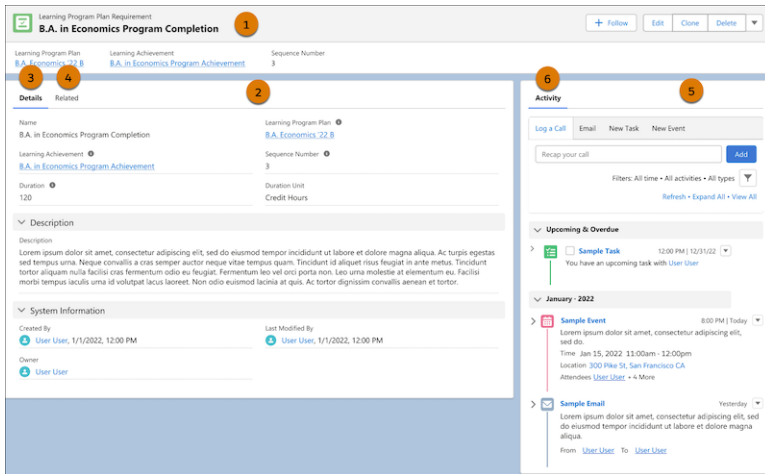
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに進んでコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントを学習プログラムプラン要件レコードページに追加して、詳細、関連リスト、活動を表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。
- [タブ] コンポーネントを右列にドラッグします。いずれかのタブを削除して、残りのタブ名を「活動」に変更します (5)。
- [活動] をクリックして、[活動] コンポーネントを追加します (6)。

ページ設定の仕上げ

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。

2. [学習プログラムプラン要件] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[学習プログラムプラン要件レイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

プログラム学期申込タイムラインのレコードページの設定

Education Cloud でプログラム学期申込タイムラインオブジェクトのレコードページを設定します。

表 69 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
プログラム学期申込タイムラインのレコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーでプログラム学期申込タイムラインオブジェクトのレコードページを作成します。

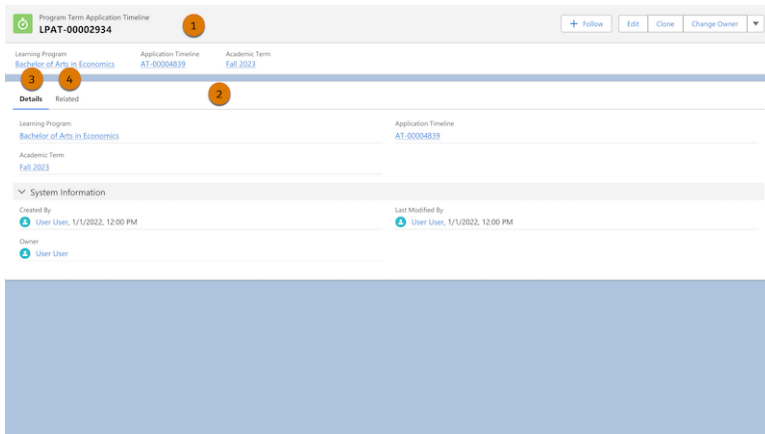
「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに進んでコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントをプログラム学期申込タイムラインレコードページに追加して、特長、詳細、関連リストを表示します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。「[Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ](#)」を参照してください。

- [強調表示パネル] コンポーネントを一番上のセクションにドラッグします (1)。
- [タブ] コンポーネントを左列にドラッグします (2)。
- [詳細] をクリックして、[レコードの詳細] コンポーネントを追加します (3)。
- [関連] をクリックして、[関連リスト] コンポーネントを追加します (4)。

ページ設定の仕上げ

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [プログラム学期申込タイムライン] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[プログラム学期申込タイムラインレイアウト] をクリックします。
4. [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。

5. 変更内容を保存します。

プロスペクト学生レコードページの設定

Education Cloud で取引先 (個人取引先) オブジェクトのプロスペクト学生レコードページを設定します。

表 70 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
プロスペクト学生レコードページを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

レコードページの作成

Lightning アプリケーションビルダーで取引先オブジェクトのレコードページを作成します。

「[Lightning Experience レコードページの作成および設定](#)」を参照してください。

ページを作成したら、次のセクションに進んでコンポーネントを追加します。

レコードページへのコンポーネントの追加

Lightning Web コンポーネントをプロスペクト学生レコードページに追加して設定します。

このテンプレートで示しているように、コンポーネントを追加します。



注意

このテンプレートを複製する場合は一部のタブをカスタマイズする必要があります。[「Lightning アプリケーションビルダーを使用した Lightning ページのタブの追加とカスタマイズ」](#)を参照してください。

- Flexcard コンポーネント (1) を左にドラッグして、Flexcard 名として EDUAdmissionsPersonProfileCard と入力します。
- タイムラインコンポーネント (2) を左 (Flexcard の下) にドラッグします。コンポーネントを表示できない場合は、[「タイムラインの設定」](#)を参照してください。

- アクションランチャーコンポーネント (3) を一番上のセクションにドラッグします。このコンポーネントを設定するには、「[アクションランチャー](#)」を参照してください。
- タブコンポーネント (4) をアクションランチャーの下にドラッグします。右にあるコンポーネントプロパティで、これらのタブを作成して次のように設定します。
 - 詳細: ここでは、レコードの詳細コンポーネントを追加して設定します。「[レコードの詳細](#)」を参照してください。
 - 関連: ここでは、関連リストコンポーネントを追加して設定します。「[レコード関連リスト](#)」を参照してください。
 - 予定をスケジュール: ここでは、Flexcard コンポーネントを追加し、Flexcard 名を `EDUSchedulerScheduleAppointment` として設定します。
 - Engage (エンゲージ): ここでは、アクション可能リストエンゲージメントコンポーネントを追加して設定します。「[アクション可能リストエンゲージメント](#)」を参照してください。
- Flexcard コンポーネント (5) を右にドラッグして、Flexcard 名として `EDUAdmissionsRFIListFromAccountContainer` と入力します。
- アクション & おすすめコンポーネント (6) を右 (Flexcard の下) にドラッグします。

コンポーネントを追加したら、変更内容を保存して次のセクションに進みます。

ページ設定の仕上げ

レコードページの設定を完了して、有効化します。

レコードページの有効化

ページを設定したら、ユーザーに表示されるようにします。「[Lightning Experience のレコードページの有効化](#)」を参照してください。

ページレイアウトの編集

重複を防止するために、[関連リスト] コンポーネントから [メモ & 添付ファイル] を削除することをお勧めします。

1. [設定] から、[オブジェクトマネージャー] をクリックします。
2. [取引先] を選択します。
3. [ページレイアウト] をクリックし、[取引先レイアウト] をクリックします。
4. [取引先レイアウト] の下にある [関連リスト] をクリックし、[メモ & 添付ファイル] を削除します。
5. 変更内容を保存します。

教育ポータルの設定

エクスペリエンスビルダーを使用して、さまざまな学習者に合わせて調整されたセルフサービスサイトを提供します。ポータルをブランド設定し、すぐに使用できる、またはカスタムの Lightning コンポーネント、レイアウト、テーマを追加します。

表 71 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

[教育ポータル] テンプレートを使用すると、1 つの Experience Cloud サイトでさまざまな対象者にサービスを提供できます。ポータルユーザーが必要な機能のみにアクセスできるようにするため、利用者と権限セットを使用してコンポーネントの表示を制御できます。申込者、学生、卒業生、さらには重複する役割を持つ学習者も、1 回のログインを使用して、機関とのエンゲージメントに必要なほぼすべてのものにアクセスできます。たとえば、次の学位に申し込む学生と学習の継続に申し込む卒業生は、同じポータルですべての活動を管理できます。

対象者はポータルを使用して、機関への登録、科目やプログラムへの申込、申込の追跡と管理、情報の要求の提出、予定のスケジュール、卒業生ディレクトリの検索、その他の ToDo を完了できます。

[教育ポータル] テンプレートには便宜上教育固有のコンポーネントが含まれていますが、ポータルを最初から構築することもできます。「[Experience Cloud サイトの構築とカスタマイズ](#)」を参照してください。

「Education Cloud for Experience Cloud のアクセス権」権限セットをユーザーに割り当てて、ユーザーにポータルへのアクセス権を付与します。

[教育ポータル] テンプレートには、申込者、学生、卒業生、およびこれらの役割のさまざまな組み合わせをサポートするように設計されたコンポーネントが付属しています。機関のプロセスや対象者のニーズに基づいて、ページとコンポーネントを設定し、それらへのアクセスを制御できます。次のタブは、デフォルトでテンプレートで使用できます。

- ホーム: 作成された申込と、申込者によって提出された情報の要求 (RFI)、および ToDo と予定のリストを表示するタブが含まれます。
- 申込: 状況や詳細を含めて、ポータルユーザーが作成した申込が一覧表示されます。ポータルユーザーはここから新たな申込を開始することもできます。
- 情報の要求: 状況や詳細を含めて、申込者が提出した RFI が一覧表示されます。
- 予定: ポータルユーザーとスタッフメンバーの間でスケジュールされている予定が一覧表示されます。ポータルユーザーはここから予定をスケジュールすることもできます。

- **サクセスチーム:** サクセスチームメンバーの連絡先情報と、ポータル ユーザーに割り当てられたその他のサポートリソースを表示する 2 つのタブが含まれます。ポータルユーザーは、ここからリソースを検索したり、予定をスケジュールしたりできます。
- **支援プログラム:** ポータルユーザーが支援プログラムを検索し、登録しているプログラムの詳細を表示できる 2 つのタブが含まれます。
- **学習プログラム:** ポータルユーザーの学習プログラムプランが一覧表示されます。
- **卒業生プロフィール:** ポータルユーザーが個人情報を入力して独自のプロフィールを作成できる項目が表示されます。
- **ディレクトリ:** 公開プロフィールの検索可能なリストが含まれます。

教育ポータルの作成

申込者、学生、および卒業生が機関のサービスにアクセスするためのポータルを作成します。

表 72 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
教育ポータルを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権



注意

Experience Cloud サイトを作成するには、組織でデジタルエクスペリエンスを有効にして、ドメインを登録する必要があります。[「デジタルエクスペリエンスの有効化」](#)を参照してください。

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで、[デジタルエクスペリエンス] にある [すべてのサイト] を検索して選択します。
2. [デジタルエクスペリエンス] ページで、[新規] をクリックします。
3. Lightning Experience ガイド付きフローで、[教育ポータル] テンプレートを選択します。または、[Build Your Own] を選択してカスタムサイトを開発できます。
4. [使用開始] をクリックします。
5. サイトの名前を指定して、[作成] をクリックします。
6. 機能のカスタマイズや追加にはエクスペリエンスビルダーを使用します。[「エクスペリエンスビルダーを使用したサイトのカスタマイズ」](#)を参照してください。

教育ポータルへのユーザーの追加

ライセンス、プロファイル、権限をスタッフメンバーと学習者に割り当てることで、Education Cloud エクスペリエンスサイトへのアクセス権を付与します。

表 73 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud エクスペリエンスサイトにユーザーを追加する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[取引先] を見つけて選択します。
2. 取引先をクリックします。
3. 取引先の取引先責任者関連リストで、サイトに追加する個人の取引先責任者レコードを表示または追加します。
4. 取引先責任者の詳細ページで、 をクリックして、[カスタマーユーザーを有効化] を選択します。一部の詳細が事前に入力された状態でユーザーレコードが作成されます。「[Experience Cloud サイトユーザーの作成](#)」を参照してください。
5. [新規ユーザー] ページで、Experience Cloud サイトへのアクセス権利を付与するために作成したプロファイルを選択します。「[ユーザープロファイルへのデフォルトエクスペリエンスの割り当て](#)」を参照してください。
6. 必要に応じて他の項目を入力し、変更を保存します。
7. ユーザーに適切な権限が付与されていることを確認します。「[エクスペリエンスサイトユーザーの権限セットの検証](#)」を参照してください。
8. ユーザーのケースレコードを作成します。「[ケースの作成と割り当ての自動化](#)」を参照してください。
9. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「すべてのサイト」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
10. ユーザーの追加先のサイトの横にある [ワークスペース] をクリックします。
11. [管理] をクリックし、[メンバー] をクリックします。
12. アクセス権を付与するために作成したプロファイルをエクスペリエンスサイトに追加し、変更を保存します。
13. 左側のパネルで [設定] をクリックし、[有効化] をクリックします。
14. [OK] をクリックして確定します。

教育ポータルへのアクセス管理

権限セット、システム権限、利用者を組み合わせて使用して、ユーザーロールごとにポータルのアクセス権と表示を制御できます。権限セットはアクセス権を付与し、役割別にポータルユーザーをグループ化します。システム権限は利用者に権限セットを結び付け、利用者は各ポータルページとコンポーネントにアクセスできるポータルユーザーグループを決定します。

Education Cloud には、申込者、学生、および卒業生ユーザーを定義するためのシステム権限が含まれています。対象者はこれらの権限を 1 つ以上持つことができます。

ポータルユーザーを整理するための権限セット

まだ作成していない場合は、教育ポータルユーザーの権限セットを作成します。

「[権限セットの作成](#)」および「[権限セットの割り当ての管理](#)」を参照してください。たとえば、申込者用に 1 つ、学生用に 1 つ、卒業生用に 1 つの権限セットを作成できます。

権限セットは、対象者がポータルでコンポーネントを使用できるようにオブジェクトおよび項目の権限を割り当てる手段の 1 つです。権限セットを使用して、ポータルにアクセス権を付与することもできます。

すべての教育ポータルユーザーには、「Education Cloud for Experience Cloud ユーザー」権限セットライセンスが必要です。この権限セットにより、使用事例に応じて、ポータルの項目に対する参照アクセス権と編集アクセス権の組み合わせがユーザーに付与されます。システム権限と利用者の組み合わせは、役割に基づいて対象者のエクスペリエンスを調整するのに役立ちます。



重要

Education Cloud の標準システム権限セットにより、ユーザーが該当するポータル要素にアクセスして作業をするために必要な適切なアクセス権が付与されます。オブジェクトや項目に対するアクセス権を追加または削除するには、「[プロフィールでのオブジェクト権限の編集](#)」および「[権限セットとプロフィールでの項目権限の設定](#)」を参照してください。

ポータルユーザーに権限セットを割り当てた後は、権限セットを使用してポータルへのアクセス権を付与します。「[Experience Cloud サイトへのメンバーの追加](#)」を参照してください。

ポータルユーザー権限セットへのシステム権限の割り当て

システム権限は、ユーザー権限および利用者と連携してポータルへのアクセスを管理します。

表 74: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
ポータルユーザー権限セットにシステム権限を割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権

ポータルへのアクセス方法に基づいてユーザーに割り当てることができる 3 つのシステム権限があります。

- 卒業生コミュニティページ: 卒業生固有のコンポーネントとページへのアクセス権を付与します。
- 申込者コミュニティページ: 申込者固有のコンポーネントとページへのアクセス権を付与します。
- 学生コミュニティページ: 学生固有のコンポーネントとページへのアクセス権を付与します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. システム権限を適用する権限セットの名前をクリックします。
3. [システム権限] をクリックします。
4. [編集] をクリックして、適切なシステム権限を有効にします。
5. 変更内容を保存します。
6. 同様に、システム権限を適用する他の権限セットを割り当てます。

利用者を使用した教育ポータル要素へのアクセスの制御

[教育ポータル] テンプレートには、デフォルトで申込者、学生、および卒業生コンポーネントが含まれています。すべてのポータルユーザーにカスタマイズされた関連性の高いエクスペリエンスを提供するために、ポータルページとコンポーネントを特定の利用者のみに表示できます。

表 75: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

教育ポータル要素へのアクセスを制御する

Education Cloud の完全なアクセス権

次の手順では、エクスペリエンスビルダーの [利用者を割り当て] ウィンドウから開くことができる [新規利用者] ウィンドウで利用者を作成する方法を示しています。ページバリエーション、ブランドセット、またはコンポーネントから [利用者を割り当て] ウィンドウにアクセスできます。これらの異なる場所から [利用者を割り当て] ウィンドウと [新規利用者] ウィンドウに移動する方法については、次のリソースを参照してください。

- [ブランドセットへの利用者の割り当て](#)
 - [コンポーネントへの利用者の割り当て](#)
 - [コンポーネントバリエーションへの利用者の割り当て](#)
 - [ページバリエーションへの利用者の割り当て](#)
1. [利用者を割り当て] ウィンドウで、[新規利用者] をクリックします。
 2. 利用者名を入力します。
 3. [条件種別] で、[権限] を選択します。次に [標準] をクリックします。

- 4. 該当するシステム権限を持つユーザーを利用者に含めるには[卒業生コミュニティページ]、[申込者コミュニティページ]、または [学生コミュニティページ] を選択します。

New Audience

Define criteria for your audience. Then use the audience to control who sees what.

* Audience Name

Alumni

Audience Criteria

Audience Matches When

All Conditions Are Met

Criteria Type

Permission > Standard > |

Allows users to use clauses in Digital Experience ...

Allows users to use clauses within documents

Alumni Community Pages

Operator

Select Operator...

Value

Enter Value...

+ Add

API Enabled

API Only User

Cancel

Save

- 5. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
- 6. [値] で、[true] を選択します。
- 7. 変更内容を保存します。

関連トピック

[Aura サイトの利用者の作成](#)

教育ポータルセキュリティ

ポータルのセキュリティモデルを設計して実装します。

表 76 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
教育ポータルのセキュリティを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

ポータルセキュリティの基本

教育ポータルを設定する最初の手順は、機関に合うセキュリティモデルを作成することです。

組織の共有設定、権限セット、共有セットの組み合わせを使用して、ポータルセキュリティを調整できます。

**注意**

ポータルでは、申込者、学生、卒業生など、機関に勤めていない外部ユーザーのみをサポートします。セキュリティモデルがこれらのユーザーに対応することを確認してください。「[Experience Cloud サイトをゲストユーザーと安全に共有](#)」を参照してください。

ポータルユーザー設定

ポータルユーザーは組織内のユーザーである必要があり、Education Cloud for Experience Cloud ユーザーライセンスを持ちます。Education Cloud for Experience Cloud ユーザーライセンスでは、ロールを取引先に関連付ける必要があります。

ポータルで一度に 50,000 人を超えるユーザーをサポートする場合は、外部ユーザーの取引先ロールを最適化することを検討してください。「[取引先ロールの最適化によるパフォーマンスと拡張性の向上](#)」を参照してください。

ロールの最適化を有効にすると、同じ Salesforce ユーザーが所有する取引先に属すポータルユーザーがロールを共有します。ポータルユーザーが相互のレコードにアクセスできるようになるため、これを検討することで、ロールベースの共有がリスクにさらされることになります。取引先ロールを最適化することを計画する場合は、ロールベースの共有を使用しないことをお勧めします。

また、組織内のロールとコミュニティベースのユーザーの数を制限することも検討してください。「[Experience Cloud ユーザーライセンス](#)」を参照してください。

**注意**

コミュニティベースのライセンスは内部ユーザーに割り当てないでください。

アクション可能セグメンテーションを設定

対象を絞ったマーケティングを行うには、Education Cloud のインテリジェントなプロファイルセグメンテーションを使用します。

表 77 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

入学審査担当責任者は、プロファイルセグメンテーションの条件を定義し、プロファイルが類似しているプロスペクト学生のアクション可能リストを作成できます。これらのリストは、特定のプロファイルグループに対象を絞ったマーケティングを行うためにスタッフに割り当てることができます。

組織でアクション可能セグメンテーションを有効にするには、「[共通コンポーネントの設定](#)」を参照してください。

関連情報:

- [アクション可能セグメンテーション](#)

Education Cloud での OmniStudio の使用

Education Cloud で OmniStudio を使用する準備をします。

表 78 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud で OmniStudio を使用する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

Education Cloud の OmniStudio の前提条件

Education Cloud で OmniStudio を使用する準備をします。

表 79 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud で OmniStudio を使用する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

申込フォームをカスタマイズする前に、前提条件を完了していることを確認してください。

1. OmniStudio パッケージをインストールします。「[OmniStudio パッケージをインストールするための準備](#)」を参照してください。
2. OmniStudio 管理者権限セットライセンスを自分に割り当てます。「[OmniStudio 権限セットライセンス](#)」を参照してください。

OmniStudio、OmniScript、DataRaptor、Integration Procedure の基本を学習するには、次のリソースを使用することもお勧めします。

- [Trailhead: OmniStudio について知る](#)
- [OmniStudio ドキュメント](#)
- [OmniStudio DataRaptors](#)
- [OmniStudio Integration Procedures](#)



注意

既存の Sandbox で OmniStudio をテストするには、Sandbox を更新して OmniStudio ライセンスを Sandbox に追加するか、[Sandbox を更新せずに本番と Sandbox のライセンスを一致](#)させてください。

Education Cloud の OmniStudio FlexCard

Education Cloud OmniScript には、事前設定済み FlexCard が含まれており、ユーザーはこれをコピーおよびカスタマイズして、追加の静的情報や動的情報を予定設定フローや申込フォームに表示できます。

表 80 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud で OmniStudio を使用する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

既存の FlexCard では、DataRaptor を使用して Salesforce データを取得します。動的情報 (スタッフメンバーのメールや電話番号など) を表示するには、Salesforce オブジェクトから他のデータを取得するように DataRaptor を設定します。「[FlexCard の基礎](#)」を参照してください。

FlexCard にアクセスする手順は、次のとおりです。

1. アプリケーションランチャーで、[OmniStudio] を見つけて選択します。
2. [OmniStudio] ドロップダウンから、[OmniStudio FlexCard] を選択します。

FlexCard 設定の例

FlexCard 設定を開始するためのいくつかの例を次に示します。

- Web サイトを開くボタンを追加します。[アクション] 表示要素と次のプロパティを使用します。
 - アクション種別: 移動
 - 対象: Web ページ
 - URL: Web サイトの URL
 - Open Target In (対象を開く場所): 新規タブ/ウィンドウ
 - Display As Button (ボタンとして表示): 選択
- 今後の予定を表示するボタンを追加します。EDUSchedulerScheduleAppointmentSite FlexCard をコピーして、次の設定を定義します。
 - プロパティ: HasCases 条件を削除し、[予定をスケジュール] ボタンの表示ラベルを「View Upcoming Appointments」（今後の予定を表示）に変更します。
 - 設定: 公開される属性 ApiPageName のデフォルト値を、予定のリストを表示するエクスペリエンスサイトページの API 参照名に変更します。また、データソース種別を[なし]に変更します。
- ドロップインの対応可能状況を表示する時間範囲（最大 10 日）を変更します。EDUSchedulerDropIn FlexCard をエクスペリエンスサイトのページに追加する場合、Days (公開日数) 属性のデフォルト値を、ドロップインを表示する日数に設定します。たとえば、{"ShowDetails" : true, "StaffId": "{!StaffId}", "Days": 10} では、翌 10 日間のドロップインの時間枠が表示されます。
- [テキスト] 表示要素を使用して、説明テキスト (キャンパスにアクセスする方法やテクニカルサポートに問い合わせる方法など) を追加します。次に、要素のプロパティにテキストを入力します。
- [テキスト] 表示要素を使用して、お知らせ (休業日や今後のキャンパスイベントなど) を追加します。次に、要素のプロパティにテキストを入力します。

[「FlexCard の使用開始」](#)を参照してください。

Education Cloud の OmniStudio DataRaptor

Education Cloud OmniScript では、DataRaptor を使用して、Salesforce データの読み書きを行ったり、単一ステップのデータ変換を実行したりします。

表 81 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud で OmniStudio を使用する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

必要に応じてさらに多くの DataRaptor を作成し、FlexCard に表示するスタッフメンバーのメールなど、追加データを取得します。「[OmniStudio DataRaptor](#)」を参照してください。

DataRaptor にアクセスする手順は、次のとおりです。

1. アプリケーションランチャーで、[OmniStudio] を見つけて選択します。
2. [OmniStudio] ドロップダウンから、[OmniStudio DataRaptors] を選択します。

Education Cloud の OmniStudio Integration Procedure

Education Cloud OmniScript では、Integration Procedure を使用して、複数のデータ型 (REST API や Apex クラスなど) を操作します。1 つの Integration Procedure で複数のアクションを実行できます。

表 82 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	

必要なユーザー権限	
Education Cloud で OmniStudio を使用する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

必要に応じてさらに多くの Integration Procedure を作成し、たとえば、追加データを取引先責任者レコードまたは取引先レコードから取得します。「[OmniStudio Integration Procedure](#)」を参照してください。

Integration Procedure にアクセスする手順は、次のとおりです。

1. アプリケーションランチャーで、[OmniStudio] を見つけて選択します。
2. [OmniStudio] ドロップダウンから、[OmniStudio Integration Procedures] を選択します。

OmniStudio と翻訳

技術的な制限のため、一部の表示ラベルは翻訳されません。

表 83 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

「[OmniStudio](#)」を参照してください。

OmniScript エラーのトラブルシューティング

OmniScript が機能していないことを示すエラーメッセージが表示された場合は、OmniScript を無効化してから再有効化します。

表 84 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
Education Cloud で OmniStudio を使用する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

1. アプリケーションランチャーで、[Omniscrypt] を見つけて選択します。
2. [Omniscrypt] リストで、エラーメッセージに記載されている OmniScript を選択します。
3. [バージョンの無効化] をクリックします。
4. OmniScript が無効化されたら、[完了] をクリックします。
5. [バージョンの有効化] をクリックします。
6. OmniScript が有効化されたら、[完了] をクリックします。

Education Cloud の項目の選択リスト値の確認

Education Cloud を適切に動作させ、ユーザーに一貫した環境を提供するには、特定の項目で選択リスト値が必要です。

表 85 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

[Academic Level (アカデミックレベル)] 選択リスト値の確認

機関に最適な選択リスト値を使用してください。一般的な値は Education Cloud に含まれていますが、機関の必要に応じて値を追加または削除できます。

次のオブジェクトの [Academic Level (アカデミックレベル)] 項目の選択リスト値を確認します。

- 学習
- 学習実績
- 学習科目
- 学習の基礎項目
- 学習結果項目
- 学習プログラム

- 学習プログラムプラン
- 学習プログラムプラン要件



重要

これらのオブジェクトの値は学習者ポータル内の複数の場所に表示されるため、一貫して同じ値を入力してください。

[申込カテゴリ] 選択リスト値の確認

事前申込書の参照および個人申込オブジェクトの [申込カテゴリ] 項目の選択リスト値を確認します。

機関に最適な選択リスト値を使用してください。一般的な値は Education Cloud に含まれていますが、機関の必要に応じて値を追加または削除できます。



重要

これらのオブジェクトは最終決定日を適切に設定する目的で学生申込レコードで使用されるため、一貫して同じ値を入力してください。

編集できない選択リストのある項目

一部のオブジェクトには、選択リスト値を表示または変更できない選択リスト項目があります。

オブジェクト	項目
申込タイムライン	種別
開講科目関係者の結果	関係者の結果状況
従業員	雇用種別
学習	種別
場所	タイムゾーン
個人の障害	• 状況 • 検証者
学歴	• 状況 • 検証状況
事前申込参照	申込種別
プログラム	利用状況の種別
サービステリトリーメンバー	テリトリー種別

オブジェクト	項目
作業種別グループ	グループの種別

関連情報:

- [選択リスト値の追加または編集](#)

アカデミックプロセスの自動化

フローを使用して、ケースの作成や割り当てなどのアカデミックプロセスを自動化したり、申込レビュープロセスを自動化したりします。

表 86 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

ケースの作成と割り当ての自動化

Education Cloud フローテンプレートを使用して、ケースの作成と解決を自動化し、サポートスタッフを学生に割り当てます。

表 87 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
ケースの作成と割り当てを自動化する	Education Cloud の完全なアクセス権

教育機関は、学資援助、アカデミックアドバイス、障害者サービスを含め、さまざまな領域で学習者にサポートを提供しています。プロセスを自動化することで、機関は学習者が必要とするサポートをよりタイムリーに提供することができます。Education Cloud のフローテンプレートを使用して、ケースと、学習者へのサクセスチームの割り当てを自動化します。

Education Cloud フローテンプレート

Education Cloud で提供されているフローテンプレートをカスタマイズして、特定の条件に基づいてケースを作成および解決したり、サポートスタッフを学生に割り当てたりできます。

フロー	実行する内容
EDU Cloud: Assign Case Team for Failed Course Offering Participant (EDU Cloud: 不合格となった開講科目関係者にケースチームを割り当て)	学生がクラスで不合格となった場合、学生にサクセスチームを割り当てます。
EDU Cloud: Assign Case Team for Learner Program Major Enrollment (EDU Cloud: 学習者プログラム専攻登録に関するケースチームを割り当て)	学習者が専攻を宣言したときに、学習者にアドバイザーとアドバイsteamを割り当てます。学習者が専攻を放棄すると、割り当てはフローによって削除されます。
EDU Cloud: Assign Case Team Members for Academic Term GPA (EDU Cloud: 学期 GPA に関するケースチームメンバーを割り当て)	学習者の GPA が 2.5 を下回った場合に仮及第アドバイザーを学習者に割り当てます。次学期で学習者の GPA が改善されて 2.5 を上回った場合、割り当てはフローによって削除されます。
EDU Cloud: Assign Case Team to Student Athlete (EDU Cloud: 学生アスリートにケースチームを割り当て)	学生アスリートに特化した学習支援チームに学習者を割り当てます。
EDU Cloud: Assign Case Teams for Veterans and International Students (EDU Cloud: 退役軍人および留学生にケースチームを割り当て)	退役軍人または留学生に特化した学習支援チームに学習者を割り当てます。
EDU Cloud: Close Case for Canceled or Denied Application (EDU Cloud: キャンセルまたは却下された申込についてケースをクローズ)	申込がキャンセルまたは却下された場合、オープンしている申込ケースを自動的にクローズします。
EDU Cloud: Close Related Cases for Term (EDU Cloud: 学期の関連ケースをクローズ)	学習者が学期に登録すると、ケースを作成します。
EDU Cloud: Combine Case Team Collections Without Record Duplications (EDU Cloud: レコードの重複なしでケースチームのコレクションを結合)	ケースチームの重複を回避します。
EDU Cloud: Create Grade Alert (EDU Cloud: 評価アラートを作成)	学習者の評価が C を下回った場合にアラートを作成します。また、学習者に不合格評価がある場合、フローによりケースチームメンバーの ToDo も作成されます。
EDU Cloud: Create Related Case for New Individual Application (EDU Cloud: 新規の個人申込について関連ケースを作成)	新しい申込が送信されたときにケースを作成します。

開始する前に: サポートプロセスとケースチームの作成

これらのフローを使用する前に、サポートケースを管理するサポートプロセスおよびケースレコードタイプを作成します。

サポートプロセスの作成

忘れずに、サポートケースを処理するプロセスを構築してください。手順は、Trailhead の「[サポートケースを管理するプロセスの作成](#)」を参照してください。

ケースレコードタイプの作成

サポートプロセス用に、提供するサポートに関連するケースオブジェクトのレコードタイプを作成します。手順は、Trailhead の「[レコードタイプの作成](#)」を参照してください。

ケースチーム内の役割の作成

ケースチームの各メンバーにはそれぞれ役割があります。ケースへの対応を行うメンバー用に、入学アドバイザーや財務アドバイザーなど、ケースチーム内の役割を作成します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ケースチーム」と入力し、[ケースチーム内の役割] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 新規メンバーの役割の名前を入力します。
4. 役割に付与するケースのアクセス権を選択します。
5. 変更内容を保存します。

定義済みケースチームの作成

役割を作成した後で、機関内で学生をサポートするグループやチームごとに定義済みケースチームを作成します。外国からの申込者をサポートする定義済みチームを作成したり、特定の単科大学のチームを作成したり、アカデミックレベルごとにチームを作成したりできます。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ケースチーム」と入力し、[定義済みのケースチーム] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. チーム名を入力します。たとえば、「Undergraduate Application」（学部への申込）とします。
4. チームメンバーを追加し、メンバーの役割を選択します。
5. 変更内容を保存します。

フローを使用したケースの作成およびサクセスチームの割り当て

Education Cloud で提供されているフローテンプレートをカスタマイズして、ケースの管理とサクセスチームの割り当てを行うことができます。

教育機関では、多くの人やチームがジャーニーのさまざまな側面で学習者をサポートしています。サポートスタッフをどのように編成するとしても、それぞれのケースが適切なチームに確実に届くようにできます。

これらはテンプレートのため、カスタマイズするフローのコピーを作成する必要があります。フローのコピーを作成する手順は、次のとおりです。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. EDU Cloud フローを選択します。
3. [別名で保存] をクリックします。
4. フローの表示ラベル、API 参照名、省略可能な説明を入力します。

フローのコピーを作成したら、追加の設定タスクを実行して、フローを有効化する必要があります。

関連情報:

- [教育フローの設定](#)
- [フローの有効化または無効化](#)

教育フローの設定

機関のケースを作成して割り当てるようにフロー要素を更新します。

表 88 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

EDU Cloud: Assign Case Team for Failed Course Offering Participant (EDU Cloud: 不合格となった開講科目関係者にケースチームを割り当て)

学習者が科目で不合格となった場合、学習者に学習支援チームを自動的に割り当てます。

表 89 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
不合格となった科目関係者にケースチームを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権

開始する前に

科目で不合格となった学習者のケースを管理するためのサポートプロセスとレコードタイプを作成したことを確認します。

「[開始する前に: サポートプロセスとケースチームの作成](#)」を参照してください。

フロー要素の更新

開講科目で不合格となった学習者にケースチームを割り当てるフローに、ケースレコードタイプと定義済みケースチーム要素を設定します。

ケースレコードタイプの追加

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Team for Failed Course Offering Participant (EDU Cloud: 不合格となった開講科目関係者にケースチームを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Student Case (学生ケースを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [項目を追加] をクリックし、[RecordTypeId] を選択します。
5. [値] 項目に、前に作成したケースレコードタイプの ID を入力します。「[レコードタイプの ID を特定する](#)」を参照してください。
6. [完了] をクリックします。

定義済みケースチーム要素の更新

1. [Get Academic Predefined Case Team 1 (アカデミック定義済みケースチーム 1 を取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
2. [Filter Predefined Case Team Records (定義済みケースチームレコードを絞り込み)] では、検索条件を設定します。
 - a. 項目: 「Name」 (名前) と入力します。
 - b. 演算子: [次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. 値: 目的の定義済みケースチームの名前を入力します。
3. [完了] をクリックします。
4. [Get Academic Predefined Case Team 2 (アカデミック定義済みケースチーム 2 を取得)] 要素でこのプロセスを繰り返します。

EDU Cloud: Assign Case Team for Learner Program Major Enrollment (EDU Cloud: 学習者プログラム専攻登録に関するケースチームを割り当て)

学習者が研究の専攻分野を宣言したときに、学習者にアカデミックアドバイザーを自動的に割り当てます。

表 90 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

専攻登録に関するケースチームを割り当てる

Education Cloud の完全なアクセス権

開始する前に

サポートプロセスを設定し、ケースチーム内の役割を特定し、学習者にアカデミックアドバイザーを割り当てるために必要な学習プログラムプランを作成します。

- 学習者プログラム専攻登録ケースを管理するためのケースサポートプロセスとケースレコードタイプを作成します。「[開始する前に: サポートプロセスとケースチームの作成](#)」を参照してください。
- プライマリアドバイザーとアドバイザー用のケースチーム内の役割を作成します。「[ケースチーム内の役割の作成](#)」を参照してください。
- 機関での研究の専攻分野の学習プログラムプランを作成します。
 1. アプリケーションランチャーから、[学習プログラムプラン]を検索して選択します。
 2. [新規]をクリックします。
 3. [名前]項目に、「Major」(専攻)を含む学習プログラムプランの名前を入力します。たとえば、「English Major」(英語専攻)とします。
 4. この学習プログラムプランに関連する学習プログラムを選択します。
 5. その他の必要な情報を入力して変更内容を保存します。

フロー要素の更新

ケースレコードタイプ、学習プログラムプラン、定義済みケースチームをフローに追加します。

ケースレコードタイプの追加

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー]を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Team for Learner Program Major Enrollment (EDU Cloud: 学習者プログラム専攻登録に関するケースチームを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Student Case (学生ケースを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [項目を追加] をクリックし、[RecordTypeId]を選択します。
5. [値] 項目に、前に作成したケースレコードタイプの ID を入力します。「[レコードタイプの ID を特定する](#)」を参照してください。

6. [完了] をクリックします。

学習プログラムプラン決定要素の編集



ヒント

ビジネスルールエンジン (BRE) 内で決定表を作成し、アクション要素をフローに追加して BRE をコールします。[決定表](#)を参照してください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Team for Learner Program Major Enrollment (EDU Cloud: 学習者プログラム専攻登録に関するケースチームを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Is Learning Program Plan for an English Major? (英語専攻の学習プログラムプラン?)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. 以前に作成した学習プログラムプランを反映するように [結果の API 参照名] 項目と [値] 項目を更新します。
5. [完了] をクリックします。
6. もう 1 つの [Is Learning Program Plan for an English Major? (英語専攻の学習プログラムプラン?)] 要素でこのプロセスを繰り返します。

[Get Primary Advisor (プライマリアドバイザーを取得)] 要素の更新

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Team for Learner Program Major Enrollment (EDU Cloud: 学習者プログラム専攻登録に関するケースチームを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Primary Advisor (プライマリアドバイザーを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [Filter User Records (ユーザーレコードを絞り込み)] では、検索条件を設定します。
 - a. 項目: 「Name」 (名前) と入力します。
 - b. 演算子: [次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. 値: プライマリアドバイザーの名前を入力します。
5. [完了] をクリックします。
6. [Get Primary Advisor (プライマリアドバイザーを取得)] 要素ごとにこのプロセスを繰り返します。

[Get Advising Team (アドバイsteamを取得)] 要素の更新

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Team for Learner Program Major Enrollment (EDU Cloud: 学習者プログラム専攻登録に関するケースチームを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Advising Team (アドバイsteamを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [Filter Predefined Case Team Records (定義済みケースチームレコードを絞り込み)] では、検索条件を設定します。
 - a. 項目: 「Name」 (名前) と入力します。
 - b. 演算子: [次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. 値: 目的の定義済みケースチームの名前を入力します。
5. [完了] をクリックします。
6. [Get Advising Team (アドバイsteamを取得)] 要素ごとにこのプロセスを繰り返します。

EDU Cloud: Assign Case Team Members for Academic Term GPA (EDU Cloud: 学期 GPA に関するケースチームメンバーを割り当て)

GPA が指定したレベルにまで低下した学習者に仮及第アドバイザーを自動的に割り当てます。

表 91 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学期 GPA に関するケースチームを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権

開始する前に

サポートプロセスを設定し、[EDU Cloud: Assign Case Team Members for Academic Term GPA (EDU Cloud: 学期 GPA に関するケースチームメンバーを割り当て)] フローで使用する定義済みケースチームを作成します。

- 仮及第の学習者にケースチームを割り当てるケースを管理するためのサポートプロセスとレコードタイプを作成します。「[開始する前に: サポートプロセスとケースチームの作成](#)」を参照してください。

- 英字 A ~ M および N ~ Z で始まる姓を持つ学生をサポートする定義済みのケースチームを作成していることを確認します。

フロー要素の更新

ケースレコードタイプと定義済みケースチームを [EDU Cloud: Assign Case Team Members for Academic Term GPA (EDU Cloud: 学期 GPA に関するケースチームメンバーを割り当て)] フローに追加します。

ケースレコードタイプの追加

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Team Members for Academic Term GPA (EDU Cloud: 学期 GPA に関するケースチームメンバーを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Student Case (学生ケースを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [項目を追加] をクリックし、[RecordTypeId] を選択します。
5. [値] 項目に、前に作成したケースレコードタイプの ID を入力します。「[レコードタイプの ID を特定する](#)」を参照してください。
6. [完了] をクリックします。

定義済みケースチーム要素の更新



注意

フローでは、Academic Case Team 1 (アカデミックケースチーム 1) は、英字 A ~ M で始まる姓を持つ学習者をサポートするチーム用です。Academic Case Team 2 (アカデミックケースチーム 2) は、英字 N ~ Z で始まる姓を持つ学習者をサポートします。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Team Members for Academic Term GPA (EDU Cloud: 学期 GPA に関するケースチームメンバーを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Academic Predefined Case Team 1 (アカデミック定義済みケースチーム 1 を取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。

4. [Filter Predefined Case Team Records (定義済みケースチームレコードを絞り込み)] では、検索条件を設定します。
 - a. 項目: 「Name」 (名前) と入力します。
 - b. 演算子: [次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. 値: 目的の定義済みケースチームの名前を入力します。
5. [完了] をクリックします。
6. [Get Academic Predefined Case Team 2 (アカデミック定義済みケースチーム 2 を取得)] 要素でこのプロセスを繰り返します。

EDU Cloud: Assign Case Team to Student Athlete (EDU Cloud: 学生アスリートにケースチームを割り当て)

学生アスリートに学習支援チームを自動的に割り当てます。

表 92 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学生アスリートにケースチームを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権

開始する前に

サポートプロセスを設定し、[EDU Cloud: Assign Case Team to Student Athlete (EDU Cloud: 学生アスリートにケースチームを割り当て)] フローで使用する対象者の役割を作成します。

- 学生アスリートにケースチームを割り当てるためのサポートプロセスとケースレコードタイプを作成します。「[開始する前に: サポートプロセスとケースチームの作成](#)」を参照してください。
- 学生アスリートの対象者の役割を作成します。「[教職員、スタッフ、学生のモデル化](#)」を参照してください。

フロー要素の更新

ケースレコードタイプと定義済みケースチームを [EDU Cloud: Assign Case Team to Student Athlete (EDU Cloud: 学生アスリートにケースチームを割り当て)] フローに追加します。

ケースレコードタイプの追加

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。

2. [EDU Cloud: Assign Case Team to Student Athlete (EDU Cloud: 学生アスリートにケースチームを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Student Case (学生ケースを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [項目を追加] をクリックし、[RecordTypeId] を選択します。
5. [値] 項目に、前に作成したケースレコードタイプの ID を入力します。「[レコードタイプの ID を特定する](#)」を参照してください。
6. [完了] をクリックします。

定義済みケースチーム要素の更新

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Team to Student Athlete (EDU Cloud: 学生アスリートにケースチームを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Student Athlete Predefined Case Team (学生アスリート定義済みケースチームを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [Filter Predefined Case Team Records (定義済みケースチームレコードを絞り込み)] では、検索条件を設定します。
 - a. 項目: 「Name」 (名前) と入力します。
 - b. 演算子: [次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. 値: 目的の定義済みケースチームの名前を入力します。
5. [完了] をクリックします。
6. [Get Academic Predefined Case Team 2 (アカデミック定義済みケースチーム 2 を取得)] でこのプロセスを繰り返します。

EDU Cloud: Assign Case Teams for Veterans and International Students (EDU Cloud: 退役軍人および留学生にケースチームを割り当て)
 退役軍人または留学生である学生に学習支援チームを自動的に割り当てます。

表 93 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
退役軍人または留学生にケースチームを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権

開始する前に

退役軍人と留学生用のサポートプロセスとケースレコードタイプを作成します。

「[開始する前に: サポートプロセスとケースチームの作成](#)」を参照してください。

フロー要素の更新

ケースレコードタイプと定義済みケースチームを [EDU Cloud: Assign Case Teams for Veterans and International Students (EDU Cloud: 退役軍人および留学生にケースチームを割り当て)] フローに追加します。

ケースレコードタイプの追加

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Assign Case Teams for Veterans and International Students (EDU Cloud: 退役軍人および留学生にケースチームを割り当て)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Student Case (学生ケースを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [項目を追加] をクリックし、[RecordTypeId] を選択します。
5. [値] 項目に、前に作成したケースレコードタイプの ID を入力します。「[レコードタイプの ID を特定する](#)」を参照してください。
6. [完了] をクリックします。

定義済みケースチーム要素の更新

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Create Related Case for New Individual Application (EDU Cloud: 新規の個人申込について関連ケースを作成)] フローのコピーを開きます。
3. [Get Veteran Case Team (退役軍人ケースチームを取得)] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [Filter Predefined Case Team Records (定義済みケースチームレコードを絞り込み)] では、検索条件を設定します。
 - a. 項目: 「Name」 (名前) と入力します。
 - b. 演算子: [次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. 値: 目的の定義済みケースチームの名前を入力します。
5. [完了] をクリックします。
6. [Get International Case Team (留学生ケースチームを取得)] 要素でこのプロセスを繰り返します。

EDU Cloud: Close Case for Canceled or Denied Application (EDU Cloud: キャンセルまたは却下された申込についてケースをクローズ)

申込がキャンセルまたは却下された場合、オープンしている申込ケースを自動的にクローズします。

表 94 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
キャンセルまたは却下された申込のケースをクローズする	Education Cloud の完全なアクセス権

このフローは設定なしで動作しますが、機関に合わせてカスタマイズできます。このフローをカスタマイズして、ケースをクローズするための条件を変更する手順は、次のとおりです。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Close Case for Canceled or Denied Application (EDU Cloud: キャンセルまたは却下された申込についてケースをクローズ)] フローのコピーを開きます。
3. [Should Related Case Be Closed? (関連ケースをクローズする必要がありますか?)] をクリックします。
4. [要素を編集] をクリックします。
5. 条件を変更し、[完了] をクリックします。

EDU Cloud: Close Related Cases for Term (EDU Cloud: 学期の関連ケースをクローズ)

学習者が学期に登録すると、学習者のオープンしている申込ケースが自動的にクローズします。

表 95 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学期の関連ケースをクローズする	Education Cloud の完全なアクセス権

このフローは設定なしで動作しますが、機関に合わせてカスタマイズできます。このフローをカスタマイズして、ケースをクローズするための条件を変更する手順は、次のとおりです。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Close Related Cases for Term (EDU Cloud: 学期の関連ケースをクローズ)] フローのコピーを開きます。
3. 変更する要素をクリックして、[要素を編集] をクリックします。
4. 変更を行ったら [完了] をクリックします。

EDU Cloud: Create Grade Alert (EDU Cloud: 評価アラートを作成)

学習者の評価が C を下回った場合にレコードアラートを自動的に作成し、学習者に不合格評価がある場合はアドバイザーを割り当てます。

表 96 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
評価アラートを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

このフローは設定なしで動作します。ただし、フローを使用する前に、次のタスクを完了します。

- 評価の低い学習者をサポートするためのサポートプロセスとケースレコードタイプを作成します。
- プライマリアドバイザー用のケースチーム内の役割を作成します。

[開講科目関係者の結果] レコードが更新されると、このフローが起動します。

[開講科目関係者の結果] レコードの作成時にアラートを生成する場合、別のフローを設定する必要があります。[EDU Cloud: Create Grade Alter (EDU Cloud: 評価アラートを作成)] フローテンプレートをコピーして、[開始] 要素のロジックを更新します。

関連情報:

- [開始する前に: サポートプロセスとケースチームの作成](#)
- [フローを使用したケースの作成およびサクセスチームの割り当て](#)
- [自動レイアウトでの要素の追加および編集](#)

EDU Cloud: Create Related Case for New Individual Application (EDU Cloud: 新規の個人申込について関連ケースを作成)
新しい申込が送信されたときにケースを自動的に作成します。

表 97: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
新規申込の関連ケースを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

開始する前に

新しい申込者用のサポートプロセスとケースレコードタイプを作成します。

「[開始する前に: サポートプロセスとケースチームの作成](#)」を参照してください。

フロー要素の更新

ケースレコードタイプを [EDU Cloud: Create Related Case for New Individual Application (EDU Cloud: 新規の個人申込について関連ケースを作成)] フローに追加します。

ケースレコードタイプの追加

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [EDU Cloud: Create Related Case for New Individual Application (EDU Cloud: 新規の個人申込について関連ケースを作成)] フローのコピーを開きます。
3. [ケースを作成] をクリックし、[要素を編集] をクリックします。
4. [項目を追加] をクリックし、[RecordTypeId] を選択します。
5. [値] 項目に、前に作成したケースレコードタイプの ID を入力します。「[レコードタイプの ID を特定する](#)」を参照してください。
6. [完了] をクリックします。

Education Cloud リリースの最新情報の確認

Education Cloud 製品の更新とリリーススケジュールの最新情報を入手します。

表 98: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	

システム管理者は Salesforce を活用することで、組織が活動目的を達成できるようにサポートできます。Education Cloud のリリースの最新情報を常に把握し、機関で使用可能な新機能をいち早く知ることができます。

[Education Release Readiness](#) グループでは、今後のリリースへの対応状況に関する Web セミナーを探し、コミュニティメンバーからヒントを入手して、リリースノートへのリンク見つけることができます。

各製品リリースについての詳細は、[Salesforce.org リリースノート](#)を参照してください。Salesforce リリースについての全般的な情報は、「[Salesforce リリースへの準備](#)」を参照してください。

Education Cloud での機関の設定

Education Cloud のオブジェクトを使用して、自分の機関をモデル化します。

キャンパスのモデル化

機関の施設を Education Cloud でモデル化して管理します。場所に固有の用途を割り当てて、予約やスケジュールを管理できます。

表 99 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
キャンパスをモデル化する	Education Cloud の完全なアクセス権

施設関連オブジェクトの概要です。

- 場所: 機関の施設の場所に関する情報を表します。
- 場所の使用: 場所の一般的な目的に関する情報を表します。

場所の表現の例を示します。

キャンパスモデルの作成

機関の施設と施設の使用方法を定義します。

場所の作成

1. アプリケーションランチャーから、[場所] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 場所の名前を入力して、種別を指定します。
4. 他の関連情報を入力し、変更を保存します。

場所の使用の定義

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「場所の使用」と入力し、[場所の使用] を選択します。
2. [新しい場所の使用] をクリックします。
3. 名前を入力して、場所の種別を選択します。
4. 他の関連情報を入力し、変更を保存します。

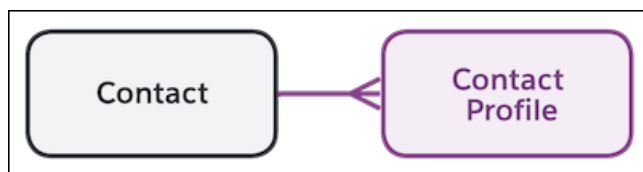
教職員、スタッフ、学生、卒業生のモデル化

個人取引先オブジェクトを使用して、教職員、スタッフ、学生、卒業生をモデル化します。

表 100: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
教職員、スタッフ、学生をモデル化する	Education Cloud の完全なアクセス権

教職員、スタッフ、システム管理者、学生、卒業生は標準の Salesforce オブジェクトである個人取引先オブジェクトを使用してモデル化されます。取引先責任者プロフィールオブジェクトは取引先責任者オブジェクトに関連付けられるため、誕生日、民族、第一世代の学生の状況、その他の詳細など、個人の経歴およびデモグラフィック情報を追跡できます。



モデルを構築してデータを入力したら、個人取引先オブジェクトの経歴およびデモグラフィックデータと、取引先責任者プロフィールなどの関連オブジェクトの選択したデータをまとめることができます。結果はデータの背後にある個人全体を見て、理解し、サービスを提供できる統合された学生レコードとなります。

**注意**

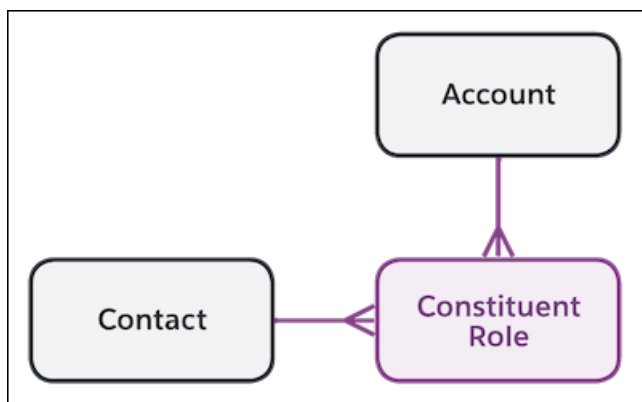
Salesforce ヘルプやその他のドキュメントにおける「取引先」という用語は、単独で常に法人取引先と個人取引先の両方を指します。この 2 つの取引先の種別を区別する場合は、「法人取引先」と「個人取引先」という用語が使用されます。

個人取引先のライフサイクル管理

対象者の役割オブジェクトを使用して、個人のロールに関連する情報を記録します。

教育機関はさまざまなロール（潜在的学生、プロスペクト学生、申込者、学生、教職員、スタッフ、卒業生、支援者、親など）の個人にサービスを提供します。対象者が機関と現在および過去にどのような関係を築いているかを理解することが、適切なサービスを提供する鍵となります。

対象者の役割オブジェクトは取引先および取引先責任者オブジェクトに関連付けられ、個人のロールに関連した情報が記録されるため、経時的な機関との関連を追跡して管理できます。



レポート、レコードの共有、コミュニケーションを目的として、個人取引先をロール別にセグメント化できます。

対象者の役割の作成

対象者の役割オブジェクトを使用して、機関内の個人の役割に関する詳細を記録します。

1. アプリケーションランチャーから、[対象者の役割] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 個人種別を選択し、役割に関連付ける個人を選択します。

4. 役割の種類と状況を選択します。
5. 他の関連情報を追加し、変更内容を保存します。

世帯のモデル化

世帯を表す場合など、学習者と他の取引先が互いにどのようなつながりを持っているかを定義するリレーションを設定します。

表 101: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
世帯をモデル化する	Education Cloud の完全なアクセス権

Education Cloud には、リレーションを管理するための次のオブジェクトが用意されています。

- 取引先: 組織または世帯。
- 個人取引先: スタッフメンバーや学習者などの個人。
- 取引先と取引先責任者のリレーション: 学生と学校、または学生と世帯のリレーションなど、組織が個人または個人のグループとどのように関連しているか。
- 取引先責任者間リレーション: 親と子のリレーションや兄弟姉妹間のリレーションなど、個人同士がどのように関連しているか。

「[教職員、スタッフ、学生、卒業生のモデル化](#)」を参照してください。

Actionable Relationship Center (ARC) のグラフィック表現を使用して、これらのつながりを視覚化できます。関係者リレーショングループを使用して、より複雑なリレーションを構築することもできます。「[Act on Client Relationships with the Actionable Relationship Center \(ARC\) \(Actionable Relationship Center \(ARC\) を使用したクライアントリレーション\) に従った行動](#)」と「[Party Relationship Groups \(関係者リレーショングループ\)](#)」を参照してください。

取引先責任者と複数の取引先のリレーションの有効化

スタッフが取引先責任者を複数の取引先に関連付けて、学習者が世帯に属することができるように取引先設定を定義します。

1. [設定] で、[クイック検索] ボックスに「取引先設定」と入力し、[取引先設定] を選択します。
2. [編集] をクリックします。

3. [取引先責任者を複数の取引先に関連付けることをユーザーに許可] をオンにして、変更内容を保存します。

取引先の世帯レコードタイプの作成

一般的な特徴を共有するグループを表す世帯レコードタイプを作成します。

1. 取引先のオブジェクト管理設定から、[レコードタイプ] に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. [マスター] の既存のレコードタイプを選択します。
4. 「世帯」という表示ラベルを入力します。
5. [有効] をオンにします。
6. このレコードタイプを使用可能にするプロファイルを選択して、[次へ] をクリックします。
7. このレコードタイプが適用されるページレイアウトを選択して、変更を保存します。

取引先と個人取引先の [リレーション] 関連リストの追加

関連する取引先責任者および関連する取引先の関連リストを取引先および個人取引先レコードページに追加して、スタッフメンバーがこれらのページから世帯を管理できるようにします。

1. 取引先のオブジェクト管理設定から、[ページレイアウト] に移動します。
2. [取引先レイアウト] をクリックします。
3. [関連リスト] をクリックし、[関連取引先責任者] をパレットからレイアウトにドラッグします。
4. 変更内容を保存します。
5. 個人取引先のオブジェクト管理設定から、[ページレイアウト] に移動します。
6. [Person Account Layout (個人取引先レイアウト)] をクリックします。
7. [関連リスト] をクリックし、[関連取引先] をパレットからレイアウトにドラッグします。
8. 変更内容を保存します。

Education Cloud での世帯の作成

学習者が属することができる世帯取引先を作成します。

1. アプリケーションランチャーから、[取引先] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [世帯] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. 世帯の詳細を入力して、変更を保存します。

Education Cloud での世帯メンバーの追加

世帯取引先または個人取引先から世帯に学習者を追加します。

1. アプリケーションランチャーから、[取引先] を見つけて選択します。
2. メンバーを追加する世帯取引先をクリックするか、世帯に追加する個人取引先をクリックします。
3. [関連] タブで、[リレーションを追加] をクリックします。
4. メンバーを追加する手順は、次のとおりです。
 - 世帯レコードを開いた場合は、[取引先責任者] 選択リストから個人を選択します。
 - 個人取引先レコードを開いた場合は、[取引先] 選択リストから世帯を選択します。
5. 必要に応じて、ロールを選択し、変更を保存します。

アカデミックカレンダーのモデル化

Education Cloud オブジェクトを使用して、学年度、学期、セッションをモデル化します。

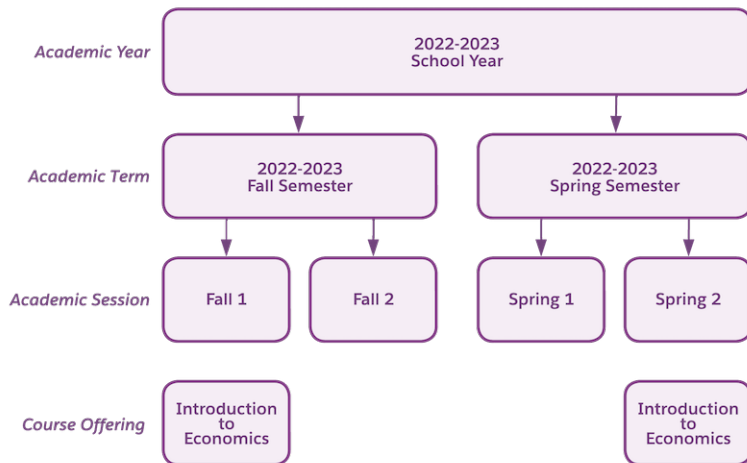
表 102: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
アカデミックカレンダーをモデル化する	Education Cloud の完全なアクセス権

次のオブジェクトを使用して、アカデミックカレンダーをモデル化するためのレコード階層を作成します。

- 学年度 – 学年度全体を定義します。
- 学期 – アカデミック期間を指定し、期間内で他の期間を定義することで、レポートや開講科目の具体的なタイムフレームを作成します。
- アカデミックセッション – 機関のカレンダーと、2 期制、4 期制、3 期制、またはそれ以外のいずれであるかに基づいて、開講科目の期間を指定します。

これらのオブジェクトの連携について理解するため、Astro University の例を見てみましょう。Astro University の学年度は、それぞれ 18 週間の 2 つのセメスターで構成される 2 期制です。Astro University の多くの科目はセメスター全体に渡りますが、一部は短い期間で終わります。そのため Astro University では、期間が短い科目に対応するために、各セメスターを 2 つのセッションに分割しています。「Introduction to Economics (経済学入門)」は、9 週間の科目であり、学年度内に 2 回しか開講されません。最初は Fall 1 と呼ばれるアカデミックセッション、2 回目は Spring 2 と呼ばれるアカデミックセッションで開講されます。



これらのオブジェクトは柔軟であるため、カレンダーが複雑でも対応できます。Astro University の次の例のように、異なるスケジュールに対応するカレンダーを作成できます。

- 法律大学院とビジネス大学院では、異なるスケジュールに従っています。そのため、大学院ごとに異なる学期レコードを作成し、同じ学年度に関連付けます。
- Astro University は対面指導の他に、バーチャルプログラムも実施しています。バーチャルプログラムは従来の受入サイクルに従っておらず、6 ~ 8 週間ごとに登録を受け付けています。学期の長さは必要に応じて短く設定できます。
- 特別なイマージョンプログラムは長期間に渡って実施され、イマージョンの学生以外が従う通常の学期と重なります。学期の日付が重なっても問題ありません。

アカデミックカレンダーの設定

申込の受付、科目スケジュールの作成、あるいは機関への学生の登録を開始する前に、学年度を設定する必要があります。

学年度レコードの作成

1. アプリケーションランチャーから、[学年度] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 学年度の名前を入力します。



ヒント

機関で複数の学年度を使用している場合は、この項目を使用して、学年度が表示対象を指定します。

4. 年度を入力し、必要に応じて説明を入力してから、変更内容を保存します。

学期レコードの作成

1. アプリケーションランチャーから、[学期] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 学期の名前を入力します。
4. この学期を有効にするため、[有効] を選択します。
5. その他の関連する情報を入力して変更内容を保存します。

アカデミックセッションレコードの作成

アカデミックセッションとは、科目を開講する期間です。機関のカレンダーと、2 期制、4 期制、3 期制のいずれであるかに基づいて、開講科目の期間を指定できます。

1. アプリケーションランチャーから、[アカデミックセッション] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. アカデミックセッションの名前を入力します。
4. このアカデミックセッションを有効にするため、[有効] を選択します。
5. その他の関連する情報を入力して変更内容を保存します。

科目とカリキュラムのモデル化

Education Cloud のオブジェクトを使用して、自分の機関の学習科目、開講科目、スケジュールをモデル化します。

表 103 : 必要なエディションとユーザー権限

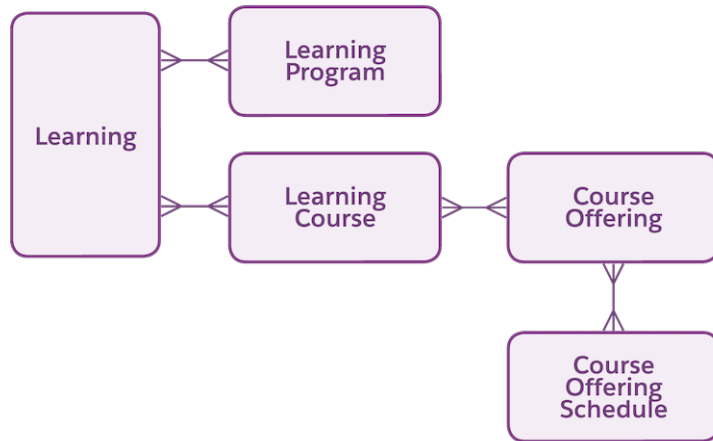
使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
科目とカリキュラムをモデル化する	Education Cloud の完全なアクセス権

Education Cloud での科目とカリキュラムのモデル化では、次のオブジェクトを使用します。

オブジェクト	オブジェクトが表すもの
学習	取引先責任者が科目、プログラム、またはオンサイト体験として利用できるカリキュラムを定義する情報。
学習科目	学習フレームワークの必須科目に関する情報。
学習プログラム	資格を取得するために必要なプログラムのカリキュラムに関する情報。

オブジェクト	オブジェクトが表すもの
開講科目	トレーニングコースの場所や日付の詳細を含むトレーニングコースのインスタンス。
開講科目スケジュール	定義されている開講科目のスケジュールに関する情報。

この図は、これらのオブジェクトの相互関係を示しています。



学習と学習科目

学習は、取引先責任者が科目、プログラム、またはオンサイト体験として利用できるカリキュラムに関する情報を表します。

新しい学習レコードを作成する場合、それを学習プログラムとして表すか学習科目として表すかを指定します。たとえば、生物学 101 を学習プログラムとしたり、個々の学習科目としたりすることができます。Astro 大学にはカリキュラムの一部として生物学 101 があるため、Astro 大学は生物学 101 の学習レコードを作成します。Astro 大学は学習レコードを作成するときに、生物学 101 を学習科目として表すことが最適であると判断します。次に、生物学 101 の学習科目レコードを作成します。これには、科目番号、研究分野、科目レベルなどの詳細が保存されます。

開講科目

開講科目によって、時間と場所で学習科目が具体化されます。

開講科目レコードでは、アカデミックセッション、教職員、場所、開始日と終了日などの具体的な詳細が提供されます。この例では、Astro 大学は、学習者が選択できる生物学 101 のインスタンスごとに開講科目レコードを作成します。

開講科目スケジュール

開講科目を作成したら、クラスがいつどこで開かれるのかを学生に伝えることが重要です。開講科目スケジュールは、これらの詳細とスケジュールのバリエーションを記録します。

たとえば、月曜日、水曜日、金曜日は Dixit Building の Lecture Hall A で午後 1 時 ~ 2 時まで、火曜日と木曜日は隣接の Data Lab で午後 2 時 ~ 3 時 30 分までクラスが行われます。2 つの開講科目スケジュールを使用して、これらの曜日によって異なるスケジュールをモデル化します。1 つ目の開講科目スケジュールレコード (CSH-149723) では月曜日、水曜日、金曜日のスケジュールを考慮します。2 つ目の開講科目スケジュールレコード (CSH-149724) では火曜日と木曜日のスケジュールを考慮します。

Academic Operations アプリケーションで開講科目を管理します。

関連情報:

- [Academic Operations アプリケーション](#)
- [学習科目の作成](#)

開講学習プログラムのモデル化

Education Cloud のオブジェクトを使用して、自分の機関の開講プログラムをモデル化します。

表 104: 必要なエディションとユーザー権限

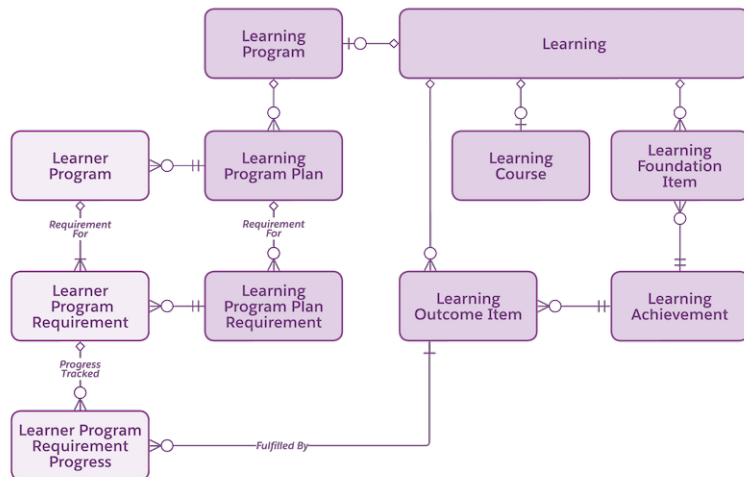
使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
開講プログラムをモデル化する	Education Cloud の完全なアクセス権

プログラムオブジェクトを使用して、提供している学習がどう構造化および運営されているかと、登録と修了に何が必要かを追跡します。

- 学習 – 取引先責任者が科目、プログラム、またはオンサイト体験として利用できるカリキュラムを定義する情報。
- 学習プログラム – 資格を取得するために必要なプログラムのカリキュラムに関する情報。
- 学習プログラムプラン – 学習プログラムを実行するために作成されたプランの詳細。
- 学習プログラムプラン要件 – 学習プログラムプランに含まれる学習結果の要件に関する情報。
- 学習者プログラム – 特定の学習者向けに作成された学習プログラムに関する詳細。

- 学習者プログラム要件 – 学習者が自分に割り当てられている学習者プログラムプランで完了する必要がある要件。
- 学習者プログラム要件進捗 – 学習者が自分に割り当てられている学習者プログラムプランの一貫として完了する必要がある要件の進捗に関する情報。
- 学習の基礎項目 – 学習結果で必要な前提条件、共同条件、または推奨される学習。
- 学習実績 – 学習活動の結果。
- 学習結果項目 – 学習と関連する結果との対応付け。

プログラムには、学位または資格プログラム、学習支援プログラム、レクリエーションプログラム、生涯教育などがあります。Education Cloud では、同じアーキテクチャのビルディングブロックを使用して、これらのプログラムをモデル化します。

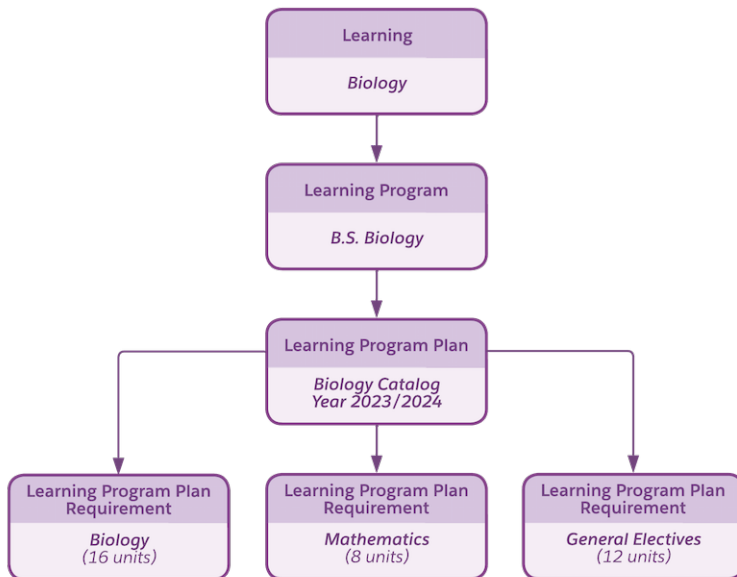


学位プログラムの例

Education Cloud オブジェクトでプログラムがどのように表されるかの例を見てみましょう。

Astro University の Biological Sciences Department (生物科学部) では、生物学の学士号を授与しています。この学位プログラムは次のオブジェクトで表されます。

- Astro University では、生物学は学習の一例です。
- BS Biology (生物学士) の学位は、Astro University の学習プログラムです。
- 「Biology Catalog Year 2023-2024 (生物学生物学便覧 2023 ~ 2024 年度)」は、BS Biology (生物学士) のプログラムプランです。
- 学習プログラムプランには、生物学、数学、一般選択科目などの学習プログラムプランの要件が含まれています。



BS Biology (生物学士) の学位を取得するには、学生は大学の科目カタログに規定された一連の研究を修了する必要があります。この学位の要件概要は学習プログラムプランオブジェクトを使用して整理されます。2023-2024 学年度に登録する学生の場合は、「Biology Catalog Year 2023-2024 (生物学生物学便覧 2023 ~ 2024 年度)」という学習プログラムプランレコードがその時点で有効な一連の要件を表します。Astro University が来学年度のカタログを完成する頃には、要件が若干変更されている可能性があり、変更内容は「Biology Catalog Year 2024-2025 (生物学生物学便覧 2024 ~ 2025 年度)」という別のプログラムレコードで反映されます。

LEARNING PROGRAM PLAN

Learning Program Plan Name	Learning Program	
Biology Catalog Year 2023/2024	B.S. Biology	☒ Active
Biology Catalog Year 2022/2023	B.S. Biology	☐ Active

学習プログラムプランオブジェクトは、一般的な要件を表します。学習プログラムプラン要件オブジェクトは、必修科目、学位論文、インターンシップなどの特定の要件を表します。

プログラムを整理しやすくするために、機関の学部や大学ごとに取引先を作成することをお勧めします。そして、レコードを作成したら、適切な取引先に割り当てます。

Academic Operations アプリケーションで開講プログラムを管理します。

関連情報:

- [Academic Operations アプリケーション](#)
- [学習プログラムの作成](#)
- [学習プログラムプランの作成](#)

潜在的學生およびプロスペクト學生のモデル化

Education Cloud を使用して、潜在的學生とプロスペクト學生を追跡して管理します。たとえば、潜在的學生を自動的に、または手動でプロスペクト學生に昇格させるための条件を定義できます。

表 105 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

リードオブジェクトと（個人）取引先オブジェクトを使用して、それぞれ潜在的學生とプロスペクト學生の情報を記録します。プロスペクト學生が機関への関心を示したら、そのプロスペクト學生の詳細から（個人）取引先を作成することで、募集チームが潜在的學生とのエンゲージメントを強化できるようにします。潜在的學生はまだ関心を示していないため、リードレコードを作成します。潜在的學生が関心を示すと、自動的に（個人）取引先に変換されます。「[リードの取引開始に関する考慮事項](#)」を参照してください。

例

Connected University の募集チームは東海岸からの申込者を探しています。チームには、その地域での最近の PSAT 受験者のうち、情報を学校と共有することに同意し、Connected University に連絡していない受験者のリストがあります。募集チームはリストを作成し、データをインポートして、各潜在的學生のリードレコードを作成しました。潜在的學生の 1 人である Louis Lombard について詳しく見てみましょう。

表 106 : リードレコード

レコード名	レコードが作成されたタイミング	レコードが表していること
Louis Lombard	Connected University がテストサービスから取得したリストをインポートした。	大学への関心を示していない潜在的學生。

募集チームは対象を絞ったマーケティングメールをリードに送信し、Louis はそのメールに応答してコンピューターサイエンスプログラムに関する詳細を要求します。募集担当者は Louis のメールに応答した後、Louis のリードレコードを（個人）取引先レコードに変換します。

表 107: 個人取引先レコード

レコード名	レコードが作成されたタイミング	レコードが表していること
Louis Lombard	Louis のリードレコードが変換された。	大学への関心を示したプロスペクト学生。

これで、募集担当者は、コンピューターサイエンスプログラムで提供できることに焦点を絞ったパーソナライズされた環境を Louis に提供できるようになりました。

入学申込のモデル化

Education Cloud のオブジェクトを使用して、申込者の情報、教育履歴、評価をレビューして管理します。

表 108: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

申込管理では、複数のオブジェクトを使用して申込者の情報をモデル化します。次の表に、申込プロセスでの入学オブジェクトの動作を示します。

オブジェクト	申込との関連
学期登録	申込者が登録する学期を表します。
申込決定	機関への申込に関する正式な決定を表します。
申込レビュー	機関への申込について実行されたレビューを表します。
個人申込	機関またはプログラムへの申込を送信する個人の取引先に関連します。申込者の代わりに申込を作成する取引先責任者に関連する場合があります。
個人取引先	機関またはプログラムへの申込を送信する個人に関する情報が保存されます。
事前申込参照	申込者が後から申込を完了できるように進行中の申込が保存されます。

申込者が学習者ポータルに登録すると、Education Cloud によって自動的にその個人取引先が作成されます。レコードの重複を防止するために、個人取引先を Experience Cloud ユーザーに変換する場合は、必ず既存の個人取引先のメールアドレスを含めてください。

Education Cloud には、申込者のケースを自動的に作成し、ケースを適切なサポートスタッフに割り当てるためのフローテンプレートが用意されています。申込が拒否またはキャンセルされるか、または申込者が機関に登録された場合にケースを自動的にクローズすることもできます。

申込者のデータレコードの例

Education Cloud による申込者のデータレコードの構造化の例を見てみましょう。

学生である Madison Hadzic は Daisy Bates Academy の 4 年生で、Astro University に 2023 年秋学期の学部入学を申請しています。Education Cloud により、Madison の申込に関する次のレコードが作成されます。

レコード	レコード名	レコードが作成されたタイミング	レコードが表していること
申込ケース	00001003	Madison が Astro University に申込する。	Madison に割り当てられたケース。
取引先責任者と取引先責任者のリレーション	CCR-006147	Madison が保護者や兄弟姉妹などの家族を申込に入力する。	Madison と家族間のリレーション。
取引先責任者プロフィール	00049821	Madison が Astro University に申込する。	Madison の個人取引先に関連したプロフィールの詳細。
ドキュメントチェックリスト項目	個人のエッセイ	Madison が大学申込エッセイをアップロードする。	Madison の申込に関連付けられたファイル。
個人申込	IA-2681	Madison が Astro University に申込する。	個人の入学申込。
個人取引先	Madison Hadzic	Madison が申込するために Astro University の学習者ポータルに登録する。	Madison の個人取引先。
学歴	高等学校卒業証書	Madison が高等学校の学歴または保護者の教育レベルを入力する。	機関または評価レベルの Madison の学歴に関する詳細。
個人の雇用	Acme Products	Madison が保護者の雇用者をリストする。	Madison または保護者の雇用の詳細。
個人審査	PEX-005971	Madison が標準テストのスコアを入力する。	標準テストの複合セクションまたは単一セクションのスコア。
個人の言語	PL-0804	Madison が申込フォームの [言語習熟度] セクションに言語を入力する。	特定の言語での Madison の習熟度。
事前申込参照	PAR-004581	Madison が申込を開始する。	送信前の最初の申込フォーム。

関連情報:

- [申込者ポータルの作成と設定](#)
- [アカデミックプロセスの自動化](#)

プログラム管理を使用した学習者のサポート

Education Cloud の学生サクセスおよびメンタリングアプリケーションを使用して、各学習者のジャーニーをサポートする、学業以外のサービスとイニシアチブを定義し、計画して、提供します。

表 109: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

教育機関は、追跡する必要がある多くの支援プログラムとイニシアチブを実行しています。たとえば、卒業予定の学習者の就職をサポートするために、ある大学は就職斡旋プログラムを実行し、キャリアカウンセリング、履歴書ワークショップ、能力評価、模擬面接、企業とのコネクションイベントなどのサービスを提供しています。学生サクセスおよびメンタリングアプリケーションを通じて Education Cloud により提供されるプログラム管理機能を使用すると、機関はプログラムを大きな規模で効果的に実行できます。[「プログラム管理の使用開始」](#)を参照してください。

学生サクセスおよびメンタリングアプリケーションを使用して、責任者やファシリテーターはプログラムをモデル化し、プログラムに含まれる給付を設定できます。アドバイザーがこれらの給付のいずれかを学習者のケアプランに追加すると、学習者はそれぞれのプログラムに自動的に登録されます。メンタリングファシリテーターは、学習者とメンターをつなげることができます。Education Cloud で利用できる給付種別を次に示します。

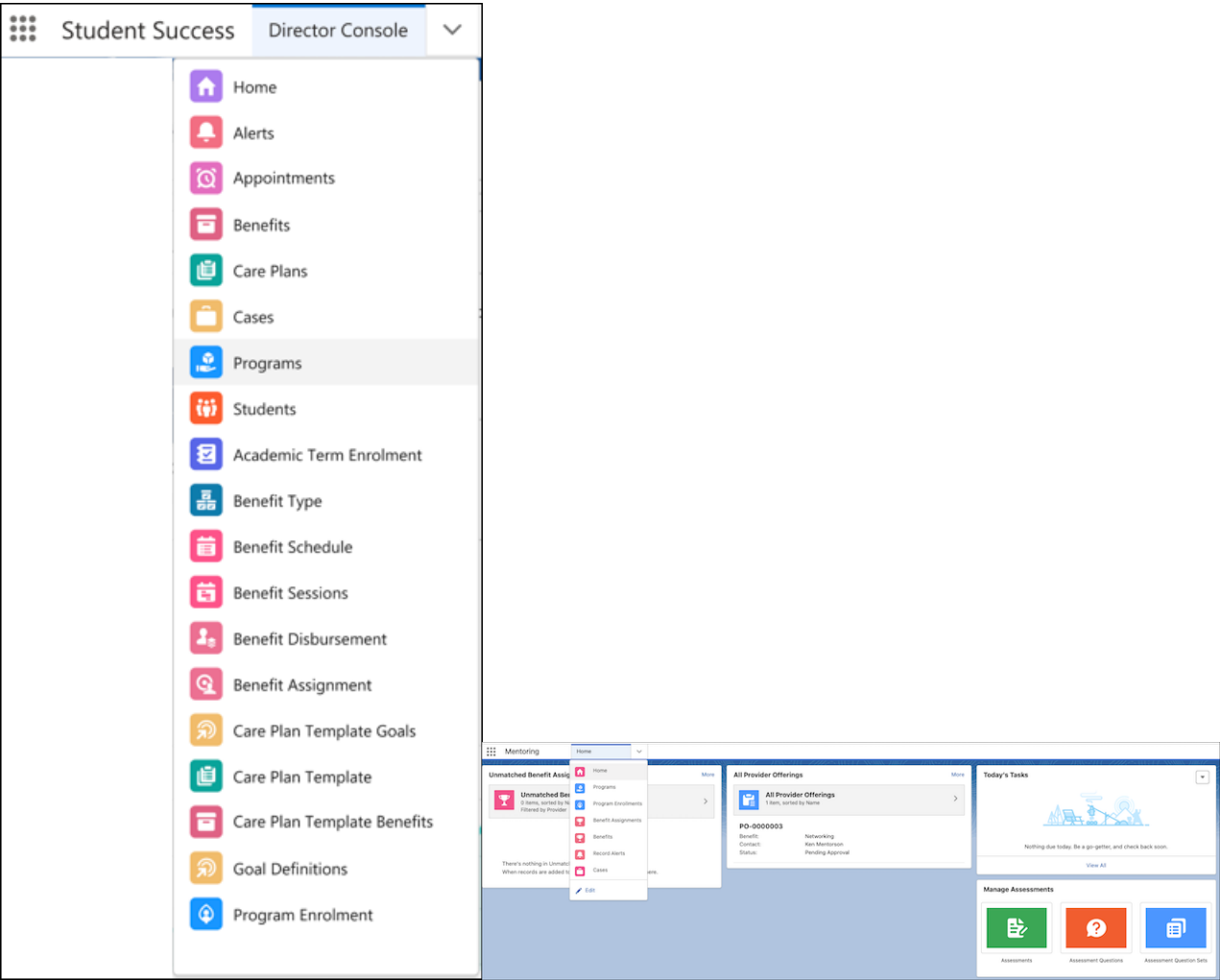
- 参加: 複数のスケジュールされたセッションがあるワークショップ。
- 金銭: 奨学金または支援。
- アドバイス: カウンセリングセッション。



注意

給付種別の測定単位を定義して、給付を作成するときのエラーを回避します。[「プログラム管理の測定単位の定義」](#)を参照してください。

学生サクセスおよびメンタリングアプリケーションでは、ドロップダウンナビゲーションメニューからワークフローを起動して、プログラム、プログラム登録、および給付を作成できます。プログラム管理ワークフローを理解するには、[「プログラム管理ワークフロー」](#)を参照してください。



支援プログラムの作成

機能が提供するサービスとイニシアチブを使用して学習者をサポートするプログラムを作成します。

表 110 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
プログラムを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] または [メンタリング] を見つけて選択します。
2. アプリケーションナビゲーションメニューから、[プログラム] を選択します。

3. [新規]をクリックして、詳細を入力します。
4. 変更内容を保存します。

プログラム登録調査用の調査の質問の作成

調査の質問を作成して学習者の要件を理解し、学習者を支援する最適な方法を決定します。

表 111: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

すべての登録済み学習者の課題、目標、願望を理解することは、有意義な学習体験を提供するためにきわめて重要です。Education Cloud の学生サクセスおよびメンタリングアプリケーションを使用すれば、さまざまなプログラムをモデル化して機関での給付の割り当てを追跡し、より効果的に学習者のニーズに対応できます。学習者ポータルで提供しているプログラムを公開して、学習者が詳細を確認してセルフ登録できるようにすることもできます。

[学生サクセス] および [メンタリング] では、定義済みの質問が含まれる調査をプログラムに追加できます。調査のアンケートは、学習者がプログラムに登録するとポータルに表示されます。自動化により、送信された回答がプログラム登録に関連するレコードとして保存されます。アドバイザーおよびメンターシップファシリテーターは回答をレビューし、学習者のニーズを明確に理解して、プログラムがニーズに対応しているかどうか、どのようにサポートするのが最善かを判断できます。

アドバイスおよびメンタリングプログラムは、給付種別のカテゴリがそれぞれアドバイスまたはメンタリングである場合に給付を提供します。学習者がプログラムに登録すると、それぞれのアドバイスまたはメンタリング給付に自動的に登録され、給付割り当てレコードが作成されます。アドバイスプログラムに参加する学習者は、プログラムの割り当てられたサクセスチームメンバーとの予定をスケジュールできます。これにより、自動的に給付支払が作成されます。給付支払の状況は予定に基づいて更新されます。メンタリングプログラムの場合、メンターはメンターポータル Experience Cloud サイトで給付の提供者として登録できます。メンタリングファシリテーターは調査を使用して、給付割り当てレコードでメンティーとメンターをつなげることができます。

Education Cloud には、プログラム登録のプロセスを自動化する次のインテグレーション手順、フロー、呼び出し可能アクションが含まれています。

リソースの API 参照名	種別	説明
EDUProgramMgmt_EnrollmentProcedure	Integration Procedure	学習者が支援プログラムに登録され、次の作業が行われます: - プログラム登録レコードが作成されます。 - 給付割り当てレコードが作成されます。 - アドバイザーとの予定をスケジュールする学習者の ToDo が作成されます。  注意 ToDo へのアクセス権を付与するには、学習者のプロファイル権限で [ToDo の編集] と [活動にアクセス] を有効にします。  注意 ToDo へのアクセス権を付与するには、学習者のプロファイル権限で [ToDo の編集] と [活動にアクセス] を有効にします。 - プログラムでサクセスチームが指定されており、その取引先で特定のレコードタイプの進行中のケースが存在しない場合、関連レコードを使用してケースが作成されます。 - 該当する場合、調査レコードがプログラム登録に関連付けられます。
createBenefitDisbursementForServiceAppointment	呼び出し可能アクション	すべてのサービス予定 ID の給付支払レコードが作成されます。
CreateBnftDisbForAppt	フロー	createBenefitDisbursementForServiceAppointment 呼び出し可能アクションが呼び出されます。
UpdateBnftDisbByAppt	フロー	既存の給付支払の状況が更新されるか、給付支払が新規作成されます。
BatchGenBenefitDisb	フロー	CreateBnftDisbForAppt フローを呼び出す日次一括処理ジョブが実行されます。
CreateMentorEnrollmentRecord	フロー	給付プロバイダーレコードの作成時に、給付プロバイダーのメンターの対象者の役割レコードが作成されます。
CreateMenteeEnrollmentRecord	フロー	プログラム登録レコードの作成時に、取引先責任者の給付割り当てレコードとメンティーの対象者の役割レコードが作成されます。

リソースの API 参照名	種別	説明
ShareMentoringRecofds	フロー	Experience Cloud サイトへのアクセスに関するレコードがメンターとメンティー間で共有されます。  注意 このフローはレコードを自動的に共有します。プログラム登録の内部公開参照アクセス権では、フローが失敗します。
CreaUpdtCtctCtctRelaRec	フロー	メンターとメンティーの関係を表す給付プロバイダーの取引先責任者間リレーションレコードが作成または更新されます。
UpdateMentorCstnRoleRec	フロー	関連付けられたプロバイダー給付レコードが無効としてマークされている場合、対象者の役割レコードが無効に更新されます。
DeactvMenteeCstnRoleRec	フロー	プログラム登録の終了時に、メンティーの対象者の役割レコードが無効化されます。



注意

プログラム登録レコードは、プログラムの状況に関係なく作成できます。必要に応じて組織で制限を実装することをお勧めします。

プログラム登録調査用の調査の質問の作成

調査の質問を作成して学習者の要件を理解し、学習者を支援する最適な方法を決定します。

表 112 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
調査の質問を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 業種調査

1. アプリケーションランチャーから、[調査の質問] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 名前と API 参照名を入力します。
4. データ型 ([テキスト] など) を選択します。

5. カテゴリを選択します。
6. 質問テキストを入力します。
7. [有効] をオンにします。
8. その他の詳細を入力して変更を保存します。
9. 同様に、質問をさらに作成します。

プログラム登録用の調査の作成

学習者がプログラムに登録したときに調査の質問を表示して回答を取得する Omni Process を作成します。

表 113 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
調査を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 業種調査 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

1. アプリケーションランチャーから、[調査の質問] を見つけて選択します。
2. [質問を選択] をクリックします。
3. [フォームを作成] ページの [OmniScript の詳細] で、名前を入力します。
4. 言語を選択します。
5. 種別とサブ種別を入力します。種別とサブ種別は、Omni Process の共有ルールを作成するときに条件を指定するために使用されます。[「学生サクセスコンポーネント用の組織の設定」](#)を参照してください。
6. [新規 OmniScript] で [ステップを編集] アイコンをクリックし、ステップの名前を入力します。必要に応じてさらにステップを追加します。
7. 質問を見つけるには、検索項目と検索条件を使用して、選択した質問を適切なステップにドラッグします。
8. [OmniScript を構築] をクリックします。

9. [ビルド] パネルで、[Integration Procedure Action (インテグレーション手順アクション)] を見つけて OmniScript 要素のリストにドラッグします。
10. [Integration Procedure Action Properties (インテグレーション手順アクションプロパティ)] で、名前を入力します。
11. [インテグレーション手順] で、「EDUProgramMgmt_EnrollInProgram」と入力します。
12. インテグレーション手順を有効化します。
 - a. アプリケーションランチャーで、[OmniStudio インテグレーション手順] を見つけて選択します。
 - b. [EDUProgramMgmt/EnrollInPgm] を展開し、[EnrollInPgm (Version 1) (EnrollInPgm (バージョン 1))] を選択します。
 - c. 選択内容を増やすか変更するには、インテグレーション手順をカスタマイズします。
 - d. [構造] パネルで、[Procedure Configuration (手順の設定)] をクリックします。
 - e. [バージョンの有効化] をクリックします。
13. [ビルド] タブで、[Navigate Action (アクションの操作)] を OmniScript 要素のリストにドラッグします。
14. [Navigate Action Properties (アクションの操作プロパティ)] で、名前を入力します。
15. [オブジェクト API 参照名] に「ProgramEnrollment」と入力します。
16. [レコード ID] に「%programEnrollmentId%」と入力します。
17. [Activate Version (バージョンを有効化)] をクリックして [完了] をクリックします。

調査を使用した支援プログラムの作成

学習者がポータルから登録したときに調査を実行するアドバイスまたはメンタリングプログラムを作成します。

表 114: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
調査を使用して支援プログラムを作成するには	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] または [メンタリング] を見つけて選択します。
2. アプリケーションナビゲーションメニューから、[プログラム] を選択します。

3. [新規支援プログラム] をクリックします。
4. プログラムの名前と開始日を入力します。
5. [追加の詳細] で、サクセスチームを選択します。

**注意**

機能が正常に動作するように、アドバイsteamをサクセスチームに関連付けることをお勧めします。

6. 学習者がプログラムを表示できるようにするには、[学習者ポータルに表示] をオンにします。
7. [Omni Process] で、調査 OmniScript の名前を入力します。
8. [給付] で、作成する教育給付の種別を選択します。
9. [給付の詳細] で、給付名を入力します。
10. 給付種別 (「Advising」 (アドバイス) や「Mentoring」 (メンタリング) など) を入力します。
11. 給付を使用できるようにするには、[有効] をクリックします。
12. その他の詳細を入力して、変更内容を保存します。

アドバイスカースへのメンバーまたはケースチームの追加

アドバイスカースのサクセスチームに個人メンバーまたはチームを追加します。

表 115: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
アドバイスカースにメンバーまたはケースチームを追加する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] を見つけて選択します。
2. アプリケーションナビゲーションメニューから、[ケース] を選択します。
3. アドバイスレコードタイプのケースをクリックします。
4. ケースレコードページで [アドバイス] タブを追加します。
5. [サクセスチーム] で [メンバーの追加] をクリックし、ケースチームメンバーを見つけて追加し、変更を保存します。
6. ケースチームまたはメンバーに関連付けるプログラムを選択して、変更を保存します。

7. [チームを追加] をクリックし、定義済みのケースチームを見つけて追加し、変更を保存します。「[Predefine Case Teams \(定義済みケースチーム\)](#)」を参照してください。

学習者は学習者ポータルの [プログラム登録] タブで [予定をスケジュール] をクリックし、割り当てられたケースチームメンバーとの予定をスケジュールできます。

関連情報:

- [OmniStudio Integration Procedures](#)

機関への学生の募集と入学

Education Cloud を使用すると、学習者は申込から登録までのシームレスな環境を使用でき、スタッフは入学プロセスを効率的に調整することができます。

募集 & 入学者選考アプリケーション

Education Cloud 募集 & 入学者選考アプリケーションを使用して、学生の申込、タスク、予定の表示および管理を行い、RFI を追跡して、プロスペクト学生を管理し、分析からインサイトを引き出すといった作業を行います。

表 116: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
募集 & 入学者選考アプリケーションを使用する	Education Cloud の完全なアクセス権

募集 & 入学者選考アプリケーションを使用すれば、入学担当者はレビュー担当者は自分のタスクを把握し、生産性を最大限に高めることができると同時に、入学パイプラインの全体的な健全性をリアルタイムで監視できます。募集 & 入学者選考アプリケーションは、[Lightning アプリケーションビルダー](#)を使用してさまざまなロールに固有のレイアウトや機能を作成するなど、機関の要件に合わせてカスタマイズできます。

募集 & 入学者選考アプリケーションのデフォルトタブの概要は次のとおりです。

- ホーム: ユーザーのロールおよび権限に基づいてダッシュボード、予定、タスクが表示されます。たとえば、入学審査担当責任者や入学担当者には入学者選考コンソールが表示されるのに対して、申込レビュー担当者にはレビュー担当者コンソールが表示されます。
- 教育情報要求: 教育情報要求オブジェクトのすべてのレコードがリストされます (RFI 用)。

- Actionable Lists (アクション可能リスト): 対象を絞ったマーケティングを目的としてスタッフに割り当てることができるプロスペクト学生のリストが表示されます。

募集 & 入学者選考アプリケーションのカスタマイズ

1. アプリケーションランチャーから、[募集 & 入学者選考] を見つけて選択します。
2. [設定] から、[クイック検索] ボックスで「Lightning アプリケーションビルダー」を検索し、[Lightning アプリケーションビルダー] を選択します。
3. リストから編集するページを選択するか、[新規] をクリックして新規作成します。
4. 要件に合わせてアプリケーションをカスタマイズします。コンポーネントをドラッグアンドドロップしたり、コンポーネントを変更してカスタム機能を作成したりできます。「[Lightning アプリケーションビルダー](#)」を参照してください。

情報の要求コンポーネント

Education Cloud を使用して、情報要求フォームを作成し、ケースを割り当てて追跡します。

表 117: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
情報の要求を提出する	Education Cloud for Experience Cloud のアクセス権

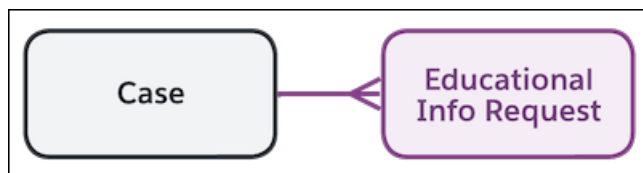
プロスペクト学習者、親、カウンセラーは、最適な機関かどうかを判断するために、開講科目、施設、キャンパス、大学生活、学外コミュニティなどについて質問がある場合があります。申込者の質問は、申込プロセスやプログラムなどになります。同様に、入学予定者は、選択したプログラム、学資援助、住宅、身体に障害のある学生向けのサービスについての詳細などの情報を求めます。

Education Cloud を使用して情報の要求 (RFI) フォームを作成し、機関の Web サイトで使用するようにします。ユーザーが要求を送信すると、RFI の詳細が教育情報要求オブジェクトに記録され、ケースが作成されます。その後、RFI ケースは自動または手動で特定のスタッフメンバーに割り当てられます。重複を回避するために、メールアドレスを使用して要求者のユーザーアカウントが照合されます。たとえば、学習者が同じメールアドレスで複数の要求を送信した場合、RFI レコードは同じアカウントに関連付けられます。

**注意**

システム管理者は、ユーザーアカウントに関連付けられたメールアドレスと関連する個人取引先に関連付けられたメールアドレスが同じであることを確認する必要があります。メールが一致しない場合、重複した個人取引先が作成されます。

Education Cloud では、個別のプラットフォームソリューションであるオムニチャネルを使用して、受信した RFI ケースを対応可能なスタッフに転送します。オムニチャネルの設定についての詳細は、「[オムニチャネルを設定](#)」を参照してください。



情報の要求の設定

サポートプロセスを作成し、ケースオブジェクトのレコードタイプを設定します。

表 118: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
情報の要求を設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

サポートプロセスの作成

1. [設定] で、[クイック検索] ボックスに「サポートプロセス」と入力し、[サポートプロセス] を選択します。
2. [新規] をクリックし、既存のサポートプロセスから [マスター] を選択します。
3. 名前（「RFI Process」（RFI プロセス）など）を付けて、サポートプロセスの説明を入力します。
4. [保存] をクリックします。
5. [ケース状況] セクションはそのままにして、変更内容を保存します。

ケースオブジェクトのレコードタイプとして RFI を割り当て

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「オブジェクトマネージャー」と入力し、[オブジェクトマネージャー] を選択します。

2. [ケース] をクリックし、レコードタイプで [新規] をクリックします。
3. 既存のレコードタイプから [マスター] を選択します。
4. 表示ラベルと名前に「RFI」と入力し、レコードタイプの説明を入力します。
5. 以前に作成したサポートプロセスを選択します。
6. [有効] を選択して、そのレコードタイプを有効にします。
7. すべてのプロファイルに対して [使用可能に設定] を選択します。
8. 選択したプロファイルに対してプロファイルの横にある [デフォルトに設定] を選択すると、そのレコードタイプは、そのプロファイルのユーザーのデフォルトのレコードタイプになります。
9. [次へ] をクリックします。
10. ページレイアウトのオプションを選択して、このレコードタイプを持つレコードに対して表示するページレイアウトを決定します。
11. 変更内容を保存します。

スコアリングフレームワークを使用したプロスペクト学習者の変換の予測

スコアリングフレームワークを使用して、プロスペクト学習者が教育機関に登録する可能性を予測します。予測は、プロスペクト学習者と機関の現在のエンゲージメントレベルに基づきます。関心を持っている可能性が最も高いプロスペクト学習者を把握することで、入学チームは、そのような学習者に焦点を絞り、入学の割合を向上することができます。

表 119: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
CRM Analytics テンプレート設定を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

予測を取得するには、スコアリングフレームワークで CRM Analytics テンプレート設定を作成し、[Education Cloud のプロスペクト学習者エンゲージメントスコア] をテンプレート設定種別として設定します。定義済みの対象変数を定義するには、[Education Cloud のプロスペクト学習者エンゲージメントスコア] を選択します。

関連情報:

- [予測のための CRM Analytics テンプレート設定の作成および設定](#)

申込の開始

機関で申込を作成、受付、管理する準備をします。

表 120 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込フォームを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および アプリケーションのカスタマイズ

Education Cloud は、柔軟でカスタマイズ可能な申込エクスペリエンスを提供します。Education Cloud の単一フェーズの申込テンプレートを使用するか、OmniStudio コンポーネントを使用して独自の申込を作成できます。

申込者が申込を一度に完了して送信する単一フェーズの申込を作成できます。または、各申込フェーズを異なる時間または異なる方法で完了する複数フェーズの申込を作成できます。たとえば、申込者が名前と生年月日を入力するフォームを今日送信し、1 週間後に戻ってきて学歴を入力します。申込者はフェーズを連続して完了する必要はありません。

Education Cloud では、プロスペクト学生の申込を誰が送信できるかについても柔軟に対応できます。学生が自分で申込を送信できるだけでなく、親、保護者、ケア担当者、エージェントなどのサードパーティが学生に代わって申込を送信することもできます。

選択した申込の種別に関係なく、共有設定、ページレイアウト、レコードの作成を含む、機関への申込を受け付ける準備を整えるための共通の準備と設定が必要です。

OmniStudio の概要

申込フォームで使用される OmniStudio ツールおよびコンポーネントについて説明します。

表 121 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	

**重要**

カスタマイズする予定がない場合でも、使用する Education Cloud OmniStudio コンポーネントをコピーしてください。

申込フォームを使用する前に、OmniStudio、OmniScript、DataRaptor、Integration Procedure の基本を学習します。「[Education Cloud での OmniStudio の使用](#)」を参照してください。

申込データの保護

複数の戦略を使用して、データを迷惑アクセスから保護します。

申込プロセスでは、複数のオブジェクトで申込者からデータを収集します。デフォルトでは、Salesforce レコード作成者が所有者になります。作成後のデータへのアクセスを保護するために、次のセキュリティ対策を 1 つ以上の実装して、申込者および申込データを保存することを検討してください。

セキュリティ対策	できること
オブジェクトレベルセキュリティ	権限セットを使用して、Experience Cloud ユーザーにアクセスしてほしくないオブジェクトを保護します。
項目レベルセキュリティ	ユーザーがオブジェクトの特定の項目を表示または編集できないようにします。たとえば、申込者が個人申込レコードの [支払額] 項目に対する参照アクセス権があることは妥当であるため、収集された金額を参照できます。ただし、値が誤ってまたは不正に変更されないように、[支払額] の編集権限は付与しません。
レコードレベルセキュリティ	特定のレコードへのアクセス権のみを Experience Cloud ユーザーに付与します。
所有権の転送	特定のレコード（個人申込レコードなど）の所有権を作成者から適切な関係者に転送します。
共有セット	Experience Cloud ユーザーが適切なレコードにアクセスできるように共有セットを使用します。

「[データアクセスの管理](#)」を参照してください。

申込の共有に関する考慮事項

申込情報をいつどのように申込者と共有するのかを検討します。

表 122 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
共有設定を変更する	Education Cloud の完全なアクセス権

申込を設定する前に、次の共有の考慮事項を確認してください。

- ポータルユーザーがポータルで申込データやドキュメントを確認できるように共有設定を更新します。
- 申込決定レコードは、申込タイムラインオブジェクトで定義する決定リリース日と早期申込リリース日に自動的に Experience Cloud ユーザーと共有されます。

外部共有設定の更新

組織全体のデフォルトで指定された外部共有設定は Customer Community Plus ライセンスを持つユーザーに適用されます。「[外部組織の共有設定の設定](#)」を参照してください。



注意

次の表の設定はあくまでも提案です。実装とニーズに合わせて各オブジェクトへのアクセス権を設定してください。

オブジェクト	アクセス種別
学期	公開/参照のみ
学年度	公開/参照のみ
アクションプランテンプレート	公開/参照のみ
申込決定	非公開  重要 申込決定のデフォルト設定は非公開です。エラーを避けるため、外部ユーザーに対してこの設定を変更しないでください。
申込表示方法	公開/参照のみ
申込フェーズ定義	公開/参照のみ
申込タイムライン	公開/参照のみ
取引先責任者	非公開
取引先責任者と取引先責任者のリレーション	非公開
取引先責任者プロフィール	非公開
試験	公開/参照のみ

オブジェクト	アクセス種別
国 (地理)	公開 / 参照のみ
個人申込	非公開
個人申込 ToDo	非公開
学習者プログラム	公開 / 参照のみ
学習	公開 / 参照のみ
オムニデータ変換	公開 / 参照のみ
Omni Process	公開 / 参照のみ
Omni UI カード	公開 / 参照のみ
関係者ロールリレーション	公開 / 参照のみ
学歴	非公開
個人の雇用	非公開
個人審査	非公開
個人の言語	非公開
事前申込参照	非公開
プログラム学期申込タイムライン	公開 / 参照のみ

内部共有設定の更新

ユーザーが関連オブジェクトを参照できるように、共有設定が正しく定義されていることを確認します。たとえば、ポータルユーザーが作成した取引先責任者と申込をユーザーが参照できるようにデフォルトの内部共有設定を更新します。これらのデフォルトの共有設定は、標準ユーザープロファイルを持ち、「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットが割り当てられているユーザーに適用されます。「[内部組織の共有設定の設定](#)」を参照してください。

申込のレコードの管理

レコードを作成し、申込フォームをサポートする設定を定義します。

表 123 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

取引先責任者プロフィールレコードの自動作成

申込者の個人取引先レコードが作成されたときに取引先責任者プロフィールレコードを自動的に作成するフローを作成します。

表 124 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

申込フォームの項目には、申込者が以前に機関と共有した情報が自動的に入力されます。自動入力機能が適切に機能するには、申込者には取引先責任者プロフィールレコードが必要です。フローを使用して、このプロセスを自動化します。「[フローの作成](#)」を参照してください。

申込をサポートするレコードおよび設定の定義

レコードを作成し、申込フォームをサポートする設定を定義します。

表 125 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込のレコードと設定を定義する	Education Cloud の完全なアクセス権

これらのレコードと設定を申込者が確実に使用できるようにします。



重要

自分でレコードを作成する場合は、外部共有を [公開/参照のみ] に設定してください。「[共有ルール](#)」を参照してください。

個人申込レコードタイプの設定

1. 個人申込レコードタイプを作成します。
 - a. 個人申込のオブジェクト管理設定から、[レコードタイプ]に移動します。
 - b. [新規]をクリックします。
 - c. レコードタイプの表示ラベルを入力して Tab キーを押すと、自動的にレコードタイプ名が入力されます。
 - d. このレコードタイプへのアクセス権を付与するプロファイルを選択します。
 - e. このレコードタイプのレコードでこのプロファイルのユーザーに表示するページレイアウトを選択します。
 - f. 変更内容を保存します。
2. 申込レコードタイプを設定します。
 - a. [設定]で、[クイック検索]ボックスに「機能設定」と入力し、[申込 RecordType 設定]を選択します。
 - b. [新規申込 RecordType 設定]をクリックします。
 - c. 表示ラベルを入力します。
 - d. 申込利用状況種別として [Education Cloud]を選択します。
 - e. オブジェクト名として [個人申込]を選択します。
 - f. レコードタイプ名として、前に作成したレコードタイプの表示ラベルを入力します。
 - g. 変更内容を保存します。

プログラム学期申込タイムラインページレイアウトを設定する

1. プログラム学期申込タイムラインのオブジェクト管理設定から、[ページレイアウト]に移動します。
2. [プログラム学期申込タイムラインレイアウト]をクリックします。
3. [アクションプランテンプレートバージョン]項目をページレイアウトの情報セクションに追加します。
4. 変更内容を保存します。

プログラム学期申込タイムラインレコードを作成する

申込に関連付けられた学習プログラム、学期、および申込タイムラインを表すレコードを作成します。申込を作成するときに、プログラム学期申込タイムラインレコードを申込のアクションプランテンプレートに割り当てます。

1. アプリケーションランチャーから、[プログラム学期申込タイムライン] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 学習プログラム、申込タイムライン、学期、およびこのプログラム学期申込タイムラインに関連付けられたアクションプランテンプレートのバージョンを見つけて選択します。
4. 変更内容を保存します。

個人申込ページの強調表示コンポーネントの設定

1. 個人申込レコードページを開きます。
 - a. 個人申込のオブジェクト管理設定から、[Lightning レコードページ] に移動します。
 - b. [Individual Application Record Page (個人申込レコードページ)] をクリックし、[Lightning Page Detail (Lightning ページの詳細)] で [編集] をクリックします。
2. 強調表示パネルを設定します。
 - a. [強調表示パネル] コンポーネントをクリックします。



注意

Summer '23 より前に Education Cloud の使用を開始した場合は、[強調表示パネル] コンポーネントの下にある [EDUAdmissionsIndividualApplicationHighlightsPanel] FlexCard を削除します。

- b. プロパティパネルで、[折りたたんで表示 (デスクトップのみ)] がオフになっていることを確認します。
- c. [コンパクトレイアウトを使用して項目を設定] で、[システムデフォルト] をクリックします。

3. コンパクトレイアウトを作成します。
 - a. [コピー] をクリックします。
 - b. 表示ラベルと名前を入力します。
 - c. 表示する項目を [選択済みの項目] 列に追加します。[取引先]、[取引先責任者]、[学習プログラム]、[学期]、[申込種別] をお勧めします。
 - d. 変更内容を保存します。
4. コンパクトレイアウトを割り当てます。
 - a. [コンパクトレイアウトの割り当て] をクリックします。
 - b. [主コンパクトレイアウト] で、前のステップで作成したレイアウトを選択します。
 - c. 変更内容を保存します。

Lightning アプリケーションビルダーで、個人申込レコードページを更新し、[コンパクトレイアウトを使用して項目を設定] に新しいレイアウトが選択されていることを確認します。

個人申込レコードページへの状況パスの追加

1. [申込状況] 選択リストを参照する個人申込オブジェクトでパスを作成します。[「パスによるユーザーのガイド」](#)を参照してください。
2. 個人申込レコードページにパスを追加します。
 - a. アプリケーションランチャーから、[個人申込] を見つけて選択します。
 - b. 個人申込レコードを開きます。
 - c. [設定] をクリックして、[編集ページ] を選択します。
 - d. [パス] コンポーネントをページにドラッグして、変更内容を保存します。
 - e. [有効化] をクリックします。
 - f. [組織のデフォルトとして割り当て] をクリックし、[次へ] をクリックします。
 - g. 変更内容を保存します。

取引先レコードタイプの作成

申込者は学歴を入力するときに、通っていた中学高等学校と単科大学を指定できます。この情報をサポートするには、「中学高等学校」および「単科大学」取引先のレコードタイプを作成します。[「レコードタイプの作成」](#)を参照してください。

関係者ロールリレーションの作成

申込者は保護者や兄弟姉妹に関する情報を提供します。また、推薦状を書ってくれた相手の名前も提供します。これらのすべての個人同士のリレーションを識別するには、関係者ロールリレーションを作成します。

ロール名	関連するロール名
保護者	子供
兄弟姉妹	兄弟姉妹
推薦者	申込者

関係者ロールリレーションを作成する手順は、次のとおりです。

1. アプリケーションランチャーから、[関係者ロールリレーション] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. ロール名を入力します。たとえば、「Guardian」（後見人）と入力します。
4. 関連するロール名を入力します。たとえば、「Child」（子）と入力します。
5. リレーションオブジェクト名として [取引先責任者と取引先責任者のリレーション] を選択します。
6. 変更内容を保存し、兄弟姉妹や推薦者について関係者ロールリレーションの作成を繰り返します。

試験の作成

申込者が標準化されたテストスコアを提供できるように、[SAT]、[ACT]、および [その他] の試験レコードを作成します。

1. アプリケーションランチャーから、[Examinations (試験)] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 試験の名前を入力します。たとえば、「SAT」と入力します。
4. 変更内容を保存し、[ACT] や [その他] について試験の作成を繰り返します。

国 (地理) の作成

申込者が居住する国の国 (地理) レコードを作成します。申込フォームでは、[場所] 項目と [Nationality (国籍)] 項目にこれらのレコードを使用します。

国 (地理) レコードを作成する手順は、次のとおりです。

1. アプリケーションランチャーから、[国 (地理)] を見つけて選択します。

2. **[新規]** をクリックします。
3. **国の IsoCode** を入力します。
4. 変更内容を保存し、機関でサポートするすべての国（地理）についてレコードの作成を繰り返します。

州と国の選択リストの定義

申込者が申込で州と国に参照項目を使用できるように、Salesforce で州と国の選択リストを設定します。「[州選択リストと国/テリトリー選択リストの設定](#)」を参照してください。

ドキュメントチェックリスト項目のドキュメント種別の作成

申込者が送信するエッセイ、トランスクリプト、または他のドキュメントのドキュメント種別を作成します。「[ドキュメント種別の設定](#)」を参照してください。



注意

ドキュメント種別に必要な追加の共有設定やルールはありません。[設定] で追加できます。

個人申込の学習プログラム項目へのアクセス権の設定

申込に対する検証、レビュー、または決定を行うユーザーに個人申込オブジェクトの学習プログラム項目への参照アクセス権を付与します。「[すべてのプロファイルの項目の項目レベルセキュリティの設定](#)」を参照してください。

名前サフィックスとミドルネームの有効化

今後の申込で自動入力できるようにサフィックスとミドルネームを保存するには、名前サフィックスとミドルネームを有効にします。

1. **[設定]** から、**[クイック検索]** ボックスに「ユーザーインターフェース」と入力し、**[ユーザーインターフェース]** を選択します。
2. **[個人名のみドルネームを有効化]** を選択します。
3. **[個人名のみ名前サフィックスを有効化]** を選択します。
4. 変更内容を保存します。

申込者ポータルを作成と設定

ユーザーが機関に申込を送信できる Experience Cloud サイトポータルを作成します。

表 126: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

申込者ポータルを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)
--------------	---

Education Cloud には、申込者ポータルの作成に使用できる Experience Cloud テンプレートが用意されています。このテンプレートは、ユーザーが自分で申し込むように設定されています。親、保護者、または代理人が申込者の代わりに申し込めるようにするには、このテンプレートを使用して、それらのユーザー用に別のポータルを作成してカスタマイズします。

申込用の Experience Cloud サイトの作成

エクスペリエンスビルダーで [教育ポータル] テンプレートを使用して、申込者ポータルの種別ごとに Experience Cloud サイトを作成します。

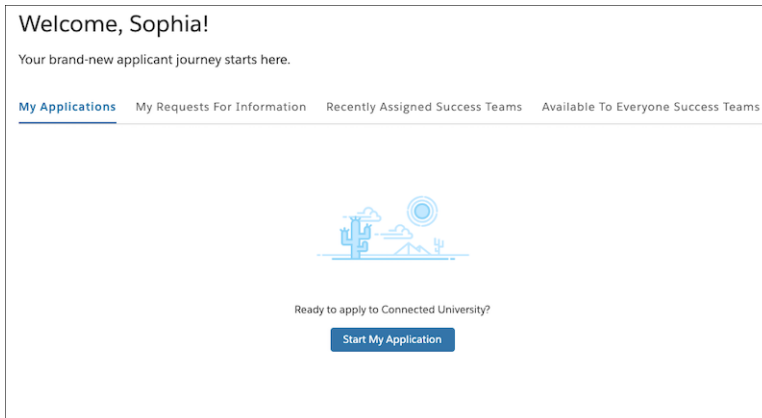
表 127: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

申込者ポータルを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権 および エクスペリエンスの作成および設定 および 設定・定義を参照する および サイトのメンバーであり、「設定・定義を参照する」権限があり、そのサイトのエクスペリエンス管理者、公開者、またはビルダーである
--------------	--

**注意**

Experience Cloud サイトを作成するには、組織でデジタルエクスペリエンスを有効にして、ドメインを登録する必要があります。

1. [設定] で、[デジタルエクスペリエンス] にある [すべてのサイト] を検索して選択します。
2. [デジタルエクスペリエンス] ページで、[新規] をクリックします。
3. Lightning Experience 設定フローで、[教育ポータル] テンプレートを選択します。

**注意**

[教育ポータル] テンプレートでは、申込者、学生、および卒業生がサポートされています。利用者を使用して、学習者の役割ごとに機能を利用できるようにします。

4. [使用開始] をクリックします。
5. サイトの名前を指定して、[作成] をクリックします。
6. [管理] をクリックします。
7. [メンバー] をクリックします。
8. [システム管理者] とすべてのコミュニティプロフィールを [選択済みプロフィール] セクションに追加します。
9. 変更内容を保存します。

関連情報:

- [デジタルエクスペリエンスの有効化](#)
- [教育ポータルの設定](#)

エージェントや親によるアクセス用の申込者ポータルの設定

OmniStudio コンポーネントを使用して申込者ポータルを設定し、親やエージェントが学生に代わって申し込めるようにします。

表 128 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
サードパーティアクセス用に申込者ポータルを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権および エクスペリエンスの作成および設定 および 設定・定義を参照する および サイトのメンバーであり、「設定・定義を参照する」権限があり、そのサイトのエクスペリエンス管理者、公開者、またはビルダーである

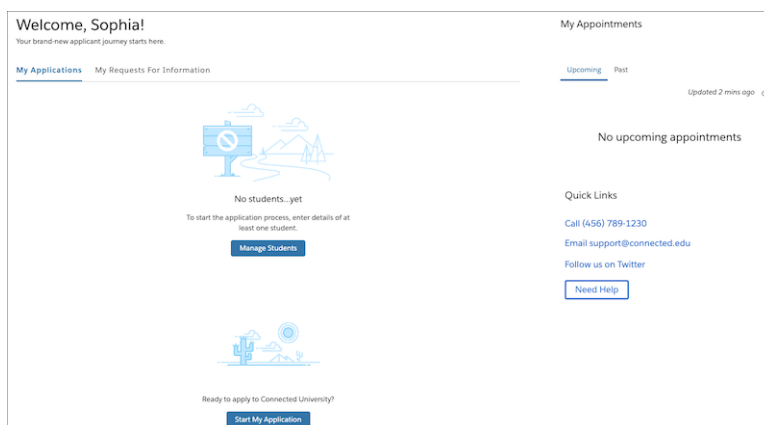


注意

申込者が自分で申し込めるポータルがすでにある場合は、別のポータルを作成し、サードパーティアクセス用に設定します。

申込者ポータルホームページをカスタマイズする

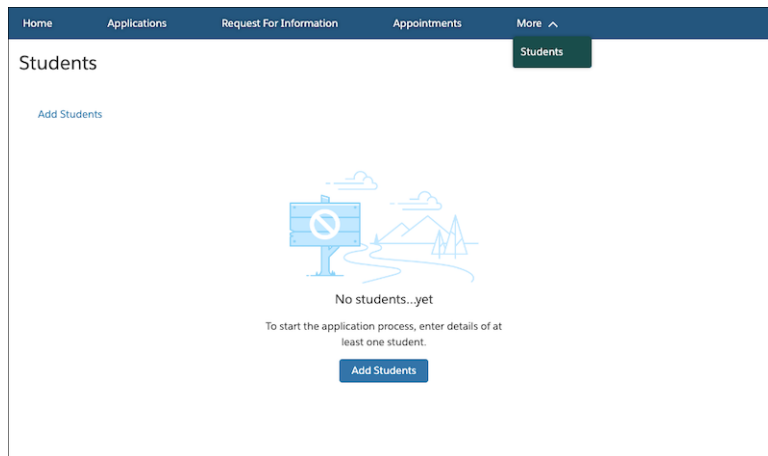
申込者ポータルのホームページを更新して、サードパーティが代表する学生の情報を入力して申込を送信できるようにします。



1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. 学習者ポータルサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3. ホームページで、 をクリックし、[Flexcard] コンポーネントをコンテンツ領域の [私の申込を開始] のすぐ上にドラッグします。
 - a. [FlexCard 名] で、[EDUAdmissionsNoStudentData] を選択します。
 - b. [公開された属性] に「{"ApiPageName": "Students__c"}」と入力します。
4. プレビューしてサイトを公開します。

学生ページを作成して設定する

親、保護者、エージェントが代表する学生を管理できるページを申込者ポータルに追加します。



1. サイトのエクスペリエンスビルダーで、 をクリックして、[新規ページ] をクリックします。
2. [標準ページ] を選択します。
3. [2 列、比率 2:1] をクリックし、[次へ] をクリックします。
4. [名前] に「Students」（学生）と入力します。

[URL] 項目は自動的に入力されます。
5. [API 参照名] に「Students」と入力します。
6. [作成] をクリックします。
7. メニューバーをクリックし、[デフォルトのナビゲーションを編集] をクリックします。

8. [メニュー項目を追加] をクリックし、次の値を指定します。
 - a. [名前] に「Students」(学生) と入力します。
 - b. [種別] で、[サイトページ] を選択します。
 - c. [ページ] で、[Students (学生)] を選択します。
9. 変更内容を保存します。
10. [Students (学生)] ページで、 をクリックします。
11. [リッチコンテンツエディター] コンポーネントを [コンテンツヘッダー] 領域にドラッグします。
12. [コンテンツの編集] をクリックし、「Students」(学生) と入力します。必要に応じて追加の書式設定を適用します。
13.  をクリックし、[Flexcard] コンポーネントを [コンテンツヘッダー] セクションのすぐ下にドラッグします。
14. [FlexCard 名] で、[EDUAdmissionsNewStudentButton] を選択します。
15.  をクリックし、[Flexcard] コンポーネントを [コンテンツ] セクションにドラッグします。
16. [FlexCard 名] で、[EDUAdmissionsMyStudents] を選択します。
17. プレビューしてサイトを公開します。

サードパーティアクセス用に DataRaptor を更新する

サードパーティがデータを追加する生徒をサードパーティに関連付けるには、サードパーティアクセス用に EDUAdmissionsGetLoggedInUserPersonAccount DataRaptor の別のコピーしたバージョンを作成します。

1. アプリケーションランチャーで、[OmniStudio DataRaptor] を見つけて選択します。
2. EDUAdmissionsGetLoggedInUserPersonAccount DataRaptor のコピーしたバージョンをクリックします。
3. [Account (取引先)] で、検索条件を Id=Contact:AccountId に設定します。
4. [Add Extract Step (抽出ステップを追加)] をクリックします。
5. [Select an Option (オプションを選択)] で、[Contact (取引先責任者)] を選択します。
6. [Extract Output Path (抽出出力パス)] に「Contact」と入力します。
7. 検索条件を Id=CurrentUser:ContactId に設定します。
8. [Contact (取引先責任者)] ステップを [Account (取引先)] ステップの上にドラッグします。
9. [Output (出力)] をクリックします。

10. [Account:PersonContactId] の [Edit (編集)] をクリックします。
11. [Extract JSON Path (抽出 JSON パス)] で、[Contact:Id] を選択します。

サードパーティアクセス用にインテグレーション手順を更新する

サードパーティ用の DataRaptor を参照するように、学生を作成するためのインテグレーション手順を更新します。

1. アプリケーションランチャーで、[OmniStudio インテグレーション手順] を見つけて選択します。
2. EDUAdmissions/CreateMyStudents インテグレーション手順のコピーしたバージョンをクリックします。
3. [GetUserPersonAccountInfo] をクリックします。
4. [DataRaptor Interface (DataRaptor インターフェース)] で、サードパーティ用の EDUAdmissionsGetLoggedInUserPersonAccount DataRaptor のコピーしたバージョンを選択します。

セルフ登録ページの設定

新規ポータルユーザー向けのセルフ登録ページを設定できます。ユーザーがセルフ登録を行うと、ユーザーはポータルの機能を使用するために必要なライセンスとプロファイルを取得します。

表 129: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

「[セルフ登録ページの設定](#)」を参照してください

Experience Cloud サイトの有効化

Experience Cloud サイトを有効にして、申込者ポータルの設定を完了します。

表 130: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
Experience Cloud サイトを有効化する	Education Cloud の完全なアクセス権 および エクスペリエンスの作成および設定 および 設定・定義を参照する および サイトのメンバーであり、「設定・定義を参照する」権限があり、そのサイトのエクスペリエンス管理者、公開者、またはビルダーである

**重要**

サイトを有効化する前に、サイトのプレビューとテストを行ってください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. Experience Cloud サイトの横にある [ワークスペース] をクリックし、[管理] を選択します。
3. [設定] をクリックします。
4. [有効化] をクリックして、[OK] をクリックします。

申込者ポータルユーザーの管理

申込者が Experience Cloud サイトにアクセスできるように準備します。

表 131 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

申込者ユーザーのプロファイルの作成

Customer Community Plus ユーザープロファイルをコピーして、申込者ポータルユーザーのプロファイルを作成します。

表 132 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
プロフィールを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

**注意**

自己申込者とサードパーティ申込者を含む、ユーザーの各種別に対してプロフィールを作成します。

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで「プロフィール」を検索し、[プロフィール] を選択します。
2. [Customer Community Plus ユーザー] で、[コピー] をクリックします。
3. 申込者プロフィールの名前を入力して、変更内容を保存します。
4. [オブジェクト設定] をクリックします。
5. [取引先] をクリックして、[編集] をクリックします。
6. [取引先: レコードタイプとページレイアウトの割り当て] で、[個人取引先]、[中学高等学校]、および [単科大学] を選択します。
7. 変更内容を保存します。

申込者とレビュー担当者への権限セットの割り当て

申込者とレビュー担当者に対する権限セットを作成して割り当てます。ユーザーが機関への申込の送信やレビューを行うには、Education Cloud for Experience Cloud ライセンスを持つ Customer Community Plus ユーザーである必要があります。

表 133 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
権限セットを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および 権限セットの割り当て

申込者権限セットを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Education Cloud for Experience Cloud アクセス] で、[コピー] をクリックします。
3. 新しい権限セットの表示ラベルと API 参照名を入力します。
4. 変更内容を保存します。
5. 新しい権限セット名をクリックし、[オブジェクト設定] をクリックします。
6. [ドキュメントチェックリスト項目] をクリックし、[編集] をクリックします。
7. [オブジェクト権限] で、[参照] と [作成] のみを有効にし、変更内容を保存します。
8. [ドキュメントチェックリスト項目] の横にある  をクリックして、[個人申込 ToDo] を選択し、[編集] をクリックします。
9. [項目権限] で、次の項目の [参照アクセス権] を選択します。
 - 申込フェーズ定義
 - 事前申込書の参照
10. 変更内容を保存します。
11. [個人申込 ToDo] の横にある  をクリックして、[Omni Process] を選択し、[編集] をクリックします。
12. [項目権限] で、次の項目の [参照アクセス権] を選択します。
 - 有効
 - 言語
 - サブ種別
 - 種別
 - Web コンポーネントを有効化
13. 変更内容を保存します。

レビュー担当者権限セットを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Education Cloud レビュー担当者] で、[コピー] をクリックします。
3. 新しい権限セットの表示ラベルと API 参照名を入力します。
4. 変更内容を保存します。
5. 新しい権限セット名をクリックし、[オブジェクト設定] をクリックします。

6. [事前申込書の参照] をクリックし、[編集] をクリックします。
7. [オブジェクト権限] で、[参照] を選択します。
8. 変更内容を保存します。

申込者の共有セットの作成

自分で申し込むユーザーの共有セットを作成します。

表 134: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込者共有セットを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[設定] を選択します。
2. [共有セット] で、[新規] をクリックします。
3. 表示ラベルとして、「Applicant Portal Sharing Set」（申込者ポータル共有セット）と入力します。
4. [プロフィールを選択] で、自己申込者プロフィールを [選択済みプロフィール] に追加します。
5. [取引先] オブジェクトを選択します。
6. [アクセス権の設定] セクションで [設定] をクリックします。
7. 次の項目を選択します。
 - ユーザー: Account.PersonContact
 - 対象取引先: PersonContact
 - アクセス権: 参照・更新
8. [更新] をクリックします。
9. 変更内容を保存します。

親、保護者、エージェントの共有セットの作成

申込者に代わって申し込むユーザーの共有セットを作成します。

表 135: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

サードパーティの共有セットを作成する

Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[設定] を選択します。
2. [共有セット] で、[新規] をクリックします。
3. 共有セットの表示ラベル（「K-12 Applicant Sharing」（K-12 申込者の共有）など）を入力します。Tab キーを押すと [共有セット名] 項目に自動的に入力されます。
4. [選択可能なプロファイル] で、[選択済みプロファイル] 列にサードパーティ申込者プロフィールを追加します。
5. [オブジェクト] で、次のオブジェクトを [選択されたオブジェクト] 列に追加します。
 - 個人申込
 - 個人申込 ToDo
 - 学歴
 - 個人の雇用
 - 個人審査
6. [アクセス権の設定] の [個人申込] で、[設定] をクリックします。
7. 次の対応付け値を選択します。
 1. [ユーザー] で、[Contact.RelatedAccount] を選択します。
 2. [対象取引先] で、[取引先] を選択します。



注意

個人申込 ToDo のアクセス権を設定する場合は、[IndividualApplication.Account] を選択します。

3. [アクセス権] で、[参照・更新] を選択します。
8. [更新] をクリックします。
9. 同様に、残りのオブジェクトのアクセス権を設定します。
10. 変更内容を保存します。

学生の申込レコードを親またはサードパーティと共有するには、申込決定、学歴、個人の雇用、個人審査レコードの [取引先責任者] および [取引先] 参照項目が入力されていることを確認します。

取引先責任者を複数の取引先に関連付けることをユーザーに許可 保護者やエージェントが複数の取引先の申込を送信できるように取引先設定を定義します。

表 136: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
1 つの取引先責任者から複数の取引先への関連付けをユーザーに許可する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] で、[クイック検索] ボックスに「取引先設定」と入力し、[取引先設定] を選択します。
2. [編集] をクリックします。
3. [取引先責任者を複数の取引先に関連付けることをユーザーに許可] をオンにして、変更内容を保存します。

取引先共有ルール作成

取引先オブジェクトの中学高等学校レコードタイプと単科大学レコードタイプを作成したら、ポータルユーザーにレコードへの「参照のみ」アクセス権を付与する共有ルールを作成します。

表 137: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
取引先共有ルールを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
2. [取引先共有ルール] の横にある [新規] をクリックします。
3. 表示ラベル名とルール名を入力します。
4. 必要に応じて、説明を入力します。
5. ルールタイプとして [条件に基づく] を選択します。

6. [共有するレコードを選択します] では、次の条件を追加します。
 - [項目] として、[取引先レコードタイプ] を選択します。
 - [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
 - [値] として [中学高等学校] と [単科大学] を選択します。
7. [共有先のユーザーを選択します] として、[公開グループ] と [すべてのカスタマーポータルユーザー] を選択します。
8. [ユーザーのアクセスレベルを選択します] として、次の項目を選択します。
 - デフォルトの取引先、契約のアクセス権: 参照のみ
 - 商談のアクセス権: 非公開
 - ケースのアクセス権: 非公開
9. 変更内容を保存します。

「[条件に基づく共有ルールの作成](#)」を参照してください。

申込の作成

OmniStudio コンポーネントと Education Cloud オブジェクトを使用して、機関への申込を作成します。

表 138: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

申込に関する考慮事項

申込のフェーズと、各フェーズで使用される OmniStudio コンポーネントを特定します。

表 139: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud で申込の作成を開始する前に、作成する申込エクスペリエンスについて考えることが重要です。

申込の目的と目標を定義する

申込の目的を明確に定義します。学部入学用と大学院入学用のどちらでしょうか？ 機関全体で機能する一般的な申込ですか？ それとも特定のプログラムまたは部門用ですか？

申込の形式を特定する

申込者が一度に完了して送信する単一フェーズの申込が必要ですか？または、各申込フェーズを異なる時間または異なる方法で完了できる複数フェーズの申込が必要ですか？たとえば、申込者は第 1 フェーズを今日完了し、名前と生年月日のみを入力してフォームを送信できます。1 週間後に戻ってきて第 2 フェーズを完了し、学歴を入力できます。申込者はフェーズを連続して完了する必要はありません。

収集する情報を分類する

申込者の学業成績、課外活動、個人的な資質の紹介など、申込の目的の概要を説明します。学術情報と個人情報に必要なすべての項目を含めます。

考えられる申込フェーズ、および各セクションで収集されるデータの概要の例を次に示します。

申込フェーズ	収集されるデータ
プロフィール	申込者の連絡先情報とデモグラフィックの詳細。
家族	申込者の親、保護者、兄弟姉妹に関する情報。
テスト	申込者のテスト情報（スコアやテスト日など）。
中学高等学校または高等学校教育	申込者が在籍していた中学高等学校。
大学教育	申込者が在籍していた大学。
ファイル	申込に必要なドキュメント（トランスクリプトや個人のエッセイなど）。

申込フェーズを表す OmniStudio コンポーネント

事前設計後、申込を表す OmniStudio コンポーネントを特定します。

表 140: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud には、申込者情報を収集して表示するためにコピーして使用できる OmniScript と FlexCard が用意されています。OmniScript を使用して申込者から情報を収集し、FlexCard を使用してレビュー担当者に情報を表示します。



重要

カスタマイズする予定がない場合でも、使用する Education Cloud OmniStudio コンポーネントをコピーしてください。

申込の例と、各フェーズで使用される OmniScript の概要を次に示します。

申込フェーズ	申込者 OmniScript	収集される情報
プロフィール	EDUAdmissions/ProfileWrapper	申込者のプロフィール情報を収集して保存します。
家族	EDUAdmissions/FamilySectionWrapper	申込者の家族情報を収集して保存します。
テスト	EDUAdmissions/ NewTestResultSectionWrapper	申込者のテスト結果を収集して保存します。
中学高等学校または 高等学校教育	EDUAdmissions/ NewSecondaryEducationSectionWrapper	申込者の教育情報を収集して保存します。
大学教育	EDUAdmissions/CollegeSectionWrapper	申込者の大学情報を収集して保存します。
ファイル	EDUAdmissions/NewFileSectionWrapper	申込者のファイルを収集して保存します。

レビュー担当者が CRM で申込を評価するには、FlexCard を使用して申込者から収集した情報を表示します。

サンプル申込で使用される Education Cloud FlexCard を次に示します。

申込フェーズ	レビュー担当者 Flexcard
プロフィール	EDUAdmissionsProfileSection

申込フェーズ	レビュー担当者 Flexcard
家族	EDUAdmissionsFamilySection
テスト	EDUAdmissionsTestResultsSection
中学高等学校または高等学校教育	EDUAdmissionsEducationSection
大学教育	EDUAdmissionsEducationSection
ファイル	EDUAdmissionsFilesSection

Education Cloud には、この例にリストされているものよりも多くの OmniStudio コンポーネントがあります。コンポーネントをコピーし、ニーズに合わせてカスタマイズできます。

申込フェーズの定義

申込のさまざまなフェーズを表す申込フェーズ定義レコードを作成します。

表 141 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込フェーズを定義する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「申込フェーズ」と入力し、[申込フェーズ定義] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 申込フェーズ定義の名前（「Profile Stage」（プロファイルフェーズ）など）を入力します。
4. 申込フェーズ定義の所有者の名前を選択します。
5. 必要に応じて、申込フェーズ定義の説明を入力します。
6. 種別として [募集と入学者選考] を選択します。
7. 変更内容を保存します。

OmniStudio コンポーネントのバージョンの作成と有効化

Education Cloud OmniScript および FlexCard をコピーして使用し、申込者情報を収集して表示します。

表 142 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

OmniStudio コンポーネントのバージョンを作成して有効化する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)
------------------------------------	---

OmniScript

申込の申込者情報を収集するために使用する独自のバージョンの OmniScript を作成します。

1. アプリケーションランチャーから、[OmniScript] を見つけて選択します。
2. 申込フェーズ定義に対応する OmniScript をクリックします。
例: EDUAdmissions/ProfileWrapper。
3. コピーするバージョンをクリックします。
4. [新規バージョン] をクリックします。
5. [編集] をクリックしてこのバージョンの名前を変更し、変更内容を保存します。
6. [バージョンの有効化] をクリックします。
7. 同様に、申込で使用する各 OmniScript に対してバージョンを作成します。



注意

一部の OmniScript には [今後のために保存する] リンクがあり、申込者はこれを使用して進捗状況を保存し、後で申込を続行できます。必要に応じて、OmniScript を編集してこの機能を削除できます。または、「完了」とマークされた後はセクションを変更できないようにする入力規則を設定できます。[「入力規則」](#)を参照してください。

FlexCard

申込レビュー担当者に申込者情報を表示するために使用する独自のバージョンの FlexCard を作成します。

1. アプリケーションランチャーから、[FlexCard] を見つけて選択します。

2. 申込フェーズ定義に対応する FlexCard をクリックします。
例: EDUAdmissionsProfileSection。
3. コピーするバージョンをクリックします。
4. [新規バージョン] をクリックします。
5. [編集] をクリックしてこのバージョンの名前を変更し、変更内容を保存します。
6. [バージョンの有効化] をクリックします。
7. 同様に、申込で使用する各 FlexCard に対してバージョンを作成します。

申込表示方法レコードの作成

申込で使用する各 OmniScript および FlexCard に対して申込表示方法レコードを作成します。

表 143 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込表示方法レコードを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「申込表示」と入力し、[申込表示方法] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 申込表示方法の名前を入力します。例: 「Profile OmniScript」(プロフィール OmniScript)。
4. [方法レコード] で、以前に作成した OmniScript のコピーを選択します。
5. [方法種別] で、オプションを選択します。
 - OmniScript
 - FlexCard
6. [利用状況の種別] で、[募集と入学者選考] を選択します。
7. 変更内容を保存します。
8. 同様に、各 OmniScript および Flexcard に対して申込表示方法レコードを作成します。

申込表示方法割り当てレコードの作成

申込表示方法割り当てレコードを作成して、申込フェーズ定義を対応する申込表示方法に関連付けます。

表 144 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込表示方法割り当てレコードを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「申込表示」と入力し、[申込表示方法割り当て] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 申込表示方法割り当ての名前を入力します。
例: 「Profile Stage」(プロフィールフェーズ)。
4. この割り当てを有効にするため、[有効] を選択します。
5. [申込表示方法] で、この割り当てに関連付けられた申込表示方法を見つけて選択します。例: 「Profile OmniScript」(プロフィール OmniScript)。
6. [申込コンポーネント] で、選択した申込表示方法に対応する申込フェーズ定義を選択します。
7. 変更内容を保存します。
8. 同様に、各申込フェーズ定義に対して申込表示方法割り当てレコードを作成します。

アクションプランテンプレートの作成

申込を表すアクションプランテンプレートを作成します。作成する申込ごとに個別のアクションプランテンプレートが必要です。

表 145 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
アクションプランテンプレートを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から [クイック検索] ボックスに「アクションプラン」と入力し、[アクションプラン テンプレート] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. アクションプランテンプレートの名前を入力します。
たとえば、「Undergraduate Application」(学部への申込) とします。
4. 必要に応じて、アクションプランテンプレートの説明を入力します。
5. アクションプランテンプレートとして [業種] を選択します。
6. 対象オブジェクトとして [事前申込書の参照] を選択します。
7. 変更内容を保存します。

アクションプランテンプレートへの ToDo の追加

各申込フェーズ定義レコードをアクションプランテンプレートに割り当てます。

表 146 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
アクションプランテンプレートに ToDo を追加する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から [クイック検索] ボックスに「アクションプラン」と入力し、[アクションプラン テンプレート] を選択します。
2. アクションプランテンプレートをクリックします。
3. [新規個人申込 ToDo] をクリックします。
4. 個人申込 ToDo の名前 (「Profile Stage」(プロフィールフェーズ) など) を入力します。
5. この ToDo に関連付けられた申込フェーズ定義を見つけて選択します。例: 「Profile Stage」(プロフィールフェーズ)。
6. 申込でこの ToDo を必須にするには、[必須] を選択します。
7. 変更内容を保存します。
8. 申込の各フェーズでこのプロセスを繰り返します。
9. フェーズの順序を変更するには、[並び替え] をクリックし、フェーズを目的の位置にドラッグして、変更内容を保存します。
10. [テンプレートの公開] をクリックします。

プログラム学期申込タイムラインへのアクションプランテンプレートの割り当て

申込を表すアクションプランテンプレートをプログラム学期申込タイムラインレコードに追加します。

表 147: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
プログラム学期申込タイムラインレコードにアクションプランテンプレートを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[プログラム学期申込タイムライン] を見つけて選択します。
2. プログラム学期申込タイムラインレコードをクリックします。
3.  をクリックして [編集] を選択します。
4. [アクションプランテンプレートバージョン] で、アクションプランテンプレートを見つけて選択します。
5. 変更内容を保存します。

申込の管理

機関の申込プロセスを設定して管理します。

表 148: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

入学者選考コンソールとレビュー担当者コンソールについて

入学者選考コンソールとレビュー担当者コンソールは、入学担当者と申込レビュー担当者が申込レビューに集中し、重要な ToDo を確認して、今後の重要な手順を実行する一元的な場所です。

表 149: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

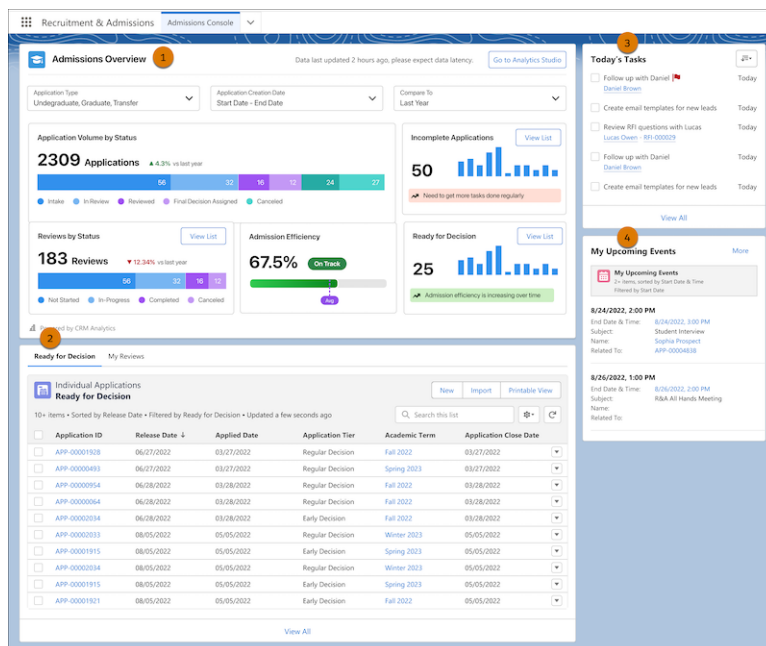
募集 & 入学者選考アプリケーションを開くと、役割とライセンスの種類に合ったホームページが表示されます。Education Cloud では、入学担当者と申込レビュー担当者向けのコンソールがそれぞれ用意されています。「[Education Cloud のコンソールの設定](#)」を参照してください。

コンソールについて学ぶ

各コンソールでは、入学担当者と申込レビュー担当者の両方が、日常の ToDo や行動と今後の ToDo や行動とともに、自分に割り当てられた申込レビューを確認できます。入学担当者は、機関への申込の状況に関連する概要データのインサイトを確認することもできます。

入学者選考コンソール

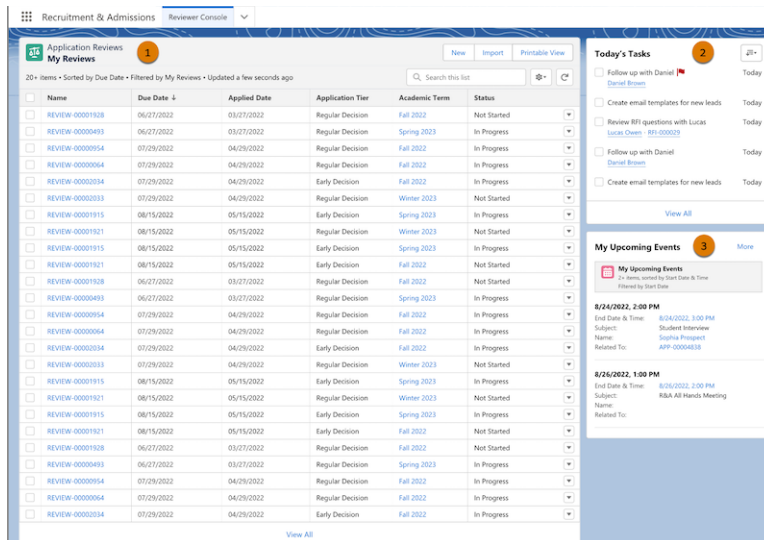
入学者選考コンソールは、機関内の入学担当者向けのコンソールです。これらのユーザーには、「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットライセンスが付与されます。Education Cloud に対する最も広範なアクセス権を持つため、操作するデータや情報も他のユーザーより多くなります。



- 申込数、申込レビューの状況、入学の効率、不完全な申込、決定可能な申込が表示されます (1)。
- 決定可能な申込、不完全な申込、レビューを割り当てられた申込のリストが表示されます (2)。
- 今日が期日の ToDo が表示されます。[すべて表示] をクリックするとすべての ToDo が表示されます (3)。
- 期日が近い今後の行動と ToDo が表示されます (4)。

レビュー担当者コンソール

レビュー担当者コンソールは、機関の申込レビューを行う担当者向けのコンソールです。レビュー担当者は、機関内または外部パートナーのどのユーザーでもなることができます。これらのユーザーには、「Education Cloud レビュー担当者」権限セットライセンスが付与されます。これにより、申込を表示して承認するのに必要な要素にアクセスできます。



- レビューを割り当てられた申込のリストが表示されます (1)。
- 今日が期日の ToDo が表示されます。[すべて表示] をクリックするとすべての ToDo が表示されます (2)。
- 期日が近い今後の行動と ToDo が表示されます (3)。

フローを使用した申込の管理

申込レビューを支援し、レコードを管理するフローを作成します。

表 150 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のフローを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

申込レビュープロセスの自動化

フローを使用して、個人申込のレビュープロセスを自動的に進めます。

表 151 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限

申込レビュープロセスを自動化する

Education Cloud の完全なアクセス権

個人申込レコードをレビュープロセスの次の部分の担当者に自動的に割り当てるには、これらのフローテンプレートを使用します。

フローテンプレート	動作
Application Intake (申込の受け入れ)	個人申込の状況を [処理中] から [レビュー中] に更新します。  注意 自動化プロセスを開始するには、このフローの [画面] 要素で手動で申込を [レビュー準備完了] としてマークする必要があります。
Application Review (申込レビュー)	すべてのレビューが完了したら、個人申込の状況を [レビュー中] から [意思決定準備完了] に更新します。
Application Decision (申込決定)	[申込決定] 項目に値がある場合、個人申込の状況を [意思決定準備完了] から [申込決定] に更新します。
Application Decision Creation (申込決定作成)	個人申込の申込決定レコードを作成します。また、個人申込の状況が [意思決定準備完了] に設定されている場合は、申込決定レコードを決定キューに割り当てます。
Application Review Creation (申込レビュー作成)	個人申込レコードの状況が [レビュー中] に設定されている場合、[Application Review Creation Sub-Flow (申込レビュー作成サブフロー)] フローを呼び出します。
Application Review Creation Sub-Flow (申込レビュー作成サブフロー)	3 個の申込レビューレコードを事前設定済みキューに割り当てます。[Application Review Creation (申込レビュー作成)] フローと [Application Auto-Admit (申込自動入学許可)] フローの両方でこのサブフローを使用します。
Application Auto-Admit (申込自動入学許可)	次の条件下で入学許可の決定を自動的に発行します。 - 個人申込の状況が [レビュー中] に設定されている。 - 申込者の取引先責任者プロフィールレコードの [主国籍] 項目が [米国] に設定されている。 - 学歴オブジェクトの申込者のすべての GPA 記録が評価尺度の 75% を超えている。

申込レビューフローの使用準備

申込レビューフローを使用する前に次の手順を完了します。

申込レビューと申込決定作成用のキューを作成する

[Application Review Creation Sub-Flow (申込レビュー作成サブフロー)] フローと [Application Decision Creation (申込決定作成)] フローでは、プロセスの部分ごとにキューを設定する必要があります。それぞれのフローで次のキュー名を含めたことを確認します。「[キューの作成](#)」を参照してください。

フロー	キュー名
Application Review Creation Sub-Flow (申込レビュー作成サブフロー)	Application_Reviews
Application Decision Creation (申込決定作成)	Application_Decisions

フローをコピーして有効化する

これらはテンプレートのため、使用する前にフローのコピーを作成してから、フローを有効化する必要があります。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. フローテンプレートを選択します。
3. [別名で保存] をクリックします。
4. フローの表示ラベル、API 参照名、省略可能な説明を入力します。
5. 変更内容を保存します。
6. [有効化] をクリックします。



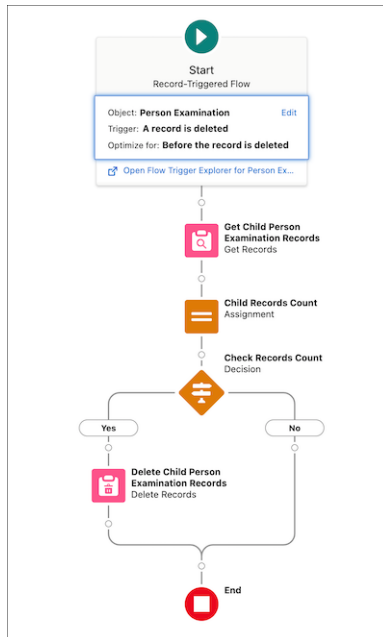
重要

データの問題を回避するには、[申込レビュー作成] と [申込自動入学許可] の両方ではなくいずれかを有効化します。

個人審査レコードを削除するフローの作成

親個人審査レコードを削除すると、子レコードが自動的に削除されます。

Education Cloud では、申込者が送信する標準テストデータは、個人審査オブジェクトのレコードとして表されます。一部の標準テストには、親個人審査レコードと子個人審査レコードを含む 2 つの深さのレコード階層があります。たとえば、ACT には、科学と数学などの分野の複合スコアと個々のスコアがあります。親個人審査レコードを削除するときに子レコードを削除するフローを作成することをお勧めします。



フロー要素の詳細

このテーブルでは、フローの各要素の動作について説明します。

フロー要素	動作
Start (開始)	個人審査レコードの削除によりフローがトリガーされます。
Get Child Person Examination Records (子個人審査レコードを取得)	削除された個人審査レコードの ID に等しい ParentPersonExaminationId 参照項目を持つ子個人審査レコードを見つけます。
Child Records Count (子レコード件数)	前のステップのクエリ結果の件数を ChildRecordSize という変数に割り当てます。この変数により、削除ステップを実行するかどうかが決まります。
Check Record Count (レコード件数を確認)	ChildRecordSize の値がゼロの場合、デフォルトの結果に従い、フローが終了します。値がゼロより大きい場合、[Delete Child Person Examination Records (子個人審査レコードを削除)] 要素が次に実行されます。
Delete Child Person Examination Records (子個人審査レコードを削除)	[Get Child Person Examination Records (子個人審査レコードを取得)] 要素で照会されたコレクション内の個人審査レコードを削除します。これで、フローは終了します。

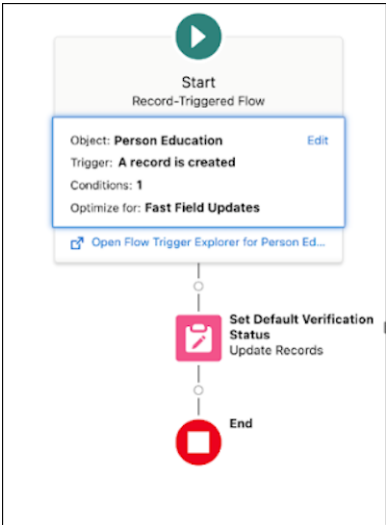
関連情報:

- [Flow Builder](#)

学歴オブジェクトでのデフォルトの検証状況の設定

[検証状況] 項目の値なしで学歴レコードが作成された場合に学歴オブジェクトの [検証状況] 項目のデフォルト値を設定するフローを作成します。

申込者に学歴オブジェクトへの更新アクセス権がないため、このフローでは学歴レコードの状況を実際に [未検証] に設定する必要があります。



フロー要素の詳細

フロー要素	動作
開始	[検証状況] 項目の値がない学歴レコードを作成すると、フローがトリガーされます。
デフォルトの検証状況の設定	[検証状況] 項目を値を [未検証] に設定します。

関連情報:

- [Flow Builder](#)

申込に対する検証、レビュー、決定

承認プロセスの各ステップを通じて申込の処理を行います。

表 152 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込に対する検証、レビュー、決定を行う	Education Cloud の完全なアクセス権

プロスペクト学生が機関に申込を送信すると、申込はレビューと承認のプロセスを進みます。まず、申込が完全であり、提供された情報が承認可能であることを入学担当者が検証します。次に、機関のレビュー担当者が申込を精査し、申込者の入学を許可するかどうかの推薦を行います。最後に、入学審査担当責任者が推薦をレビューし、最終的な決定を行います。

申込プロセスの管理

Education Cloud では、個人申込レコードをレビュープロセスの次の部分の担当者に自動的に割り当てるフローテンプレートが提供されます。

「[申込レビュープロセスの自動化](#)」を参照してください。

申込の検証

申込を検証するときに、申込者が提供したデータとドキュメントを調べ、すべて揃っているか確認します。

申込者が送信する項目は機関の要件に応じて異なり、トランスクリプト、推薦状などが含まれる場合があります。開始ポイントとして入学者選考コンソールまたはレビュー担当者コンソールを使用し、個人申込レコードを開きます。

検証ページに関する指針

検証ページではレビュー用に申込の資料がきれいに整理されます。

- 申込レビュープロセスの状況を確認します (1)。
- ナビゲーション領域で全体的な進行状況を確認します。各項目に状況アイコンが表示されます。要件をクリックすると、メインビューアーにジャンプします (2)。
- 項目の承認状況を設定します (3)。
- 項目の承認状況を編集します (4)。
- 引き続き検証が必要なレコードの数を確認します (5)。

要件の承諾、却下、または更新

個人申込に必要な項目を確認し、その項目の承認状況を設定し、項目に添付されたファイルとレコードを管理します。

1. ナビゲーション領域で要件をクリックし、申込者が提供したデータとドキュメントを検証します。検証する項目には [処理準備完了] という表示ラベルと共に承認状況をマークするアクションボタンが付けられます。

2. 個人申込レコードでドキュメントまたはデータの承認状況をマークします。プレビューウィンドウでドキュメントを開くには、チェックリスト項目の名前をクリックします。テストスコアなどの一部の詳細は個別のプレビューウィンドウで開きません。申込レコードの情報を検証します。
3. レコードを編集するには、をクリックして、[編集]を選択します。変更を加えて保存します。
4. 項目を見直したら、[放棄]、[却下]、または[承認]をクリックします。[承認]または[却下]をクリックすると、添付ファイルが格納されるドキュメントのドキュメントチェックリスト項目レコードの状況項目が更新されます。状況を変更するには、[状況の編集]をクリックして、新しい状態を選択し、変更内容を保存します。
5. 要件の状況を変更するには、[状況の編集]をクリックして、新しい状況を選択し、変更内容を保存します。
6. ファイルまたはレコードを申込から削除する手順は、次のとおりです。
 - a. 項目の横にある  をクリックして、[削除]を選択します。
 - b. [削除]をクリックします。

申込へのドキュメントの追加

申込者が期限ぎりぎりに推薦状、または資料に含める作文を送信した場合に、個人申込レコードにドキュメントを追加できます。

1. アプリケーションから、個人申込レコードを開きます。
2. [ファイル]をクリックし、[新規]をクリックします。
3. 新規項目に関するすべての関連情報を入力します。
4. [ファイルをアップロード]をクリックし、アップロードするファイルを選択して、[完了]をクリックします。



注意

アップロードしたファイルを削除せずにウィンドウを閉じると、ファイルは個人申込レコードから削除されますが、Salesforce からは削除されません。

5. 変更内容を保存します。

申込レビューページとドキュメントチェックリスト項目のリストで新しいドキュメントを表示します。

申込への試験レコードの追加

申込者からテスト結果を取得したら、テスト結果を個人申込レコードに追加できます。

1. 募集 & 入学者選考アプリケーションから、個人申込レコードを開きます。
2. [テスト結果]をクリックし、[新規]をクリックします。

3. テスト結果の関連情報を入力し、変更内容を保存します。
4. 科目固有のスコアをテストレコードに追加するには、レコードで [新規スコア] をクリックし、関連情報を入力して、変更内容を保存します。

申込のレビュー

申込者が機関に申込を送信すると、申込の処理担当者は申込者が必要な情報をすべて提供したかどうかを確認します。すべての情報が揃っている場合、申込はレビューの準備が整っています。

レビューのために申込を開くには、開始ポイントとして入学者選考コンソールまたはレビュー担当者コンソールを使用します。ここから、自分に割り当てられた申込を見つけ、申込をよく確認することができます。「[入学者選考コンソールとレビュー担当者コンソールについて](#)」を参照してください。

レビューページに関する指針

レビューページではレビュー用に申込の資料がきれいに整理されます。

- 申込のレビュー状況を確認します (1)。
- ナビゲーション領域で全体的な進行状況を確認します。各項目に状況アイコンが表示されます (2)。
- ナビゲーション領域で要件をクリックすると、1つのスクロール可能なビューで要件が表示されます。PDFが縮小、拡大、ページの回転などの機能を備えた組み込みビューアーで表示されます。誕生日や質問への回答など、申込者が提供したデータがドキュメントと一緒に表示されます (3)。
- コメントを入力して推薦を送信します (4)。

要件の状況の評価

個人申込のナビゲーションセクションには、各要件の状況に基づいてさまざまなアイコンが表示されます。

ここでは、要件の状況がどのようにアイコンに対応しているかを示します。

アイコン	チェックリストの状況	項目がファイルの場合	項目がデータの場合	要件のヘッダー
	処理準備完了	ファイルが添付され、状況が[未検証]に設定されます。	状況は[未検証]ですが、まだ[承諾済み]、[却下済み]、または[放棄済み]としてマークされていません。	1つ以上の要件が保留中の場合、ロールアップヘッダーは保留中になります。
	完了	ファイルが添付され、状況が[承諾済み]または[放棄済み]に設定されます。	状況が[承諾済み]または[放棄済み]	この領域のすべての要件が完了しています。
	却下済み	ファイルが添付され、状況が[却下済み]に設定されます。	状況が[却下済み]に設定されます。	該当しません。

ドキュメントとデータのレビュー

申込者が機関に送信する項目（トランスクリプトや推薦状など）を確認します。

プレビューウィンドウでドキュメントを開くには、チェックリスト項目の名前をクリックして、プレビュー画像をクリックします。ドキュメントをレビューしたら、プレビューウィンドウを閉じます。テストスコアなどの一部の情報は個別のプレビューウィンドウで開きません。申込レコードの情報をレビューします。

推薦の送信

個人申込の申込者の入学を許可するか却下するかの推薦を行います。

1. 募集 & 入学者選考アプリケーションから、個人申込レコードを開きます。
2. [申込レビュー] の横にある  をクリックして、[新規] をクリックします。
3. [申込推薦] をクリックし、オプションを選択します。
 - 待機中
 - 入学許可
 - 条件付き入学許可
 - 却下
4. その他の関連する情報を入力して変更内容を保存します。



重要

推薦を送信したら、変更はできず、コメントの表示のみを行うことができます。

申込のレビューに関する考慮事項

申込のレビュープロセスに向けて組織とユーザーを準備します。

- レビュー担当者が入学推薦を送信すると、レビュー終了日が自動的に入力されます。特別な権限を持っていない限り、この日付を編集することはできません。
- Salesforce システム管理者は申込レビューページのレコードアクションを設定します。これらのアクションには、編集、所有者の変更、削除などがあります。これらのアクションの一部には特別な権限が必要です。レビューページで実行できるアクションについては、入学チームにお問い合わせください。

入学に関する最終的な決定

申込がレビュープロセスを通過したら、最終的な決定の準備が整います。個人申込レコードで直接申込に関する最終的な決定を行います。入学者選考コンソールから個人申込にアクセスすることをお勧めします。



注意

通常、入学に関する決定特定の入学スタッフメンバーのみです。これらの項目を更新できない場合、適切な権限がありません。

1. 募集 & 入学者選考アプリケーションから、個人申込レコードを開きます。
2. [申込レビュー] セクションで申込のレビューを参照します。
3. [申込決定] セクションで、 をクリックして、[新規] をクリックします。
4. [申込推薦] をクリックし、オプションを選択します。
 - 入学許可
 - 登録
 - 待機リスト
 - 却下
 - キャンセル
5. その他の関連する情報を入力して変更内容を保存します。

ドキュメント管理の実装に関する考慮事項

Education Cloud でサポートされるファイルの種類と、その操作方法について説明します。

表 153 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud には、基本的なドキュメント管理機能が用意されています。Education Cloud コンポーネントにドキュメントを表示するには、Salesforce ファイルとして保存しておく必要があります。申込者が申込にドキュメントを追加すると、自動的に Salesforce ファイルとして保存されます。このファイルは、各申込レコードとドキュメントチェックリスト項目オブジェクトでアクセスできます。

次の種類のファイルが Education Cloud コンポーネントに表示されます。

- .pdf – プレビュー不可能なコピーガードされた PDF。
- .doc、.docx、.xls、.xlsx、.ppx – これらの形式には、Microsoft® Office 97 から Microsoft Office 2007 Word、Excel、PowerPoint までが含まれます。一部の Microsoft Office ドキュメントはプレビュー不可能であり、一部はプレビューで正常に表示されません。
- .jpg、.jpeg、.bmp、.gif、.png
- .txt、.rtf

プレビューに関する追加の考慮事項についての詳細は、「[コンテンツファイルのプレビューの問題](#)」を参照してください。

各ドキュメントチェックリスト項目には一意の Salesforce ファイルが含まれている必要があります。つまり、すでに別のドキュメントチェックリスト項目に追加された Salesforce ファイルを添付することはできません。ただし、Salesforce ファイルを個別の申込など、Salesforce の他のレコードに添付することはできます。

機関の中には、ドキュメントを数年間保持する必要がある機関や、一定回数の入学サイクルの後で削除する必要がある機関もあります。Education Cloud では、ドキュメント管理に特化したオートメーションやアーカイブツールは用意されていません。機関のドキュメントライフサイクルをすべてカバーする計画を作成してください。容量の制限については、「[ファイルのサイズおよび共有の制限](#)」と「[データストレージとファイルストレージの割り当て](#)」を参照してください。

学部生が大学院生として申込するなど、申込者は複数回機関に申込できます。どのようなオートメーションを実装する場合でも、必ず申込ドキュメントを適切な申込に関連付けるようにしてください。

入学スタッフと申込者が申込を追跡できるように、次のドキュメントチェックリスト項目の状況が用意されています。

ドキュメントチェックリスト項目の状況	Education Cloud コンポーネントにおける状況
新規	処理準備完了
放棄済み	放棄済み
承諾済み	承認済み
却下済み	入学スタッフと外部レビュー担当者には [却下済み] と表示され、申込者には [要注意] と表示されます。

新規ドキュメントアップロード時に自動的に状況を更新する

次の Apex コードを使用すると、学生が新しいバージョンのドキュメントを同じドキュメントチェックリスト項目にアップロードしたときに、自動的に状況が更新されます。

新規ドキュメントアップロード時に状況を更新する Apex

```
trigger ContentVersionTrigger on ContentVersion (after insert, after update)
{
    ContentVersionTriggerHandler cvth = new ContentVersionTriggerHandler();
    cvth.handleAfter(trigger.new);
}
```

ロジック ContentVersionTriggerHandler を使用するクラス

```
public without sharing class ContentVersionTriggerHandler {

    private static final Schema.SObjectType SOBJECT_TYPE_DCI =
        DocumentChecklistItem.getSObjectType();

    public void handleAfter(List<ContentVersion> contentVersions){
        Map<Id, DocumentChecklistItem> relatedDCIs =
            getDocumentChecklistItemIds(contentVersions);
        markAssociatedDCIAsPending(relatedDCIs.keySet());
    }

    private static Map<Id, DocumentChecklistItem>
        getDocumentChecklistItemIds(List<ContentVersion> contentVersions) {
        Set<Id> cdIds = new Set<Id>();
        Map<Id, DocumentChecklistItem> documentChecklistItems = new Map<Id,
            DocumentChecklistItem>();

        for (ContentVersion cv : contentVersions) {
            cdIds.add(cv.ContentDocumentId);
        }

        for (ContentDocumentLink cdlRecord : [Select LinkedEntityId FROM
            ContentDocumentLink WHERE ContentDocumentId IN: cdIds]) {
            Id linkedRecordId = cdlRecord.LinkedEntityId;
            if (linkedRecordId.getSObjectType() == SOBJECT_TYPE_DCI) {
                documentChecklistItems.put(linkedRecordId, new
                    DocumentChecklistItem(Id = linkedRecordId));
            }
        }

        return documentChecklistItems;
    }

    private static void markAssociatedDCIAsPending(Set<Id>
        documentChecklistItemIdSet) {
        List<DocumentChecklistItem> updatableDCIs = new
            List<DocumentChecklistItem>();

        for (Id currentDciId : documentChecklistItemIdSet) {
            updatableDCIs.add(new DocumentChecklistItem(Id =
                currentDciId, Status = 'Pending'));
        }

        update updatableDCIs;
    }
}
```

テストクラス

```
@IsTest
private class ContentVersionTriggerHandlerTest {
    @IsTest
    static void testHandleAfter(){
        // setup test data
        Account acct = new Account(Name='TEST_ACCT');
        insert acct;
        DocumentChecklistItem dci = new DocumentChecklistItem(WhoId
= UserInfo.getUserId(), Name='Test DCI', Status = 'Rejected',
ParentRecordId=acct.Id);
        insert dci;
        ContentVersion cv = new ContentVersion(Title = 'Test Document',
PathOnClient = 'TestDocument.pdf', VersionData = Blob.valueOf('Test
Content'), IsMajorVersion = true);
        insert cv;
        List<ContentVersion> cvList = [SELECT Id, Title, ContentDocumentId
FROM ContentVersion WHERE Id = :cv.Id];
        ContentDocumentLink cdl = new ContentDocumentLink(LinkedEntityId =
dci.id, ContentDocumentId = cvList[0].ContentDocumentId, shareType = 'V');
        insert cdl;

        //run test
        Test.startTest();
        cv.Description = 'test update';
        update cv;

        //assert
        for (DocumentChecklistItem adci : [SELECT Id, Status FROM
DocumentChecklistItem WHERE Id = :dci.Id]) {
            System.assertEquals('Pending', adci.Status, 'Document Checklist
Item should be Pending');
        }

        Test.stopTest();
    }
}
```

申込ドキュメントおよびデータの削除

Education Cloud からの個人識別情報の削除方法について説明します。

表 154 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
申込ドキュメントおよびデータを削除する	Education Cloud の完全なアクセス権

申込には、個人識別情報 (PII) と呼ばれる個人データが大量に含まれています。申込者または学生から連絡を受けて PII の削除を求められた場合、トランスクリプトや推薦状などの申込データやドキュメントを削除できるようにする必要があります。

それぞれの申込を削除しても関連付けられたタスク、ドキュメントチェックリスト項目、ファイルは削除されません。

Education Cloud と個人識別情報についての詳細は、「[データ保護とプライバシー](#)」を参照してください。



重要

通常、申込データやドキュメントを管理するのは入学審査担当責任者または Salesforce システム管理者のみです。機関が他のスタッフメンバーにデータやドキュメントの削除を担当させる予定の場合は、必ずこれらのユーザーに削除を行うための適切な権限を付与してください。自分自身がこれらのタスクを実行する入学スタッフメンバーであり、文書化された手順に従っていない場合は、Salesforce システム管理者に権限を確認してもらうよう依頼してください。

ドキュメントの削除

Education Cloud では、各申込者の関連ドキュメントはドキュメントチェックリスト項目レコードとして保存されます。デフォルトでは、ドキュメントチェックリスト項目からファイルを削除できません。

[添付ファイルを含むチェックリスト項目] の有効化

ユーザーがドキュメントを削除できるようにするには、事前にドキュメントチェックリスト項目の削除を可能にする設定を有効にします。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスで「ドキュメントチェックリスト設定」を検索し、[ドキュメントチェックリスト設定] を選択します。
2. [添付ファイルを含むチェックリスト項目] を有効にします。

[添付ファイルを含むチェックリスト項目] 設定を有効にすると、ファイルのドキュメントチェックリスト項目がまだ関連付けられている間に削除した場合、後で Salesforce からファイルを削除できなくなります。

申込要件ドキュメントの削除

1. アプリケーションランチャーで [ドキュメントチェックリスト項目] を検索して選択します。
2. 削除するファイルの横で、[アクション] メニュー  をクリックして [削除] を選択します。

3. [削除] をクリックして確定します。

データの削除

申込に対する申込者の回答から生成されたデータはさまざまなレコードに格納されます。質問の件名により、レコードのタイプが決まります。たとえば、取引先責任者レコードには誕生日が格納され、学歴レコードには申込者が以前に通っていた大学に関する情報が格納されます。

1. アプリケーションランチャーから、削除するレコードが含まれるオブジェクトを検索して選択します。
2.  をクリックして [削除] を選択します。または、さらに細かくレコードから個別の項目を削除することもできます。
3. [削除] をクリックして確定します。

「[レコードの削除](#)」を参照してください。

Academic Operations の管理

機関の教育サービス (科目、プログラム、学習オプション) を管理します。

Academic Operations アプリケーション

Education Cloud の Academic Operations アプリケーションを使用して、科目とプログラムの作成、学習結果の定義、プログラムプランの作成、学習スケジュールの管理などを行います。

表 155 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Academic Operations アプリケーションにより、登録スタッフは機関が提供する学業 (または学習) を管理できます。このアプリケーションを使用すると、スタッフは次の操作を実行できます。

- 学習ウィザードを使用して、科目、プログラム、およびカスタマイズされた学業を作成およびスケジュールする。
- 科目またはプログラムに登録するための必修科目、同時に履修する必要がある科目、推薦を管理する。
- 学習結果項目と学習の基礎項目を管理し、学習実績と関連付ける。
- 学習プログラムプランビルダーを使用して、プログラムプランを作成および管理する。

Academic Operations を有効にして設定するには、「[Academic Operations アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

学習科目の作成

Education Cloud Academic Operations アプリケーションの学習ウィザードを使用して、学習科目を作成します。

Education Cloud では、学習科目はより複雑な開講科目 (学部プログラムや博士プログラムなど) を作成するための基本単位です。科目やプログラムなどの学習を作成するときに、登録を選択する学習者の必修科目、同時に履修する必要がある科目、推薦を追加できます。すべての学習には、学習実績に関連付けられたデフォルトの学習結果があります。必要に応じて、学習に対して追加の学習結果を作成できます。学習または学習結果レコードの関連リストで、関連するレコードを表示します。

表 156 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習科目を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

前提条件

- 学習実績オブジェクトと学習実績設定オブジェクトが組織に設定されていることを確認する。「[Academic Operations アプリケーションの設定](#)」を参照してください。
1. アプリケーションランチャーから、[Academic Operations] を見つけて選択します。
 2. ホームページのアプリケーションナビゲーションメニューから、[学習科目] を選択します。
 3. [学習ウィザードから新規作成] をクリックします。
 4. 科目の名前を入力します。
 5. 科目を使用可能にするため、[有効] を選択します。
 6. その他の詳細を入力して、[次へ] をクリックします。
 7. 必要に応じて、科目に登録するための必修科目、同時に履修する必要がある科目、推薦を追加します。



注意

ロジック別にグループ化された複数の条件を追加します。

- すべての条件に一致 (AND): 学習実績種別を追加し、それぞれに必要な最小評価と期間を指定します。
- いずれかの条件に一致 (OR): 学習種別を追加し、それぞれに必要な最小評価を指定します。

8. [次へ] をクリックします。
9. 必要に応じて、デフォルトの結果にさらに結果を追加するには、[学習結果を追加] をクリックします。
10. [完了] をクリックします。

学習プログラムの作成

Education Cloud Academic Operations アプリケーションの学習ウィザードを使用して、学習プログラムを作成します。

表 157: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習プログラムを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

前提条件

- 学習実績オブジェクトと学習実績設定オブジェクトが組織に設定されていることを確認する。「[Academic Operations アプリケーションの設定](#)」を参照してください。
1. アプリケーションランチャーから、[Academic Operations] を見つけて選択します。
 2. ホームページのアプリケーションナビゲーションメニューから、[学習プログラム] を選択します。
 3. [学習ウィザードから新規作成] をクリックします。
 4. プログラム種別を選択して、[次へ] をクリックします。



注意

プログラム種別は、カスタムの学習実績種別レコードが設定されている場合にのみ使用できます。

5. プログラムの名前を入力します。

6. プログラムを使用可能にするため、[有効] を選択します。
7. その他の詳細を入力して、[次へ] をクリックします。
8. 必要に応じて、プログラムに登録するための必修科目、同時に履修する必要がある科目、推薦を追加します。

**注意**

ロジック別にグループ化された複数の条件を追加できます。

- すべての条件に一致 (AND): 学習実績種別を追加し、それぞれに必要な最小評価と期間を指定します。
- いずれかの条件に一致 (OR): 学習種別を追加し、それぞれに必要な最小評価を指定します。

9. [次へ] をクリックします。
10. 必要に応じて、デフォルトの結果にさらに結果を追加するには、[学習結果を追加] をクリックします。
11. [完了] をクリックします。

学習科目または学習プログラムの編集

Education Cloud Academic Operations アプリケーションの学習ウィザードを使用して、学習を変更します。

表 158: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習科目または学習プログラムを編集する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[Academic Operations] を見つけて選択します。
2. アプリケーションナビゲーションメニューから、変更する学習の種別を選択します。たとえば、[学習プログラム] を選択します。
3. 学習レコードのアクションメニューで、[学習ウィザードで編集] をクリックします。
4. 必要な詳細を入力して、[次へ] をクリックします。
5. 必要に応じて、必修科目、同時に履修する必要がある科目、推薦の条件を追加または削除し、[次へ] をクリックします。

6. 必要に応じて、学習結果を追加し、変更内容を保存します。



注意

- 必修科目、同時に履修する必要がある科目、推薦を変更すると、学習の基礎項目の関連付けが解除され、新しい学習の基礎項目が学習に関連付けられます。
- OR ロジックでグループ化された条件をリセットすると、関連付けられた学習の基礎項目レコードが削除されます。
- 学習に関連付けられた学習実績や学習結果を変更または削除することはできません。ただし、新しい学習実績や学習結果を追加することはできます。

学習プログラムプランの作成

学習プログラムを作成したら、プログラムプランビルダーを使用して、プログラムの特定の要素（必須科目や選択科目など）を整理します。

表 159: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習プログラムプランを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

プログラムプランを作成する前に、[Academic Operations アプリケーションを設定](#)します。

1. アプリケーションランチャーから、[学習プログラムプラン] を見つけて選択します。
2. [新規プログラムプラン] をクリックして、プログラムプランビルダーを開きます。
3. 親学習プログラムの名前を入力して、[次へ] をクリックします。
4. プランの詳細を入力して、変更内容を保存します。

プロパティパネルには、実行ユーザーに割り当てられているデフォルトのページレイアウトからの項目が動的に表示されます。

5. カテゴリ、必修科目、選択科目などの要素をプログラムプランに追加し、科目およびカテゴリノードの詳細への変更内容を保存します。

科目ノードのプロパティパネルにカテゴリを含めるには、科目ノードをカテゴリノード内に配置します。

6. プログラムプランへの変更内容を保存するには、[ドラフトを保存] または [保存して閉じる] をクリックします。

7. プログラムプランを公開して他のユーザーが使用できるようにする準備が整ったら、[公開] をクリックします。

1,000 件を超えるレコードを含むプログラムプランは、公開に時間がかかることがあります。公開したプログラムプランは編集できなくなります。



ヒント

学習科目の検索バーには、[すべての結果を表示] リンクが含まれており、これにより、より包括的な検索を実行できるウィンドウが開きます。[学習科目] ウィンドウの検索バーには、新しい学習科目を追加するオプションが表示されますが、このオプションは無効です。科目を作成するには、アプリケーションランチャーから [学習科目] を見つけて選択し、[学習ウィザードから新規作成] をクリックします。

プログラムプランの編集

正確なデータキャプチャと表示を確保するには、学習プログラムプランレコードの詳細ページを編集せずに、プログラムプランビルダーを使用してプログラムプランを編集します。

1. [学習プログラムプラン] リストビューで、更新するプログラムプランの



をクリックし、[プログラムプランを編集] を選択します。

2. 変更を行ったら、[プロパティを保存] をクリックします。
3. [ドラフトを保存] または [保存して閉じる] をクリックします。

プログラムプランの削除

1. [学習プログラムプラン] リストビューで、削除するプログラムプランの



をクリックし、[削除] を選択します。

2. 確認するには、[削除] をクリックします。

関連情報:

- [学習科目の作成](#)
- [学習プログラムの作成](#)
- [ページレイアウト](#)

学習者の学習プログラムプラン概要

学習者が学習者ポータルで学習プログラムプランの詳細を表示できるようにします。

表 160 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

エクスペリエンスサイトで Education Cloud の学習プログラムプラン概要コンポーネントを使用して、学習者が学習プログラムプランの詳細（説明、要件、関連付けられた学習プログラムの詳細など）を表示できるようにします。プログラムプランビルダーを使用して、学習プログラムプランを作成し、そのプランを学習者ポータルにリストとして表示します。学習者はリストから任意のプログラムプランをクリックして、その詳細を包括的なビューで簡単に表示できます。



注意

リストビューには、学習プログラムプランのドラフトも表示されます。ただし、学習者は学習プログラムプラン概要でドラフトプランの詳細を表示することはできません。

登録スタッフは、それぞれの学習プログラムプランのレコードページの [プログラムプラン概要] タブで詳細を表示できます。

組織での学習プログラムプラン概要の設定

学習者が学習プログラムプラン概要コンポーネントを使用できるように組織を設定します。

必要なユーザー権限	
組織を設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

前提条件:

- Academic Operations が有効になっていることを確認します。「[Academic Operations アプリケーションの設定](#)」を参照してください。

1. 必須オブジェクトへのアクセス権を有効にします。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
 - b. [デフォルトの共有設定] で、[編集] をクリックします。
 - c. オブジェクトに対して次のアクセス権を付与します。

オブジェクト	デフォルトの内部アクセス権	デフォルトの外部アクセス権
学習	公開/参照のみ	公開/参照のみ
学習実績	公開/参照のみ	公開/参照のみ

2. 学習者ポータルユーザーにアクセス権を付与するには、「Education Cloud for Experience Cloud アクセス」権限セットを割り当てます。[「権限セットの割り当ての管理」](#)を参照してください。

学習プログラムプラン概要を含む学習者ポータルの設定

エクスペリエンスビルダーを使用して、プログラムプラン概要コンポーネントを学習者ポータルに追加します。

必要なユーザー権限	
学習プログラムプラン概要コンポーネントを含む学習者ポータルを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および エクスペリエンスの作成および設定



注意

Experience Cloud サイトを作成するには、最初に組織でデジタルエクスペリエンスを有効にして、ドメインを登録します。[「デジタルエクスペリエンスの有効化」](#)を参照してください。Salesforce システム管理者、エクスペリエンス管理者、公開者、またはビルダーとしてサイトのメンバーであることも確認してください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「すべてのサイト」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. サイトを選択するか、サイトを作成します。[「教育ポータルの設定」](#)を参照してください。

3. エクスペリエンスビルダーで、テーマナビゲーションメニューに学習プログラムプランのリストページを追加します。
 - a. テーマナビゲーションメニューをクリックして、その設定を表示します。
 - b. [項目の最大表示数] 項目を必須として設定します。
 - c. [デフォルトのナビゲーションを編集] をクリックし、[メニュー項目を追加] を選択します。
 - d. 学習プログラムプラン用の新しいメニュー項目を設定します。

項目	値
名前	学習プログラムプラン
種別	Salesforce オブジェクト
オブジェクト種別	学習プログラムプラン
デフォルトのリストビュー	すべての学習プログラムプラン

- e. 変更内容を保存します。
4. 学習プログラムプラン概要を学習プログラムプランオブジェクトページに追加します。
 - a. 学習プログラムプランオブジェクトのオブジェクトページを作成します。[「エクスペリエンスビルダーを使用したカスタムページの作成」](#)を参照してください。
 - b. [学習プログラムプランの詳細] ページで、不要なコンポーネントを削除します。
 - c. [コンポーネント] をクリックし、[学習プログラムプラン概要] コンポーネントをページにドラッグします。
5. 必要に応じて追加のカスタマイズを適用し、プレビューして、サイトを公開します。[「エクスペリエンスビルダーを使用したサイトのカスタマイズ」](#)を参照してください。

機関での学生の成功のサポート

Education Cloud を使用して、学習者が学業の目的を達成できるようにします。

学習者ポータル用の学生サクセスコンポーネント

Education Cloud の学生サクセスコンポーネントを使用して、学習者のセルフサービス機能で機関の学習者ポータルを強化します。

表 161: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

エクスペリエンスビルダーでは、カスタムレイアウト、テーマ、ブランド設定を使用して、登録済み学習者のサイトを作成できます。すぐに使用可能な Lightning Web コンポーネントまたはカスタム Lightning Web コンポーネントを使用して機能を追加できます。Salesforce Lightning Experience で Web ページを簡単に構築する方法は、「[Experience Cloud サイトの構築とカスタマイズ](#)」を参照してください。

学生サクセスの Lightning Web コンポーネントにより、学習者ポータルにセルフサービス機能が取り込まれます。学習者ができる操作の概要を次に示します。

- サクセスチームおよび割り当てられたアドバイザーを表示する。
- アドバイザーの詳細を表示し、質問を投稿し、アドバイザーの対応可能状況を確認する。
- 過去および今後の予定を表示し、予定のスケジュールと管理を行う。
- 支援プログラムを表示して登録し、調査を受ける。
- ケアプラン、目標、給付を表示する。
- ToDo とアクションプランを表示および管理する。

学習者ポータルはモバイルデバイスでサポートされるため、学習者は外出先でケアプランとサクセスチームの詳細を表示したり、アドバイザーとの予定をスケジュールしたりできます。

学生サクセスコンポーネント用の組織の設定

学習者が学習者ポータルで情報を表示して学生サクセスコンポーネントを操作できるように組織を設定します。

表 162: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学生サクセスコンポーネント用の組織を設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

前提条件

- 学生サクセスが有効になっている。「[学生サクセスアプリケーションの設定](#)」を参照してください。
- [プログラムおよび給付管理] 設定が有効になっている。「[連動機能の設定](#)」を参照してください。
- ディスカバリーフレームワークが有効になっている。「[省略可能な機能の設定](#)」を参照してください。
- OmniStudio パッケージがインストールされている。「[Install or Upgrade the OmniStudio Package \(OmniStudio パッケージのインストールまたはアップグレード\)](#)」を参照してください。

1. 個人情報項目の表示を設定します。

- a. [設定] の [クイック検索] ボックスで「オブジェクトマネージャー」を見つけて選択します。
- b. オブジェクトのリストで、[ユーザー] をクリックします。
- c. [項目セット] を選択し、[PersonalInfo_EPIM] をクリックします。
- d. [町名・番地]、[市区郡]、[都道府県]、[国]、[郵便番号] などの住所項目を項目セットから削除します。
- e. [Fax]、[電話]、[携帯]、[メール]、[写真] 項目も削除します。
- f. 項目セットへの変更を保存します。除外された項目がユーザーに表示されるようになります。
- g. 外部ユーザーへのメール項目の表示を許可する追加の権限を有効にします。「[Experience Cloud サイトユーザーのメールアドレスを外部ユーザーまたはゲストユーザーに表示](#)」を参照してください。

2. プログラムおよび給付管理を有効にします。

- a. [設定] の [クイック検索] ボックスで [プログラムおよび給付管理設定] を見つけて選択します。
- b. [プログラム、給付、目標を作成して管理します] を有効にします。
- c. [給付割り当ておよび目標割り当ての親レコードへのアクセス権を持つユーザーがすべての給付割り当ておよび目標割り当てレコードにアクセスできるようにします] を有効にします。

3. 必須オブジェクトへのアクセス権を有効にします。
 - a. [設定] の [クイック検索] ボックスで [共有設定] を見つけて選択します。
 - b. [デフォルトの共有設定] で、[編集] をクリックします。
 - c. オブジェクトに対するアクセス権を次のように変更します。

オブジェクト	デフォルトの内部アクセス権	デフォルトの外部アクセス権
アクションプラン	公開/参照のみ	公開/参照のみ
アクションプランテンプレート	公開/参照のみ	公開/参照のみ
調査の質問	公開/参照のみ	公開/参照のみ
給付種別	公開/参照のみ	公開/参照のみ
プログラム	公開/参照のみ	公開/参照のみ
プログラム登録	公開/参照のみ	公開/参照のみ
サービスリソース	公開/参照のみ	公開/参照のみ
サクセスチーム	公開/参照のみ	公開/参照のみ
測定単位	公開/参照のみ	公開/参照のみ
ユーザー	公開/参照のみ	非公開



注意

- ユーザーは、ケースの取引先責任者としてリストされている場合のみケースを表示できます。「[カスタマーポータルユーザーが使用可能なケース](#)」を参照してください。
- ユーザーが別のユーザーによって作成されたアクションプランに ToDo を追加できるようにするには、アクションプランのデフォルトの内部アクセス権およびデフォルトの外部アクセス権として「公開/参照・更新可能」を付与します。
- ユーザーが別のユーザーに割り当てられた ToDo を含むアクションプランテンプレートを使用するには、それぞれのユーザーレコードへのアクセス権が必要です。

- d. 変更内容を保存します。

4. ToDo を管理するための必須のプロファイル権限を付与します。
 - a. [設定] の [クイック検索] ボックスで「プロファイル」と入力し、[プロファイル] を選択します。
 - b. リストから [Customer Community Plus Login ユーザー] を見つけて、[編集] をクリックします。
 - c. [一般ユーザー権限] で、[活動にアクセス] と [ToDo の編集] を有効にします。
 - d. 変更内容を保存します。
5. ケアプランオブジェクトのページレイアウトを設定します。
 - a. [設定] で [オブジェクトマネージャー] を見つけて選択します。
 - b. オブジェクトのリストで、[ケアプラン] を選択し、[ページレイアウト] をクリックします。
 - c. ページレイアウトを作成して設定します。たとえば、[関連リスト] をクリックして、[活動予定]、[給付割り当て]、[目標割り当て] を追加してケアプランの関連リストとして表示します。
 - d. 前のステップを繰り返して、給付割り当て、目標割り当て、および ToDo オブジェクトのページレイアウトを設定します。
 - e. [ページレイアウト]、[ページレイアウトの割り当て] の順にクリックして、新しいレイアウトを必要なプロファイルに割り当てます。
6. プログラムオブジェクトのページレイアウトを設定します。
 - a. [設定] で [オブジェクトマネージャー] を見つけて選択します。
 - b. オブジェクトのリストで、[プログラム] を選択し、[ページレイアウト] をクリックします。
 - c. [項目] をクリックし、[サクセスチーム] を [プログラムの詳細] セクションにドラッグします。
 - d. [Omni Process] と [学習者ポータルに表示] で前の手順を繰り返します。
 - e. 変更内容を保存します。

7. 共有ルールを作成して、必須の Omni Process へのアクセス権を有効にします。
 - a. [設定] の [クイック検索] ボックスで [セキュリティ] の [共有設定] を見つけて選択します。
 - b. [Omni Process Sharing Rules (Omni Process 共有ルール)] で [新規] をクリックします。
 - c. ルールの表示ラベルと名前を入力します。
 - d. [ルールタイプを選択します] で、[条件に基づく] を選択します。
 - e. [共有するレコードを選択します] で、次のように条件を追加します。

項目	演算子	値
Designer Customization Type (デザイナーのカスタマイズ種別)	次の文字列と一致する	デイスカバリーフレームワーク
種別	次の文字列と一致する	<i>YourOmniScriptType</i>
サブ種別	次の文字列と一致する	<i>YourOmniScriptSubType</i>

- f. [共有先のユーザーを選択します] で、[Public Groups of All Customer Portal Users (すべてのカスタマーポータルユーザーの公開グループ)] を選択します。
 - g. [ユーザーのアクセスレベルを選択します] で、[参照のみ] を選択します。
 - h. 変更内容を保存します。
8. OmniScript を実行するための必須の Apex クラスへのアクセス権を付与します。
 - a. [設定] の [クイック検索] ボックスで「プロファイル」と入力し、[ユーザー] の [プロファイル] を選択します。
 - b. プロファイルのリストから、[Customer Community Plus ユーザー] をクリックします。
 - c. [有効な Apex クラスアクセス] で、[編集] をクリックします。
 - d. [利用可能な Apex クラス] で、[BusinessProcessDisplayController] を選択して [追加] をクリックします。
 - e. 変更内容を保存します。

9. アクションプランを管理するために必要な権限をポータルユーザーに付与します。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限」と入力し、[権限セット] を選択します。
 - b. リストから [Education Cloud for Experience Cloud アクセス] を見つけ、[コピー] をクリックします。
 - c. 表示ラベル、API 参照名、説明を入力します。
 - d. [保存] をクリックします。
 - e. 新しい権限セットを選択します。
 - f. [アプリケーション] で、[オブジェクト設定] をクリックします。
 - g. [アクションプラン] を選択し、[編集] をクリックします。
 - h. [オブジェクト権限] で、[作成] と [編集] を有効にします。
 - i. 変更内容を保存します。
10. アクションプランテンプレート割り当てオブジェクトのページレイアウトを設定します。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「オブジェクトマネージャー」と入力し、[オブジェクトマネージャー] を選択します。
 - b. オブジェクトのリストで、[アクションプランテンプレート割り当て] を選択し、[ページレイアウト] をクリックします。
 - c. 既存のページレイアウトを選択するか、新しいページレイアウトを作成します。
 - d. [項目] をクリックし、[関連付けられたレコードタイプ] を [アクションプランテンプレート割り当ての詳細] セクションにドラッグします。
 - e. 変更内容を保存します。
11. アクションプランテンプレートオブジェクトのページレイアウトを設定します。
 - a. アプリケーションランチャーから、[アクションプランテンプレート] を見つけて選択します。
 - b. [設定] で、[オブジェクトを編集] をクリックします。
 - c. [ページレイアウト] をクリックします。
 - d. [項目] をクリックし、[学習者ポータルに表示] を [アクションプランテンプレートの詳細] セクションにドラッグします。
 - e. 変更内容を保存します。

12. プログラム登録に必要な権限をポータルユーザーに付与します。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限」と入力し、[権限セット] を選択します。
 - b. ステップ 9 で作成した権限セットを選択します。
 - c. [アプリケーション] で、[オブジェクト設定] をクリックします。
 - d. [プログラム登録] を選択し、[編集] をクリックします。
 - e. [オブジェクト権限] で、[参照]、[作成]、[編集] を有効にします。
 - f. 変更内容を保存します。
 - g. [給付割り当て] に対してステップ h ~ i を繰り返します。
13. プロセスの自動化用に、デフォルトのワークフローユーザーを指定します。「[Salesforce 組織のデフォルトのワークフローユーザーの特定](#)」を参照してください。
14. 給付支払を自動的に作成して更新するためにフローを有効化します。
 - a. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
 - b. リストで [EDU Cloud: Batch Generate Benefit Disbursements for Service Appointments (EDU Cloud: サービス予定の給付支払を一括生成)] をクリックします。
 - c. [別名で保存] をクリックします。
 - d. フローの表示ラベル、フローの API 参照名、説明を入力します。
 - e. 変更内容を保存します。
 - f. [有効化] をクリックします。
 - g. [EDU Cloud: Update Benefit Disbursement by Service Appointment (EDU Cloud: サービス予定により給付支払を更新)] フローに対してステップ a ~ f を繰り返します。

学生サクセスコンポーネントを使用した学習者ポータルの設定

エクスペリエンスビルダーを使用して、学生サクセスコンポーネントを学習者ポータルに追加し、設定します。

表 163 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

必要なユーザー権限	
学生サクセスコンポーネントを使用して学習者ポータルを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および エクスペリエンスの作成および設定 および 設定・定義を参照する および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

**注意**

Experience Cloud サイトを作成するには、最初に組織でデジタルエクスペリエンスを有効にして、ドメインを登録します。[「デジタルエクスペリエンスの有効化」](#)を参照してください。Salesforce システム管理者、エクスペリエンス管理者、公開者、またはビルダーとしてサイトのメンバーであることも確認してください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「すべてのサイト」と入力し、[デジタルエクスペリエンス] にある [すべてのサイト] を選択します。
2. [デジタルエクスペリエンス] ページで、[新規] をクリックします。
3. Lightning Experience ウィザードで、[教育申込者ポータル] テンプレートを選択します。
4. [使用開始] をクリックします。
5. サイトの名前を指定して、[作成] をクリックします。
6. [私のワークスペース] で、[ビルダー] をクリックすると、エクスペリエンスビルダーが新しいタブで開きます。
7. 既存のレイアウトで、必要でないコンポーネントを削除します。

8. アドバイザープロフィールページを追加して設定します。
 - a. 上部の [ページのプロパティ] アイコンをクリックして、[+ 新規ページ] を選択します。
 - b. [標準ページ] を選択し、目的のページレイアウトを選択します。
 - c. 名前と URL を入力し、API 参照名として「AdvisorProfile」と入力して、変更内容を保存します。または、AdvisorPageName 変数を使用してカスタムページをコールします。
 - d. 左上の [コンポーネント] をクリックして、[Flexcard] コンポーネントを見つけて選択し、新しいページにドラッグします。
 - e. 右ペインの Flexcard のプロパティで、「EDUStudentAdvisorProfile」という名前を入力し、公開された属性として「{"StaffId": "{!StaffId}"}」と入力します。
9. サクセスチームページを追加して設定します。
 - a. 上部の [ページのプロパティ] アイコンをクリックして、[+ 新規ページ] を選択します。
 - b. [標準ページ] を選択し、目的のページレイアウトを選択します。
 - c. 名前として「サクセスチーム」と入力し、URL を入力して変更内容を保存します。または、SuccessTeamPageName 変数を使用してカスタムページをコールします。
 - d. [タブ] コンポーネントをページにドラッグし、右側のプロパティペインを使用してカスタムタブ [割り当て先が私] および [Additional Support (追加のサポート)] を追加します。
 - e. [Flexcard] コンポーネントを [割り当て先が私] タブにドラッグして、右側のプロパティペインで「EDUStudentSuccessTeamsAssignedToMe」という名前を入力します。
 - f. [Flexcard] コンポーネントを [全員が対応可能] タブにドラッグして、右側のプロパティペインで「EDUStudentSuccessTeamsAvailableToEveryone」という名前を入力します。

10. プログラムのオブジェクトページを設定します。
 - a. 左上の [ページのプロパティ] アイコンをクリックして、[+ 新規ページ] を選択します。
 - b. [オブジェクトページ] を選択します。
 - c. [New Object Pages (新規オブジェクトページ)] で、[プログラム] を見つけて選択し、[次へ] を選択します。
 - d. [作成] をクリックします。デフォルトでは、ページエディターで [プログラムの詳細] ページが開きます。
 - e. 必要でないコンポーネントを削除します。
 - f. 左上の [コンポーネント] をクリックして、[Flexcard] コンポーネントを見つけて選択し、新しいページにドラッグします。
 - g. 右ペインの Flexcard のプロパティで、「EDUProgramMgmtProgramOverview」という名前を入力します。
11. プログラム登録オブジェクトに対してステップ 10 を繰り返し、「EDUProgramMgmtPgmEnrlRecordPage」という Flexcard コンポーネントを追加します。
12. アクションプランオブジェクトに対してステップ 10 を繰り返し、[アクションプランレコードページ] コンポーネントを追加します。
13. プログラムのホームページを設定します。
 - a. 左上の [ページのプロパティ] アイコンをクリックして、[+ 新規ページ] を選択します。
 - b. [標準ページ] を選択し、[柔軟なレイアウト] を選択して [次へ] をクリックします。
 - c. 名前、URL、API 参照名を入力します。たとえば、それぞれ「Program Home」（プログラムホーム）、「ProgramHome」、「ProgramHome」と入力します。
 - d. [作成] をクリックします。
 - e. 左上の [コンポーネント] をクリックして、[Flexcard] コンポーネントを見つけて選択し、新しいページにドラッグします。
 - f. 右ペインの Flexcard のプロパティで、「EDUProgramMgmtProgramHome」という名前を入力します。

14. 調査ページを設定します。

- a. 左上の [ページのプロパティ] アイコンをクリックして、[+ 新規ページ] を選択します。
- b. [標準ページ] を選択し、[柔軟なレイアウト] を選択して [次へ] をクリックします。
- c. 名前として「AssessmentView」と入力し、URL を入力して変更内容を保存します。または、EDUProgramMgmtProgramHome および EDUProgramMgmtProgramOverview Flexcard のプロパティの AssessmentPageName 項目を使用してカスタムページを指定します。
- d. [作成] をクリックします。
- e. 左上の [コンポーネント] をクリックして、[Vlocity LWC Omniscrypt Wrapper (Vlocity LWC Omniscrypt ラッパー)] コンポーネントを見つけて選択し、新しいページにドラッグします。

15. アクションプランのページを設定します。

- a. 左上の [ページのプロパティ] アイコンをクリックして、[+ 新規ページ] を選択します。
- b. [標準ページ] を選択し、[柔軟なレイアウト] を選択します。
- c. 名前と URL を入力します。たとえば、「My Action Plans」(私のアクションプラン) と「myactionplans」とします。
- d. [作成] をクリックします。
- e. 必要でないコンポーネントを削除します。
- f. 左上の [コンポーネント] をクリックして、[アクションプランレコードページ] コンポーネントを見つけて選択し、新しいページにドラッグします。

16. テーマナビゲーションメニューを設定します。

- a. テーマナビゲーションメニューをクリックして、その設定を表示します。
- b. [項目の最大表示数] を必須として設定します。
- c. [デフォルトのナビゲーションを編集] をクリックし、[メニュー項目を追加] を選択します。
- d. ケアプラン用の新しいメニュー項目を設定します。

項目	値
名前	ケアプラン
種別	Salesforce オブジェクト
オブジェクト種別	ケアプラン

項目	値
デフォルトのリストビュー	デフォルト

- e. 変更内容を保存します。
- f. ToDo に対してステップ c ~ e を繰り返します。
- g. サクセスチームに対して次の値を使用してステップ c ~ e を繰り返します。

項目	値
名前	サクセスチーム
種別	サイトページ
ページ	サクセスチーム

- h. プログラムに対して次の値を使用してステップ c ~ e を繰り返します。

項目	値
名前	プログラム
種別	サイトページ
ページ	Program Home (プログラムホーム)

- i. アクションプランに対して次の値を使用してステップ c ~ e を繰り返します。

項目	値
名前	アクションプラン
種別	サイトページ
ページ	My Action Plans (私のアクションプラン)

- j. 変更内容を保存します。

17. ホームページのサイドバーを設定します。

- a. ホームページで、[タブ] コンポーネントをサイドバーにドラッグし、カスタムタブ [サクセスチーム]、[予定]、および [ケアプラン] を追加します。
- b. [Flexcard] コンポーネントをそれぞれのタブにドラッグして、次のように設定します。

タブ	Flexcard 名
サクセスチーム	EDUStudentRecentlyAssignedSuccessTeam

タブ	Flexcard 名
予定	EDUStudentMyAppointmentsHeader  注意 ユーザーが[予定をスケジュール]をクリックすると、予定を作成するワークフローがポップアップとして表示されます。または、[教育申込者ポータル]テンプレートで使用できる[予定]ページを使用します。
ケアプラン	EDUStudentRecentlyAssignedCarePlan

c. [私の予定] コンポーネントを [予定] タブの Flexcard の下にドラッグします。

18. 必要に応じて追加のカスタマイズを適用し、プレビューして、サイトを公開します。「[エクスペリエンスビルダーを使用したサイトのカスタマイズ](#)」を参照してください。

学生サクセスアプリケーション

Education Cloud の学生サクセスアプリケーションを使用して、公平で統一されたコラボレーション型の学生サポート環境を提供します。

表 164 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

学生サクセスアプリケーションでは、機関全体にわたって学習者の成功を個々の学習者レベルで一元的に追跡および促進できます。このアプリケーションは、機関の要件に合わせてカスタマイズできます。たとえば、[Lightning アプリケーションビルダー](#)を使用してレイアウトを作成したり、コンポーネントを追加したりできます。

責任者またはアドバイザーがアプリケーションを開くと、特定の役割とライセンスの種類に応じて調整された機能がホームページに表示されます。

責任者ができる操作の概要を次に示します。

- アドバイザーを割り当てて、サクセスチームを管理する
- 学習者レコードに関するアラートを管理する
- ケアプラン、目標、ToDo を管理する。
- プログラム、給付、給付スケジュール、支払を管理する。

- 学生の成功に関する機関の重要業績評価指標 (KPI) を参照して、Analytics ダッシュボードを介してインサイトを得る。

アドバイザーができる操作を次に示します。

- 学習者レコードに関するアラートを作成して管理する
- ケアプラン、目標、ToDo を作成および管理し、それらを学生に割り当てる。
- 学習者をプログラムや給付に登録する
- 学生の成功に関する KPI を参照して、Analytics ダッシュボードを介してインサイトを得る。
- プログラム、給付、給付スケジュール、支払を参照する。

組織での学生サクセスの有効化

学生サクセスを有効にし、学習者に教育、運動、健康、資金援助などの支援を提供する一元的な場所を作成します。

表 165 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学生サクセスを有効化する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで [Education Cloud の設定] を見つけて選択します。
2. 学生サクセスアプリケーションで、[有効化] をクリックします。

有効化すると、次のようになります。

- 学生サクセスアプリケーションをアプリケーションランチャーで使用できます。
- タイムラインコンポーネントの設定を使用できます。ただし、タイムラインも有効にする必要があります。
- ケースおよびプログラム管理に関連付けられたオブジェクトの項目では、Education Cloud 固有の選択リスト値を使用できます。

学生サクセスアプリケーションのカスタマイズ

学生サクセスアプリケーションは、Lightning アプリケーションビルダーを使用してさまざまなロールに固有のレイアウトや機能を作成するなど、機関の要件に合わせてカスタマイズできます。

表 166 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学生サクセスアプリケーションをカスタマイズする	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] を見つけて選択します。
2. [設定] の [クイック検索] ボックスで、[Lightning アプリケーションビルダー] を見つけて選択します。
3. リストからページを選択して編集するか、[新規] をクリックしてページを作成します。

要件に合わせてアプリケーションをカスタマイズします。コンポーネントを追加したり、コンポーネントを変更してカスタム機能を作成したりできます。[「Lightning アプリケーションビルダー」](#)を参照してください。

関連情報:

- [学生サクセスの責任者コンソールの設定](#)
- [アドバイザーコンソールの設定](#)
- [プログラム管理を使用した学習者のサポート](#)
- [アラートを使用した学習者のパフォーマンスの監視](#)
- [ケアプランを使用した学習者のサポート](#)

ケアプランを使用した学習者のサポート

Education Cloud の学生サクセスアプリケーションを使用して、学習者が教育の成功を達成するのに役立つパーソナライズしたケアプランを作成します。

表 167 : 必要なエディション

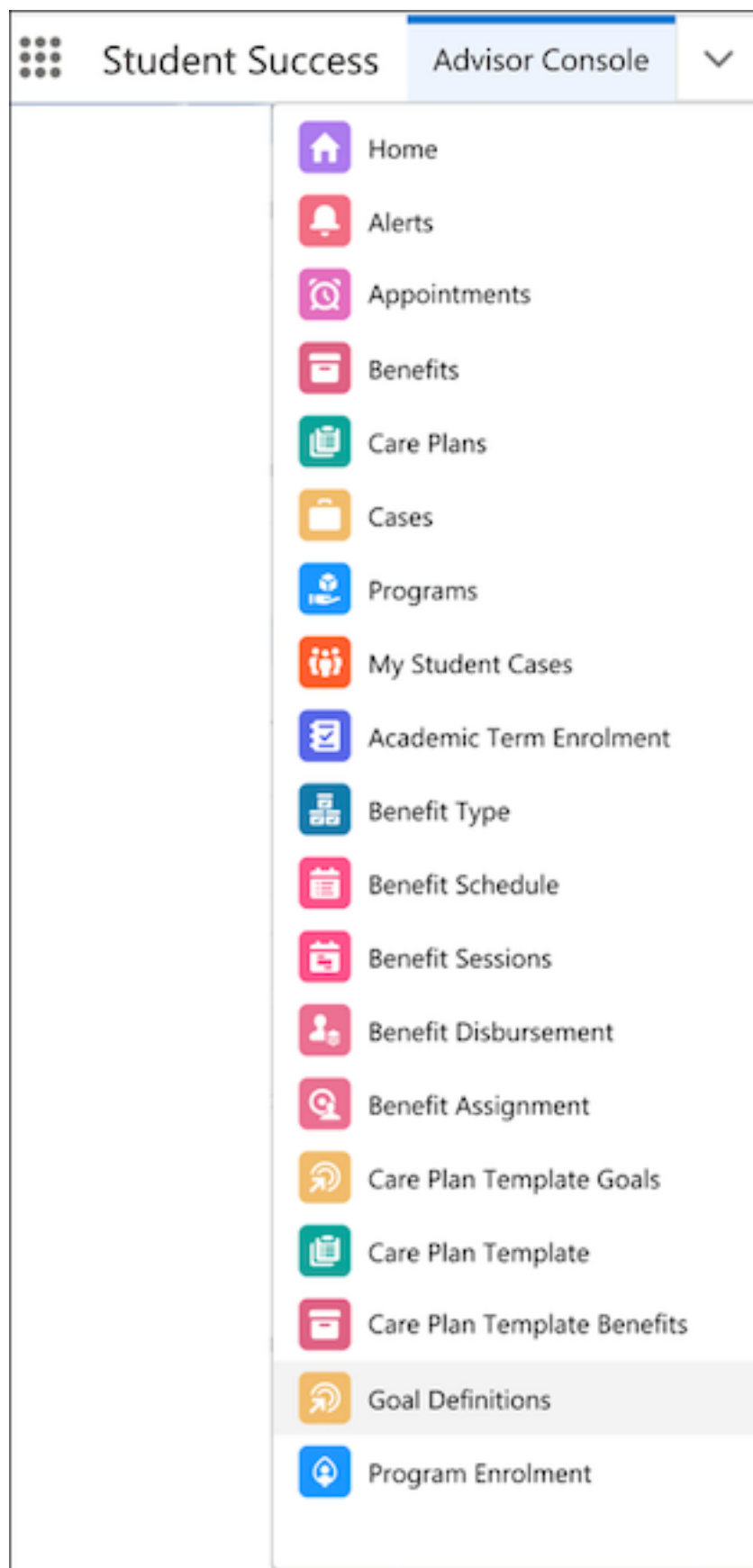
使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	

個人はそれぞれ異なり、学習ニーズも異なります。有意義な学習体験を提供するには、学習者の要件を理解して学習者をサポートすることが重要です。機関ではアドバイザーが雇用されており、学習ジャーニーのさまざまな側面について学習者に助言し、学習者が課題を克服できるようにサポートしています。

アドバイザーは Education Cloud でケアプランを使用して、各ケースを簡単に追跡できるほか、目標と ToDo を割り当てて学習者が目標の達成に向けて前進するように導くことができます。アドバイザーは、学習者のニーズに合わせてカスタマイズしたケアプランを作成できます。目標と ToDo に加えて、特定の給付もケアプランに追加できます。学習者は、その給付が含まれるプログラムに自動的に登録されます。

ケアプランは学習者のケースに直接適用するか、学習者のケースで作成されたアラートに適用できます。詳細は、「[ケアプラン](#)」を参照してください。

学生サクセスアプリケーションのアドバイザーコンソールのドロップダウンナビゲーションメニューから、ワークフローを起動して、ケアプラン、ケアプランテンプレート、目標、および給付を作成することができます。



モバイル対応の学習者ポータルを使用すると、学習者は外出先でケアプランやサクセスチームの詳細を表示したり、アドバイザーとの予定をスケジュールしたりできます。

ケアプランの作成

学習者の課題の克服と学習目標の達成に役立つケアプランを作成します。

表 168: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
ケアプランを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] を見つけて選択します。
2. アドバイザーコンソールで、ドロップダウンナビゲーションメニューをクリックして、[ケアプラン] を選択します。
3. [新規] をクリックして、ケアプランの名前と説明を入力します。
4. [ケース] では、学習者のケースを見つけて選択し、ケアプランに関連付けます。
5. [状況] では、[ドラフト] を選択します。
6. [関係者] では、学習者の個人取引先を見つけて選択します。
7. その他の関連する詳細を入力して、変更内容を保存します。

新しいケアプランを編集して目標定義と給付を追加できるようになりました。準備ができたら、ケアプランの状況を [有効] に設定します。

ケアプランテンプレートの作成

頻繁に使用する給付と目標を使用してケアプランテンプレートを作成すると、それらを再利用してケアプランを作成できます。

表 169: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
ケアプランテンプレートを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] を見つけて選択します。

2. アドバイザーコンソールで、ドロップダウンナビゲーションメニューをクリックして、[ケアプランテンプレート]を選択します。
3. [新規]をクリックして、ケアプランテンプレートの名前と説明を入力します。
4. [状況]では、[ドラフト]を選択して、変更内容を保存します。

新しいケアプランテンプレートの関連リストビューで、目標定義と給付を追加して、テンプレートを既存のケアプランに割り当てます。準備ができたら、ケアプランテンプレートの状況を[有効]に設定します。詳細は、「[ケアプランテンプレートの作成](#)」を参照してください。

アラートへのケアプランの適用

ケアプランをレコードアラートに適用してそれぞれの学習者をサポートします。

表 170: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
アラートにケアプランを適用する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス]を見つけて選択します。
2. アドバイザーコンソールで、ドロップダウンナビゲーションメニューをクリックして、[レコードアラート]を選択します。
3. レコードアラートを選択して、[ケアプランを適用]をクリックします。
4. 名前を入力して、ケアプランの状況を選択します。
5. 関係者を確認し、その他の関連する詳細を入力して、[次へ]をクリックします。
6. 必要に応じて目標定義と給付を追加または削除して、[追加]をクリックします。
7. ケアプランの詳細を確認して、変更内容を保存します。

アラートを使用した学習者のパフォーマンスの監視

Education Cloud でレコードアラートを使用して、出席、評価、その他の評価指標に関する学習者のパフォーマンスを監視します。

表 171: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	

必要なユーザー権限

アラートを設定する

Education Cloud の完全なアクセス権

アラートは、評価、出席や、学生の成功の妨げとなる領域の懸念事項についてサポートスタッフが最新情報を把握するのに役立ちます。レコードアラートオブジェクトはケースオブジェクトに関連するため、アラートは学習者のケースに関連します。カスタムアラートカテゴリを作成して重要度を割り当てる方法は、「[レコードアラートカテゴリの設定](#)」を参照してください。

アドバイザーは Education Cloud で学生サクセスアプリケーションを使用して、アラートを手動で作成したり、アラートの作成と ToDo の割り当てを自動的に行うようにフローを設定したりできます。学習者に関連付けられたアラートは学習者の取引先ページで参照できます。ケアプランを 1 つまたは複数 (一度に最大 20 個) のアラートに適用できるため、学習者を積極的にサポートできます。複数の有効または無効なアラートを選択し、それらの状況を一度に変更することができます。

関連トピック

- [ケースの作成と割り当ての自動化](#)
- [教育フローの設定](#)

アラートの手動作成

学習者のレコードへの変更を通知するレコードアラートを作成します。

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] を見つけて選択します。
2. アドバイザーコンソールで、ドロップダウンナビゲーションメニューをクリックして、[レコードアラート] を選択します。
3. [新規] をクリックします。
4. 関連する詳細を入力して変更内容を保存します。「[レコードアラートの手動作成](#)」を参照してください。

アラートの状況の変更

1 つ以上のレコードアラートの状況を設定して、レコードアラートを有効化または無効化します。

1. アプリケーションランチャーから、[学生サクセス] を見つけて選択します。
2. アドバイザーコンソールで、ドロップダウンナビゲーションメニューをクリックして、[レコードアラート] を選択します。
3. 同じ状況を持つレコードアラートを選択して、[状況を変更] をクリックします。

学習者のためのサクセスチーム

Education Cloud を使用して、各学習者のジャーニーをサポートするケースチームを作成して割り当てます。

表 172: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud のサクセスチームは、学習者のケースに割り当てられる定義済みのケースチームです。学習者には、学習者のケースレコードタイプに基づいて、学業、スポーツ、健康など、複数のカテゴリから複数のサクセスチームを割り当てることができます。各サクセスチームにはさまざまな役割のアドバイザーが所属しているため、学習者へのアドバイスサービスの対応可能性と質が向上します。

サクセスチームコンポーネントを使用して設定された学習者ポータルでは、学習者は次の操作を行うことができます。

- 割り当てられたサクセスチームと、機関で利用可能なサクセスチームをカテゴリ別に表示する。
- アドバイザーを検索し、アドバイザーの詳細とドロップインの対応可能状況を表示し、質問を投稿する。
- アドバイザーとの予定をスケジュールする。

関連情報:

- [ケースの作成と割り当ての自動化](#)

学習者のアクションプラン

アクションプランは、より小規模で管理しやすいステップや ToDo を進めていくことで、学習者が目標を実現するために役立ちます。Education Cloud を使用して、学習者が自分でアクションプランを作成できるようにします。

表 173: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud でアクションプランテンプレートを使用して、一般的な ToDo やよく使用される ToDo を含むアクションプランを効率的に作成します。アドバイザーは、学習者ポータルのアクションセンターコンポーネントに表示されるアクションプランテンプレートを作

成できます。アクションセンターで、学習者は使用可能なテンプレートを使用して、自分自身のアクションプランを作成できます。許可されている場合、学習者はアクションプランテンプレートから作成されたアクションプランに ToDo を追加することもできます。

アクションセンターで、学習者は次の操作を実行できます。

- 取引先責任者、ケース、およびプログラム登録レコードに関連付けられたすべての ToDo とアクションプランを表示する
- ToDo の全体的な進行状況を表示する
- ToDo の状況を更新する
- 該当するアクションプランテンプレートを表示する
- アクションプランテンプレートを使用して、自己割り当てのアクションプランを作成する

学習者のケースレコードページの [アクションプラン] タブで、アドバイザーは次の操作を実行できます。

- 学習者に割り当てられたアクションプランを表示する
- 新しいアクションプランを学習者に割り当てる

アクションプランテンプレートオブジェクトは、対象オブジェクトとしてケースまたはプログラムに関連付けられます。また、アクションプランテンプレート割り当てオブジェクトは、テンプレートを特定のケースレコードタイプまたはプログラムレコードに関連付けます。そのため、指定されたケースレコードタイプのオープンケースがある場合、または指定された支援プログラムに登録している場合にのみ、学習者はアクションセンターで該当するアクションプランテンプレートを表示できます。たとえば、Study Abroad (留学) プログラムに登録した学習者のみが、そのプログラムのアクションプランテンプレートを表示できます。

アクションプランテンプレートをケアプランテンプレートに追加して、ケアプランの ToDo を簡単に割り当てて管理することもできます。[「アクションプランテンプレートを使用したケアプランの ToDo の作成」](#)を参照してください。



注意

ケアプランに関連付けられたケース関係者が変更された場合、ケアプランに関連付けられた ToDo の割り当て先対象項目は自動的に更新されません。

関連情報:

- [アクションプラン](#)
- [学生サクセスコンポーネント用の組織の設定](#)
- [学生サクセスコンポーネントを使用した学習者ポータルの設定](#)

アクションプランテンプレートの作成

アクションプランテンプレートを作成して、学習者がアクションプランを簡単に作成できるようにします。

表 174: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
アクションプランテンプレートを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[アクションプランテンプレート] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. アクションプランテンプレートの名前を入力します。
4. 学習者がアクションプランに ToDo を追加できるようにするには、[ユーザーがアクションプランに項目を追加できるようにする] を選択します。
5. [アクションプラン種別] で、[業種] を選択します。
6. 必要に応じて、[対象オブジェクト] で [ケース] または [プログラム] を選択します。
7. 学習者ポータルにテンプレートを表示するには、[学習者ポータルに表示] を選択します。
8. その他の関連する詳細を入力して、変更内容を保存します。

次に、アクションプランテンプレート割り当てを作成して、アクションプランテンプレートを特定の支援プログラムまたはケースレコードタイプに関連付けます。

アクションプランテンプレート割り当ての作成

アクションプランテンプレートを特定の支援プログラムまたはケースレコードタイプに関連付けます。

表 175: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
アクションプランテンプレート割り当てを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[アクションプランテンプレート割り当て] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. アクションプランテンプレートの関連付けられたオブジェクトとして、[プログラム] または [ケース] を選択します。
4. [プログラム] で、プログラムレコードを指定します。[ケース] の [関連付けられたレコードタイプ] で [ケース] を選択し、ケースレコードタイプを選択します。
5. アクションプランテンプレートバージョンをクリックします。
6. 変更内容を保存します。

アクションプランテンプレートへの ToDo の追加

関連する ToDo をアクションプランテンプレートに追加して、学習者がアクションプランを簡単に作成できるようにします。

表 176 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
アクションプランテンプレートに ToDo を追加する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[アクションプランテンプレート] を見つけて選択します。
2. テンプレートを選択して、[新規 ToDo] をクリックします。
3. 件名、優先度、日を入力します。
4. この Todo を必須にするには、[必須] を選択します。
5. ToDo を特定のユーザーに割り当てるか、[割り当て先対象項目] を選択して、テンプレートの対象ケースまたはプログラムに関連付けられたユーザーに ToDo を自動的に割り当てます。
6. その他の関連する詳細を入力して、変更内容を保存します。
7. 同様に、ToDo をさらに追加します。
8. テンプレートを学習者が使用できるようにするには、[テンプレートの公開] をクリックします。

**注意**

アクションプランテンプレートを公開後に編集または削除することはできません。ただし、テンプレートを無効にすることはできます。

機関での卒業生とアドバンスメントのサポート

Education Cloud では、機関や他の卒業生とのつながりを維持するための場所が卒業生に提供され、スタッフは一元管理された場所で卒業生を効率的に管理およびエンゲージできます。

卒業生ユーザーの管理

卒業生に関する情報を確認、更新、入力します。

表 177: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
卒業生ユーザーを管理する	Education Cloud の完全なアクセス権

卒業生ユーザーの設定

卒業生ユーザーが Experience Cloud サイトにアクセスできるように準備します。

卒業生権限セットの作成

卒業生ユーザー用の権限セットを作成して設定します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Education Cloud for Experience Cloud アクセス] で、[コピー] をクリックします。
3. 卒業生権限セットの表示ラベルと API 参照名を入力し、変更内容を保存します。
4. 卒業生権限セットをクリックし、[オブジェクト設定] をクリックします。
5. [学歴] をクリックし、[編集] をクリックします。
6. [オブジェクト権限] で、[参照]、[作成]、[編集]、[削除] を選択します。
7. [項目権限] の [機関] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
8. 変更内容を保存します。
9. [学歴] の横にある  をクリックして、[個人の雇用] を選択します。

10. [編集] をクリックします。
11. [オブジェクト権限] で、[参照]、[作成]、[編集]、[削除] を選択します。
12. 変更内容を保存します。

卒業生プロフィールの作成

卒業生ユーザーのプロファイルを作成します。

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで「プロフィール」と入力して [プロフィール] を選択します。
2. [Customer Community Plus ユーザー] で、[コピー] をクリックします。
3. [プロフィール名] に「Alumni Community User」（卒業生コミュニティユーザー）と入力し、変更内容を保存します。

卒業生共有セットの作成

卒業生ユーザーの共有セットを作成します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[設定] を選択します。
2. [共有セット] で、[新規] をクリックします。
3. 共有セットの表示ラベル（「Alumni Sharing」（卒業生の共有）など）を入力します。Tab キーを押すと [共有セット名] 項目に自動的に入力されます。
4. [選択可能なプロフィール] で、[選択済みプロフィール] 列に卒業生プロフィールを追加します。
5. [オブジェクト] で、[選択されたオブジェクト] 列に [取引先] と [個人学業資格] を追加します。
6. [アクセス権の設定] の [取引先] で、[設定] をクリックします。
7. 次の対応付け値を選択します。
 - a. [ユーザー] で、[Contact.Account] を選択します。
 - b. [対象取引先] で、[Id] を選択します。
 - c. [アクセス権] で、[参照・更新] を選択します。
8. [更新] をクリックします。
9. [アクセス権の設定] の [個人学業資格] で、[設定] をクリックします。
10. 次の対応付け値を選択します。
 - a. [ユーザー] で、[取引先責任者] を選択します。
 - b. [対象個人学業資格] で、[LearnerContact] を選択します。
 - c. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。

11. [更新] をクリックします。
12. 変更内容を保存します。

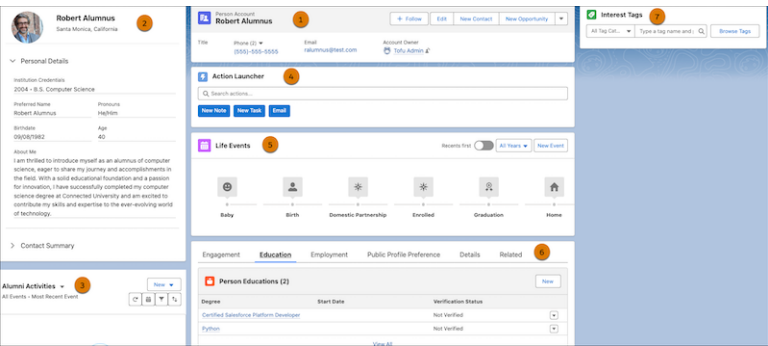
卒業生 Experience Cloud サイトユーザーの作成

卒業生プロフィールと権限セットを割り当てて、卒業生ユーザーに卒業生 Experience Cloud サイトへのアクセス権を付与します。

1. アプリケーションランチャーから、[取引先] を見つけて選択します。
2. 取引先をクリックします。
3. 取引先の [取引先責任者] 関連リストで、サイトに追加する個人の取引先責任者レコードを表示または追加します。
4. 取引先責任者詳細ページで、 をクリックして、[カスタマーユーザーを有効化] を選択します。一部の詳細が事前に入力された状態でユーザーレコードが作成されます。
5. [新規ユーザー] ページで、Experience Cloud サイトへのアクセス権利を付与するために作成したプロフィールを選択します。
6. 必要に応じて他の項目を入力し、変更を保存します。
7. 卒業生用に作成した権限セットをユーザーに割り当てます。

卒業生ユーザー向けの情報の表示と更新

取引先とプロフィールの詳細、学歴と雇用履歴を確認します。



卒業生の取引先レコードページでできることと確認できることを次に示します。

コンポーネント	できること
強調表示パネル (1)	ユーザーの取引先の詳細を確認する。

コンポーネント	できること
卒業生プロフィールカード (2)	ユーザーが卒業生プロフィールページに追加した詳細を確認する。  注意 ユーザーの場所は、取引先レコードページの郵送先住所から取得されます。ユーザーの郵送先住所がない場合、プロフィールカードに場所は表示されません。
タイムライン (3)	活動およびユーザーとのエンゲージメントのタイムラインを確認する。卒業生ユーザーのケース、サービス予定、レコードアラート、またはケアプランを作成するには、[新規] をクリックします。タイムラインに新しいレコードを表示するには、  アイコンをクリックします。
アクションランチャー (4)	メモを追加したり、ToDo を作成したり、メールを送信したりする。
ライフイベント (5)	卒業生ユーザーの人生におけるイベントとマイルストーンを確認する。イベントを追加するには、[新規イベント] をクリックします。
エンゲージメント (6)	ユーザーに割り当てられているケースとアラートを確認する。  注意 タイムラインコンポーネントで作成したレコードアラートを表示するには、タイムラインコンポーネントとアラートコンポーネントの両方で  アイコンをクリックします。個人取引先が親レコードとして割り当てられ、別のオブジェクトが [対象レコード] 項目に割り当てられているレコードアラートは、アラートコンポーネントに表示されません。
リレーション (6)	卒業生ユーザーのリレーションをグラフで確認する。
教育 (6)	卒業生ユーザーの学歴および個人学業資格レコードを確認する。ユーザーの学習者プログラムレコードが完了としてマークされると、個人学業資格レコードが作成されます。
雇用 (6)	[個人の雇用] 関連リストから卒業生ユーザーの雇用履歴を確認する。ユーザーの個人の雇用レコードを作成することもできます。  重要 卒業生ポータルで卒業生ユーザーのプロフィールページに表示するには、個人の雇用レコードがユーザーの取引先責任者レコードに関連付けられている必要があります。
詳細 (6)	ユーザー取引先の詳細を確認する。
Portal Profile Preference (ポータルプロフィール設定) (6)	卒業生がディレクトリプロフィールを公開しているかどうかを確認する。

コンポーネント	できること
関連 (6)	個人申込、個人の雇用、人公開プロフィール設定セット、個人学業資格、学歴の関連リストを確認する。
関心タグ (7)	卒業生ユーザーのニーズ、関心、エンゲージメントの機会に関連するタグを確認して追加する。

関連情報:

- [Experience Cloud サイトユーザーの作成](#)
- [卒業生プロフィールの作成](#)
- [1 人のユーザーへの権限セットの割り当て](#)
- [取引先レコードページの設定](#)

卒業生コミュニティの設定

エクスペリエンスビルダーを使用して卒業生コミュニティのブランド設定を行い、すぐに使用可能な、またはカスタムの Lightning コンポーネント、レイアウト、テーマを追加して、拡張された卒業生環境を提供します。

表 178: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
卒業生コミュニティを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および エクスペリエンスの作成および設定 および 設定・定義を参照する および サイトのメンバーであり、「設定・定義を参照する」権限があり、そのサイトのエクスペリエンス管理者、公開者、またはビルダーである

Education Cloud では、Experience Cloud サイトで使用できる Lightning コンポーネントが提供され、卒業生が互いにつながるコミュニティの作成に役立ちます。たとえば、卒業生が学歴や実務経験に関する情報を共有するためのプロフィールページや、ユーザーが検索して互いにつながることをできるディレクトリを作成します。

開始する前に: 関連オブジェクトへのアクセス権の付与

ユーザーが他の卒業生の公開プロフィールを表示できるようにするには、卒業生ユーザーに必要なオブジェクトへのアクセス権を付与します。

卒業生ユーザーに次のオブジェクトへのアクセス権が付与されていることを確認します。

オブジェクト	保存内容
取引先責任者プロフィール	取引先の人口統計の詳細。
個人学業資格	卒業生ユーザーに関連する資格 (学位、証明書、バッジなど)。
学歴	個人の専門教育に関する情報。
個人の雇用	個人の雇用に関する情報。
個人公開プロフィール	公開プロフィールに表示される卒業生ユーザーに関する情報。
個人公開プロフィール設定セット	公開プロフィールに表示される卒業生ユーザーに関する情報。
ユーザー	コミュニティにログインできる個人を表します。

卒業生 Experience Cloud サイトの作成

卒業生プロフィールと卒業生ディレクトリ用の Experience Cloud サイトを作成します。

1. デジタルエクスペリエンスが有効になっていることを確認します。
2. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
3. [新規] をクリックします。
4. [カスタマーサービス] をクリックし、[開始] をクリックします。
5. [名前] に「Alumni」(卒業生) と入力し、[URL] に「alumni」と入力します。
6. [作成] をクリックします。

卒業生 Experience Cloud サイトへのメンバーの割り当て

卒業生プロフィールが割り当てられているユーザーに Experience Cloud サイトへのアクセス権を付与します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. 卒業生コミュニティサイトの横にある [ワークスペース] をクリックし、[管理] を選択します。
3. [メンバー] をクリックします。
4. [プロフィールを選択] の [検索] で、[顧客] を選択します。
5. [選択済みプロフィール] 列に卒業生プロフィールを追加します。

6. 変更内容を保存します。

卒業生プロフィールページの作成

Experience Cloud サイトに卒業生ディレクトリのページを追加します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. Experience Cloud サイトの [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [標準ページ] を選択します。
5. [1 個の全体の幅の列] をクリックし、[次へ] をクリックします。
6. [名前] に「My Alumni Profile」(私の卒業生プロフィール) と入力します。[URL] 項目は自動的に入力されます。
7. [作成] をクリックします。

卒業生プロフィールページの設定

Experience Cloud サイトに卒業生プロフィールコンポーネントを追加し、ナビゲーションを設定します。



重要

卒業生プロフィールコンポーネントには、学歴オブジェクトと個人の雇用オブジェクトからの情報が含まれます。これらのオブジェクトから目的の項目がユーザーに確実に表示されるようにするには、各オブジェクトの新しいデフォルトページレイアウトを作成し、それを卒業生ユーザーに割り当てます。[「ページレイアウトの作成」](#)を参照してください。

1. エクスペリエンスビルダーの [My Alumni Profile (私の卒業生プロフィール)] ページで、 をクリックします。
2. [卒業生プロフィール] コンポーネントをコンテンツ領域にドラッグします。
3. プレビューして変更を公開します。

卒業生ディレクトリの作成

Experience Cloud サイトに卒業生ディレクトリのページを追加します。

1. サイトのエクスペリエンスビルダーで、 をクリックして、[新規ページ] をクリックします。
2. [オブジェクトページ] を選択します。

3. [個人公開プロフィール] を選択します。
4. [作成] をクリックし、もう一度 [作成] をクリックします。

卒業生ディレクトリページの設定

Experience Cloud サイトに個人公開プロフィールコンポーネントを追加し、ナビゲーションを設定します。

1. サイトのエクスペリエンスビルダーの [個人公開プロフィール] ページで、[コンテンツ] 領域のコンポーネントを削除します。
2.  をクリックし、[卒業生個人公開プロフィール] コンポーネントを [コンテンツ] 領域にドラッグします。
3. 個人公開プロフィールのレコード ID 項目に「`{!recordId}`」と入力します。
4. グローバル検索コンポーネントを編集して、検索結果に個人公開プロフィールレコードを含めます。「[グローバル検索ボックス](#)」を参照してください。
5. プレビューして変更を公開します。

ディレクトリ検索に関する考慮事項

- プロファイルが [公開] に設定されている卒業生ユーザーの個人公開プロフィールレコードを削除すると、保存されたリンクまたはブックマークからプロフィールにアクセスしようとしたユーザーに「無効なページ」エラーメッセージが表示されます。必要に応じて、このエラーページを機関に合わせてカスタマイズします。「[Salesforce サイトエラーページの割り当て](#)」を参照してください。
- ユーザーの個人公開プロフィールレコードを変更した場合、システムが新しいレコードまたは変更されたレコードのインデックスを作成するまで、そのユーザーのプロフィールを検索できません。
- モバイルデバイスの Experience Cloud ではリストビューを検索できません。「[リストビューおよび関連リストに関する考慮事項](#)」を参照してください。

サイトナビゲーションの設定

卒業生 Experience Cloud サイトのデフォルトのナビゲーションを作成します。

1. サイトのエクスペリエンスビルダーの [My Alumni Profile (私の卒業生プロフィール)] ページで、[ナビゲーションメニュー] コンポーネントを選択し、プロパティエディターで [デフォルトのナビゲーションを編集] をクリックします。

2. [メニュー項目を追加] をクリックし、次の値を指定します。
 - a. [名前] に「My Alumni Profile」(私の卒業生プロフィール) と入力します。
 - b. [種別] で、[サイトページ] を選択します。
 - c. [ページ] で、[My Alumni Profile (私の卒業生プロフィール)] を選択します。
3. 変更内容を保存します。
4. [ページ] メニューから、[個人公開プロフィール] ページを選択します。次に、[ナビゲーションメニュー] コンポーネントを選択し、プロパティエディターで [デフォルトのナビゲーションを編集] をクリックします。
5. [メニュー項目を追加] をクリックし、次の値を指定します。
 - a. [名前] に「Alumni Directory」(卒業生ディレクトリ) と入力します。
 - b. [種別] で、[Salesforce オブジェクト] を選択します。
 - c. [オブジェクト種別] で、[個人公開プロフィール] を選択します。
6. 変更内容を保存します。

卒業生 Experience Cloud サイトの有効化

Experience Cloud サイトを有効にして、卒業生コミュニティの設定を完了します。



重要

サイトを有効化する前に、サイトのプレビューとテストを行ってください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. 卒業生 Experience Cloud サイトの横にある [ワークスペース] をクリックし、[管理] を選択します。
3. [設定] をクリックします。
4. [有効化] をクリックして、[OK] をクリックします。

個人公開プロフィールレコードの設定と管理

データ処理エンジン (DPE) とフローを使用して、卒業生ユーザーの個人公開プロフィールレコードを設定および管理します。この DPE プロセスは、重複する個人公開プロフィールおよび個人公開プロフィール設定セットレコードも解決します。

開始する前に

個人公開プロフィールレコードの作成と管理を開始する前に、次の点を確認してください。

- Education Cloud が組織で有効になっている。

- 管理ユーザーに「データパイプラインベースユーザー」権限セットが割り当てられている。
- Alumni Relations アプリケーションが有効になっている。

DPE 定義の作成

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「データ処理エンジン」と入力し、[データ処理エンジン] を選択します。
2. [Update Public Profile Records with Latest CRM Data (最新の CRM データで公開プロフィールレコードを更新)] をクリックします。
3.  をクリックして [別名で保存] を選択します。
4. デフォルトの項目エントリをそのままにして、作業内容を保存します。
5. [有効化] をクリックします。
6. DPE 定義を実行するには、[定義を実行] をクリックするか、スケジュールトリガーフローを設定します。



注意

フローの実行後、ユーザーには更新された自分の個人公開プロフィールが表示されます。デフォルトでは、フローは毎週実行されますが、毎日実行するように設定できます。

デフォルトのワークフローユーザーの設定

「データパイプラインベースユーザー」権限セットを持つ有効ユーザーをデフォルトのワークフローユーザーとして指定します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「プロセスの自動化」と入力し、[プロセスの自動化設定] を選択します。
2. [デフォルトのワークフローユーザー] で、「データパイプラインベースユーザー」権限セットが割り当てられているユーザーを検索して選択します。
3. 変更内容を保存します。

テンプレートからのスケジュールトリガーフローの作成

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「フロー」と入力し、[フロー] を選択します。
2. [Education Cloud: 卒業生プロフィール管理ジョブを実行] をクリックします。
3. [別名で保存] をクリックして、フローの名前を入力します。

4. フローを保存して有効化します。

DPE プロセスのカスタマイズ

DPE テンプレートをコピーしたら、ロジックまたは対応付けをカスタマイズする場合は、必要に応じて別のスケジュールトリガーフローを設定できます。

1. テンプレートから手動フローを作成します。
 - a. [Education Cloud: プロファイル管理ジョブを実行] をクリックします。
 - b. [別名で保存] をクリックして、フローの名前を入力します。
 - c. フローを保存して有効化します。
2. 手動フローをサブフローとして呼び出すスケジュールトリガーフローを作成します。

関連情報:

- [スケジュールトリガーフローを使用したデータ処理エンジン定義のスケジュール](#)
- [フロー要素: サブフロー](#)

卒業生およびアドバンスメントのための資金調達の使用

資金調達ツール/機能を使用して、機関の資金調達活動やプロセスを追跡および管理します。

表 179: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
資金調達を設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および 設定・定義を参照する および アプリケーションのカスタマイズ

資金調達は、教育機関の持続可能性と成長に不可欠です。商談の追跡、キャンペーンの管理、その他の資金調達活動の調整には、時間と労力を要します。Education Cloud の資金調達は、それらのプロセスを合理化するのに役立ちます。

Education Cloud の資金調達を使用するには、まず資金調達を有効にして、次に権限セットを作成してユーザーに割り当てます。資金調達を有効にする前に権限セットを作成して割り当てると、ユーザーは資金調達オブジェクトおよび項目にアクセスできません。

資金調達の有効化

[「資金調達の設定」](#)を参照してください。



注意

この記事は Nonprofit Cloud ユーザー向けに書かれていますが、その手順は Education Cloud に適用されます。

データパイプラインとアクション可能セグメンテーションの有効化

データパイプラインを使用して、Salesforce データと外部データを統合、収集、計算します。アクション可能セグメンテーションを使用して、資金調達アウトリーチプログラムを選定、設計、パーソナライズします。

[「アクション可能セグメンテーションの有効化」](#)を参照してください。

資金調達権限セットの作成

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ユーザー」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)] 権限セットで、[コピー] をクリックします。
3. 資金調達権限セットの表示ラベルと API 参照名を入力します。
4. 変更内容を保存します。
5. 資金調達権限セットをクリックします。
6. [System Preferences (システム環境設定)] をクリックし、[編集] をクリックします。
7. [資金調達ユーザー] を選択し、変更内容を保存します。

ユーザーへの資金調達権限セットの割り当て

資金調達機能にアクセスする必要があるユーザー（インテグレーションユーザーを含む）に権限セットを割り当てます。新しい権限セットライセンスをインテグレーションユーザーに割り当てる前に、有効なアプリケーションをすべて削除してください。[「権限セットの割り当ての管理」](#)を参照してください。

**注意**

ユーザーとして[マーケティングユーザー]を選択します。

資金調達機能の使用

リード、商談、支援、キャンペーンなどを追跡する方法について説明します。「[資金調達](#)」を参照してください。

メンタリングプログラムの作成

関連する給付を含むメンタリング支援プログラムを定義および管理します。

表 180 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

メンタリングプログラム

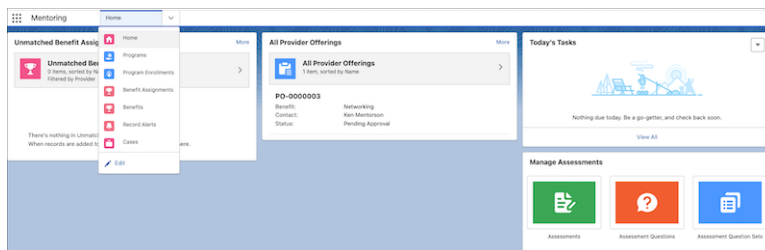
Education Cloud のメンタリングアプリケーションを使用して、メンティーとメンターをつなげるプログラムを作成し、メンタリング給付を管理して割り当てます。

表 181 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

メンタリングアプリケーションでは、ファシリテーターがメンタリングプログラムを作成して管理し、そのプログラムに含まれる給付を設定できます。メンティーはメンティーポータルでこれらのプログラムに登録し、メンターはメンターポータルで給付の提供者として登録できます。メンタリングファシリテーターは調査を使用して、メンティーとメンターをつなげ、メンティーのニーズや目標に対処できます。



メンタリングプログラムを設定するには、「[支援プログラムのモデル化](#)」を参照してください。

メンタリングプログラムの給付

メンタリング給付を設定し、メンタリングプログラムの給付プロバイダーを特定します。

表 182 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

機関では、ネットワーキング、スキル開発、学習指導、キャリア開発など、さまざまな種別のメンタリングが行われます。Astro University が卒業生を関与させて在學生にキャリアの準備を提供できるようにする方法を見てみましょう。

まず、Astro University は「Mentoring」（メンタリング）という給付種別を作成します。次に、在學生と卒業生をつなげるメンタリング給付を作成し、卒業生が自分の研究分野での考えられるキャリアや人脈についてのガイダンスを提供できるようにします。給付が作成されたので、Astro University はこの特定の給付を提供できるメンターが必要になります。卒業生 Robert は Astro University を卒業し、経済学の学位を取得しました。彼は、Astro University での経済学部在學生のメンターとしての役割を果たし、経済学のキャリアの機会についてのインサイトを提供できます。Astro University は、Robert を CRM で給付プロバイダーとして追加するか、Astro University のメンターポータルで給付プロバイダーとして登録できます。

メンタリング給付種別の作成

メンタリング給付を給付種別ごとにグループ化します。

表 183 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
メンタリング給付種別を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[給付種別] を検索して選択します種別。
2. [新規] をクリックします。
3. [給付種別名] に「Mentoring」（メンタリング）と入力します。
4. [プロセス種別] で、[教育] を選択します。
5. 測定単位を選択します。

- 必要に応じて、種別とカテゴリを選択します。



注意

カテゴリの選択リスト値はデフォルトでは提供されていません。組織の要件に基づいて、システム管理者が項目の選択リスト値をオブジェクトマネージャーで追加する必要があります。

- 変更内容を保存します。

メンタリング給付の作成

メンタリングプログラムの給付を設定します。

表 184: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
メンタリング給付を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

- アプリケーションランチャーから、[給付] を検索して選択します。
- [新規] をクリックします。
- 給付の名前と説明を入力します。
- ユーザーが Experience Cloud サイトで給付プロバイダーとして登録できるようにするには、[プロバイダーとして登録] を選択します。
- [OmniProcess] で、調査を追加する場合は調査 OmniScript の名前を検索して選択します。
- この給付が適用されるプログラムを選択します。
- 給付の給付種別を選択します。たとえば、[メンタリング] を選択します。
- この給付をユーザーが使用できるようにするには、[有効] を選択します。
- [登録数] に、給付のインスタンス数を入力します。
たとえば、個々のセッションごとに測定する場合は、この給付の対象となるセッションの合計数を入力します。

10. [給付支払項目セット] に、給付支払オブジェクトの給付固有の項目を含む項目セットの API 参照名を入力します。
これらの項目セットを使用すると、プログラムマネージャーは関係者の出席を追跡するときに、項目セットから追加の項目を表示できます。
11. 給付の測定単位を見つけて選択します。
例として、時間、セッション、セメスター、または機関にとって適切な他の単位があります。
12. 給付の状況を選択します。
13. 給付マネージャーで、この給付の監督者を見つけて選択します。
14. 給付の開始日時と終了日時を入力します。
15. [最小給付額] に、給付を満たすインスタンスの最小数を入力します。
16. [最大給付額] に、この給付に許可されるインスタンスの最大数を入力します。
17. メンタリング給付の目標階層の概要を示す目標定義を見つけて選択します。
たとえば、メンタリング給付がスキル開発である場合、目標定義には、最も望ましいスキルと、その最上位のスキルを達成するために必要な中級スキルが示されます。
18. 変更内容を保存します。

関連情報:

- [プログラム、目標、および給付](#)

給付プロバイダーの管理

プロバイダー給付オブジェクトを使用してメンティーに給付を提供できる個人または組織を特定します。

表 185 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
給付プロバイダーを管理する	Education Cloud の完全なアクセス権

給付プロバイダーの例を次にいくつか示します。

- 学生が自分の研究分野の専門家とネットワークを築くのを支援する、機関の卒業生。
- 学生のワークスタディプログラムを設定する組織。

- 1年生を指導する上級生。

プロバイダー給付を作成する手順は、次のとおりです。

1. アプリケーションランチャーから、[プロバイダー給付] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [給付] で、このプロバイダー給付に関連付けられた給付を見つけて選択します。
4. [取引先責任者] で、給付の提供者を見つけて選択します。
5. 給付を提供できるようにするため、[有効] 状況を選択します。
6. 変更内容を保存します。

プログラムを設定するとき、または給付を作成するときに、ユーザーに Experience Cloud サイトでの給付プロバイダーとしての登録を許可できます。Experience Cloud サイトから給付プロバイダーとして登録すると、そのユーザーのプロバイダー給付レコードが作成されます。

メンタリングの給付割り当てレコードページ

給付割り当てレコードページでメンタリングリレーションを管理します。

表 186 : 必要なエディション

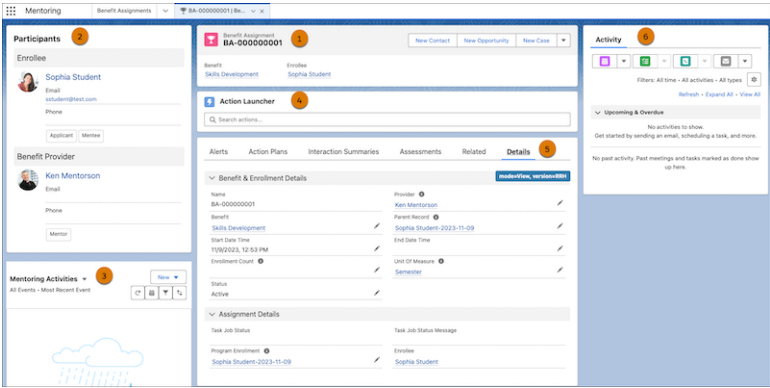
使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

メンティーがメンタリングプログラムに登録すると、給付割り当てレコードが作成されます。メンタリングファシリテーターは、このレコードページから関連情報を確認し、メンタリングリレーションのさまざまな側面を管理できます。



重要

CRM で給付割り当てレコードを作成するには、取引先レコードの関連リストではなく、[給付割り当て] タブを使用します。



- 給付割り当てレコードの概要を参照します (1)。
- 登録者 (メンティー) と給付プロバイダー (メンター) の名前と連絡先情報を参照します (2)。
- 給付割り当てレコードに関連するメンタリング活動のタイムラインを参照します (3)。
- 給付割り当てレコードに対するアクション (アラートの作成、メモの追加、ToDo の作成、メールの送信など) を実行します (4)。
- アラート、アクションプラン、インタラクション概要、調査などの関連リストを参照して操作します (5)。
- 給付割り当てレコードの活動を参照します (6)。

メンタリング関係者

ファシリテーター、メンター、およびメンティーのプロファイル、権限セット、共有を設定します。

メンタリングファシリテーターの設定

権限セットを作成し、共有ルールを設定して、メンタリングファシリテーターにメンタリングプログラムをサポートするために必要なアクセス権を付与します。

表 187: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
メンタリングファシリテーターを管理する	Education Cloud の完全なアクセス権

メンタリングファシリテーターの権限セットを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ユーザー」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Education Cloud フルアクセス] 権限セットで、[コピー] をクリックします。
3. メンタリングファシリテーター権限セットの表示ラベルと API 参照名を入力します。
4. 変更内容を保存します。
5. メンタリングファシリテーター権限セットをクリックします。
6. [オブジェクト設定] をクリックします。
7. [アクションプラン] をクリックし、[編集] をクリックします。
8. [オブジェクト権限] から、[すべて表示] を選択します。
9. 変更内容を保存します。
10. 同様に、次のオブジェクトの権限セットを作成します。
 - 調査
 - 調査の質問
 - 調査の質問セット
 - 給付種別
 - 対象者の役割
 - プログラム
 - プロバイダー給付
 - 測定単位

新しい権限セットをメンタリングファシリテーター公開グループに割り当てます。

関連情報:

- [権限セットの割り当ての管理](#)

メンタリングファシリテーターの公開グループを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「公開グループ」と入力し、[公開グループ] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 表示ラベル (「Mentoring Facilitator」(メンタリングファシリテーター) など) を入力します。
4. [選択可能なユーザー] リストから、グループに割り当てるメンバーを選択して [選択済みのユーザー] リストに移動します。

5. 変更内容を保存します。

メンタリングファシリテーターの共有ルールを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
2. [プログラム登録共有ルール] で、[新規] をクリックします。
3. [表示ラベル] に「Active Program Enrollment Sharing」(有効なプログラム登録共有) と入力します。Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。
4. ルールタイプとして [条件に基づく] を選択します。
5. [条件] で、次の値を設定します。
 - a. [項目] で、[有効] を選択します。
 - b. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. [値] で、[True] を選択します。
6. [共有先] で [公開グループ] を選択し、メンタリングファシリテーター公開グループを選択します。
7. [アクセス権] で、[参照・更新] を選択します。
8. 変更内容を保存します。
9. [給付割り当て共有ルール] で、[新規] をクリックします。
10. [表示ラベル] に「Benefit Assignment Mentoring」(給付割り当てメンタリング) と入力します。Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。
11. ルールタイプとして [条件に基づく] を選択します。
12. [条件] で、次の値を設定します。
 - a. [項目] で、[状況] を選択します。
 - b. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. [値] で、状況項目を選択します。
13. [共有先] で [公開グループ] を選択し、メンタリングファシリテーター公開グループを選択します。
14. [アクセス権] で、[参照・更新] を選択します。
15. 変更内容を保存します。
16. [給付種別共有ルール] で、[新規] をクリックします。
17. [表示ラベル] に「Benefit Type Mentoring」(給付種別メンタリング) と入力します。Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。

18. ルールタイプとして [条件に基づく] を選択します。
19. [条件] で、次の値を設定します。
 - a. [項目] で、[状況] を選択します。
 - b. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. [値] で、状況項目を選択します。
20. [共有先] で [公開グループ] を選択し、メンタリングファシリテーター公開グループを選択します。
21. [アクセス権] で、[参照・更新] を選択します。
22. 変更内容を保存します。
23. [ドキュメント条項共有ルール] で、[新規] をクリックします。
24. [表示ラベル] に「Document Clause Mentoring」（ドキュメント条項メンタリング）と入力します。Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。
25. ルールタイプとして [条件に基づく] を選択します。
26. [条件] で、次の値を設定します。
 - a. [項目] で、[状況] を選択します。
 - b. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. [値] で、状況項目を選択します。
27. [共有先] で [公開グループ] を選択し、メンタリングファシリテーター公開グループを選択します。
28. [アクセス権] で、[参照・更新] を選択します。
29. 変更内容を保存します。

メンタリングポータルユーザーの設定

ユーザーがメンタリング Experience Cloud サイトにアクセスできるように準備します。

表 188 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
メンタリングユーザーを管理する	Education Cloud の完全なアクセス権

メンターとメンティーのプロフィールを作成する

1. [設定] の [クイック検索] ボックスで「プロファイル」と入力して [プロファイル] を選択します。
2. [Customer Community Plus ユーザー] で、[コピー] をクリックします。
3. [プロファイル名] にメンターユーザーの名前を入力し、変更内容を保存します。
4. 同様に、メンティーユーザープロファイルを作成します。

メンター権限セットを作成して割り当てる

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Education Cloud for Experience Cloud アクセス] で、[コピー] をクリックします。
3. メンター権限セットの表示ラベルと API 参照名を入力します。
4. 変更内容を保存します。
5. メンターユーザーに権限セットを割り当てます。

メンター権限セットの項目権限を設定する

1. メンター権限セットをクリックします。
2. [オブジェクト設定] をクリックします。
3. [給付割り当て] をクリックし、[編集] をクリックします。
4. 次の項目権限を追加します。
 - a. [終了日時] で、[参照アクセス権] を選択します。
 - b. [提供者] で、[参照アクセス権] を選択します。
 - c. [開始日時] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
 - d. [状況] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
 - e. [測定単位] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
5. 変更内容を保存します。
6. [給付割り当て] の横にある  をクリックし、[給付支払] を選択します。
7. [編集] をクリックし、次の項目権限を追加します。
 - a. [支払の状況] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
 - b. [測定単位] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
8. 変更内容を保存します。
9. [給付支払] の横にある  をクリックし、[プログラム] を選択します。

10. **[編集]** をクリックします。
11. **[終了日]** で、**[参照アクセス権]** を選択し、変更内容を保存します。
12. **[プログラム]** の横にある  をクリックし、**[プログラム登録]** を選択します。
13. **[編集]** をクリックし、次の項目権限を追加します。
 - a. **[申込日]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
 - b. **[取引先責任者]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
 - c. **[終了日時]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
 - d. **[有効]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
 - e. **[開始日]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
 - f. **[状況]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
14. 変更内容を保存します。

メンティー権限セットを作成して割り当てる

1. **[設定]** から、**[クイック検索]** ボックスに「権限セット」と入力し、**[権限セット]** を選択します。
2. **[Education Cloud for Experience Cloud アクセス]** で、**[コピー]** をクリックします。
3. メンティー権限セットの表示ラベルと API 参照名を入力します。
4. 変更内容を保存します。
5. メンティーユーザーにこの権限セットを割り当てます。

メンティー権限セットの項目権限を設定する

1. メンティー権限セットをクリックします。
2. **[オブジェクト設定]** をクリックします。
3. **[給付割り当て]** をクリックし、**[編集]** をクリックします。
4. 次の項目権限を追加します。
 - a. **[終了日時]** で、**[参照アクセス権]** を選択します。
 - b. **[提供者]** で、**[参照アクセス権]** を選択します。
 - c. **[開始日時]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
 - d. **[状況]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
 - e. **[測定単位]** で、**[参照アクセス権]** と **[編集アクセス権]** を選択します。
5. 変更内容を保存します。
6. **[給付割り当て]** の横にある  をクリックし、**[給付支払]** を選択します。

7. [編集] をクリックし、次の項目権限を追加します。
 - a. [支払の状況] で、[参照アクセス権] を選択します。
 - b. [測定単位] で、[参照アクセス権] を選択します。
8. 変更内容を保存します。
9. [給付支払] の横にある  をクリックし、[プログラム] を選択します。
10. [編集] をクリックします。
11. [終了日] で、[参照アクセス権] を選択し、変更内容を保存します。
12. [プログラム] の横にある  をクリックし、[プログラム登録] を選択します。
13. [編集] をクリックします。
14. [オブジェクト権限] で、[作成] を選択します。
15. 次の項目権限を追加します。
 - a. [申込日] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
 - b. [取引先責任者] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
 - c. [終了日時] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
 - d. [有効] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
 - e. [開始日] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
 - f. [状況] で、[参照アクセス権] と [編集アクセス権] を選択します。
16. 変更内容を保存します。

アクションプランの権限セットを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 権限セットの表示ラベルを入力し、Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。
4. [ライセンス] で、[なし] を選択して、変更内容を保存します。
5. [システム権限] をクリックし、[編集] をクリックします。
6. [活動にアクセス] と [ToDo の編集] を有効にします。
7. 変更内容を保存します。
8. この権限セットをメンティーユーザーとメンターユーザーの両方に割り当てます。

メンタリングプログラムの共有の管理

プログラム共有ルールを更新し、ファシリテーター、メンター、およびメンティーの共有セットを作成します。

メンタリングの共有ルールを更新する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
2. [共有設定を管理する対象] で、[プログラム] を選択します。
3. [プログラム共有ルール] で、[新規] をクリックします。
4. [表示ラベル] に「Program Community Sharing」（プログラムコミュニティ共有）と入力します。Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。
5. ルールタイプとして [条件に基づく] を選択します。
6. [条件] で、次の値を設定します。
 - a. [項目] で、[学習者ポータルに表示] を選択します。
 - b. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. [値] で、[True] を選択します。
7. [共有先] で [公開グループ] を選択し、[すべてのカスタマーポータルユーザー] を選択します。
8. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。
9. 変更内容を保存します。

給付種別の共有ルールを更新する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
2. [共有設定を管理する対象] で、[給付種別] を選択します。
3. [給付種別共有ルール] で、[新規] をクリックします。
4. [表示ラベル] に「Mentoring Benefit Type Sharing」（メンタリング給付種別共有）と入力します。Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。
5. ルールタイプとして [条件に基づく] を選択します。
6. [条件] で、次の値を設定します。
 - a. [項目] で、[カテゴリ] を選択します。
 - b. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
 - c. [値] で、[メンタリング] を選択します。

7. [共有先] で [公開グループ] を選択し、[すべてのカスタマーポータルユーザー] を選択します。
8. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。
9. 変更内容を保存します。

Omni Process の共有ルールを更新する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
2. [共有設定を管理する対象] で、[Omni Process] を選択します。
3. [Omni Process 共有ルール] で、[新規] をクリックします。
4. [表示ラベル] に「Mentoring Omni Process Sharing」（メンタリング Omni Process 共有）と入力します。Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。
5. ルールタイプとして [条件に基づく] を選択します。
6. [条件] で、次の値を追加します。

項目	演算子	値
Designer Customization Type (デザイナーのカスタマイズ種別)	次の文字列と一致する	ディスカバリーフレームワーク
種別	次の文字列と一致する	YourOmniScriptType
サブ種別	次の文字列と一致する	YourOmniScriptSubType

7. [共有先] で [公開グループ] を選択し、[すべてのカスタマーポータルユーザー] を選択します。
8. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。
9. 変更内容を保存します。

測定単位の共有ルールを更新する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
2. [共有設定を管理する対象] で、[測定単位] を選択します。
3. [測定単位共有ルール] で、[新規] をクリックします。
4. [表示ラベル] に「Mentoring Unit of Measure Sharing」（メンタリング測定単位共有）と入力します。Tab キーを押すと [ルール名] 項目に自動的に入力されます。
5. ルールタイプとして [レコード所有者に基づく] を選択します。

6. [測定単位: 所有者の所属] で、[公開グループ] を選択し、[すべての内部ユーザー] を選択します。
7. [共有先] で [公開グループ] を選択し、[すべてのカスタマーポータルユーザー] を選択します。
8. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。
9. 変更内容を保存します。

メンティーの共有セットを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[設定] を選択します。
2. [共有セット] で、[新規] をクリックします。
3. 共有セットの表示ラベル (「Mentee Sharing」(メンティーの共有) など) を入力します。Tab キーを押すと [共有セット名] 項目に自動的に入力されます。
4. [選択可能なプロファイル] で、[選択済みプロファイル] リストにメンティープロファイルを追加します。
5. [オブジェクト] で、[取引先]、[給付割り当て]、および [プログラム登録] を [選択されたオブジェクト] リストに追加します。
6. [アクセス権の設定] の [取引先] で、[設定] をクリックします。
7. 次の対応付け値を選択します。
 - a. [ユーザー] で、[Contact.Account] を選択します。
 - b. [対象取引先] で、[Id] を選択します。
 - c. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。
8. [更新] をクリックします。
9. [アクセス権の設定] の [給付割り当て] で、[設定] をクリックします。
10. 次の対応付け値を選択します。
 - a. [ユーザー] で、[取引先責任者] を選択します。
 - b. [対象給付割り当て] で、[ProgramEnrollment.Contact] を選択します。
 - c. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。
11. [更新] をクリックします。
12. [アクセス権の設定] の [プログラム登録] で、[設定] をクリックします。

13. 次の対応付け値を選択します。
 - a. [ユーザー] で、[取引先責任者] を選択します。
 - b. [対象プログラム登録] で、[取引先責任者] を選択します。
 - c. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。
14. [更新] をクリックします。
15. 変更内容を保存します。

メンターの共有セットを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[設定] を選択します。
2. [共有セット] で、[新規] をクリックします。
3. 共有セットの表示ラベル（「Mentor Sharing」（メンターの共有）など）を入力します。Tab キーを押すと [共有セット名] 項目に自動的に入力されます。
4. [選択可能なプロファイル] で、[選択済みプロファイル] 列にメンタープロファイルを追加します。
5. [オブジェクト] で、[取引先]、[給付割り当て]、および [プロバイダー給付] を [選択されたオブジェクト] リストに追加します。
6. [アクセス権の設定] の [取引先] で、[設定] をクリックします。
7. 次の対応付け値を選択します。
 - a. [ユーザー] で、[Contact.Account] を選択します。
 - b. [対象取引先] で、[Id] を選択します。
 - c. [アクセス権] で、[参照・更新] を選択します。
8. [更新] をクリックします。
9. [アクセス権の設定] の [給付割り当て] で、[設定] をクリックします。
10. 次の対応付け値を選択します。
 - a. [ユーザー] で、[取引先責任者] を選択します。
 - b. [対象給付割り当て] で、[提供者] を選択します。
 - c. [アクセス権] で、[参照・更新] を選択します。
11. [更新] をクリックします。
12. [アクセス権の設定] の [プロバイダー給付] で、[設定] をクリックします。

13. 次の対応付け値を選択します。
 - a. [ユーザー] で、[取引先責任者] を選択します。
 - b. [対象プロバイダー給付] で、[取引先責任者] を選択します。
 - c. [アクセス権] で、[参照のみ] を選択します。
14. [更新] をクリックします。
15. 変更内容を保存します。

メンタリングポータル

エクスペリエンスビルダーを使用して、メンターとメンティーがメンタリング給付に登録できるポータルを作成します。

メンティーポータルの作成

ユーザーがメンタリングプログラムに登録できる Experience Cloud サイトを作成します。

必要なユーザー権限	
メンタリングポータルを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および エクスペリエンスの作成および設定 および 設定・定義を参照する および サイトのメンバーであり、「設定・定義を参照する」権限があり、そのサイトのエクスペリエンス管理者、公開者、またはビルダーである および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

メンティーポータル用の Experience Cloud サイトを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [教育ポータル] をクリックし、[開始] をクリックします。
4. [名前] に「Mentee」（メンティー）と入力し、[URL] に「mentee」と入力します。
5. [作成] をクリックします。

メンティーポータルにメンバーを割り当てる

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンティーサイトの横にある [ワークスペース] をクリックし、[管理] を選択します。
3. [メンバー] をクリックします。
4. [プロフィールを選択] の [検索] で、[顧客] を選択します。
5. [選択済みプロフィール] リストにメンティープロフィールを追加します。
6. 変更内容を保存します。

プロバイダー給付オブジェクトを設定する

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [プロバイダー給付] をクリックします。
2. [ページレイアウト] をクリックし、[プロバイダー給付レイアウト] をクリックします。
3. [保存] の横にある  をクリックし、[別名で保存] を選択します。
4. [ページレイアウト名] に、「Mentee Provider Offering Layout」(メンティープロバイダー給付レイアウト) と入力します。
5. [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] および [プロバイダー給付の詳細] セクションからすべてのボタンを削除します。
6. [関連リスト] をクリックし、ページレイアウトからすべての関連リストを削除します。
7. 変更内容を保存します。
8. [ページレイアウトの割り当て] をクリックし、[編集] をクリックします。
9. メンティーユーザープロフィールを選択します。
10. [使用するページレイアウト] で、[Mentee Provider Offering Layout (メンティープロバイダー給付レイアウト)] を選択し、変更内容を保存します。

給付割り当てページレイアウトを設定してメンティーに割り当てる

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [給付割り当て] をクリックします。
2. [ページレイアウト] をクリックし、[給付割り当てレイアウト] をクリックします。
3. [保存] の横にある  をクリックし、[別名で保存] を選択します。
4. [ページレイアウト名] に「Mentee Benefit Assignment Layout」(メンティー給付割り当てレイアウト) と入力し、変更内容を保存します。
5. [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] および [給付割り当ての詳細] セクションからすべてのボタンを削除します。

6. [関連リスト] をクリックします。
7. [アクションプラン]、[給付支払]、および [インタラクション概要] リストを [関連リスト] セクションにドラッグします。
8. [給付支払] で  アイコンをクリックします。
9. [ボタン] をクリックし、[新規] を選択解除します。
10. [OK] をクリックします。
11. [インタラクション概要] で、 をクリックします。
12. [使用可能な項目] で、[タイトル]、[状況]、および [ミーティングメモ] を [選択された項目] に追加します。
13. [OK] をクリックします。
14. 変更内容を保存します。
15. [ページレイアウトの割り当て] をクリックし、[編集] をクリックします。
16. メンティーユーザープロフィールを選択します。
17. [使用するページレイアウト] で、[Mentee Benefit Assignment Layout (メンティー給付割り当てレイアウト)] を選択し、変更内容を保存します。

インタラクションページレイアウトを作成してメンティーに割り当てる

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [インタラクション] をクリックします。
2. [ページレイアウト] をクリックし、[新規] をクリックします。
3. [既存のページレイアウト] で、[インタラクションレイアウト] を選択します。
4. [ページレイアウト名] に「Mentee Interaction Layout」(メンティーインタラクションレイアウト) と入力します。
5. 変更内容を保存します。
6. [インタラクションの詳細] に次の項目のみを含めます。
 - 名前
 - インタラクション種別
 - 開始時刻
 - 終了時刻
7. [インタラクション概要] を除くすべての関連リストを削除します。
8. [インタラクション概要] で、 をクリックします。

9. [使用可能な項目]で、[タイトル]、[状況]、および[ミーティングメモ]を[選択された項目]に追加します。
10. [ボタン]をクリックし、[新規]を選択解除します。
11. [OK]をクリックします。
12. 変更内容を保存します。
13. [ページレイアウトの割り当て]をクリックし、[編集]をクリックします。
14. メンティーユーザープロフィールを選択します。
15. [使用するページレイアウト]で、[Mentee Interaction Layout (メンティーインタラクションレイアウト)]を選択し、変更内容を保存します。

インタラクション概要ページレイアウトを作成してメンティーに割り当てる

1. [設定]から、オブジェクトマネージャーで[インタラクション概要]をクリックします。
2. [ページレイアウト]をクリックし、[新規]をクリックします。
3. [既存のページレイアウト]で、[インタラクション概要レイアウト]を選択します。
4. [ページレイアウト名]に「Mentee Interaction Summary Layout」(メンティーインタラクション概要レイアウト)と入力します。
5. 変更内容を保存します。
6. [インタラクション概要の詳細]に次の項目のみを含めます。
 - タイトル
 - インタラクション
 - 関連レコード
 - 状況
 - ミーティングメモ
7. ページレイアウトからすべての関連リストを削除します。
8. 変更内容を保存します。
9. [ページレイアウトの割り当て]をクリックし、[編集]をクリックします。
10. メンティーユーザープロフィールを選択します。
11. [使用するページレイアウト]で、[Mentee Interaction Summary Layout (メンティーインタラクション概要レイアウト)]を選択し、変更内容を保存します。

メンティーポータルの調査ページを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンティーサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [標準ページ] を選択し、[柔軟なレイアウト] を選択して [次へ] をクリックします。
5. 「Assessment View」(調査ビュー) という名前を入力します。Tab キーを押すと [URL] 項目に自動的に入力されます。

または、EDUProgramMgmtProgramHome および EDUProgramMgmtProgramOverview Flexcard のプロパティの [公開された属性] 項目を使用してカスタムページをコールします。

6. [作成] をクリックします。
7. 左上の [コンポーネント] をクリックして、[Vlocity Omniscript Wrapper (Vlocity Omniscript ラッパー)] コンポーネントを見つけて選択し、新しいページにドラッグします。

メンティーの給付割り当てページを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンティーサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [オブジェクトページ] を選択します。
5. [給付割り当て] を選択し、[作成] をクリックします。
6. [作成] をクリックします。

給付割り当てページを設定する

1. [給付割り当ての詳細] ページで、 をクリックします。
2. [給付割り当ての詳細] で、 をクリックし、[ページの設定] を選択します。
3. [レイアウト] で、[変更] をクリックします。
4. [2 列、比率 1:2] をクリックし、[変更] をクリックします。
5. [レコードバナー] コンポーネントを [コンテンツ] 領域から [コンテンツヘッダー] 領域にドラッグします。

6.  をクリックし、[Flexcard] コンポーネントを [サイドバー] 領域にドラッグします。[FlexCard 名] で、[MentoringParticipantCard] を選択します。
7. [コンテンツ] 領域で、[レコード情報タブ] コンポーネントを削除します。
8.  をクリックし、[タブのレイアウト] コンポーネントを [サイドバー] 領域にドラッグします。
9. [タブのレイアウト] ページで、[追加] をクリックします。
10. 各タブの名前を入力します。
 - a. [タブ 1] をクリックして「Disbursements」(支払) と入力し、変更内容を保存します。
 - b. [タブ 2] をクリックして「Details」(詳細) と入力し、変更内容を保存します。
 - c. [タブ 3] をクリックして「Interaction Summaries」(インタラクション概要) と入力し、変更内容を保存します。
 - d. [新規タブ] をクリックして「Action Plans」(アクションプラン) と入力し、変更内容を保存します。
11. [コンテンツ] 領域の [タブレイアウト] コンポーネントで、[Disbursements (支払)] をクリックします。
12.  をクリックし、[関連レコードリスト] コンポーネントを [Disbursements (支払)] 領域にドラッグします。
 - a. [親レコード ID] に「{!recordId}」 と入力します。
 - b. [関連リスト名] に「BenefitDisbursementBenefitAssignments」 と入力します。
13. [コンテンツ] 領域の [タブレイアウト] コンポーネントで、[Details (詳細)] をクリックします。
14.  をクリックし、[レコードの詳細] コンポーネントを [Details (詳細)] 領域にドラッグします。[レコード ID] に「{!recordId}」 と入力します。
15. [コンテンツ] 領域の [タブレイアウト] コンポーネントで、[Interaction Summaries (インタラクション概要)] をクリックします。
16.  をクリックし、[関連レコードリスト] コンポーネントを [Interaction Summaries (インタラクション概要)] 領域にドラッグします。
 - a. [親レコード ID] に「{!recordId}」 と入力します。
 - b. [関連リスト名] に「Deals」 と入力します。

17.  をクリックし、[関連レコードリスト] コンポーネントを [Action Plans (アクションプラン)] 領域にドラッグします。
 - a. [親レコード ID] に「`{!recordId}`」と入力します。
 - b. [関連リスト名] に「`ActionPlans`」と入力します。

プログラムページを作成して設定する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンティーサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [オブジェクトページ] を選択します。
5. [プログラム] を選択し、[作成] をクリックします。
6. [作成] をクリックします。
7. [プログラムの詳細] ページで、すべてのコンテンツを削除します。
8.  をクリックし、[Flexcard] コンポーネントを [コンテンツ] 領域にドラッグします。[FlexCard 名] で、[EDUProgramMgmtProgramOverview] を選択します。

プログラム登録ページを設定する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンティーサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[プログラム登録の詳細] をクリックします。
4. [EDUProgramMgmtPgmEnrlRecordPage] Flexcard をクリックします。
5. [プログラム登録] ページの [予定をスケジュール] ボタンを非表示にするには、[公開された属性] に「`{"HideScheduleAppointmentButton":true}`」と入力します。

利用者を使用してメンティーに対するコンポーネントの表示を制御する

Experience Cloud サイトのメンティー利用者を作成して割り当て、メンティーユーザーが表示できるページとコンポーネントを制御します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンティーサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。

3.  をクリックし、利用者を設定するページで  をクリックして、[ページの設定] を選択します。
4. [ページのバリエーション] をクリックします。
5. [利用者を管理] をクリックし、[新規利用者] をクリックします。
6. [利用者名] に「Mentee」（メンティー）と入力します。
7. [条件種別] で、[プロフィール] を選択します。
8. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
9. [値] で、メンティープロフィールを選択します。
10. 変更内容を保存します。
11. 利用者を設定するページバリエーションごとに、 をクリックし、[割り当てを編集] を選択します。
12. [メンティー] を選択し、[割り当て] をクリックして、[完了] をクリックします。

メンティー Experience Cloud サイトを有効化する



重要

サイトを有効化する前に、サイトのプレビューとテストを行ってください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンティー Experience Cloud サイトの横にある [ワークスペース] をクリックし、[管理] を選択します。
3. [設定] をクリックします。
4. [有効化] をクリックして、[OK] をクリックします。

メンターポータル作成

メンターがメンタリングプログラムに登録できる Experience Cloud サイトを作成します。

必要なユーザー権限	
メンタリングポータルを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および エクスペリエンスの作成および設定 および 設定・定義を参照する および サイトのメンバーであり、「設定・定義を参照する」権限があり、そのサイトのエクスペリエンス管理者、公開者、またはビルダーである および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

メンター用の Experience Cloud サイトを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [教育ポータル] をクリックし、[開始] をクリックします。
4. [名前] に「Mentor」（メンター）と入力し、[URL] に「mentor」と入力します。
5. [作成] をクリックします。

メンターポータルにメンバーを割り当てる

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンターサイトの横にある [ワークスペース] をクリックし、[管理] を選択します。
3. [メンバー] をクリックします。
4. [プロフィールを選択] の [検索] で、[顧客] を選択します。
5. [選択済みプロフィール] 列にメンタープロフィールを追加します。
6. 変更内容を保存します。

メンターポータルの調査ページを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンターサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [標準ページ] を選択し、[柔軟なレイアウト] を選択して [次へ] をクリックします。
5. 「Assessment View」(調査ビュー) という名前を入力します。Tab キーを押すと [URL] 項目に自動的に入力されます。

または、EDUProgramMgmtProgramHome および EDUProgramMgmtProgramOverview Flexcard のプロパティの [公開された属性] 項目を使用してカスタムページをコールします。

6. [作成] をクリックします。
7. 左上の [コンポーネント] をクリックして、[Vlocity LWC Omniscrypt Wrapper (Vlocity LWC Omniscrypt ラッパー)] コンポーネントを見つけて選択し、新しいページにドラッグします。

給付ホーム画面を作成して設定する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンターサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [標準ページ] を選択し、[柔軟なレイアウト] を選択して [次へ] をクリックします。
5. [名前] に「Benefit Home Screen」(給付ホーム画面) と入力します
6. [URL] に「benefit-home-screen」と入力します。
7. [API 参照名] に「Benefit_Home_Screen」と入力します。
8. [作成] をクリックします。

9. [Benefit Home Screen (給付ホーム画面)] で  をクリックし、[Flexcard] コンポーネントを [コンテンツ] 領域にドラッグします。
 - a. [FlexCard 名] で、[MentoringBenefitHome] を選択します。
 - b. [公開された属性] に 「{"AssessmentPageName":"AssessmentView__c"}」 と入力します。

**注意**

調査ページに「Assessment View (調査ビュー)」以外の名前が付いている場合は、"AssessmentView__c" の代わりに調査ページの API 参照名を入力します。

10. [ナビゲーションメニュー] をクリックし、[デフォルトのナビゲーションを編集] を選択します。
11. [メニュー項目を追加] をクリックし、次の値を入力します。
 - a. [名前] に「Benefits」(給付) と入力します。
 - b. [種別] で、[サイトページ] を選択します。
 - c. [ページ] で、[Benefit Home Screen (給付ホーム画面)] を選択します。
12. [メニューを保存] をクリックし、[公開] をクリックします。

給付ページを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンターサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [オブジェクトページ] を選択します。
5. [給付] を選択し、[作成] をクリックします。
6. [作成] をクリックします。
7. [給付の詳細] ページで、すべてのコンテンツを削除します。
8.  をクリックし、[Flexcard] コンポーネントを [コンテンツ] 領域にドラッグします。[FlexCard 名] で、[MentoringBenefitRecordPage] を選択します。

インタラクションページレイアウトを作成してメンターに割り当てる

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [インタラクション] をクリックします。

2. [ページレイアウト] をクリックし、[新規] をクリックします。
3. [既存のページレイアウト] で、[インタラクションレイアウト] を選択します。
4. [ページレイアウト名] に「Mentor Interaction Layout」(メンターインタラクションレイアウト) と入力します。
5. 変更内容を保存します。
6. [インタラクションの詳細] に次の項目のみを含めます。
 - 名前
 - インタラクション種別
 - 開始時刻
 - 終了時刻
7. [インタラクション概要] を除くすべての関連リストを削除します。
8. [インタラクション概要] で、 をクリックします。
9. [使用可能な項目] で、[タイトル]、[状況]、および [ミーティングメモ] を [選択された項目] に追加します。
10. [OK] をクリックします。
11. 変更内容を保存します。
12. [ページレイアウトの割り当て] をクリックし、[編集] をクリックします。
13. メンターユーザープロフィールを選択します。
14. [使用するページレイアウト] から、[Mentor Interaction Layout (メンターインタラクションレイアウト)] を選択し、変更内容を保存します。

インタラクション概要ページレイアウトを作成してメンターに割り当てる

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [インタラクション概要] をクリックします概要。
2. [ページレイアウト] をクリックし、[新規] をクリックします。
3. [既存のページレイアウト] で、[インタラクション概要レイアウト] を選択します。
4. [ページレイアウト名] に「Mentor Interaction Summary Layout」(メンターインタラクション概要レイアウト) と入力します。
5. 変更内容を保存します。

6. [インタラクション概要の詳細] に次の項目のみを含めます。
 - タイトル
 - インタラクション
 - 関連レコード
 - 状況
 - ミーティングメモ
7. ページレイアウトからすべての関連リストを削除します。
8. 変更内容を保存します。
9. [ページレイアウトの割り当て] をクリックし、[編集] をクリックします。
10. メンターユーザープロファイルを選択します。
11. [使用するページレイアウト] から、[Mentor Interaction Summary Layout (メンターインタラクション概要レイアウト)] を選択し、変更内容を保存します。

給付割り当てページレイアウトを設定してメンターに割り当てる

1. [設定] から、オブジェクトマネージャーで [給付割り当て] をクリックします。
2. [ページレイアウト] をクリックし、[給付割り当てレイアウト] をクリックします。
3. [保存] の横にある  をクリックし、[別名で保存] を選択します。
4. [ページレイアウト名] に「Mentor Benefit Assignment Layout」(メンター給付割り当てレイアウト) と入力し、変更内容を保存します。
5. [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] および [給付割り当ての詳細] セクションからすべてのボタンを削除します。
6. [関連リスト] をクリックします。
7. [給付支払] および [インタラクション概要] リストを [関連リスト] セクションにドラッグします。
8. [給付支払] で  アイコンをクリックします。
9. [ボタン] をクリックし、[新規] を選択解除します。
10. [OK] をクリックします。
11. 変更内容を保存します。
12. [ページレイアウトの割り当て] をクリックし、[編集] をクリックします。
13. メンターユーザープロファイルを選択します。

14. [使用するページレイアウト] から、[Mentor Benefit Assignment Layout (メンター給付割り当てレイアウト)] を選択し、変更内容を保存します。

メンターの給付割り当てページを作成する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンターサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [オブジェクトページ] を選択します。
5. [給付割り当て] を選択し、[作成] をクリックします。
6. [作成] をクリックします。

給付割り当てページを設定する

1. [給付割り当ての詳細] ページで、 をクリックします。
2. [給付割り当ての詳細] で、 をクリックし、[ページの設定] を選択します。
3. [レイアウト] で、[変更] をクリックします。
4. [2 列、比率 1:2] をクリックし、[変更] をクリックします。
5. [コンテンツ] 領域で、[レコードバナー] コンポーネントを削除します。
6.  をクリックし、[給付割り当ての特長] コンポーネントを [コンテンツヘッダー] 領域にドラッグします。
7.  をクリックし、[Flexcard] コンポーネントを [サイドバー] 領域にドラッグします。[FlexCard 名] で、[MentoringParticipantCard] を選択します。
8. [コンテンツ] 領域で、[レコード情報タブ] コンポーネントを削除します。
9.  をクリックし、[タブのレイアウト] コンポーネントを [サイドバー] 領域にドラッグします。
10. [タブのレイアウト] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

11. 各タブの名前を入力します。
 - a. [タブ 1] をクリックして「Disbursements」(支払) と入力し、変更内容を保存します。
 - b. [タブ 2] をクリックして「Details」(詳細) と入力し、変更内容を保存します。
 - c. [タブ 3] をクリックして「Interaction Summaries」(インタラクション概要) と入力し、変更内容を保存します。
 - d. [新規タブ] をクリックして「Action Plans」(アクションプラン) と入力し、変更内容を保存します。
12. [コンテンツ] 領域の [タブレイアウト] コンポーネントで、[Disbursements (支払)] をクリックします。
13.  をクリックし、[関連レコードリスト] コンポーネントを [Disbursements (支払)] 領域にドラッグします。
 - a. [親レコード ID] に「`{!recordId}`」 と入力します。
 - b. [関連リスト名] に「BenefitDisbursementBenefitAssignments」 と入力します。
14. [コンテンツ] 領域の [タブレイアウト] コンポーネントで、[Details (詳細)] をクリックします。
15.  をクリックし、[レコードの詳細] コンポーネントを [Details (詳細)] 領域にドラッグします。
 - a. [レコード ID] に「`{!recordId}`」 と入力します。
16. [コンテンツ] 領域の [タブレイアウト] コンポーネントで、[Interaction Summaries (インタラクション概要)] をクリックします。
17.  をクリックし、[関連レコードリスト] コンポーネントを [Interaction Summaries (インタラクション概要)] 領域にドラッグします。
 - a. [親レコード ID] に「`{!recordId}`」 と入力します。
 - b. [関連リスト名] に「Deals」 と入力します。
18.  をクリックし、[関連レコードリスト] コンポーネントを [Action Plans (アクションプラン)] 領域にドラッグします。
 - a. [親レコード ID] に「`{!recordId}`」 と入力します。
 - b. [関連リスト名] に「ActionPlans」 と入力します。

プロバイダー給付ページを作成して設定する

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。

2. メンターサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、[新規ページ] をクリックします。
4. [オブジェクトページ] を選択します。
5. [プロバイダー給付] を選択し、[作成] をクリックします。
6. [作成] をクリックします。
7. [プロバイダー給付の詳細] ページで、すべてのコンテンツを削除します。
8.  をクリックし、[Flexcard] コンポーネントを [コンテンツ] 領域にドラッグします。
 - a. [FlexCard 名] で、[MentoringParticipantCard] を選択します。
 - b. [公開された属性] に「{"AssessmentPageName": "AssessmentView__c"}」と入力します。

**注意**

調査ページに「Assessment View (調査ビュー)」以外の名前が付いている場合は、「AssessmentView__c」の代わりに調査ページの API 参照名を入力します。

利用者を使用してメンターに対するコンポーネントの表示を制御する

Experience Cloud サイトのメンティー利用者を作成して割り当て、メンティーユーザーが表示できるページとコンポーネントを制御します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンターサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3.  をクリックし、利用者を設定するページで  をクリックして、[ページの設定] を選択します。
4. [ページのバリエーション] をクリックします。
5. [利用者を管理] をクリックし、[新規利用者] をクリックします。
6. [利用者名] に「メンター」と入力します。
7. [条件種別] で、[プロファイル] を選択します。
8. [演算子] で、[次の文字列と一致する] を選択します。
9. [値] で、メンタープロファイルを選択します。
10. 変更内容を保存します。

11. 利用者を設定するページバリエーションごとに、 をクリックし、[割り当てを編集] を選択します。
12. [メンター] を選択し、[割り当て] をクリックして、[完了] をクリックします。

メンター Experience Cloud サイトを有効化する



重要

サイトを有効化する前に、サイトのプレビューとテストを行ってください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. メンター Experience Cloud サイトの横にある [ワークスペース] をクリックし、[管理] を選択します。
3. [設定] をクリックします。
4. [有効化] をクリックして、[OK] をクリックします。

メンティーとメンターをつなげる

メンティーのニーズを理解し、メンティーが成功するために必要な給付を提供します。必須。

調査を使用したメンティーとメンターのマッチング

ファシリテーターがメンティーとメンターをマッチングするのに役立つ調査を作成します。

表 189: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
調査の質問を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

メンターまたはメンティーがメンタリングプログラムに登録するときに、ポータルに表示される定義済みの質問を使用した調査を追加します。自動化により、送信された回答がプログラム登録に関連するレコードとして保存されます。メンタリングファシリテーターは、回答をレビューしてメンティーのニーズ、およびメンターが提供できる内容を理解し、相互に有益なマッチングを行います。メンターとメンティーに対して個別の調査を作成します。

調査を作成する

1. アプリケーションランチャーから、[調査の質問] を見つけて選択します。
2. [質問を選択] をクリックします。
3. [フォームを作成] ページの [OmniScript の詳細] で、名前を入力します。
4. 言語を選択します。
5. 種別とサブ種別を入力します。

種別とサブ種別は、Omni Process の共有ルールを作成するときに条件を指定するために使用されます。
6. [新規 OmniScript] で [ステップを編集] アイコンをクリックし、ステップの名前を入力します。必要に応じてさらにステップを追加します。
7. 質問を見つけるには、検索項目と検索条件を使用して、選択した質問を適切なステップにドラッグします。
8. [OmniScript を構築] をクリックします。
9. 新しい OmniScript ページの [ビルド] パネルで、[Integration Procedure Action (インテグレーション手順アクション)] を OmniScript 要素のリストにドラッグします。
10. [Integration Procedure Action Properties (インテグレーション手順アクションプロパティ)] で、名前を入力します。
11. 調査のインテグレーション手順を入力します。
 - a. メンティーの調査の場合、「EDUProgramMgmt_EnrollInProgram」と入力します。
 - b. メンターの調査の場合、「Mentoring/EnrollInPgm」と入力します。
12. インテグレーション手順を有効化します。
 - a. アプリケーションランチャーで、[OmniStudio インテグレーション手順] を見つけて選択します。
 - b. インテグレーション手順を展開し、有効化するバージョンを選択します。
 - c. チェックを増やすか変更するには、インテグレーション手順をカスタマイズします。
 - d. [構造] パネルで、[Procedure Configuration (手順の設定)] をクリックします。
 - e. [バージョンの有効化] をクリックします。
13. [ビルド] タブで、[Navigate Action (アクションの操作)] を OmniScript 要素のリストにドラッグします。
14. [Navigate Action Properties (アクションの操作プロパティ)] で、名前を入力します。

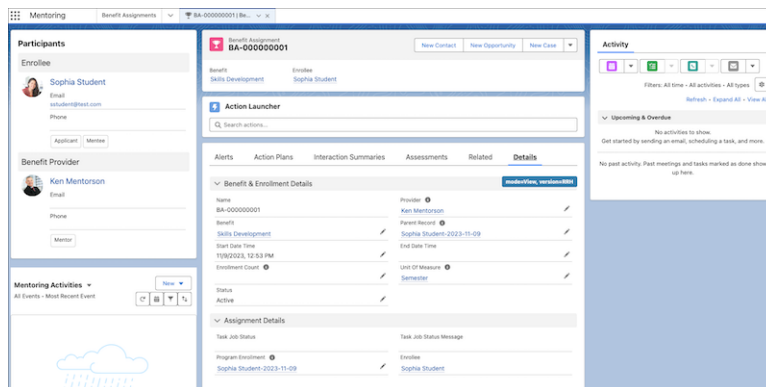
15. オブジェクト API 参照名を入力します。
 - a. メンティーの調査の場合、「ProgramEnrollment」と入力します。
 - b. メンターの調査の場合、「ProviderOffering」と入力します。
16. レコード ID を入力します。
 - a. メンティーの調査の場合、「%programEnrollmentId%」と入力します。
 - b. メンターの調査の場合、「%providerOfferingId%」と入力します。
17. [Activate Version (バージョンを有効化)] をクリックして [完了] をクリックします。

メンティーへのメンターの割り当て

メンティーが給付に登録したら、その給付を提供するメンターを割り当てます。

表 190 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
メンティーにメンターを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権



1. メンティーの給付割り当てレコードで、[詳細] をクリックします。
2. [給付および登録の詳細] で、[提供者を編集] をクリックします。
3. メンティーに割り当てるメンターを選択します。
4. 変更内容を保存します。

予定の管理

Education Cloud では、予定を一元管理するためのセルフサービスシステムが提供されます。学習者は、設定済みの場所と予定チャンネルに基づいてあらゆる部門のスタッフの対応可能状況を把握できます。学習者は予定の参照とスケジュールを行うことができ、該当の機能が設定されていれば仮想的に参加することもできます。スタッフも学習者の代わりに学習者のレコードから予定をスケジュールできます。1つのスケジュールツール上ですべての部門を統一することで、学習者がすべてのサービスを使用できるようになります。

Education Cloud には 1,000 個/月の初期予定に加えて次の予定が含まれます。

- Enterprise Edition: CRM ユーザーごとに 150 個/月。
- Unlimited Edition: CRM ユーザーごとに 200 個/月。

さらに多くの予定が必要な場合は、アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。

Salesforce Scheduler for Education Cloud の設定

Salesforce Scheduler for Education Cloud を有効にして、共有および権限設定を定義します。次に、予定データモデリングでサポートするデータ型を作成します。

表 191: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Salesforce Scheduler for Education Cloud を設定する前に、システム管理者が「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットライセンスを割り当てていることを確認します。「」を参照してください。

Salesforce Scheduler for Education Cloud の有効化

予定機能を設定する前に、Salesforce Scheduler for Education Cloud を有効にします。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Salesforce Scheduler の設定」と入力し、[Salesforce Scheduler の設定] を選択します。

2. 以下を見つけて有効にします。

- 行動管理
- リソースの予定の共有
- シフトの複数のトピック - すでに Salesforce Scheduler を使用している場合、この設定を有効にする前に、これらの[前提条件](#)を満たしてください。
- エンゲージメントチャネルを使用して予定をスケジュール



注意

ドロップインの対応可能状況を設定するために [ドロップイン予定] 設定を有効にする必要はありません。この設定は[待機リスト](#)でのみ必要です。

3. 確認ウィンドウで [有効] をクリックします。

スケジュールポリシーのシフトの有効化

Education Cloud では、スタッフのサービスエリアのシフトを使用して、対応付け可能な時間枠を決定します。

表 192 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のシフトを有効にする	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「スケジュールポリシー」と入力し、[スケジュールポリシー] を選択します。
2. 更新するポリシーの横で、[編集] をクリックします。
3. [サービスエリアメンバーのシフトを使用] を選択し、変更を保存します。

予定の共有設定の定義

共有設定を使用して、スタッフメンバーと学習者がデータにアクセスする方法を制御します。

表 193 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	

必要なユーザー権限

Education Cloud で予定の共有設定を定義する

Education Cloud の完全なアクセス権

組織の共有設定の推奨事項が記載されていますが、必要に応じてアクセス権を拡張または制限してください。そのような設定以外は、共有ルールを使用してアクセス権を調整します。たとえば、作業種別オブジェクトのデフォルトの内部アクセス権を[公開/参照・更新可能]に設定して、スタッフが独自の予定トピックを作成したり、期間を変更したりできるようにします。特定のスタッフメンバーのルールを作成して、変更を行うことができるメンバーを制限することもできます。「[Lightning Experience での共有の直接設定を使用したレコードアクセス権の付与](#)」を参照してください。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「共有設定」と入力し、[共有設定] を選択します。
2. [編集] をクリックします。
3. 次のオブジェクトのデフォルトの内部および外部アクセス権に[公開/参照のみ]を選択します。
 - エンゲージメントチャネル種別
 - 場所
 - 業務時間
 - サービスリソース
 - サービステリトリー
 - シフト
 - サクセスチーム
 - 作業種別
 - 作業種別グループ
4. ユーザーオブジェクトがデフォルトの内部アクセス権に[公開/参照のみ]を選択します。そのデフォルトの外部アクセス権を[非公開]に設定することをお勧めします。このように制限することで、学習者が Salesforce の他のすべてのユーザーにアクセスできなくなります。学習者がサポートスタッフの役割のユーザーとの予定をスケジュールできるようにするには、そのようなユーザーにアクセス権を制限する共有ルールを作成します。
5. 変更内容を保存します。

Salesforce で共有設定がどのように適用されるのかについては、「[組織の共有設定](#)」を参照してください。

Education Cloud での予定ユーザーへの権限セットの割り当て

予定の権限セットを作成したら、スタッフメンバーと学習者に割り当てます。

表 194 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud で予定ユーザーに権限セットを割り当てる	Education Cloud の完全なアクセス権



ヒント

使用できる権限セットライセンスを確認するには、[設定] から、[クイック検索] ボックスに「組織情報」と入力し、[組織情報] を選択します。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ユーザー」と入力し、[ユーザー] を選択します。
2. ユーザーをクリックします。
3. [権限セットの割り当て] セクションで、[割り当ての編集] をクリックします。
4. 次の権限セットを追加します。

権限セット	説明	推奨されるユーザー
Education Cloud の完全なアクセス権	ユーザーが Education Cloud オブジェクトおよびコンポーネントにアクセスできるようにします。	スタッフメンバー
OmniStudio ユーザー	ユーザーが予定をスケジュールできるようにします。	スタッフメンバー
Education Cloud for Experience Cloud のアクセス権	Experience Cloud ユーザーが Education Cloud にアクセスできるようにします。	学習者

5. 変更内容を保存します。

予定データの設定

予定のスケジュールに必要な Education Cloud のすべてのオブジェクトを把握して設定します。

表 195 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud の予定オブジェクト

Education Cloud では、各機関のデータモデルをサポートする強力で柔軟なオブジェクトが用意されています。

各オブジェクトのインタラクションについては、「[Education Cloud 用開発者リソース](#)」を参照してください。

サービスリソース (スタッフ)

サービスリソースは、予定に対応できるスタッフメンバー (アカデミックアドバイザー、入学カウンセラー、学資援助アドバイザーなど) を表します。

「[スタッフのサービスリソースを作成](#)」を参照してください。

サービステリトリー (特徴と場所)

サービステリトリーは、予定をグループ化するための共通の特徴 (通常は、スタッフが予定を受け入れる場所) を表します。

大学に複数のキャンパスがある場合、キャンパスごとにサービステリトリーを設定できます。スタッフの勤務地が曜日によって異なる場合や、トピックに応じて別のチャネルを使用する場合、そのことをサービステリトリーに反映させることもできます。

ただし、サービステリトリーは場所に限定されません。部門やグループトピックをモデル化できます。たとえば、入学のサービステリトリーとアカデミックアドバイスのサービステリトリーを設定できます。

スキル

スキルは、学習者が予定に適したリソースを絞り込んで選択するのに役立ちます。スキルは、高度な学位計画などの特定の専門知識が必要なトピックの場合に特に役立ちます。

エンゲージメントチャネル種別

エンゲージメントチャネル種別には、スタッフが学習者と会うために使用するチャネルが保存されます。

スタッフメンバーは、複数の場所およびトピックで複数のチャネルを提案できます。たとえば、学習者はある日にはアドバイザーと対面ミーティングの予定をスケジュールして、別の日にはビデオ通話の予定をスケジュールするといったことができます。

作業種別グループと作業種別 (予定トピック)

作業種別グループと作業種別を組み合わせ、予定トピック (アカデミックアドバイス、入学カウンセリング、面接、キャンパスツアー、キャンパス訪問など) を表します。

作業種別グループはトピック自体を表しますが、作業種別は概要レベルの予定の詳細 (期間など) のテンプレートとして機能します。トピックの階層を表すには、作業種別グループを構造化します。たとえば、アカデミックアドバイス作業種別グループには、学位計画や科目のスケジュールに対応する子作業グループが含まれます。予定をスケジュールするときに、ユーザーは階層の最下位レベルのトピックを選択します。ユーザーは親レベルの作業種別グループは選択できず、Salesforce ではその親に割り当てられている作業種別は適用されません。

作業種別は、特徴を共有する複数の作業種別グループに適用できます。ただし、わかりやすくするために以下のようにすることをお勧めします。

- 作業種別グループごとに 1 つの作業種別のみを割り当てる。ドロップインの場合、複数の作業種別グループを 1 つの作業種別に対応付けると、Salesforce は対応可能な時間枠をリストするときに 1 つの作業種別グループのトピック名のみを表示します。
- トピックとサブトピックがある場合、子作業種別グループにのみ作業種別を割り当てる。

予定カテゴリ

予定カテゴリにより、予定がドロップイン予定であるかスケジュール済み予定であるかが決まります。

スタッフがトピックの両方のオプションを提供する場合、「Academic Advising (Drop-In) (アカデミックアドバイス (ドロップイン))」と「Academic Advising (Scheduled) (アカデミックアドバイス (スケジュール済み))」など、オプションごとにトピックを作成することをお勧めします。

シフト

シフトにより、スタッフの予定の対応可能状況が決まります。

1 つ以上のサービスエリアのスタッフの勤務時間を使用して、シフトを作成および更新します。次にその例を示します。

- あるアカデミックアドバイザーには、1 年生にアドバイスを行うための月曜日と水曜日のキャンパス内でのシフトがあり、すべての学生が利用できる金曜日の仮想シフトがあります。
- あるキャリアカウンセラーは火曜日の午前中にドロップインのコンサルティングを提供しています。また、休暇中は対応不可として Salesforce に表示させたいと考えています。

ケースおよびサクセスチーム

ケースおよびサクセスチームは、ケースレコードタイプに基づいて、予定に対応できるケースチーム (割り当て済みまたは未割り当て) を決定します。Salesforce では、既存の学習者の

ケースレコードが使用されます。たとえば、機関に IT サポートとアカデミックアドバイスのケースがあるとしします。アカデミックアドバイスケースチームを予約可能にするには、サクセスチームを介してそのレコードタイプを対応付けます。

厳密に言えば、サクセスチームは未割り当てのケースチームを予定設定フローに表示する場合にのみ必要になります。ただし、割り当て済みのチームの場合でもチームごとにサクセスチームを対応付けることをお勧めします。この設定により、学習者は割り当てられていないチームを利用できるようになります。たとえば、学生が現在のカリキュラムにないテーマを調べたい場合に、フロントデスク担当者に依頼して、別の生徒から聞いた人物に会うことができます。学生の既存のケース上のレコードタイプが、未割り当てのチームのレコードタイプに一致する場合、Salesforce は予定をケースに追加します。それ以外の場合、スタッフメンバーはこのチームとの予定を予約する前にこのレコードタイプを持つケースを作成する必要があります。

機関がケースチームではなく個別のスタッフメンバーを直接学習者に割り当てる場合であっても、サクセスチームを設定する必要があります。

パフォーマンスを最適にするために、ケースチームのメンバーを 20 人未満にすることをお勧めします。これ以上に大規模なチームを作成すると、予定設定フローで対応可能な時間枠を読み込む時間が長くなります。

「[予定への対応可能状況を定義するためのサクセスチームへのケースチームの対応付け](#)」を参照してください。

サービス予定

サービス予定は、スタッフまたは学習者がスケジュールする予定を表します。

Education Cloud の予定の対応可能状況

学習者が予定トピックを選択すると、設定したデータ (トピックとエンゲージメントチャンネル間の対応付けなど) に基づいてスタッフの対応可能状況がチェックされます。

表 196: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

学習者とスタッフメンバーは、既存のケースが関連付けられている学習者の予定のみをスケジュールできます。「[ケースおよびサクセスチーム](#)」を参照してください。

複数のサポートスタッフチームを作成して学習者に割り当てた場合、学習者はケースレコードに基づいて、割り当て済みおよび未割り当てのチームとの予定をスケジュールできます。たとえば、Cloudy College の学生である Stephanie に 2 つのオープンケース (Academic と Financial Aid) が設定されているとしします。Academic ケースは、Adam と Amy が属する Undergraduate Advising チームに割り当てられます。Financial Aid ケースは、サポートプー

ルで処理されます。そのため、Stephanie は、Adam、Amy、および Financial Aid サポートプールの任意のスタッフとの予定をスケジュールできます。

他のチームとの予定のスケジュール

デフォルトでは、学習者は各自のケースレコードに関連していないスタッフメンバーとの予定を予約できません。この作業は、スタッフメンバーが学習者のレコードからのみ行うことができます。

Stephanie は、Study Abroad プログラムについて詳しく知りたいと考えていますが、彼女は現在のそのプログラムに参加していないため、そのアドバイザーやチームが割り当てられていません。彼女のクラスメートが Sam という Study Abroad の優秀なアドバイザーについて教えてくれました。Sam は Study Abroad プールにしか属していないため、Stephanie は彼女との予定を直接スケジュールすることができません。そこで、彼女は Study Abroad オフィスに行き、Sam とのミーティングについて尋ねました。Frank は、そのオフィスとのフロントデスク担当者であるため、すべての対応可能なサポートプールを確認できます。彼は、Stephanie の個人取引先レコードを開き、Sam との予定をスケジュールできます。Study Abroad サポートプールが Academic ケースを使用するように設定された場合、予定は Stephanie の Academic ケースに関連付けられますが、プールまたは Sam は彼女のケースに関連付けられません。ただし、彼女に割り当てられているアドバイザーは、予定が発生したことがわかり、今後のディスカッションで国際学習のトピックを考慮できます。

ドロップインの対応可能状況

スタッフメンバーのプロファイルと学習者のポータルに、予定のドロップインの対応可能状況を表示します。

ドロップイン予定時間を表示するには、ドロップインを含み、次の条件を満たすシフトを作成します。

- 関連エンゲージメントチャンネルには、少なくとも対面チャンネルが含まれています。
- 関連シフトにすべてのトピックが含まれているとは限りません。ドロップイン予定とスケジュール済み予定のトピックが含まれている場合、Salesforce ではドロップインのトピックのみが表示されます。

Salesforce では、休日、休暇、週末などの非就業日が自動的に考慮されることはありません。Salesforce では、シフト（およびシフトの不在）のみを確認してスタッフの対応可能状況を決定します。「[シフトに関する考慮事項](#)」を参照してください。

デフォルトでは、Salesforce では、翌 7 日間のドロップインの対応可能状況が表示されます。ユーザーはこの範囲をカスタマイズ（最大 10 日間）できます。「[Education Cloud での OmniStudio の使用](#)」を参照してください。

サービステリトリの業務時間の設定

業務時間は、サービステリトリを作成するときに必要になります。ただし、Salesforce Scheduler for Education Cloud では、業務時間ではなくシフトを使用して、スタッフメン

バーの対応可能状況を決定します。シフトは、複数の場所などに対応できるため、より柔軟性が高くなっています。

表 197 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud の業務時間を設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[業務時間] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 名前を入力し、タイムゾーンを選択します。このタイムゾーンは、サービスエリアの休日に適用されます (存在する場合)。
4. 変更内容を保存します。

「[スタッフのシフトの作成](#)」を参照してください。

スタッフのサービスリソースを作成

サービスリソースを作成して、スタッフ情報を保存したり、スタッフメンバーをサービスエリアや予定種別に関連付けたりします。

表 198 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のサービスリソースを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

スタッフメンバーはすでにユーザー、取引先責任者、個人取引先として表されていますが、サービスリソースとしてモデル化して、予定に対応できるようにします。「[Salesforce Scheduler でサービスリソースを管理するためのガイドライン](#)」を参照してください。



注意

ユーザーレコードと同様に、サービスリソースは削除できません。スタッフメンバーを予定のスケジュールから除外するには、サービスリソースレコードの [有

効] チェックボックスをオフにします。ユーザーレコードを無効化すると、サービスリソースレコードも無効化されます。

- 1. アプリケーションランチャーから、[サービスリソース] を見つけて選択します。
- 2. [新規] をクリックします。
- 3. ユーザーとしてスタッフメンバーを選択し、名前を入力します。ユーザーの名前を使用することをお勧めします。
- 4. [有効] をオンして、サービスリソースが予定に対応できるようにします。
- 5. [技術者] リソース種別を選択し、必要に応じて説明を入力します。
- 6. 変更内容を保存します。

New Service Resource

Information

Name

Yui Sato

User

Yui Sato

Resource Type

Technician

Capacity-Based

Description

Scheduling Constraint

Search Scheduling Constraints...

Active

Include in Scheduling Optimization

Education Cloud のサービステリトリーの作成

サービステリトリーを設定して、共通の特徴で予定をグループ化します。サービステリトリーは、概要レベルの共通の場所 (キャンパスなど) になります。

表 199 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のサービステリトリーを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

スタッフメンバーが予定を受け入れる実際の場所をサービステリトリーレコードに含めるには、機関の設定時にその場所を設定します。「[キャンパスのモデル化](#)」を参照してください。

1. アプリケーションランチャーから、[サービステリトリー] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 名前を入力し、必要に応じて説明を選択します。
4. [有効] をオンにして、メンバーをサービステリトリーに追加したり、予定に関連付けたりできるようにします。
5. テリトリーが大きなテリトリーの一部である場合、親テリトリーを選択します。
6. テリトリーの業務時間を選択します。業務時間はサービステリトリーの設定に必要ですが、Education Cloud ではスタッフメンバーの対応可能状況を決定するのに業務時間を使用しません。代わりに、複数の場所などに対応できる、より柔軟性の高いシフトを使用します。
7. 変更内容を保存します。

New Service Territory

Information

* Name
Campus A

Parent Territory
Search Service Territories...

* Operating Hours
Advisory Hours

Scheduling Constraint
Search Scheduling Constraints...

Active
☐

Address
Country
United States

Address
123 Cloudy Avenue

City
Cloudy City

State/Province
California

Zip/Postal Code
94105

Description
Service territory for campus A

Cancel Save & New Save

8. 新しいサービステリトリーで、[関連] をクリックします。
9. [サービステリトリーメンバー] セクションで、[新規] をクリックします。

サービステリトリーメンバーは、テリトリー内で作業できるリソースです。リソースをまだ作成していない場合、リソースの詳細ページからリソースのテリトリーを定義できます。

10. サービスリソースとテリトリー種別を選択します。

デフォルトの種別はプライマリで、通常はこれはサービスリソースが最も頻繁に作業するテリトリー（自宅の周辺など）になります。セカンダリテリトリーは、サービスリソースが予定を受け入れることができるテリトリーです。サービスリソースに設定できるプライマリサービステリトリーは 1 つのみですが、セカンダリサービステリトリーは複数設定できます。

11. 必要に応じて、場所を選択します。

12. 開始日を入力し、必要に応じて終了日を入力します。

13. 変更内容を保存します。

サービスリソースのレコードページの [サービステリトリー] 関連リストには、サービスリソースが属するすべてのサービステリトリーが表示されます。

Education Cloud でのスキルの設定

学習者がニーズに最も適したスタッフメンバーと会えるように、スタッフの専門分野を識別するスキルを作成して割り当てます。

表 200 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のスキルを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

スキルを設定する必要はありませんが、スキルを設定すれば、学習者が予定を作成するときに表示されるスタッフメンバーが Education Cloud によって自動的に絞り込まれます。

Education Cloud のスキルの作成

スキルは、高度な学位計画などの特定の専門知識が必要なトピックの場合に特に役立ちます。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「スキル」と入力し、[スキル] をクリックします。
2. [新規] をクリックします。
3. 名前を入力し、必要に応じて説明を選択します。
4. 変更内容を保存します。

スタッフへのスキルの割り当て

サービスリソースアプリケーションを使用して、スタッフメンバーにスキルを割り当てます。

1. アプリケーションランチャーから、[サービスリソース] を見つけて選択します。
2. サービスリソースをクリックし、[スキルの割り当て] をクリックします。
3. 割り当てる各スキルの横にあるチェックボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。
4. 開始日を入力します。
5. 必要に応じて、各機関のスキルレベルの計測方法に基づいて 0 ~ 99.99 の範囲でスキルレベルを入力します。
6. 必要に応じて、終了日を入力します。たとえば、毎年再認定が必要なスキルの場合、開始日から 1 年後の日付を終了日として入力できます。
7. 変更内容を保存します。

トピックテンプレート (作業種別) を設定する場合、同じスキルに関連する作業種別に関連付けます。「[Education Cloud のトピックテンプレートの作成](#)」を参照してください。

Education Cloud のエンゲージメントチャネル種別の作成

スタッフが学習者との連絡に使用するエンゲージメントチャネル種別 (対面や電話など) を作成します。

表 201: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のエンゲージメントチャネル種別を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. アプリケーションランチャーから、[エンゲージメントチャネル種別] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 名前を入力し、連絡先種別を選択します。たとえば、電話の予定の場合、「電話」と入力して [電話] を選択します。機関がドロップイン予定を提供している場合、Salesforce では仮想のドロップインはサポートされないため、対面チャネルを設定します。
4. [有効] をオンにし、利用状況の種別として [Salesforce Scheduler] を選択します。
5. 変更内容を保存します。

6. すべての予定種別でこの手順を繰り返します。

Education Cloud の予定トピックの作成

アカデミックアドバイスなどの予定トピックを表すように作業種別グループを設定します。次に、作業種別グループの役割を介して、ケースチーム内の役割を作業種別グループに対応付けます。

表 202 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud の予定トピックを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

関連のないスタンドアロン予定トピックを作成するか、階層で構造化します。後で設定する場合、まず親トピックを作成します。

1. アプリケーションランチャーから、[作業種別グループ] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 名前を入力します。
4. グループ種別は [デフォルト] のままにします。
5. [有効] をオンにします。
6. トピックが別のトピックのサブトピックである場合、その親トピックを選択します。
7. 必要に応じて他の項目を入力し、変更を保存します。
8. 新しい作業種別グループで、[関連] をクリックします。
9. 作業種別グループの役割のセクションで、[新規] をクリックします。
10. 予定トピックに関連するケースチーム内の役割を入力し、変更を保存します。[「ケースの作成と割り当ての自動化」](#)を参照してください。
11. 複数の役割をトピックに割り当てるには、役割ごとにステップ 9 ~ 10 を繰り返します。たとえば、入学作業種別グループには、入学カウンセラーの役割とファイナンシャルアドバイザーの役割が含まれます。
12. 変更内容を保存します。

Education Cloud のトピックテンプレートの作成

テンプレートとして機能する予定の詳細を表す作業種別を設定します。作業種別により、時間を節約し、予定のスケジュールを簡単に標準化できます。

作業種別を作成したら、予定トピック (作業種別グループ)、エンゲージメントチャネル種別、サービストリトリーに割り当てます。Education Cloud では、これらの対応付けを使用して、学習者に表示される予定トピックを絞り込みます。たとえば、以下でトピックを制限します。

- エンゲージメントチャネル: 対面の予定のみに対応する繊細なトピック。
- 場所: スタッフメンバーの自宅から最も近いオフィスの長い予定。
- スキル: 高度なトピックの専門知識が必要になります。

トピックテンプレートを作成する手順は、次のとおりです。

1. アプリケーションランチャーから、[作業種別] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 名前、推定所要時間、期間種別を入力します。
4. 必要に応じて、テンプレートがドロップイン予定用であるかスケジュール済み予定用であるかを指定します。[予定カテゴリ] ドロップダウンから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - カテゴリを選択します。
 - [新規予定カテゴリ] をクリックし、必須項目に入力して、変更内容を保存します。すべての予定カテゴリでこの手順を繰り返します。

Salesforce では対応可能なドロップイン時間枠を絞り込むときに、スケジュール済みカテゴリに関連する作業種別を持つトピックや、カテゴリのないトピックは除外されます。

5. 必要に応じて他の項目を入力し、変更を保存します。

The screenshot shows the 'New Work Type' form in Salesforce Scheduler. The form is titled 'New Work Type' and has a 'Description' section. The 'Description' section contains a text area with the text 'Standard Appointment' and a description 'Characteristics for standard in-person appointments.' Below the description is a search bar for 'Operating Hours'. The 'Estimated Duration' field is set to '30.00'. The 'Duration Type' dropdown is set to 'Minutes'. The 'Block Time Before Appointment' field is set to '5'. The 'Block Time Before Unit' dropdown is set to 'Minute(s)'. The 'Block Time After Appointment' field is set to '5'. The 'Block Time After Unit' dropdown is set to 'Minute(s)'.

6. 新しい作業種別で、[関連] をクリックします。
7. [作業種別グループメンバー] セクションで、[新規] をクリックします。
8. 作業種別グループを選択し、変更を保存します。
9. [エンゲージメントチャンネル作業種別] セクションで、[新規] をクリックします。
10. エンゲージメントチャンネル種別を選択し、変更を保存します。複数のチャンネルを選択し、ドロップインを設定した場合、Salesforce では対面シフト用のドロップイン時間枠のみが表示されます。
11. [サービステリトリー作業種別] セクションで、[新規] をクリックします。
12. サービステリトリーを選択し、変更を保存します。
13. スキルをサービスリソースに割り当て、予約可能なスタッフを絞り込むときにスキルが考慮されるようにする場合、[スキル要件] セクションで [新規] をクリックします。「[スタッフへのスキルの割り当て](#)」を参照してください。
14. サービスリソースのスキルを選択し、変更を保存します。

詳細は、「[Salesforce Scheduler での作業種別の作成](#)」を参照してください。

スタッフのシフトの作成

スタッフを簡単にスケジュールできる柔軟なシフトを設定し、それらのシフトに 1 つ以上の予定トピックを割り当てます。

表 203 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のシフトを作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

CRM、Sales Cloud、または Service Cloud ユーザーであるサービスリソースは、各自のシフトを作成できます。

1. アプリケーションランチャーから、[シフト] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 開始時刻と終了時刻を入力します。定期的なシフトの場合、シフトの期間を 24 時間以下にする必要があります。
4. シフトを設定するサービスリソースを選択します。このサービスリソースに関連するサービステリトリーメンバーのメンバーシップの日付は、シフトの日付と重複している必要があります。
5. [確認済み] 状況を選択します。
6. 定期的なシフトを作成するには、[繰り返し] 種別を選択し、シフト間隔を設定します。
 - 毎日: この頻度を選択し、繰り返し期間の終了日、または繰り返し回数を定義します。
 - 毎週: この頻度を選択し、シフトを繰り返す曜日を選択します。次に、繰り返し期間の終了日、または繰り返し回数を定義します。
 - 毎月: この頻度を選択し、シフトを繰り返す日付 (特定の曜日や特定の日付) を選択します。次に、繰り返し期間の終了日、または繰り返し回数を定義します。
7. サービスリソースのサービステリトリーを選択します。
8. [標準] 時間枠種別を選択します。
9. 必要に応じて他の項目を入力し、変更を保存します。
10. 新しいシフトで、 をクリックし、[チャンネルとトピックを追加] を選択します。

11. シフトのチャンネルとトピックを検索して選択します。すべてのチャンネルとトピックを含める場合:

- トピックまたはチャンネルを後で追加すると、それらは自動的にシフトに追加されます。
- Salesforce で対応可能なドロップイン時間枠を決定するときに、このシフトは無視されます。

「[Education Cloud の予定トピックの作成](#)」および「[Education Cloud のエンゲージメントチャンネル種別の作成](#)」を参照してください。

12. 変更内容を保存します。

シフトを作成したら、スタッフメンバーのプロファイルでシフトを確認することをお勧めします。この検証により、特にドロップインの対応可能状況については、学習者のセルフサービスポータルに正確な時間枠が確実に表示されるようになります。

「[シフトに関する考慮事項](#)」を参照してください。

Education Cloud での予定環境の管理

多くのスタッフメンバーと学習者はコールセンターを介した作業ではなく、オンラインでの予定の予約の管理と便利さを好みます。スタッフメンバーと学習者がデスクトップまたはモバイルで自分で時間枠を見つけて予定を予約できるようにエクスペリエンスサイトを設定します。

表 204: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Education Cloud のセルフサービス予定

Education Cloud では、Experience Cloud の機能と OmniStudio の柔軟性を使用して、ユーザーの予定環境をカスタマイズすることができます。

表 205: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

OmniScript 予定設定フロー

デフォルトの OmniScript を使用するか、会社のニーズに最も適合するようにカスタマイズします。FlexCard を使用すると、より多くのユーザーデータを表示またはシステムに記録し

たり、事前設定済みのデータを削除したりできます。設定フローに問題がなければ、エクスペリエンスサイトで設定フローを有効にします。

表 206 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

学習者はエクスペリエンスサイトから予定のスケジュールにアクセスし、スタッフは学習者の個人取引先レコードから予定のスケジュールにアクセスします。

関連情報:

- [Education Cloud での OmniStudio の使用](#)

学習者およびスタッフの予定ビュー

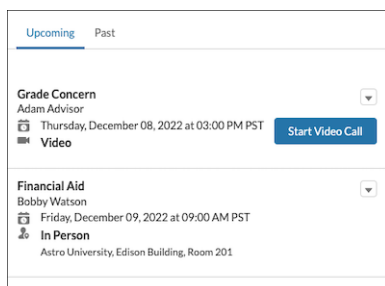
学習者やスタッフメンバーがセルフサービスポータルにログインするときに、Salesforce では過去の予定と今後の予定が表示され、包括的にスケジュールを確認できます。

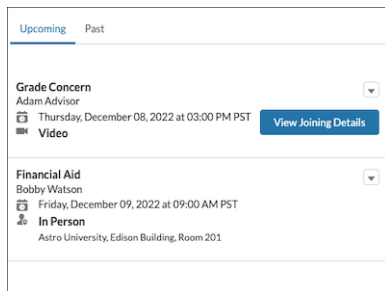
表 207 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

独自のアプリケーションを作成する場合は、[私の予定] コンポーネントをアプリケーションのユーティリティバーに追加してこのビューを提供します。「[アプリケーションユーティリティバーへの \[私の予定\] コンポーネントの追加](#)」を参照してください。

AWS Chime を使用したビデオ通話を設定すると、ユーザーは予定ユーティリティから直接通話を開始できます。外部サービスを使用したビデオ通話では、予定作成の [URL] 項目からの情報が表示されます。





デフォルトでは、セルフサービスポータルで学習者に次の内容が表示されます。

- ミーティング被招集者の名前。
- 予定のトピックとサブトピック (ある場合)。
- 現地のタイムゾーンでのスケジュール済み開始時刻。
- 予定のチャネルと場所。

キャンセルされた予定は表示されません。

学習者は次のすべての条件を満たす場合に仮想予定に参加できます。

- 予定の状況が [進行中] または [スケジュール済み]。
- 現在の時刻がサービス予定の最も早い開始可能時刻と期日の時刻の間。

関連情報:

- *Blog* 投稿: [Unofficial SF: Email Appointment Confirmation with Video Conferencing Information \(3rd Party\) Included \(ビデオ会議情報 \(サードパーティ\) が含まれる予定確認メール\)](#)
- *Blog* 投稿: [Unofficial SF: Create Zoom Meetings from Salesforce \(with Scheduler\) \(Salesforce からの Zoom ミーティングの作成 \(スケジューラーを使用\)\)](#)

セルフサービス予定設定フローのカスタマイズ

Salesforce では EDUScheduler OmniScript が提供されています。これを、わかりやすいクリックベースのインターフェースでカスタマイズして、スタッフと学習者にパーソナライズされたリッチなセルフサービス予定環境を提供できます。

表 208 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

OmniScript では、学習者のレコードから予定設定フローのページに表示するデータを取得します。たとえば、対応可能なスタッフメンバーのリストは、学習者のケースレコードに割り当てられた人から取得されます。

OmniStudio コンポーネントのカスタマイズについての詳細は、「[Education Cloud での OmniStudio の使用](#)」を参照してください。



注意

OmniScript の SetMinsPriorToJoining ステップは、サービス予定の値を使用して、被招集者が予定に参加できる最も早い時間を表します。スクリプトでこの値を編集する場合、時間 (分数) を引用符で囲んで入力する必要があります。

エクスペリエンスサイトユーザーの権限セットの検証

エクスペリエンスサイトへのアクセスや、予定のスケジュールに必要な権限が学習者とスタッフに付与されていることを確認します。

表 209 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

エクスペリエンスサイトの予定ユーザーには、「Experience Cloud ユーザー向け Education Cloud」権限セットライセンスが必要です。Customer Community Plus ユーザーライセンスがサポートされています。「[ユーザーへの Education Cloud の権限セットライセンスの割り当て](#)」を参照してください。

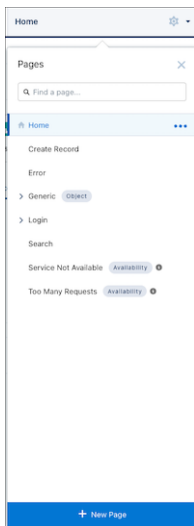
Education Cloud の予定のエクスペリエンスサイトの設定

Education Cloud に付属する事前設定済みの [教育申込者ポータル] テンプレートを使用して、学習者はスケジュール機能にアクセスできます。次の手順は、独自のポータルを作成する場合のみ必要です。

表 210 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のエクスペリエンスサイトを設定する	Education Cloud の完全なアクセス権 および OmniStudio Designer および OmniStudio Runtime (OmniStudio ランタイム)

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. [新規] をクリックして、[Build Your Own (Aura)] などのテンプレートを選択します。
3. [使用開始] をクリックします。
4. 名前と URL を入力し、[作成] をクリックします。
5. [ビルダー] をクリックして、 をクリックします。
6. [私の予定] コンポーネントを探してキャンバスにドラッグします。
7. 上部のツールバーで [ページ] メニューを開き、[新規ページ] をクリックします。



8. [標準ページ]、[新しい空白のページ] の順にクリックします。
9. レイアウトを選択して、[次へ] をクリックします。
10. 名前と URL を入力します (例: 「Schedule Appointments」 (予定をスケジュール) と 「schedule-appointments」)。
11. API 参照名を入力して (例: 「ScheduleAppointment__c」)、[作成] をクリックします。
12.  をクリックします。
13. [OmniScript] コンポーネントを探してキャンバスにドラッグします。
14. [EDUScheduler/StudentAppointment] 種別を選択します。
15. 上部のツールバーで [ページ] メニューを開き、[ホーム] をクリックします。
16.  をクリックします。
17. [FlexCard] コンポーネントを探してキャンバスにドラッグします。
18. [EDUSchedulerScheduleAppointmentSite FlexCard] 名を選択します。

19. [公開された属性] 項目には、OmniScript コンポーネント用に作成したページの名前を {"ApiPageName": "<ページの API 参照名>"} 形式で入力します。この例では、この値は {"ApiPageName" : "ScheduleAppointment__c"} になります。
20. [公開] を 2 回クリックしてから [了解] をクリックします。

事前設定済みテンプレートの使用についての詳細は、「[教育ポータルの設定](#)」を参照してください。

予定設定フローへの学習者のアクセス権の有効化

学習者の共有ルールを設定して、サービス予定レコードへの必須の「参照・更新」アクセス権と、ケースレコードへの「参照」アクセス権を学習者に付与します。

表 211: 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
学習者が予定にアクセスできるようにする	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「デジタルエクスペリエンス」と入力し、[設定] を選択します。
2. [共有セット] セクションで [新規] をクリックします。
3. 表示ラベルと名前を入力し、必要に応じて説明を入力します。この表示ラベルはユーザーインターフェースに表示されます。共有セット名は、API で使用する一意の名前です。
4. 予定のエクスペリエンスサイト用に作成したプロファイルを追加します。

5. [オブジェクトの選択] セクションで [サービス予定] オブジェクトを追加します。

The screenshot shows the 'Sharing Set Edit' dialog box for 'Learners Access'. The 'Select Objects' section is active, showing a list of available objects and a search bar. The 'Selected Objects' list contains 'Service Appointment'.

Sharing Set Edit (Learners Access)

Label: Learners Access
 Sharing Set Name: Learners_Access
 Description:

Select Profiles

Available Profiles: Customer Community User
 Selected Profiles: Customer Community Plus User

Select Objects

Search for: Find

Available Objects: Account, Advanced Account Forecast Fact, Advanced Account Forecast Set Partner, Application Recommendation, Award, Benefit Assignment, Business Alert, Business License, Business Milestone, Case, Clinical Encounter, Course Offering, DataRaptor Bulk Data, Examination

Selected Objects: Service Appointment

Configure Access

Action	Object	Access Determined By	Access Level
Set Up Del	Service Appointment (Access Mapping not configured)	None	None

Save Cancel

6. [アクセス権の設定] セクションで [設定] をクリックします。
7. Contact.Account ユーザーを選択します。
8. [取引先] 対象を選択します。
9. [参照・更新] アクセスレベルを選択します。

The screenshot shows the 'Access Mapping for Service Appointment' dialog box. The 'Grant access where' section is active, showing a list of matches. The 'Access Level' is set to 'Read/Write'.

Access Mapping for Service Appointment

Grant access where

User: Contact.Account (Account)

Matches

Target Service Appointment: Account (Account)

Access Level: Read/Write

Update Cancel

10. [更新] をクリックします。
11. [共有セット] ページで [ケース] オブジェクトを追加します。
12. [アクセス権の設定] セクションで、[ケース] オブジェクトの横にある [設定] をクリックします。

- 13. [取引先責任者] ユーザーを選択します。
- 14. [Account.PersonContact] 対象を選択します。
- 15. [参照のみ] アクセスレベルを選択します。

Access Mapping for Case

Grant access where

User

Contact

(Contact)

Matches

Target Case

Account.PersonContact

(Contact)

Access Level

Read Only

Update

Cancel

- 16. [更新] をクリックします。
- 17. 変更内容を保存します。

予定エクスペリエンスサイトでニックネームの代わりに氏名を表示
わかりやすくするために予定設定フローの名前表示を設定します。

表 212 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のエクスペリエンスサイト設定を編集する	Education Cloud の完全なアクセス権

- 1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「すべてのサイト」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
- 2. 各自のエクスペリエンスサイトの横にある [ワークスペース] をクリックします。
- 3. [管理]、[設定] の順にクリックします。
- 4. [ニックネームを表示] をオフにします。
- 5. 変更内容を保存します。

アプリケーションユーティリティバーへの [私の予定] コンポーネントの追加

Education Cloud には、ユーザーの予定の包括的なビューを提供する事前設定済みアプリケーションが付属します。独自のアプリケーションを作成する場合は、[私の予定] コンポーネントをアプリケーションのユーティリティバーに追加してこのビューを提供します。

表 213 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud アプリケーションを編集する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「アプリケーション」と入力し、[アプリケーションマネージャー] を選択します。
2. [私の予定] コンポーネントの追加先のアプリケーションを見つけて、 をクリックし、[編集] を選択します。
3. [ユーティリティ項目 (デスクトップのみ)]、[ユーティリティ項目を追加] の順にクリックします。
4. [私の予定] を検索して選択します。
5. ユーティリティのプロパティを設定して、変更を保存します。

Education Cloud エクスペリエンスサイトへの予定ユーザーの追加
学習者とスタッフメンバーに Education Cloud エクスペリエンスサイトの予定機能へのアクセス権を付与します。

表 214 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud エクスペリエンスサイトにユーザーを追加する	Education Cloud の完全なアクセス権

ユーザーを Education Cloud エクスペリエンスサイトに追加する前に、次の前提条件を完了していることを確認します。

1. Education Cloud ユーザーを作成します。
2. 各ユーザーのケースレコードを作成します。
3. エクスペリエンスサイトへのアクセス権を付与するためのプロファイルを作成します。

Experience Cloud サイトに予定ユーザーを追加する手順は、次のとおりです。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「すべてのサイト」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. ユーザーの追加先のサイトの横にある [ワークスペース] をクリックします。
3. [管理] をクリックし、[メンバー] をクリックします。
4. アクセス権を付与するために作成したプロファイルを予定のエクスペリエンスサイトに追加し、変更を保存します。
5. 左側のパネルで [設定]、[有効化] をクリックし、確認ダイアログで [OK] をクリックします。

関連情報:

- [機関への学生の募集と入学](#)
- [ケースの作成と割り当ての自動化](#)

学生の予定のスケジュール

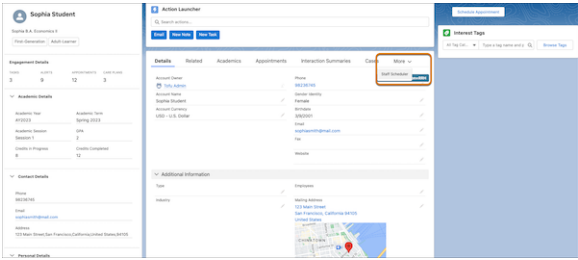
取引先レコードページから学生のスタッフメンバーとの予定をスケジュールします。

表 215 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud で予定をスケジュールする	Education Cloud の完全なアクセス権

予定をスケジュールする前に、スタッフの予定のスケジュールコンポーネントが取引先レコードページに追加されていることを確認します。「[取引先レコードページの設定](#)」を参照してください。

1. 学習者の個人取引先レコードページで [Staff Scheduler (スタッフスケジューラー)] をクリックします。[Staff Scheduler (スタッフスケジューラー)] が表示されない場合は、[さらに表示] をクリックします。
2. [検索条件] で、次の条件を入力します。
 - a. サポートスタッフメンバーまたはチームを検索して選択します。
 - b. トピックを選択します。
 - c. チャンネルを選択します。
3. [検索] をクリックします。
4. 結果のリストで、ミーティングするスタッフメンバーの時間を選択します。結果のリストを並び替えることで、対応可能な最も早い予定や、学習者が最近表示したスタッフを表示できます。
5. コメントを入力して、予定をスケジュールします。



予定への対応可能状況を定義するためのサクセスチームへのケースチームの対応付け

サクセスチームはケースレコードタイプを使用してどのケースチーム (割り当て済みまたは未割り当て) またはスタッフメンバーがスケジュールに対応できるかを判断します。

表 216 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud でケースチームをサクセスチームに対応付ける	Education Cloud の完全なアクセス権

学習者のケースの準備ができたなら、サクセスチームにケースチームまたは個別のスタッフメンバーを対応付けます。割り当て済みまたは未割り当てのケースチームごとにサクセスチームを対応付けることをお勧めします。この設定により、割り当てられていない学習者に対して予約可能にできます。たとえば、学生が現在のカリキュラムにないテーマを調べたい場合に、フロントデスク担当者に依頼して、別の生徒から聞いた人物に会うことができます。

1. アプリケーションランチャーから、[Success Teams (サクセスチーム)] を見つけて選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. 名前を入力します。
4. 予約可能にするケースチームのレコードタイプを選択します。
5. [Default Unassigned Case Team (デフォルトの未割り当てケースチーム)] 項目に、ケースチームの名前を正確に入力します。チームには次のいずれかのメンバーを含めることができます。
 - 学習者に割り当てられていて、割り当て外で他の学習者に対応可能にするスタッフメンバー。
 - すべての学習者に対応可能な未割り当てのスタッフメンバー。

ケースチームではなく個別のスタッフメンバーを学習者に直接割り当てる場合は、この項目に任意の値を入力します (たとえば、N/A)。
6. 学習者がセルフサービスポータルを使用してケースチームとの予定をスケジュールできるようにするには、[Can Self Schedule (自分でスケジュール可能)] を選択します。
7. サクセスチームレコードを有効にするには、[有効] を選択します。
8. 必要に応じて、サクセスチームに関連付ける機関内の部門のアカウントを選択します。
9. 変更内容を保存します。

AWS Chime を使用した仮想予定の設定

Salesforce Scheduler for Education Cloud を設定したら、Amazon Web Services (AWS) Chime SDK を使用して仮想予定を設定し、音声および動画機能を学習者のポータルに追加します。

表 217: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Salesforce Scheduler 設定にユーザー権限と予定データの設定が含まれていることを確認します。「[Salesforce Scheduler for Education Cloud の設定](#)」および「[予定データの設定](#)」を参照してください。

スタッフメンバーが AWS Chime の通話に参加すると、通常の参加者として参加する学習者よりもミーティングを詳細に制御できるモデレーターの役割が付与されます。たとえば、モデレーターはすべての参加者をミュートしたり、全員のミーティングを終了したりできます。

ベストプラクティスとして、ミーティングホストは必ず口頭でミーティング開始時またはミーティング前にレコーディングする旨を被招集者に知らせる必要があります。ミーティング被招集者に動画のレコーディング、使用、共有の方法を知らせることをお勧めします。

ミーティングホストは、各自の動画や音声を出さずに出席することを許可するなど、画像や音声がレコーディングされない状態で参加するオプションや、テキストチャットウィンドウのみで質問をするオプションも提供する必要があります。ミーティング参加者が各自の動画や音声をオフにすることを選択する理由はさまざまです。理由として、常に動画にさらされていることに疲れている、容姿に関する懸念がある、家族の世話をする必要がある、自宅住所や共同生活者に関するプライバシーを守りたい、インターネット接続が脆弱であるか切断されているなどが考えられますが、それ以外の理由も考えられます。これらはいずれも、歴史的に主流から取り残されてきたコミュニティや過小評価されてきたコミュニティに不相応な影響を及ぼす可能性があります。

Education Cloud の仮想通話ライセンスおよび権限の確認

セルフサービスの仮想通話を設定するには、システム管理者に特定のライセンスおよび権限が必要です。

表 218 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud でライセンスおよび権限を確認する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ユーザー」と入力し、[ユーザー] を選択します。
2. システム管理者の名前をクリックします。
3. システム管理者に「Education Cloud Full Access (Education Cloud の完全なアクセス権)」権限セットライセンスが割り当てられていることを確認します。「[ユーザーへの Education Cloud の権限セットライセンスの割り当て](#)」を参照してください。

Amazon アカウントの要件

仮想通話では Amazon EventBridge の API 送信先を使用して Amazon Chime SDK から Salesforce プラットフォームイベントにイベントを接続します。独自の Amazon アカウントを使用して仮想予定を設定します。

表 219 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Amazon Chime SDK と Amazon Chime API により、スタッフと学習者間の予定での仮想通話機能のバックエンドサポートが提供されます。仮想通話のクローズドキャプションでは、トランスクリプトの処理とレコーディングに Amazon Transcribe への音声のリアルタイムストリーミングを使用します。

必ず、AWS 管理者が仮想通話を設定する AWS アカウントの次の前提条件を満たすようにしてください。

- Salesforce Virtual Calls Console アプリケーションの作業負荷専用の AWS アカウント
- AWS CloudFormation テンプレートを実行して必要なリソースを作成できる AWS 管理者
- AWS コンソールまたは AWS コマンドラインインターフェースへのアクセス権

仮想通話の有効化

仮想通話を有効にする前に、Salesforce Scheduler が設定されていることを確認します。

表 220 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud の仮想通話を有効する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ビデオ通話」と入力し、[ビデオ通話設定] を選択します。
2. [ビデオ通話設定] を有効にします。
3. この切り替えを初めて有効にする場合、ウィンドウに免責事項が表示されます。[同意] をクリックします。

Salesforce には、仮想通話機能の設定をサポートする設定アシスタントが表示されます。記載されたすべてのステップは、AWS Chime にのみ関連します。

関連情報:

- [Salesforce Scheduler for Education Cloud の設定](#)

Salesforce への Amazon の接続

接続アプリケーションを作成して Amazon を Salesforce に接続します。接続アプリケーションは、API と OAuth などの標準プロトコルを使用して外部アプリケーションを Salesforce と統合できるようにするフレームワークです。

表 221 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Amazon を Education Cloud に接続する	Education Cloud の完全なアクセス権

仮想通話ソリューションでは Amazon EventBridge の API 送信先を使用して Chime SDK から Salesforce プラットフォームイベントにイベントを接続します。Amazon EventBridge では、この接続に OAuth のユーザー名とパスワードを使用します。コンシューマーキー、コンシューマーの秘密、トークン URL、ユーザー名、パスワードは Salesforce へのイベントの投稿を認証するための必須パラメーターです。

1. [設定] の [クイック検索] ボックスに「アプリケーション」と入力し、[アプリケーションマネージャー] を選択します。
2. [新規接続アプリケーション] をクリックします。
3. 接続アプリケーションの名前を入力します。これは、アプリケーションマネージャーとアプリケーションランチャータイトルに表示されます (例: Amazon EventBridge)。
4. API 参照名を入力します (例: Amazon_EventBridge)。
5. Salesforce があなたまたはサポートチームへの連絡に使用する連絡先メールアドレスを入力します。
6. [API (OAuth 設定の有効化)] セクションで、[OAuth 設定の有効化] を選択します。
7. コールバック URL として「`https://login.salesforce.com/services/oauth2/callback`」と入力します。
8. [選択した OAuth 範囲] で、[API を使用してユーザーデータを管理] を追加します。
9. [更新トークンフローの秘密が必要] を選択解除します。
10. 変更内容を保存し、[続行] をクリックします。
11. 接続アプリケーションの詳細ページで、[コンシューマーの詳細を管理] をクリックします。Salesforce によって本人確認するためのメールが送信されます。
12. メールで受信した確認コードを入力し、[検証] をクリックします。接続アプリケーション API の説明にコンシューマーキーとコンシューマーの秘密が表示されます。Cloud

Formation テンプレートを実行するときに、このコンシューマーキーとコンシューマーの秘密をコピーして Amazon Web Services コンソールに貼り付けます。

13. [設定] の [クイック検索] ボックスに「アプリケーション」と入力し、[接続アプリケーションを管理する] を選択します。
14. 接続アプリケーションの横にある [編集] をクリックします。
15. [IP 制限の緩和] 項目で、[IP 制限の緩和] を選択します。
16. [セッションポリシー] で、ビジネスニーズに最適なタイムアウト値を選択します。テストを目的とする場合は、エラーを減らしてトラブルシューティングしやすくなるように 24 時間を選択してください。本番でリリースする際はより制限の厳格な値を入力することをお勧めします。
17. 変更内容を保存します。

仮想通話のビデオ通話サービスの設定

仮想通話は Amazon Web Services (AWS) Chime SDK と統合され、使いやすい機能豊富な動画プラットフォームがユーザーに提供されます。

表 222 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

仮想通話機能を使用するには、AWS コンソールまたは AWS コマンドラインインターフェースを使用して AWS サービスをリリースします。AWS により、使用開始に役立つ AWS パートナーソリューションが提供されます。AWS 管理者と協力して統合を行ってください。テンプレートとリリースガイドは [Amazon Web Service \(AWS\)](#) にあります。ガイドには、予定の動画サービスを作成するために使用されるアーキテクチャ、セキュリティ、製品に関する詳細情報が記載されています。AWS 管理者は「Pre-Deployment (リリース前)」セクションで手順を確認できます。

AWS 設定には次の値をお勧めします。

AWS 項目	入力値
Username (ユーザー名)	Salesforce システム管理者のユーザー名
Password (パスワード)	Salesforce システム管理者のパスワード
Standard name (標準名)	https://orgname.lightning.force.com
Endpoint URL (エンドポイント URL)	https://orgname.lightning.force.com/services/oauth2/token
Platform Event Endpoint (プラットフォームイベントエンドポイント)	https://orgname.lightning.force.com/services/data/v55.0/subjects/ServiceProviderEvent.

サービスアカウント – AWS ユーザー名には「Virtual Calls User (仮想通話ユーザー)」が入力されます。パスワードを選択してこのユーザーを作成してください。次に、アクセスキーを作成します。このアクセスキーにはクライアント ID とクライアントの秘密が含まれます。これらの値を使用して Salesforce で指定ログイン情報を作成します。

仮想通話の指定ログイン情報の作成

指定ログイン情報を作成し、AWS Chime コールアウトエンドポイントの URL と必須の認証パラメーターを入力します。続いて、Salesforce が AWS Chime へのすべての認証を処理できるようにコールアウトエンドポイントとして指定ログイン情報を入力します。

表 223 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud で仮想通話の指定ログイン情報を作成する	Education Cloud の完全なアクセス権

AWS Cloud Formation テンプレートにより、IAM ポリシーで定義された特定のロールと権限を持つ 1 人の Identity and Access Management (IAM) ユーザーが作成されます。IAM ユーザーは、そのログイン情報を使用して AWS API 要求を行うことができるリソース (個人またはアプリケーション) です。

指定ログイン情報を作成する前に、ユーザーの IAM アクセスキーと秘密を持っていることを確認してください。持っていない場合は、AWS Cloud Formation を設定した AWS 管理者にお問い合わせください。

1. [設定] で、[クイック検索] ボックスに「指定ログイン情報」と入力し、[指定ログイン情報] を選択します。
2. [新規] ドロップダウンメニューから [新規 (従来)] を選択します。



重要

Winter '23 で、拡張およびカスタマイズが可能な強化された指定ログイン情報が導入されました。現在の Virtual Care には従来の指定ログイン情報が必要です。

3. 表示ラベルと名前を入力します。
4. URL として「https://service.chime.aws.amazon.com」を入力します。
5. ID 種別として [指定ユーザー] を選択します。

6. 認証プロトコルとして [AWS 署名バージョン 4] を選択します。
7. AWS アクセスキー ID と AWS シークレットアクセスキーを入力します。
8. Amazon から Amazon Chime ミーティングコントロールのリージョンの AWS リージョンを入力します。AWS 管理者が AWS を Salesforce に接続するときを選択したのと同じリージョンを選択します。
9. AWS サービスとして「Chime」と入力します。
10. [認証ヘッダーを生成] が選択されていることを確認し、変更内容を保存します。

New Named Credential

Specify the callout endpoint's URL and the authentication settings that are required for Salesforce to make callouts to the remote system.

Save Cancel

Label Chime

Name Chime

URL https://service.chime.aws.amazon.com

Authentication

Certificate

Identity Type Named Principal

Authentication Protocol AWS Signature Version 4

AWS Access Key ID 12345678

AWS Secret Access Key

AWS Region us-west-2

AWS Service Chime

Callout Options

Generate Authorization Header ☒

Allow Merge Fields in HTTP Header ☐

Allow Merge Fields in HTTP Body ☐

Outbound Network Connection

Save Cancel

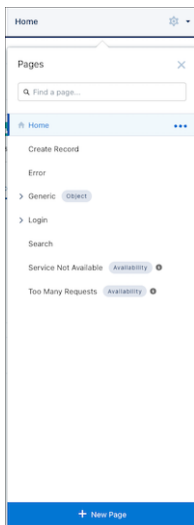
エクスペリエンスサイトでの仮想通話のページの作成

仮想通話では、コンポーネントを追加するエクスペリエンスサイトの個別のページが必要です。

表 224 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud のエクスペリエンスサイトを編集する	Education Cloud の完全なアクセス権

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「すべてのサイト」と入力し、[すべてのサイト] を選択します。
2. ページを追加するサイトの横にある [ビルダー] をクリックします。
3. 上部のツールバーで [ページ] メニューを開き、[新規ページ] をクリックします。



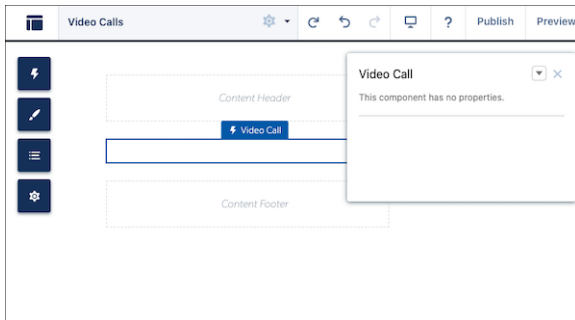
4. [標準ページ]、[新しい空白のページ] の順にクリックします。
5. Video Calls や video-calls などの名前と URL を入力します。
6. Video_Calls__c などの API 参照名を入力し、その名前をメモして、[作成] をクリックします。



注意

API 参照名を入力しない場合、入力した名前を使用して割り当てられます。これは、ページのプロパティに表示されます。

7. [ビルダー] で、 をクリックし、[ビデオ通話] コンポーネントを画面にドラッグします。
8. [公開] を 2 回クリックし、[了解] をクリックします。



仮想通話の設定

AWS アカウントと Salesforce への接続を設定したら、ビデオ予定を設定します。

表 225 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud の仮想通話を設定する	Education Cloud の完全なアクセス権

ビデオ予定を設定する前に、必ず次の前提条件を完了してください。

1. [Education Cloud のエンゲージメントチャネル種別の作成](#) (ビデオ種別に関して)。
2. [エクスペリエンスサイトでの仮想通話のページの作成](#)。
3. [仮想通話の指定ログイン情報の作成](#)。

ビデオ予定を設定する手順は、次のとおりです。

1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ビデオ通話」と入力し、[Video Call Configuration (ビデオ通話構成)] を選択します。
2. [New Video Call Configuration (新規ビデオ通話構成)] をクリックします。
3. 表示ラベルと名前を入力します。
4. 利用状況種別として [Chime] を選択します。
5. 仮想通話用に作成した Experience Cloud デジタルエクスペリエンスページの API 参照名を入力します。
6. AWS Chime 接続に関連付けられた指定ログイン情報を入力します。

- 7. AWS 管理者が AWS Chime 接続を設定するときに使用したアクセスリージョンを選択します。
- 8. 外部ロール識別子として AWS IAM Chime ロールを入力します。ロールを持っていない場合は、AWS 管理者にお問い合わせください。値の形式は次のようになります:
arn:aws:iam:000000000000:role/SampleChimeRole。
- 9. [Video Control Region (動画コントロールのリージョン)] 項目と [Messaging Region (メッセージングのリージョン)] 項目で、指定ログイン情報を作成するときに選択したリージョンを選択します。
- 10. 変更内容を保存します。

Video Call Configuration

New Video Call Configuration

Video Call Configuration Edit

SaveSave & NewCancel

Description Information

Label

Chime

Name

Chime

Usage Type

Chime

Experience Cloud Page API Name

Video_Calls_c

Named Credential

Chime

AWS Video Region

US East (N. Virginia)

AWS API Endpoint Region

us-east-1

AWS Video Waiting Room and Messaging Region

us-east-1

External Role Identifier

arn:aws:iam:000000000000:

Storage Bucket Name

Speech Analysis Service Type

--None--

Video Call Appointment Type Value

Virtual

SaveSave & NewCancel

アプリケーションユーティリティーバーへのビデオ通話コンポーネントの追加

Salesforce ユーティリティーバーにビデオ通話コンポーネントを追加して、ユーザーが簡単に仮想通話に参加できるようにします。

表 226 : 必要なエディションとユーザー権限

使用可能: Lightning Experience	
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition	
必要なユーザー権限	
Education Cloud アプリケーションを編集する	Education Cloud の完全なアクセス権

- 1. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「アプリケーションマネージャー」と入力し、[アプリケーションマネージャー] を選択します。

2. ビデオ通話コンポーネントを追加するアプリケーションを見つけて、をクリックし、[編集] を選択します。

事前設定されたアプリケーションを使用していない場合、私の予定コンポーネントを含めるアプリケーションを選択します。「[アプリケーションユーティリティバーへの \[私の予定\] コンポーネントの追加](#)」を参照してください。

3. [ユーティリティ項目 (デスクトップのみ)]、[ユーティリティ項目を追加] の順にクリックします。
4. [ビデオ通話] を検索して選択します。
5. ユーティリティのプロパティを設定し、変更を保存します。

Education Analytics の理解

Education Cloud で CRM Analytics を使用して、カスタマイズしたダッシュボードを作成し、責任者、募集担当者、レビュー担当者、入学担当者、およびアドバイザーのアプリケーションコンソールに埋め込むことができます。Education Analytics は既存の Education Cloud 機能とシームレスに連携するため、機関はプロセスと学習者の評価指標を改善できます。Analytics ダッシュボードと機関の重要業績指標 (KPI) により、募集、入学者選考、学習者のエンゲージメント、および学生の成功に関するインサイトが提供されます。

表 227: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

Lightning アプリケーションビルダーを使用して、ダッシュボードを作成およびカスタマイズして、アプリケーションコンソールページに埋め込むことができます。「[Education Cloud のコンソールの設定](#)」を参照してください。

入学者選考のインサイト

[Admissions Insights (入学者選考のインサイト)] ダッシュボードにより、入学担当者は入学パイプラインの全体的な健全性を監視し、フェーズ、プログラム、学年度に基づいて申込の分布を分析してエンゲージメント計画を戦略的に練ることができます。

表 228: 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次に、[Admissions Insights (入学者選考のインサイト)] ダッシュボードで回答できる質問の例を示します。

- 受信した申込の総数は？
- 前期と比較した申込数の状況は？
- 申込レビューの件数と状況は？
- 前期と比較した現在の入学受入の効率は？
- 各フェーズで停滞している申込の件数は？
- 入学リストで優先すべき上位の申込の種別は？

ダッシュボードはさまざまな KPI に基づいて入学の効率を分析するさまざまなグラフを備えた複数のペインに分割されます。入学データは以下を基準に絞り込むことができます。

- 申込種別: 種別に基づいて申込を絞り込みます。たとえば、転校です。
- 申込作成日: 申込が作成された日付範囲に基づいて申込を絞り込みます。
- 比較対象: 申込データを前期と比較して進行状況を示します。

セクション	説明
Application by Status (状況別の申込)	受信した申込の総数と、それぞれの状況にある申込数が表示されます。選択した検索条件に基づいて申込の総数に関する進行状況を表示することもできます。
Reviews by Status (状況別のレビュー)	レビュー数と、それぞれのフェーズにある申込レビュー数が表示されます。選択した検索条件に基づいて申込レビューの総数に関する進行状況を表示することもできます。 すべての申込のリストを表示するには [リストを参照] をクリックします。
Admission Efficiency (入学の効率)	チーム平均に基づいた申込の入学への転換の進行状況を示す入学の効率が表示されます。[Yield Efficiency Rate (合格の効率比)] は、申込者が受け入れた入学許可の決定の割合です。[Admission Efficiency Rate (入学の効率比)] は、入学が許可された申込の割合です。
Incomplete Application (不完全な申込)	不完全な申込数が表示され、フォローアップが必要な申込のリストが作成されます。 すべての申込のリストを表示するには [リストを参照] をクリックします。
Applications Awaiting Decision (決定待機中の申込)	入学プロセスフローに遅延があるかどうかを評価する入学チームの判断を待機している申込数が表示されます。 すべての申込のリストを表示するには [リストを参照] をクリックします。

募集のインサイト

[Recruitment Insights (募集のインサイト)] ダッシュボードでは、募集の状況を分析し、プロスペクト学生に優先順位を付けて、効率的に予定をスケジュールするための候補者募集パイプラインおよび RFI の状況に関するインサイトが学生募集担当者に提供されます。

表 229 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次に、[Recruitment Insights (募集のインサイト)] ダッシュボードで回答できる質問の例を示します。

- 各フェーズの候補者数は？
- 各フェーズで停滞している候補者数は？
- パイプラインにある RFI 要求の件数は？
- 最も多くのリードを生成しているリードソースは？

ダッシュボードはさまざまな KPI に基づいて募集データを分析して比較するさまざまなグラフを備えた複数のペインに分割されます。申込データは以下を基準に絞り込むことができます。

- 申込種別: 種別に基づいて申込を絞り込みます。たとえば、転校です。
- 申込作成日: 申込が作成された日付範囲に基づいて申込を絞り込みます。
- 比較対象: 申込データを前期と比較して進行状況を示します。

表 230 : [Recruitment Insights (募集のインサイト)] ダッシュボード

セクション	説明
My Pipeline Health (私のパイプラインの健全性)	申込がパイプライングラフとして表示され、各フェーズの申込数を確認できます。
Response to Request for Information (RFI) (情報の要求 (RFI) への応答)	RFI の総数と、それぞれの状況にある RFI の割合が表示されます。このグラフを使用して、RFIs への応答の進行状況を追跡できます。
Lead by Source (ソース別リード)	パフォーマンスの高いリードソースを特定してリーチを最大化できるように今後の戦略を調整するために、各ソースから受信した申込数が表示されます。

[Admissions and Recruitment Insights (入学および募集のインサイト)] ダッシュボード

[Admissions and Recruitment Insights (入学および募集のインサイト)] ダッシュボードでは、活動を計画し、募集と入学者選考のプロセスの効率を改善するために現在の募集および入学者選考パイプラインの全体的な概要が責任者に提供されます。

表 231 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次に、[Admissions and Recruitment Insights (入学および募集のインサイト)] ダッシュボードで回答できる質問の例を示します。

- 受信した申込の総数は?
- 申込の全体的な状況は?
- 各フェーズの申込数は?
- 入学に転換された申込数は?
- 前期と比較した入学の効率は?

ダッシュボードは KPI に基づいて入学および募集データを分析するさまざまなグラフを備えた複数のペインに分割されます。

表 232 : [Admissions and Recruitment Insights (入学および募集のインサイト)] ダッシュボード

セクション	説明
Application by Status (状況別の申込)	それぞれの状況にある申込数が表示されます。
Total Applications (申込総数)	選択した期間に受信した申込の総数が表示されます。
Application Reviews by Status (状況別の申込レビュー)	それぞれの状況にある申込レビュー数が表示されます。
Application Decision Outcome (申込決定の結果)	最終的な決定に基づいた申込数が表示されます。
Yield & Admission Efficiency (合格と入学の効率)	申込の入学への転換および入学の登録への転換に関する効率が表示されます。
Response to RFI (RFI への応答)	RFI の総数と、それぞれの状況にある RFI の件数が表示されます。
Leads by Source (ソース別リード)	リードソースと、各ソースから生成された申込数が表示されます。

学生サクセスの責任者のインサイト

[Director Insights (責任者のインサイト)] ダッシュボードでは、アドバイザーの活動と効率を監視し、年間の機関レベルの学生パフォーマンスを改善するためのインサイトが提供されます。このダッシュボードを使用して、アドバイザーサービスの総登録数、アドバイザーと学生の比率、およびアドバイザーの予定の全体的な稼働率とキャンセル率を分析し、パフォーマンスが最も高いアドバイザーを特定します。

表 233 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

[Director Insights (責任者のインサイト)] ダッシュボードには、[Institutional Overview (機関の概要)]、[学生サクセス]、および [Advisor Insights (アドバイザーのインサイト)] ページが含まれます。これらのページの評価指標とグラフを使用して、アドバイザーの活動、パフォーマンス、および効率を機関レベルで把握します。学期に基づいてデータを絞り込み、データを前の期間と比較して進行状況を分析できます。

Institutional Overview (機関の概要)

次に、[Director Insights (責任者のインサイト)] ダッシュボードの [Institutional Overview (機関の概要)] ページで回答できる質問の例を示します。

- 学生の総数は？
- アドバイザーサービスを使用する必要がなかった学生の数？
- アドバイザーと学生の比率は？
- アドバイザーサービスに登録した学生の数と、前の期間との差は？
- 学生の平均 CGPA (Cumulative Grade Point Average: 累積成績平均値) と、前の期間との差は？
- 登録数、総学生数、および平均 CGPA に基づく過去 4 年間の機関のパフォーマンスは？

学生サクセス

次に、[Director Insights (責任者のインサイト)] ダッシュボードの [学生サクセス] ページで回答できる質問の例を示します。

- アラート、ケアプラン、および予定の合計数は？
- アラートの平均解決時間は？
- 状況とケースレコードタイプに基づくアラートとケアプランの分布は？
- アドバイザーの予定がない学生の合計数は？

- 予定の全体的な稼働率とキャンセル率は？

Advisor Insights (アドバイザーのインサイト)

次に、[Director Insights (責任者のインサイト)] ダッシュボードの [Advisor Insights (アドバイザーのインサイト)] ページで回答できる質問の例を示します。

- 学生とアドバイザーの合計数は？
- パフォーマンスが最も高いアドバイザーは？
- パフォーマンスが最も低いアドバイザーは？
- 選択した学年度の各アドバイザーの稼働率とキャンセル率は？

学生サクセスのアドバイザーのインサイト

[Advisor Insights (アドバイザーのインサイト)] ダッシュボードでは、学生のケアプランプログラム、アラート、およびアドバイザーの予定を監視するためのインサイトが提供されます。このダッシュボードを使用して、すぐに対応が必要なケアプランを分析し、アドバイザーの予定の稼働率を評価します。

表 234 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

[Advisor Insights (アドバイザーのインサイト)] ダッシュボードには、[アラート]、[ケアプラン]、および [予定] ページが含まれます。これらのページの評価指標とグラフを使用して、進行中のアラート、ケアプラン、およびそれらの分布の全体像を把握します。学期に基づいてデータを絞り込み、データを前の期間と比較して進行状況を分析できます。

アラート

次に、[Advisor Insights (アドバイザーのインサイト)] ダッシュボードの [アラート] ページで回答できる質問の例を示します。

- ケアプランの期限が切れている学生数は？
- ケアプランが進行中の学生数は？
- ケアプランサービスを使用する必要がない学生数は？
- ケースレコードタイプとケアプラン状況に基づくケアプランの分布は？
- 期日に基づいて注意が必要な有効なアラートは？

ケアプラン

次に、[Advisor Insights (アドバイザーのインサイト)] ダッシュボードの [ケアプラン] ページで回答できる質問の例を示します。

- ケアプランの期限が切れている学生の数はいくつですか？
- ケアプランが進行中の学生の数はいくつですか？
- ケアプランサービスを使用する必要がある学生の数はいくつですか？
- ケースレコードタイプとケアプラン状況に基づくケアプランの分布は？
- 期日に基づいて注意が必要な有効なアラートは？

予定

次に、[Advisor Insights (アドバイザーのインサイト)] ダッシュボードの [予定] ページで回答できる質問の例を示します。

- アドバイザーの予定の合計数は？
- アドバイザーの予定の稼働率とキャンセル率は？
- 予定を取らなかった学生の数はいくつですか？
- ケースレコードタイプ、予定の状況、チャネル、およびトピック種別に基づく予定の分布は？
- 期日に基づいて注意が必要な有効なアラートは？

予定分析を使用して、予定の状況に基づいて今後の予定をすばやく把握し、前の期間と比較した予定稼働率の差を分析できます。

Learning Programs and Course Insights (学習プログラムと科目のインサイト)

[Learning Programs and Course Insights (学習プログラムと科目のインサイト)] ダッシュボードを使用して、機関の学習プログラム、申込プロセス、および教職員管理の効率性に関するインサイトを取得できます。

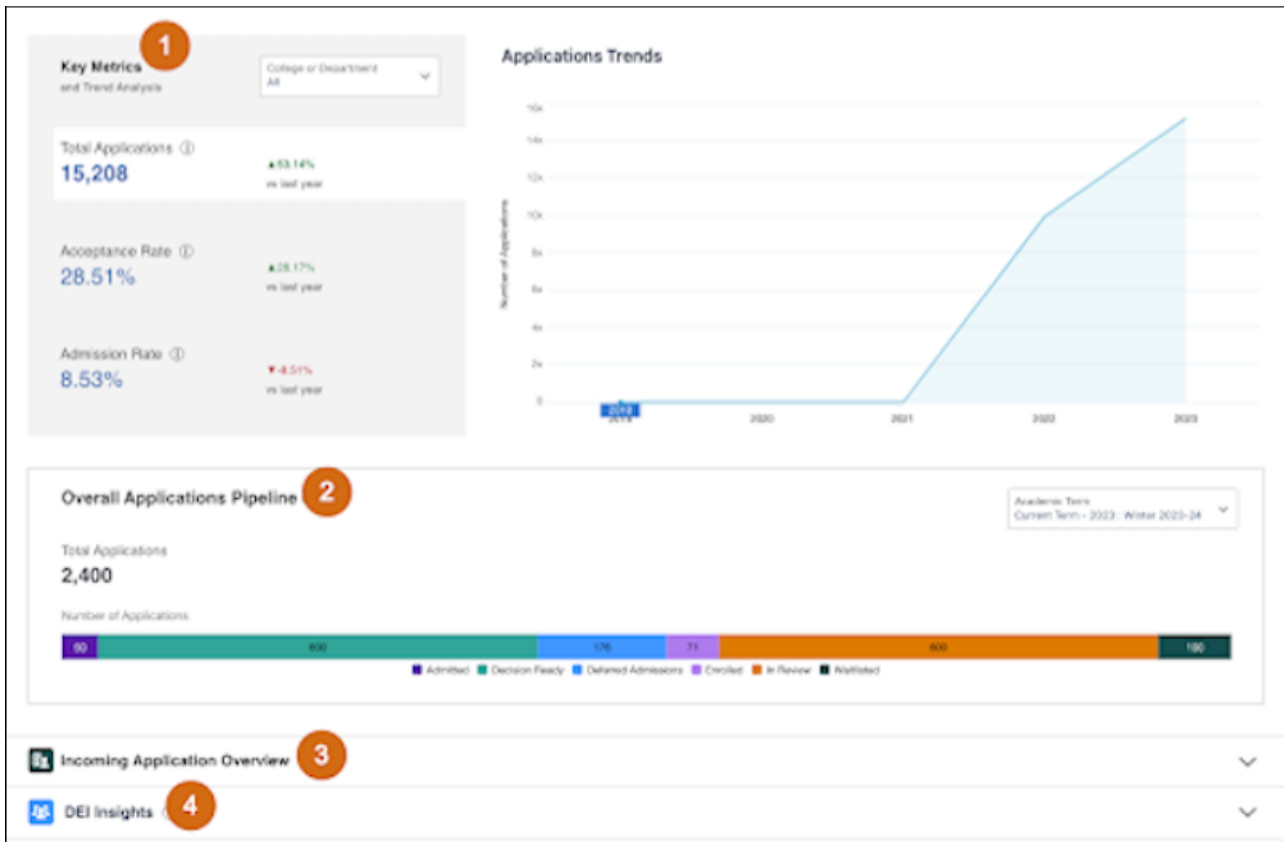
表 235 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience
使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

このダッシュボードには、申込者、登録済み学生、および教職員データを分析する複数のグラフが含まれています。

申込者

選択した学部に基づいて、申込データに対するデータ主導のインサイトを取得します。



申込総数、合格率、入学率などの主要な評価指標を表示し、申込者データに関するインサイトを取得します。選択された評価指標に基づいて、申込のトレンドを確認できます。(1)

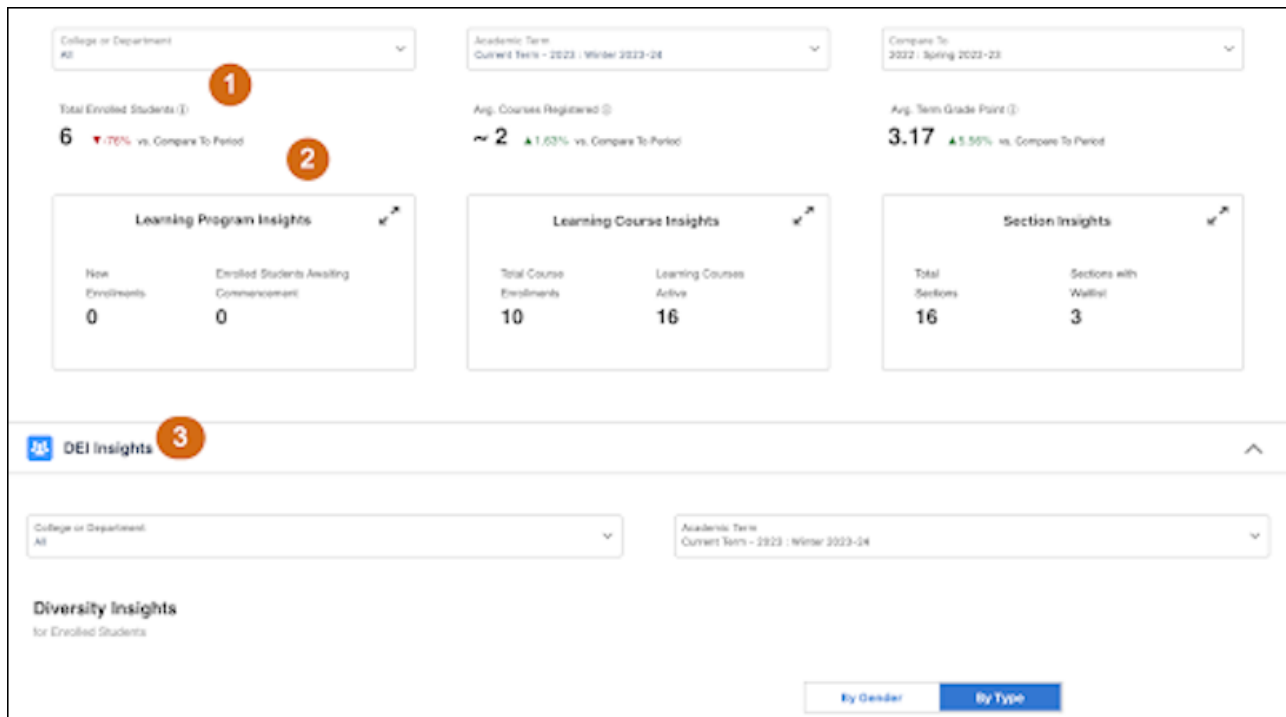
このパイプライングラフは、申込者のジャーニーを視覚的に表し、登録済み、承諾済み、確認中などの状況の分布が示されます。(2)

学習プログラムおよび学期全体の申込データを分析し、申込の量に基づいてパフォーマンスが最も高い学部と学習プログラムおよび最も低い学部と学習プログラムを特定します。(3)

学部全体の申込者の性別、人種、および民族に関する DEI インサイトを取得して、教育機関の包括性を高め、多様な学生を引き付ける点での教育機関の効率を評価します。(4)

登録済み学生

このグラフは、登録済み学生の包括的な概要を提供します。学部や学年度の検索条件を適用して、データをカスタマイズします。



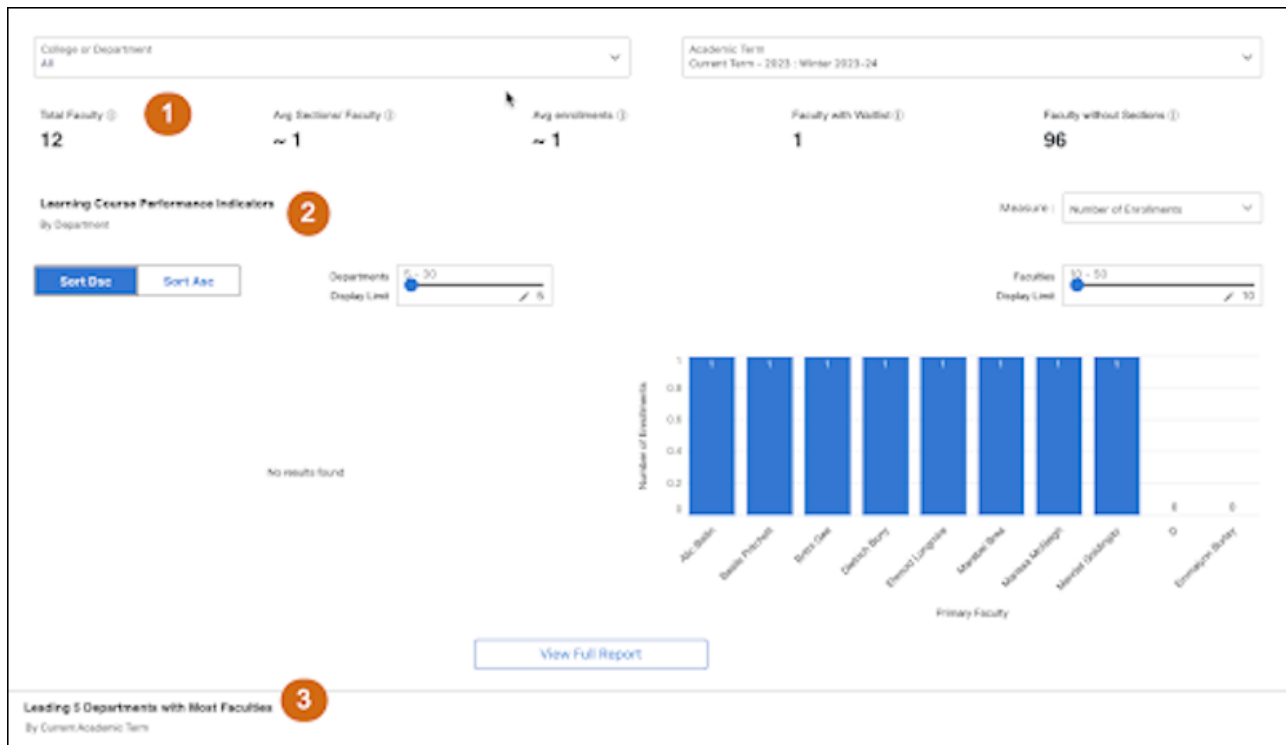
登録済み学生の総数、平均登録科目数、学習実績、学期ごとの平均評価、前年比変化率などの主要な評価指標を表示します。(1)

このカードには、新規登録および学習科目の開始を待っている登録済み学生、選択可能な学習科目と有効な学習科目の合計数、および登録を待っている学生のスナップショットが表示されます。(2)

DEI インサイトを使用して登録済み学生のダイバーシティを確保し、よりインクルーシブで代表的な学習環境を作成します。(3)

教職員

教職員のパフォーマンスと学部に関する包括的なインサイトを取得します。



学部と学期でグラフを絞り込み、教職員の総数、教職員ごとの処理された平均セクション数、登録数、待機リスト、教職員セクションの割り当て状況などの詳細を表示します。(1)

申込数や登録数などの評価指標に基づいて学習科目のパフォーマンスを評価し、これらの学習科目に関連付けられている主な教職員メンバーを特定します。(2)

教職員数に基づいて主要な学部を表示し、効果的なアカデミックプランとリソースの割り当てに役立つ貴重な情報を入手します。(3)

卒業生のインサイト

[Alumni Insights (卒業生のインサイト)] ダッシュボードにより、卒業生コーディネーターやマネージャーに卒業生プログラムの全体的な健全性を監視し、エンゲージメントの機会を特定するためのインサイトが提供されます。

表 236 : 必要なエディション

使用可能: Lightning Experience

使用可能なエディション: Education Cloud を含む Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition、Developer Edition

次に、[Alumni Insights (卒業生のインサイト)] ダッシュボードで回答できる質問の例を示します。

- 組織内の卒業生ユーザーの人数は？
- ポータルでプロフィールを作成した卒業生ユーザーの人数は？

- 進行中のアラートまたはケースがある卒業生ユーザーの人数は？
- 最も多くの卒業生が就いている職業は？
- 卒業生が機関および他の機関で取得した学習実績は？

このダッシュボードには、KPI に基づいて卒業生のエンゲージメントを視覚化する複数のグラフが表示されます。機関全体の卒業生データを確認することも、大学や学部に基づいてデータを絞り込むこともできます。

セクション	説明
上位の評価指標	組織の卒業生の人数と、ポータルでアカウントを作成した人数。
進行中のアラート	進行中のアラートがある卒業生の人数。
進行中のケース	進行中のケースがある卒業生の人数。
職業別の雇用されている卒業生	卒業生が雇用されている職業。
学部別の学習実績	卒業生が機関から取得した学習実績の件数。
外部プログラム登録	卒業生が他の機関から取得した学習実績の件数。



注意

[Alumni Insights (卒業生のインサイト)] ダッシュボードを使用するには、忘れずに Education Analytics を設定してください。「[Education Analytics アプリケーションの設定](#)」を参照してください。